

島本町地域包括支援センター運営事業者の募集参加資格（案）について

募集条件

(1) 応募資格

本業務に応募できる者は、センターの業務を適切、公正、中立かつ効率的に実施できる法人格を有する法人であり、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- ア 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の7の2第1項に規定する老人介護支援センター（在宅介護支援センター）の設置者、高齢者の保健福祉に係る業務経験がある医療法人及び社会福祉法人、包括的支援事業を実施することを目的とする一般社団法人若しくは一般財団法人又は特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第2条第2項の規定に基づき設立された特定非営利活動法人であること。
- イ 令和6年4月1日までに、町内にセンターを設置し、運営の開始ができること（介護保険法第115条の22第1項に規定する指定介護予防支援事業所の指定を含む）。
- ウ 健康福祉及び介護保険事業の実施に関する熱意と識見を有し、事業の確実な遂行と安定した運営ができる経営基盤が整っているとともに、社会的信用が得られる経営主体であること。
- エ 介護保険法（平成9年法律123号）第115条の22第2項各号に該当しないこと。
- オ 募集開始日時点において、町内で介護保険サービスを提供する事業所を有し、かつ、町内で3年以上の介護保険サービスの提供実績があること（但し、福祉用具貸与のみは不可）。
- カ 仕様書に定める委託事業の実施体制を整備し、円滑に実施できること。
- キ 法人及び法人が現に運営している介護保険サービス事業所や介護保険関連施設について、令和2年度から現在までに実施された所管庁等による監査・実地指導等において、重大な文書指摘を受けていないこと。ただし、文書指摘を受けていた場合であっても、適正な改善報告がなされている場合は、指摘を受けていない場合と同様の扱いとする。
- ク 島本町において入札参加停止措置を受けていないこと。
- ケ 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定に基づく更生手続開始の申立て、又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づく再生手続開始の申立てがなされていないこと。
- コ 法人及び法人の代表者が国税及び地方税を滞納していないこと。
- サ 宗教活動及び政治活動を目的とした団体でないこと。
- シ 労働関連法令に違反し、官公署から摘発又は勧告等を受けている事業者ではないこと。
- ス 法人並びに法人の代表者及び役員（それぞれ就任予定者を含む。）が次のいずれ

にも該当するものでないこと。

- (ア) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）。
- (イ) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）。
- (ウ) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められる者。
- (エ) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的若しくは積極的に暴力団の維持・運営に協力し、又は関与していると認められる者。
- (オ) 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者。
- (カ) 上記（ア）から（オ）までのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者。
- (キ) 上記（ア）から（カ）に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人及びその他の団体。

(2) 失格事由

応募した者が次の要件に該当した場合は、失格とし、選定審査の対象から除外することがあります。また、受託事業者の決定後であっても、その決定を取り消すことがあります。なお、この場合、応募した者は、既に要した費用の弁済を求めることはできません。

- ア 当該募集要項に定める応募資格や条件等に反する内容で応募した場合。
- イ 法人及び法人の代理人並びにそれ以外の関係者が選定に対する不当な要求を行った場合又は選定の前後に、本事業について、直接的もしくは間接的な手段を問わず、島本町社会福祉施設等整備審査委員会委員に個別に接触した場合。
- ウ 事業者選定終了までの間に、他の応募事業者と応募書類の内容又はその意思について相談、確認等を行った場合。
- エ 提出期間内に応募書類等が提出されなかった場合若しくは指定した日時の審査に不参加の場合。
- オ 応募書類に虚偽の記載や「誓約書」に虚偽があった場合。
- カ 町民の疑惑や不信を招くような行為をしたと認められる場合。
- キ 応募後、町からの指示事項に正当な理由なく従わない場合。
- ク 計画内容を本町の承諾なく変更した場合、又は大幅な変更が生じた場合。
- ケ 予定していたスケジュールからの大幅な遅れが生じる場合、又は事業実施の目途が立たなくなった場合。
- コ 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者であった場合。
- サ その他不正行為を行った場合。

●地域包括支援センターを設置することができる者

介護保険法で規定されている地域包括支援センターを設置することができる者は以下のとおり。

- 1： 市町村（＝介護保険法第 115 条の 46 第 2 項）
- 2： 介護保険法第 115 条の 47 第 1 項の規定による委託を受けた者（＝介護保険法第 115 条の 46 第 3 項）
→老人福祉法第 20 条の 7 の 2 第 1 項に規定する老人介護支援センターの設置者その他の厚生労働省令で定める者

※その他の厚生労働省令で定める者

＝介護保険法施行規則第 140 条の 67

包括的支援事業を適切、公正、中立かつ効率的に実施することができる者（法人）であって、

- ①老人福祉法第 20 条の 7 の 2 第 1 項に規定する老人介護支援センターの設置者
- ②地方自治法第 284 条第 1 項に規定する一部事務組合若しくは広域連合を組織する市町村
- ③医療法人
- ④社会福祉法人
- ⑤包括的支援事業を実施することを目的とする一般社団法人、一般財団法人、特定非営利活動法人
- ⑥その他市町村が適当と認めるもの

※⑥として、株式会社や有限会社に委託している市町村もある

★本町の前は、

老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 20 条の 7 の 2 第 1 項に規定する老人介護支援センター（在宅介護支援センター）の設置者、高齢者の保健福祉に係る業務経験がある医療法人及び社会福祉法人、包括的支援事業を実施することを目的とする一般社団法人若しくは一般財団法人又は特定非営利活動促進法（平成 10 年法律第 7 号）第 2 条第 2 項の規定に基づき設立された特定非営利活動法人であること。

●介護保険サービスの提供実績要件と不正・不法行為等に関する要件

→（参考）大阪府内で公募による地域包括支援センターの委託事業者を選定した市町の状況

A	<ul style="list-style-type: none"> ・市内において介護保険サービスを提供する事業所を有し、かつ3年以上の介護保険サービスの提供実績があること（福祉用具貸与のみは不可） ・応募法人及び役員が、過去5年以内に介護保険サービス等に関し、不正や著しい不当な行為をした者でないこと。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間において次のいずれかの事業所としての業務実績を有すること <ul style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センター（市内又は他の大阪府内市町村） ②介護保険に関する事業実績（市内） ③保健・医療・福祉分野の相談実績（市内） ・応募法人及び役員が、過去5年以内に介護保険サービス等に関し不正や著しい不当な行為をした者でないこと。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、養護老人ホーム、病院を運営、または介護保険サービス事業を実施しており、かつ市内で夜間も対応できるサービス提供の実績を継続して3年以上有している法人であること ・直近2年間において、関係法令に違反する等業務に関し、不正や不誠実な行為、その他犯罪、社会福祉に関する不正行為を行ったものではないこと
D	<ul style="list-style-type: none"> ・要項告示日において、市内に事務所又は事業所を有する者 ・介護保険法その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律において、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり又は執行を受けることがなくなるまでの者でないこと
E	<ul style="list-style-type: none"> ・下記いずれかの運営実績を過去5年以上の期間にわたって有していること。 <ul style="list-style-type: none"> ①老人福祉法（昭和38年法律第133号）に規定する老人介護支援センター事業の市内における運営実績 ②介護保険に関する事業の市内における運営実績 ③市内又は他の市区町村からのセンター受託実績

★本町の前は、

- ・町内又は隣接市町（大阪府高槻市・茨木市・摂津市、京都府乙訓郡大山崎町・長岡京市）において介護保険サービスを提供する事業所を有し、かつ、町内で介護保険サービスの提供実績があること（但し、福祉用具貸与のみは不可）。
- ・法人及び法人が現に運営している介護保険サービス事業所や介護保険関連施設について、過去3年以内に実施された所管庁等による監査・実地指導等において、重大な文書指摘を受けていないこと。ただし、文書指摘を受けていた場合であっても、適正な改善報告がなされている場合は、指摘を受けていない場合と同様の扱いとする。

募集参加要件（案）の「(1)のエ」「(2)のコ」の法律条文**▽介護保険法**

（指定介護予防支援事業者の指定）

第115条の22 第58条第1項の指定は、～ その効力を有する。

2 市町村長は、前項の申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、第58条第1項の指定をしてはならない。

- (1) 申請者が市町村の条例で定める者でないとき。
- (2) 当該申請に係る事業所の従業者の知識及び技能並びに人員が、第115条の24第1項の市町村の条例で定める基準及び同項の市町村の条例で定める員数を満たしていないとき。
- (3) 申請者が、第115条の24第2項に規定する指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準又は指定介護予防支援の事業の運営に関する基準に従って適正な介護予防支援事業の運営をすることができないと認められるとき。
- (3)の2 申請者が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。
- (4) 申請者が、この法律その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。
- (4)の2 申請者が、労働に関する法律の規定であつて政令で定めるものにより罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。
- (4)の3 申請者が、保険料等について、当該申請をした日の前日までに、納付義務を定めた法律の規定に基づく滞納処分を受け、かつ、当該処分を受けた日から正当な理由なく3月以上の期間にわたり、当該処分を受けた日以降に納期限の到来した保険料等の全てを引き続き滞納している者であるとき。
- (5) 申請者が、第115条の29の規定により指定を取り消され、その取消しの日から起算して5年を経過しない者（当該指定を取り消された者が法人である場合においては、当該取消しの処分に係る行政手続法第15条の規定による通知があつた日前60日以内に当該法人の役員等であつた者で当該取消しの日から起算して5年を経過しないものを含み、当該指定を取り消された者が法人でない事業所である場合においては、当該通知があつた日前60日以内に当該事業所の管理者であつた者で当該取消しの日から起算して5年を経過しないものを含む。）であるとき。ただし、当該指定の取消しが、指定介護予防支援事業者の指定の取消しのうち当該指定の取消しの処分の理由となつた事実及び当該事実の発生を防止するための当該指定介護予防支援事業者による業務管理体制の整備についての取組の状況その他の当該事実に関して当該指定介護予防支援事業者が有していた責任の程度を考慮して、この号本文に規定する指定の取消しに該当しないこととすることが相当であると認められるものとして厚生労働省令で定めるものに該当する場合を除く。
- (5)の2 申請者と密接な関係を有する者が、第115条の29の規定により指定を取り消

され、その取消しの日から起算して5年を経過していないとき。ただし、当該指定の取消しが、指定介護予防支援事業者の指定の取消しのうち当該指定の取消しの処分の理由となった事実及び当該事実の発生を防止するための当該指定介護予防支援事業者による業務管理体制の整備についての取組の状況その他の当該事実に関して当該指定介護予防支援事業者が有していた責任の程度を考慮して、この号本文に規定する指定の取消しに該当しないこととすることが相当であると認められるものとして厚生労働省令で定めるものに該当する場合を除く。

- (6) 申請者が、第115条の29の規定による指定の取消しの処分に係る行政手続法第15条の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に第115条の25第2項の規定による事業の廃止の届出をした者（当該事業の廃止について相当の理由がある者を除く。）で、当該届出の日から起算して5年を経過しないものであるとき。
 - (6)の2 申請者が、第115条の27第1項の規定による検査が行われた日から聴聞決定予定日（当該検査の結果に基づき第115条の29の規定による指定の取消しの処分に係る聴聞を行うか否かの決定をすることが見込まれる日として厚生労働省令で定めるところにより市町村長が当該申請者に当該検査が行われた日から10日以内に特定の日を通知した場合における当該特定の日をいう。）までの間に第115条の25第2項の規定による事業の廃止の届出をした者（当該事業の廃止について相当の理由がある者を除く。）で、当該届出の日から起算して5年を経過しないものであるとき。
 - (6)の3 第6号に規定する期間内に第115条の25第2項の規定による事業の廃止の届出があった場合において、申請者が、同号の通知の前日60日以内に当該届出に係る法人（当該事業の廃止について相当の理由がある法人を除く。）の役員等又は当該届出に係る法人でない事業所（当該事業の廃止について相当の理由があるものを除く。）の管理者であった者で、当該届出の日から起算して5年を経過しないものであるとき。
 - (7) 申請者が、指定の申請前5年以内に居宅サービス等に関し不正又は著しく不当な行為をした者であるとき。
 - (8) 申請者が、法人で、その役員等のうちに第3号の2から第5号まで又は第6号から前号までのいずれかに該当する者のあるものであるとき。
 - (9) 申請者が、法人でない事業所で、その管理者が第3号の2から第5号まで又は第6号から第7号までのいずれかに該当する者であるとき。
- 3 市町村が前項第1号の条例を定めるに当たっては、厚生労働省令で定める基準に従い定めるものとする。
- 4 市町村長は、第58条第1項の指定を行おうとするときは、あらかじめ、当該市町村が行う介護保険の被保険者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

▽地方自治法施行令

(一般競争入札の参加者の資格)

第167条の4 普通地方公共団体は、特別の理由がある場合を除くほか、一般競争入札に次の各号のいずれかに該当する者を参加させることができない。

- (1) 当該入札に係る契約を締結する能力を有しない者
- (2) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第32条第1項各号に掲げる者

2 普通地方公共団体は、一般競争入札に参加しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、その者について3年以内の期間を定めて一般競争入札に参加させないことができる。その者を代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者についても、また同様とする。

- (1) 契約の履行に当たり、故意に工事、製造その他の役務を粗雑に行い、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をしたとき。
- (2) 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合したとき。
- (3) 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げたとき。
- (4) 地方自治法第234条の2第1項の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げたとき。
- (5) 正当な理由がなくて契約を履行しなかつたとき。
- (6) 契約により、契約の後に代価の額を確定する場合において、当該代価の請求を故意に虚偽の事実に基づき過大な額で行つたとき。
- (7) この項（この号を除く。）の規定により一般競争入札に参加できないこととされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他の使用人として使用したとき。

島本町 保健福祉計画及び
介護保険事業計画策定に係る
アンケート調査結果
報告書

令和5（2023）年
島本町

目 次

第1章 アンケート調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査設計	2
3. 調査項目	3
4. 表記・留意点等について	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	6
問1 あなたの基本的な状況について	6
問2 あなたのご家族や生活状況について	8
問3 からだを動かすことについて	15
問4 食べることについて	25
問5 毎日の生活について	32
問6 地域での活動について	40
問7 たすけあいについて	47
問8 健康について	56
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	67
問10 介護予防について	69
問11 その他について	74
■リスク分析	87
■リスク分析のまとめ	107
第3章 在宅介護実態調査結果	111
回答者の状況	111
A票 あなた（あて名のご本人）について	115
B票 主な介護者の方について	167

第1章 アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、介護保険法第117条の規定に基づき、第8期島本町介護保険事業計画を見直すとともに、当該計画と一体的に策定した第8期島本町保健福祉計画についても同時に見直しを行い、「第9期島本町保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けて、地域が抱える課題などを把握するために実施しました。

2. 調査設計

	①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	②在宅介護実態調査
調査期間	令和5年2月21日から令和5年3月10日まで	
調査方法	郵送による配布・回収	
調査対象	65歳以上で、要介護認定を受けていない人または要支援を受けている人	要支援・要介護認定を受けている人で、在宅サービスを受けている方
調査対象者数	1,000人 (未認定者800人、要支援者200人)	300人
回答調査票数	733人	192人
有効調査票数	733人	192人
有効回収率	73.3%	64.0%

3. 調査項目

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査では、国が示す調査項目に町独自の項目を加えた以下の項目について調査いたしました。

性別や年齢、要支援認定の状況といった基本的な調査項目の全ての項目でクロス集計を行い、町の現状や課題について分析を行いました。

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- ①回答者の属性 … 性別、年齢、要支援・要介護認定状況など
- ②家族や生活状況 … 家族構成、介護・介助の必要性、介護が必要になった原因など
- ③からだを動かすことについて … 歩行、転倒、外出状況、移動手段など
- ④食えることについて … BMI（身長・体重より算出）、食事の状況、歯、体重の増減など
- ⑤毎日の生活について … 物忘れ、日用品の買い物、食事の準備、趣味や生きがいの有無など
- ⑥地域での活動について … 会・グループの参加頻度、健康づくり活動等の参加意向など
- ⑦たすけあいについて … 心配ごとや愚痴を聞いてくれる人の有無、相談相手、交流状況など
- ⑧健康について … 健康状態、幸福度、飲酒状況、喫煙状況、治療中の病気など
- ⑨認知症にかかる相談窓口の把握について … 認知症相談窓口・認知症サポーターの認知度など
- ⑩介護予防について … いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操の参加状況と参加していない理由、運動習慣など
- ⑩その他について … 地域包括支援センターの認知度、詐欺の対策、消費者相談の認知度、興味・関心のあること、エンディングノート・ACP（人生会議）の認知度、高齢者の生活に必要な支援など

(2) 在宅介護実態調査

- ①回答者の属性（回答者の認定データに基づく集計）
性別、年齢、要支援・要介護認定、日常生活自立度、サービスの利用状況
- ②A票 あて名のご本人について
世帯類型、主な介護者との関係・性別・年齢、介護を理由とした退職の状況、介護保険サービス以外の利用状況と今後の意向、施設申込状況、傷病状況、訪問診療の利用状況、介護保険サービスの利用状況、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操の認知状況、避難場所の認知度、地域包括支援センターの認知度、今後暮らしたい場所、高齢者の生活に必要な支援、新型コロナウイルス感染症の流行による介護保険サービス利用の変化など
- ③B票 主な介護者について
主な介護者の勤務形態、仕事と介護の両立に必要なこと、介護の継続意向、不安に感じる介護の内容など

4. 表記・留意点等について

- 図表中の「n」とは、集計対象者実数（あるいは該当対象者実数）をさしています。
- 図表の数値（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。そのため、単数回答を求めた設問でも、比率の合計が100%にならない場合があります。また、表示された数値が同じでも小数点第2位以下が異なる場合があります。
- 複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超えます。
- クロス集計表は、属性部分の「不明・無回答」を省略しているため、集計対象者実数（n）の合計が回収数と同じにはなりません。
- クロス集計表は回答の多い上位2項目に網掛け（「その他」「不明・無回答」を除く）を行っています。なお、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の認定別のクロス集計において「要介護者」の母数が5件と少ないため、表記はしていますが分析の対象外としています。また、総合事業対象者の数は「要支援者」に含めています。
- 本調査は令和5年2月から令和5年3月にかけて調査を実施していますが、この期間は新型コロナウイルスの蔓延になお注意が呼びかけられている時期であるため、外出や行動において普段とは異なる状況にある場合があります。

なお、地域区分は次のとおりです。

	地域
第一小学校区	広瀬一・二・三丁目、広瀬四丁目（1～21番）、広瀬五丁目、山崎一・二丁目、山崎三丁目（3～10番）、東大寺一丁目、大字広瀬
第二小学校区	大字大沢、大字尺代、大字山崎、山崎三（1・2番）、四・五丁目、大字東大寺、東大寺二・三・四丁目、若山台一丁目（1・3・5・6番）、若山台二丁目（2～7番）、百山
第三小学校区	大字桜井、桜井一・二・三・四・五丁目、桜井台、青葉一・二・三丁目、水無瀬二丁目〔8・9番の一部（170番地）〕、若山台一丁目（2・4番・793番地）、若山台二丁目（1番）、大字広瀬の一部
第四小学校区	広瀬四丁目（22～26番）、水無瀬一・二丁目〔1～7番、9の一部（170番地を除く）～22番〕、江川一・二丁目、高浜一・二・三丁目

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答者の状況】

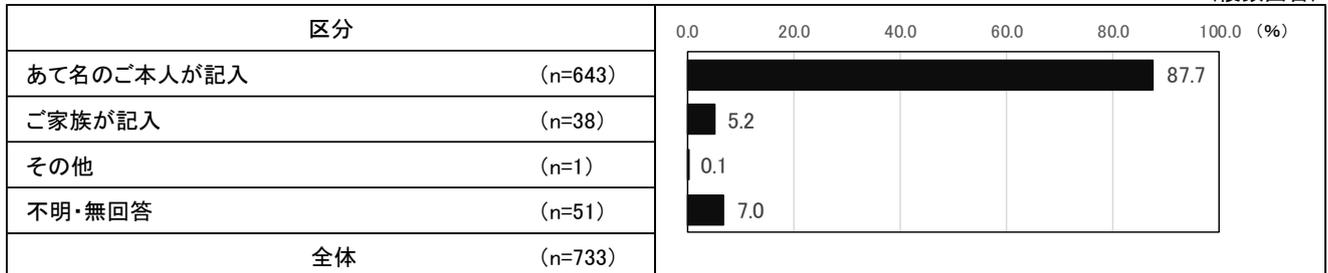
○下表は介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答者を性別や認定別などに年齢構成をみたものになります。性別では年齢に偏りは有りませんが、認定別では、未認定者の約半数が74歳以下なのに対し、要支援者・要介護者は75歳以上が8割以上を占めています。

		(n)	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳以上	不明・ 無回答
全体		733	18.7	22.8	25.0	18.0	10.1	3.0	1.0	0.0	1.5
性別	男性	306	19.6	25.5	26.8	17.6	7.5	2.0	1.0	0.0	0.0
	女性	406	19.0	21.4	23.4	18.7	11.6	3.9	1.0	0.0	1.0
認定	未認定者	579	23.0	26.1	25.0	15.7	7.8	1.4	0.5	0.0	0.5
	要支援者	135	3.0	11.9	23.0	28.9	20.0	9.6	3.0	0.0	0.7
	要介護者	5	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	23.1	23.7	23.7	17.7	9.7	1.6	0.5	0.0	0.0
	第二小学校区	171	17.0	25.7	30.4	16.4	8.2	1.8	0.6	0.0	0.0
	第三小学校区	180	16.7	17.2	23.3	24.4	11.1	3.9	2.2	0.0	1.1
	第四小学校区	167	18.0	27.5	24.6	14.4	9.6	4.2	0.6	0.0	1.2
世帯	一人暮らし	169	12.4	20.1	19.5	23.1	17.2	5.3	1.8	0.0	0.6
	夫婦のみ	379	19.8	24.5	29.0	16.9	7.4	1.6	0.5	0.0	0.3
	その他の世帯	173	23.1	22.5	23.1	16.2	9.2	3.5	1.2	0.0	1.2

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。

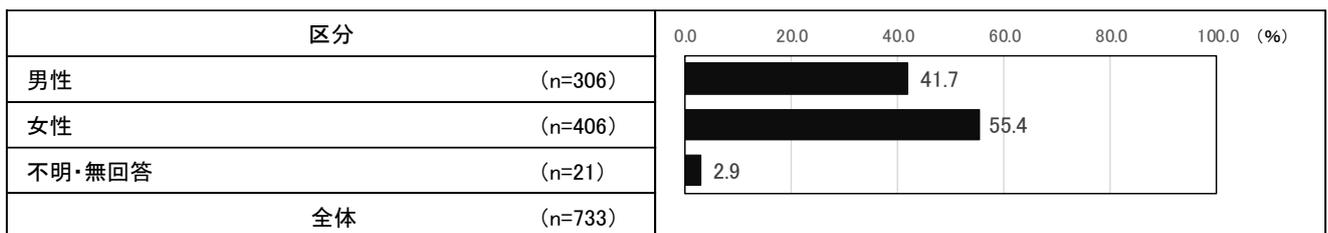
(複数回答)



「あて名のご本人が記入」が 87.7%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が 5.2%、「その他」が 0.1%となっています。

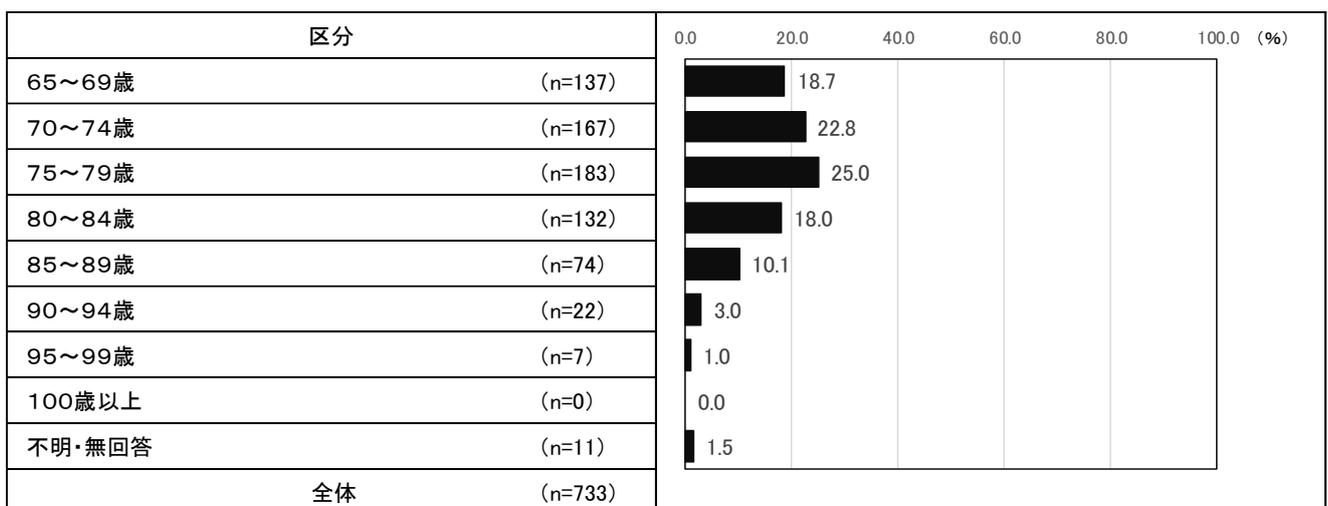
問1 あなたの基本的な状況について

(1) あなたの性別をお教えてください。(未記入でも結構です)



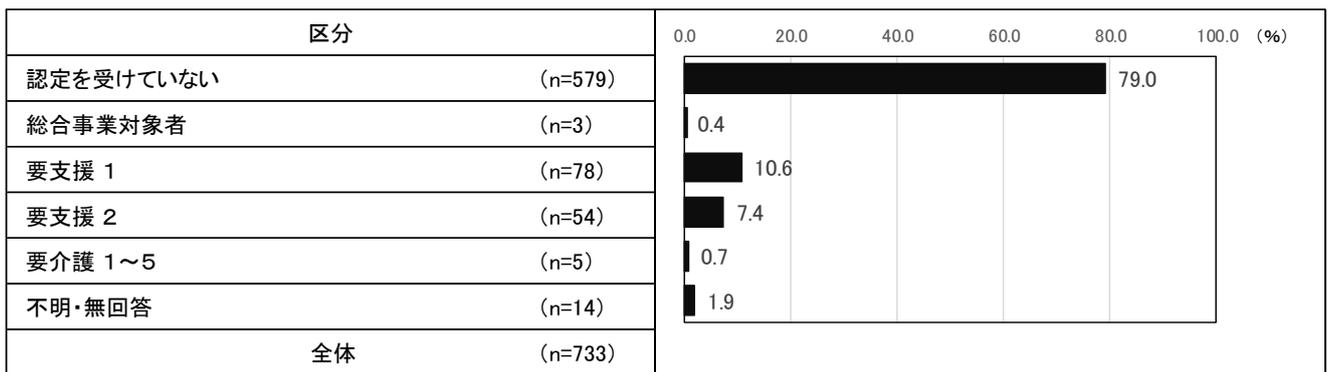
「女性」が 55.4%、「男性」が 41.7%となっています。

(2) あなたの年齢をお教えてください。(1つに○)



「75～79歳」が 25.0%で最も高く、次いで「70～74歳」が 22.8%、「65～69歳」が 18.7%となっています。

(3) あなたは要支援・要介護認定を受けていますか。(1つに○)



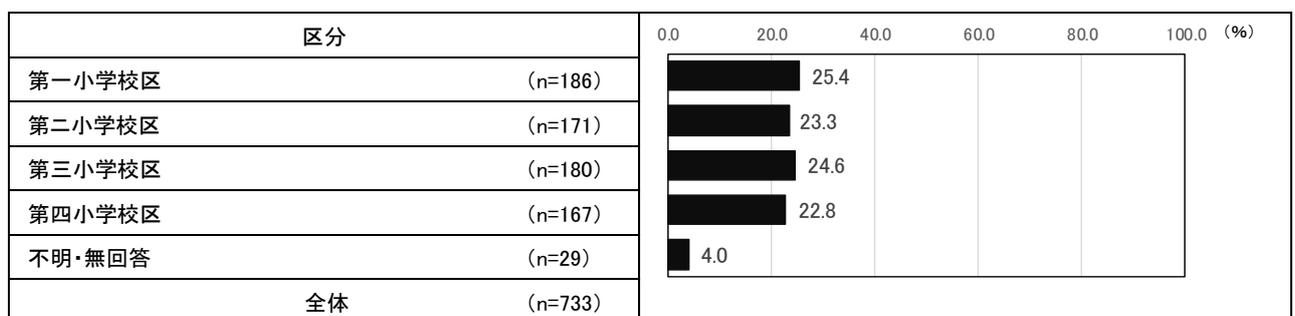
「認定を受けていない」が 79.0%で最も高く、次いで「要支援 1」が 10.6%、「要支援 2」が 7.4%となっています。

	(n)	認定を受けていない	総合事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1~5	不明・無回答
全体	733	79.0	0.4	10.6	7.4	0.7	1.9
年齢	65~74 歳	304	93.4	0.3	4.3	2.0	0.0
	75~84 歳	315	74.9	0.3	11.7	10.2	1.3
	85 歳以上	103	54.4	1.0	26.2	15.5	1.9
世帯	一人暮らし	169	63.9	1.2	18.9	14.8	0.6
	夫婦のみ	379	85.8	0.3	7.1	5.5	1.1
	その他の世帯	173	82.1	0.0	11.0	4.6	1.7

○年齢別にみると、どの年代も「認定を受けていない」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。一方、「要支援 1」「要支援 2」は年齢が高くなるにつれて、回答率も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「認定を受けていない」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしのみ 60%台と、ほかの世帯より低くなっています。また、一人暮らしは「要支援 1」が 18.9%、「要支援 2」が 14.8%と、ほかの世帯よりそれぞれ 10 ポイント前後多くなっています。

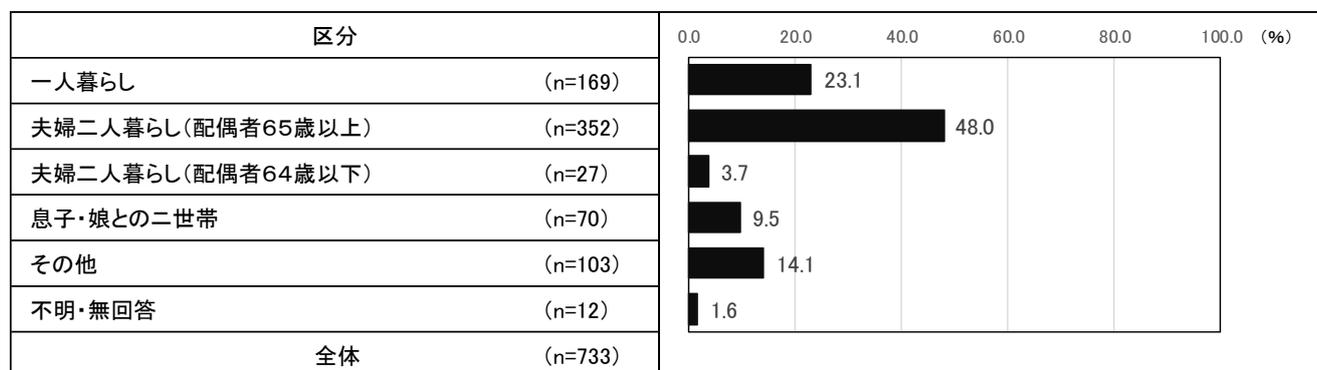
(4) お住まいの地域について、該当する地域の欄に○をつけてください。(1つに○)



「第一小学校区」が 25.4%で最も高く、次いで「第三小学校区」が 24.6%、「第四小学校区」が 22.8%、「第二小学校区」が 23.3%となっています。

問2 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つに○)



「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」が48.0%で最も高く、次いで「一人暮らし」が23.1%、「その他」が14.1%となっています。

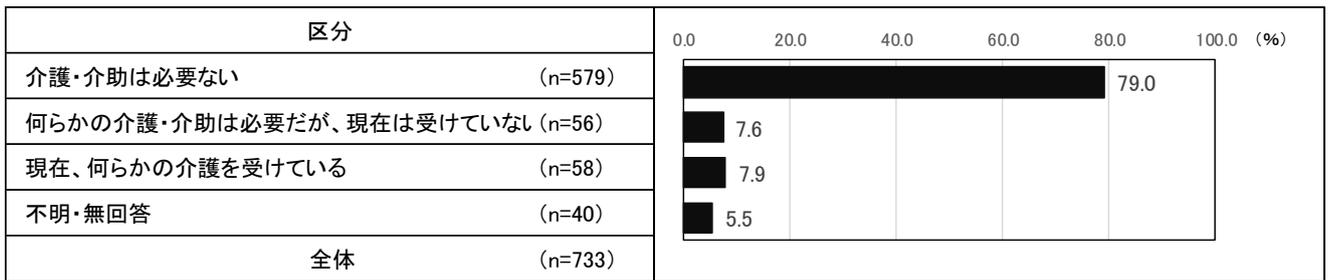
	(n)	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との二世帯	その他	不明・無回答	
全体	733	23.1	48.0	3.7	9.5	14.1	1.6	
性別	男性	306	12.1	59.2	7.5	8.5	12.7	0.0
	女性	406	31.8	39.9	1.0	10.6	15.5	1.2
年齢	65～74歳	304	18.1	47.4	7.9	8.9	17.1	0.7
	75～84歳	315	22.9	55.2	0.0	8.6	13.0	0.3
	85歳以上	103	39.8	33.0	1.9	14.6	8.7	1.9
認定	未認定者	579	18.7	51.8	4.3	9.3	15.2	0.7
	要支援者	135	43.7	34.8	1.5	10.4	9.6	0.0
	要介護者	5	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0

○性別にみると、男女ともに「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが19.3ポイント多くなっています。「一人暮らし」は女性で31.8%と、男性より19.7ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、85歳以上は「一人暮らし」、そのほかの年代は「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者では「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」、要支援者では「一人暮らし」の回答率が最も高くなっています。また、「一人暮らし」は要支援者で43.7%と、未認定者より25.0ポイント多くなっています。

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)



「介護・介助は必要ない」が 79.0%で最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が 7.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.6%となっています。

		(n)	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	不明・無回答
全体		733	79.0	7.6	7.9	5.5
年齢	65～74 歳	304	93.1	2.0	3.0	2.0
	75～84 歳	315	76.8	9.5	9.8	3.8
	85 歳以上	103	49.5	18.4	17.5	14.6
認定	未認定者	579	91.9	4.3	1.9	1.9
	要支援者	135	31.1	21.5	31.9	15.6
	要介護者	5	40.0	20.0	40.0	0.0

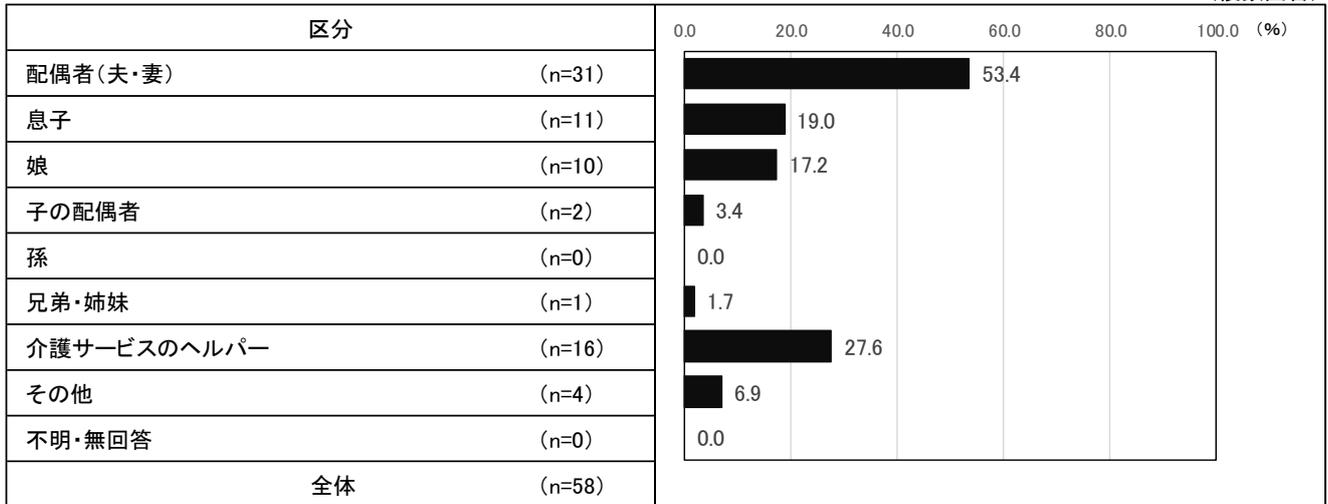
○年齢別でみると、どの年代も「介護・介助は必要ない」の回答率が最も高くなっていますが、85歳以上は50%未満となっています。また、「現在、何らかの介護を受けている」は85歳以上のみ18.4%と、ほかの年代より高くなっています。

○認定別にみると、未認定者では「介護・介助は必要ない」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者では「現在、何らかの介護を受けている」の回答率が最も高く、未認定者より30.0ポイント多くなっています。

(2)で「3 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ

(3) 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

(複数回答)



「配偶者(夫・妻)」が53.4%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が27.6%、「息子」が19.0%となっています。

	(n)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	不明・無回答
全体	58	53.4	19.0	17.2	3.4	0.0	1.7	27.6	6.9	0.0
性別	男性	22	77.3	18.2	9.1	0.0	0.0	13.6	4.5	0.0
	女性	36	38.9	19.4	22.2	5.6	0.0	36.1	8.3	0.0
年齢	65～74歳	9	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0
	75～84歳	31	58.1	19.4	12.9	0.0	0.0	25.8	6.5	0.0
	85歳以上	18	38.9	27.8	33.3	11.1	0.0	33.3	5.6	0.0
認定	未認定者	11	72.7	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援者	43	46.5	16.3	16.3	4.7	0.0	32.6	9.3	0.0
	要介護者	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○性別にみると、男女ともに「配偶者(夫・妻)」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが38.4ポイント多くなっています。また、「介護サービスのヘルパー」は、男性より女性のほうが22.5ポイント多くなっています。

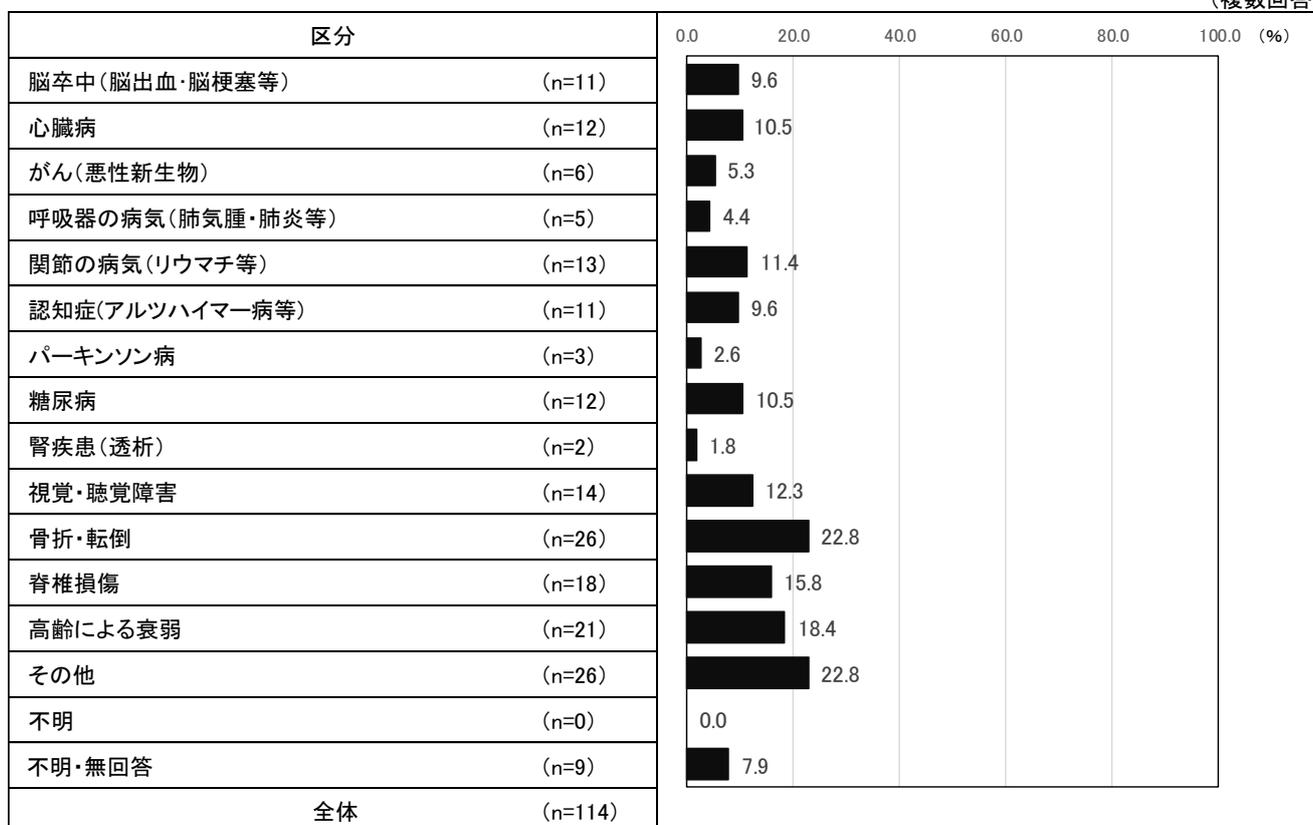
○年齢別にみると、どの年代も「配偶者(夫・妻)」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。一方、「息子」「娘」「介護サービスのヘルパー」は、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「配偶者(夫・妻)」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが26.2ポイント少なくなっています。

(2)で「2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ

(4) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

(複数回答)



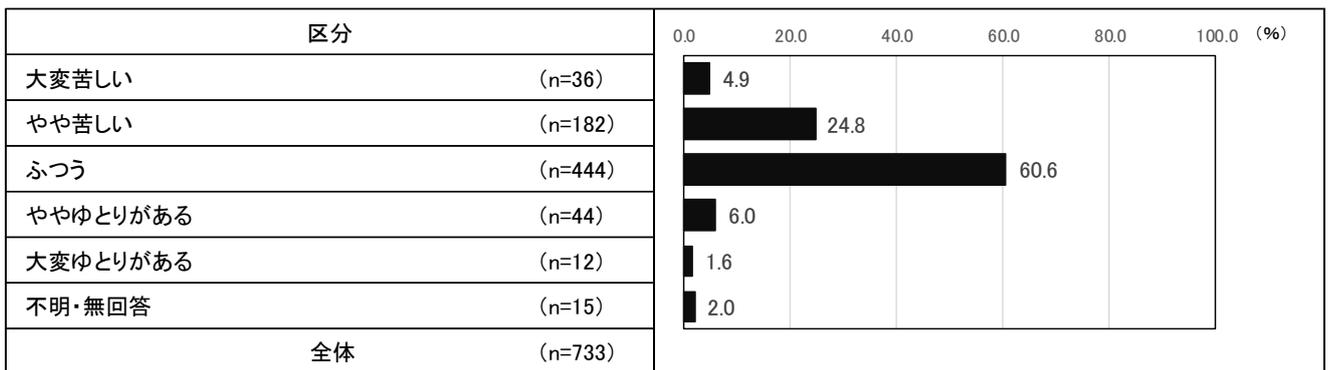
「骨折・転倒」と「その他」がともに 22.8%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が 18.4%、「脊椎損傷」が 15.8%となっています。

	(n)	脳卒中(脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎・ 気腫)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	
全体	114	9.6	10.5	5.3	4.4	11.4	9.6	2.6	10.5	
性別	男性	42	16.7	11.9	9.5	7.1	11.9	4.8	19.0	
	女性	70	5.7	10.0	2.9	2.9	8.6	1.4	5.7	
年齢	65～74 歳	15	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	
	75～84 歳	61	11.5	6.6	6.6	4.9	8.2	14.8	3.3	
	85 歳以上	37	5.4	16.2	2.7	5.4	18.9	5.4	0.0	
	(n)	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	不明・無回答	
全体	114	1.8	12.3	22.8	15.8	18.4	22.8	0.0	7.9	
性別	男性	42	0.0	14.3	14.3	9.5	16.7	28.6	0.0	4.8
	女性	70	2.9	11.4	27.1	18.6	20.0	20.0	0.0	8.6
年齢	65～74 歳	15	0.0	6.7	13.3	0.0	13.3	26.7	0.0	26.7
	75～84 歳	61	0.0	13.1	26.2	21.3	9.8	18.0	0.0	3.3
	85 歳以上	37	5.4	13.5	21.6	13.5	35.1	29.7	0.0	5.4

○性別にみると、男性は「その他」、女性は「骨折・転倒」の回答率が最も高くなっています。また、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「糖尿病」は女性より男性のほうが10ポイント以上多くなっています。

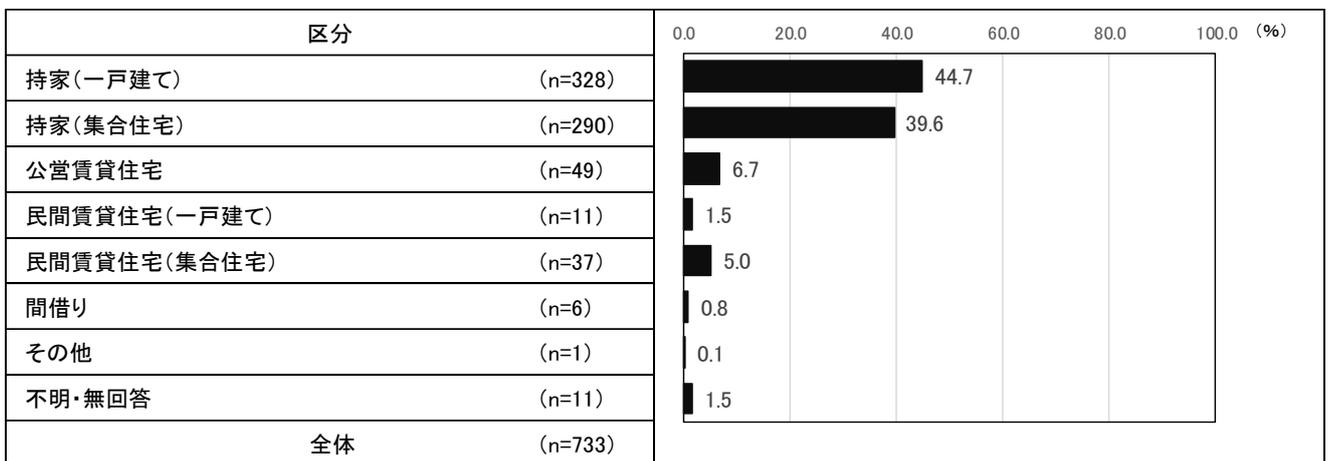
○年齢別にみると、65～74歳は「その他」、75～84歳は「骨折・転倒」、85歳以上は「高齢による衰弱」の回答率が最も高くなっています。

(5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)



「ふつう」が60.6%で最も高く、次いで「やや苦しい」が24.8%、「ややゆとりがある」が6.0%となっています。

(6) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)



「持家(一戸建て)」が44.7%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が39.6%、「公営賃貸住宅」が6.7%となっています。

	(n)	戸持家（一 建て）	合持家（集 合住宅）	住宅公 営賃貸	戸住民 建て間 賃貸	合住民 合住宅間 賃貸	間借 り	そ の 他	回 答 不 明 ・ 無	
全体	733	44.7	39.6	6.7	1.5	5.0	0.8	0.1	1.5	
年齢	65～74 歳	304	44.1	41.1	7.2	0.7	4.9	1.0	0.0	1.0
	75～84 歳	315	41.3	42.2	6.7	2.2	4.8	0.6	0.3	1.9
	85 歳以上	103	56.3	27.2	4.9	1.9	6.8	1.0	0.0	1.9
認定	未認定者	579	44.2	40.4	6.7	1.6	4.8	0.5	0.0	1.7
	要支援者	135	45.2	39.3	5.9	0.7	5.9	1.5	0.7	0.7
	要介護者	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	61.8	21.0	5.9	2.7	4.8	1.1	0.5	2.2
	第二小学校区	171	39.8	55.0	1.2	0.0	2.9	0.6	0.0	0.6
	第三小学校区	180	49.4	41.7	2.8	1.1	2.8	1.1	0.0	1.1
	第四小学校区	167	24.6	42.5	17.4	1.8	10.8	0.6	0.0	2.4
世帯	一人暮らし	169	32.0	39.1	7.7	2.4	15.4	1.2	0.0	2.4
	夫婦のみ	379	47.0	42.5	6.9	1.6	1.6	0.0	0.0	0.5
	その他の世帯	173	51.4	34.7	4.6	0.6	2.9	2.3	0.6	2.9

○年齢別にみると、75～84 歳は「持家（集合住宅）」、そのほかの年代は「持家（一戸建て）」の回答率が最も高くなっています。

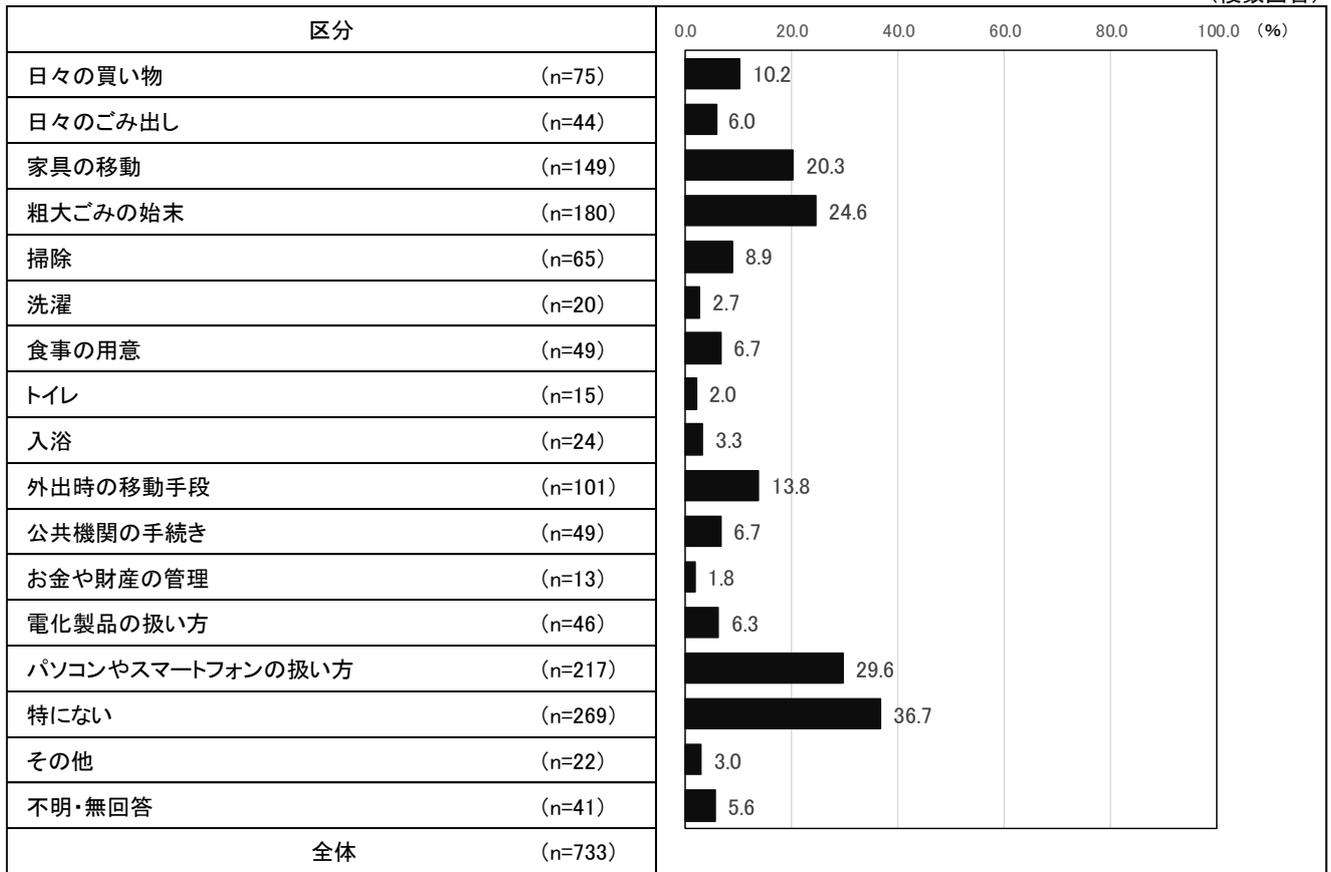
○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「持家（一戸建て）」の回答率が最も高くなっています。

○小学校区別にみると、第一小学校区・第三小学校区は「持家（一戸建て）」、そのほかの小学校区は「持家（集合住宅）」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「持家（集合住宅）」、そのほかの世帯は「持家（一戸建て）」の回答率が最も高くなっています。

(7) 普段の生活の場面で困ったことがありますか。(いくつでも)

(複数回答)



「特にない」が 36.7%で最も高く、次いで「パソコンやスマートフォンの使い方」が 29.6%、「粗大ごみの始末」が 24.6%となっています。

		(n)	日々の買い物	日々のごみ出し	家具の移動	粗大ごみの始末	掃除	洗濯	食事の用意	トイレ	入浴
全体		733	10.2	6.0	20.3	24.6	8.9	2.7	6.7	2.0	3.3
年齢	65～74 歳	304	3.9	3.9	14.5	22.7	2.3	0.0	2.3	0.3	0.3
	75～84 歳	315	11.7	5.4	23.5	22.9	11.1	3.8	8.6	1.3	3.5
	85 歳以上	103	25.2	13.6	27.2	35.0	22.3	6.8	13.6	9.7	11.7
認定	未認定者	579	7.4	3.3	16.9	20.9	4.7	1.0	4.1	0.7	0.2
	要支援者	135	22.2	16.3	33.3	38.5	25.9	8.1	15.6	6.7	15.6
	要介護者	5	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0
		(n)	段外 出時の 移動手 き	公共機 関の手 続	理 お 金や財 産の管 理	方 電 化製品 の扱い	パソ コンや スマー トフォ ンの扱 い方	特に ない	そ 他	不 明・無 回答	
全体		733	13.8	6.7	1.8	6.3	29.6	36.7	3.0	5.6	
年齢	65～74 歳	304	4.9	3.3	0.3	3.3	23.7	48.7	1.6	4.9	
	75～84 歳	315	16.2	7.3	2.9	6.7	32.1	32.4	3.2	5.4	
	85 歳以上	103	32.0	14.6	1.9	13.6	39.8	14.6	6.8	7.8	
認定	未認定者	579	8.6	4.7	1.2	3.8	27.5	42.7	3.1	5.9	
	要支援者	135	34.1	13.3	3.0	15.6	37.8	14.1	3.0	3.7	
	要介護者	5	60.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

○年齢別にみると、85歳以上は「パソコンやスマートフォンの扱い方」、そのほかの年代は「特にない」の回答率が最も高くなっています。また、85歳以上は「粗大ごみの始末」が30%台と、そのほかの年代より高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「特にない」、要支援者は「粗大ごみの始末」の回答率が最も高くなっています。

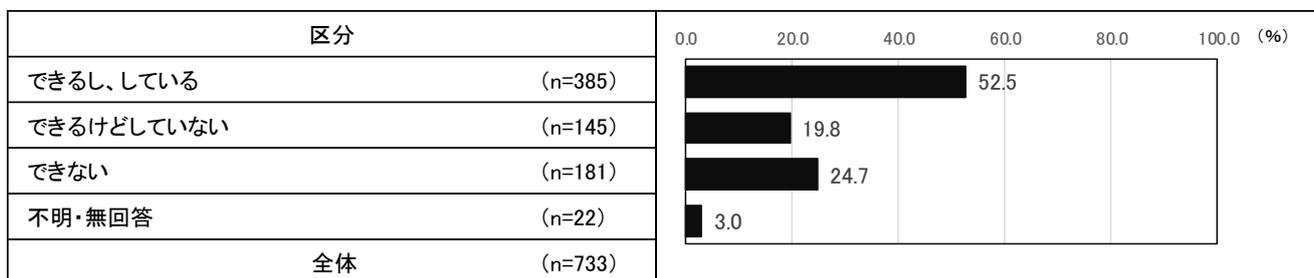
	(n)	日々の買い物	日々のごみ出し	家具の移動	粗大ごみの始末	掃除	洗濯	食事の用意	トイレ	入浴	
全体	733	10.2	6.0	20.3	24.6	8.9	2.7	6.7	2.0	3.3	
小学校区	第一小学校区	186	3.8	2.7	20.4	21.0	6.5	2.7	5.9	1.6	2.2
	第二小学校区	171	15.2	5.8	17.0	22.8	8.2	1.8	6.4	1.2	1.8
	第三小学校区	180	14.4	9.4	22.2	26.1	10.6	2.8	8.3	2.2	5.0
	第四小学校区	167	8.4	4.2	20.4	26.3	9.6	3.0	6.0	3.0	2.4
世帯	一人暮らし	169	13.6	11.8	29.0	35.5	12.4	3.0	7.7	2.4	4.7
	夫婦のみ	379	9.5	4.7	19.0	23.0	8.7	2.4	6.6	2.1	3.2
	その他の世帯	173	8.7	2.9	14.5	17.3	6.4	2.9	5.8	1.7	2.3
	(n)	段外 出時の 移動手 き	公共 機関の 手続	理 お 金や 財産 の管	方 電 化 製 品 の 扱 い	パ ソ コ ン や ス マ ー ト フ ォ ン の 扱 い 方	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答		
全体	733	13.8	6.7	1.8	6.3	29.6	36.7	3.0	5.6		
小学校区	第一小学校区	186	13.4	4.8	2.2	7.0	28.5	41.9	2.7	4.3	
	第二小学校区	171	11.7	4.1	1.8	2.9	24.0	41.5	3.5	3.5	
	第三小学校区	180	17.2	8.9	0.6	9.4	36.7	28.9	5.6	8.3	
	第四小学校区	167	11.4	7.8	2.4	6.0	28.1	35.3	0.6	6.6	
世帯	一人暮らし	169	14.2	7.7	3.0	11.8	28.4	27.2	3.6	7.7	
	夫婦のみ	379	13.2	6.1	0.8	4.7	30.6	39.1	2.4	4.5	
	その他の世帯	173	14.5	6.9	2.3	4.0	29.5	40.5	4.0	5.8	

○小学校区別にみると、第三小学校区は「パソコンやスマートフォンの扱い方」、そのほかの小学校区は「特にない」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「粗大ごみの始末」、そのほかの世帯は「特にない」の回答率が最も高くなっています。

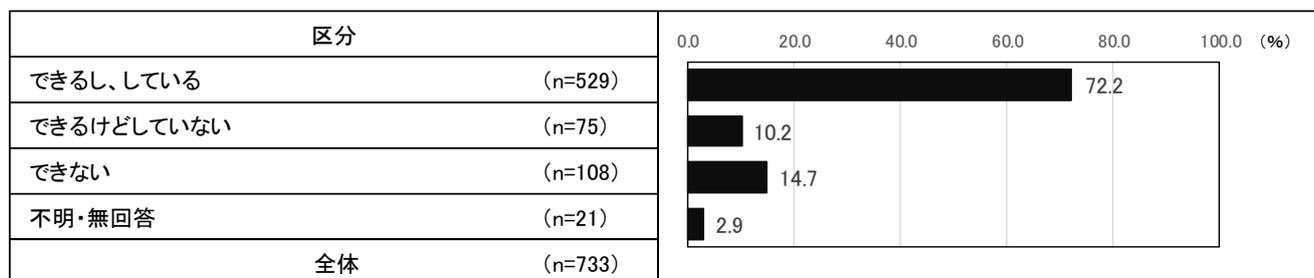
問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつかわずに昇っていますか。(1つに○)



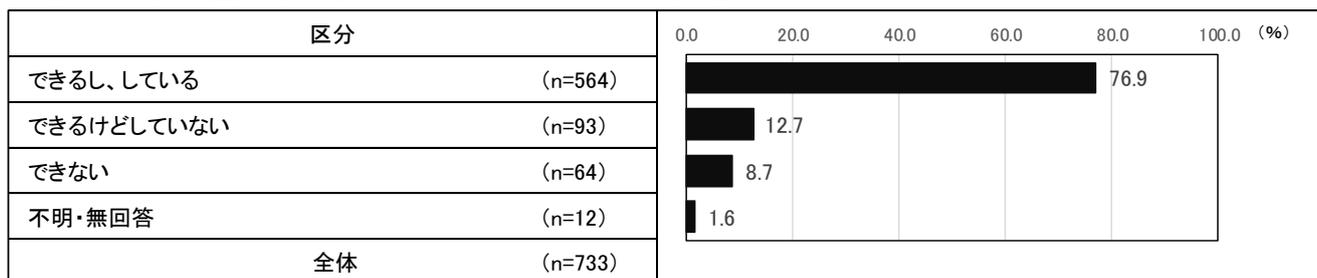
「できるし、している」が52.5%で最も高く、次いで「できない」が24.7%、「できるけどしていない」が19.8%となっています。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)



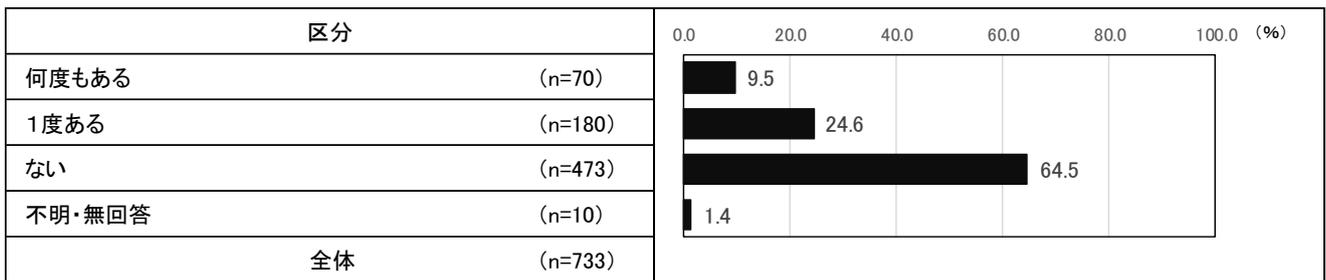
「できるし、している」が72.2%で最も高く、次いで「できない」が14.7%、「できるけどしていない」が10.2%となっています。

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)



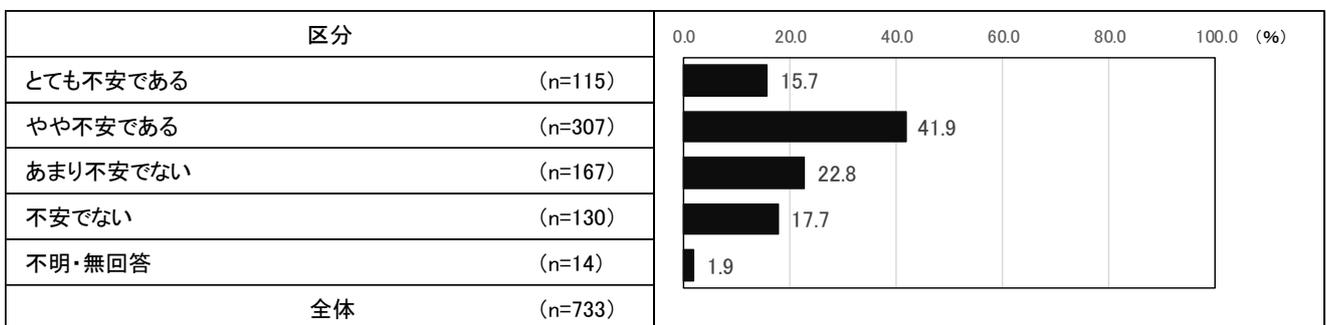
「できるし、している」が76.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が8.7%となっています。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)



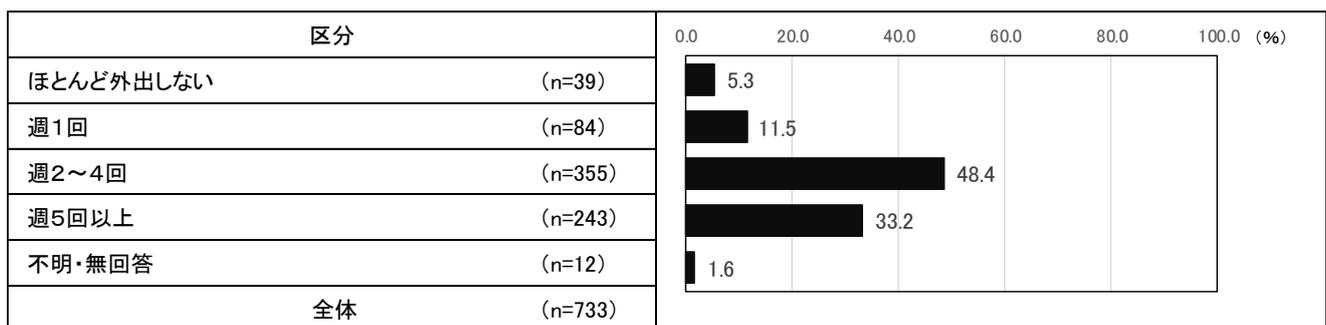
「ない」が64.5%で最も高く、次いで「1度ある」が24.6%、「何度もある」が9.5%となっています。

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)



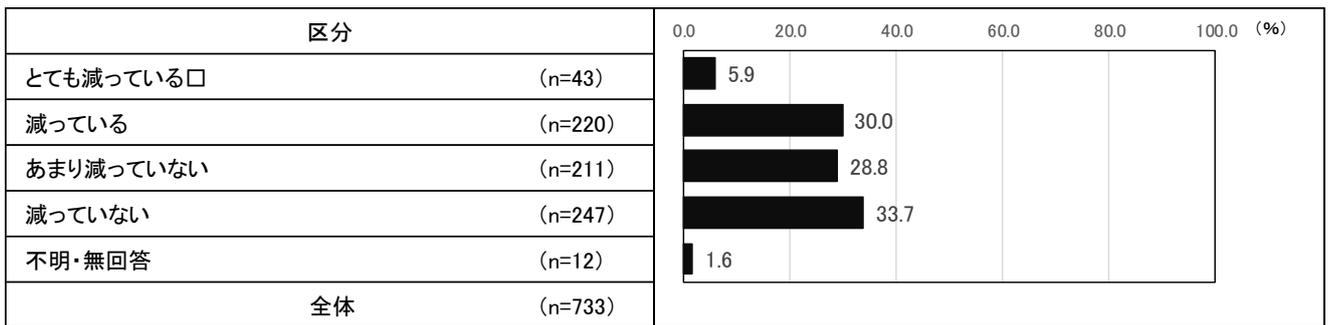
「やや不安である」が41.9%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が22.8%、「不安でない」が17.7%となっています。

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)



「週2~4回」が48.4%で最も高く、次いで「週5回以上」が33.2%、「週1回」が11.5%となっています。

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)



「減っていない」が33.7%で最も高く、次いで「減っている」が30.0%、「あまり減っていない」が28.8%となっています。

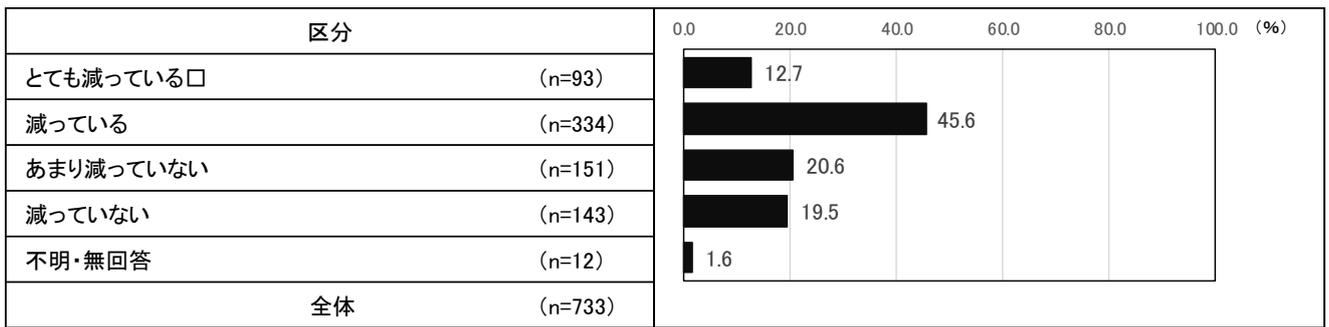
	(n)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答	【別掲】		
							減っていない(「あまり減っていない」と「減っていない」の計)	減っている(「とても減っている」と「減っている」の計)	
全体	733	5.9	30.0	28.8	33.7	1.6	35.9	62.5	
年齢	65～74歳	304	2.6	22.0	28.6	45.1	1.6	24.7	73.7
	75～84歳	315	6.0	31.7	30.8	29.5	1.9	37.8	60.3
	85歳以上	103	14.6	46.6	24.3	13.6	1.0	61.2	37.9
認定	未認定者	579	4.0	24.5	30.9	38.9	1.7	28.5	69.8
	要支援者	135	11.1	52.6	21.5	14.1	0.7	63.7	35.6
	要介護者	5	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	7.7	36.1	26.0	27.8	2.4	43.8	53.8
	夫婦のみ	379	3.7	28.8	31.1	35.1	1.3	32.5	66.2
	その他の世帯	173	7.5	26.6	26.6	37.6	1.7	34.1	64.2

○年齢別にみると、65～74歳は「減っていない」、そのほかの年代は「減っている」の回答率が最も高くなっています。また、「とても減っている」「減っている」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「減っていない」、要支援者は「減っている」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「減っている」、そのほかの世帯は「減っていない」の回答率が最も高くなっています。

(8) コロナ禍以前（令和元年度）と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）



「減っている」が45.6%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が20.6%、「減っていない」が19.5%となっています。

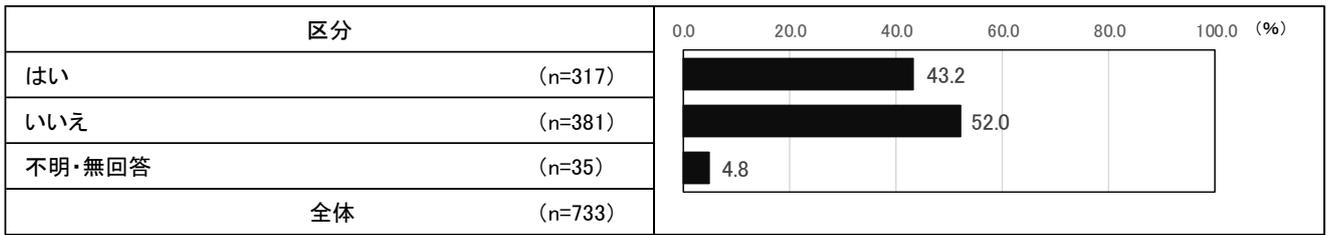
	(n)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答	【別掲】		
							減っている」と「減っていない」の計	減っていない（「あまり減っていない」と「減っていない」の計）	
全体	733	12.7	45.6	20.6	19.5	1.6	58.3	40.1	
年齢	65～74歳	304	9.2	41.4	21.4	26.6	1.3	50.7	48.0
	75～84歳	315	12.7	46.7	21.0	17.8	1.9	59.4	38.7
	85歳以上	103	22.3	53.4	18.4	3.9	1.9	75.7	22.3
認定	未認定者	579	11.4	41.8	22.5	22.6	1.7	53.2	45.1
	要支援者	135	17.0	60.7	14.1	6.7	1.5	77.8	20.7
	要介護者	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	16.6	45.6	21.3	14.8	1.8	62.1	36.1
	夫婦のみ	379	9.5	48.3	19.0	21.9	1.3	57.8	40.9
	その他の世帯	173	15.6	38.7	23.7	19.7	2.3	54.3	43.4

○年齢別にみると、どの年代も「減っている」の回答率が最も高くなっています。また、「とても減っている」「減っている」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「減っている」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが18.9ポイント多くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「減っている」の回答率が最も高くなっています。

(9) 外出を控えていますか。



「いいえ」が52.0%、「はい」が43.2%となっています。

		(n)	はい	いいえ	不明・無回答
全体		733	43.2	52.0	4.8
年齢	65～74 歳	304	35.9	61.5	2.6
	75～84 歳	315	44.1	49.5	6.3
	85 歳以上	103	62.1	31.1	6.8
認定	未認定者	579	40.2	56.0	3.8
	要支援者	135	54.8	35.6	9.6
	要介護者	5	100.0	0.0	0.0

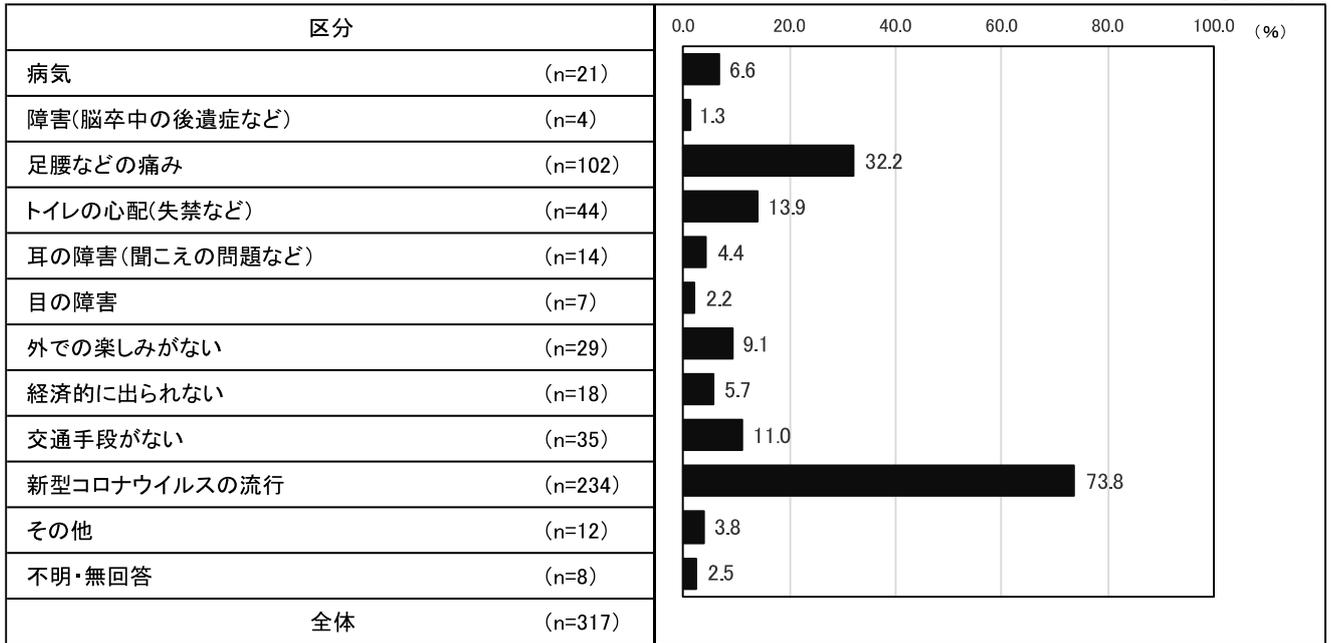
○年齢別にみると、85歳以上は「はい」、そのほかの年代は「いいえ」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「いいえ」、要支援者は「はい」の回答率が最も高くなっています。

(9)で「1 はい」(外出を控えている)の方のみ

(10) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

(複数回答)



「新型コロナウイルスの流行」が73.8%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が32.2%、「トイレの心配(失禁等)」が13.9%となっています。

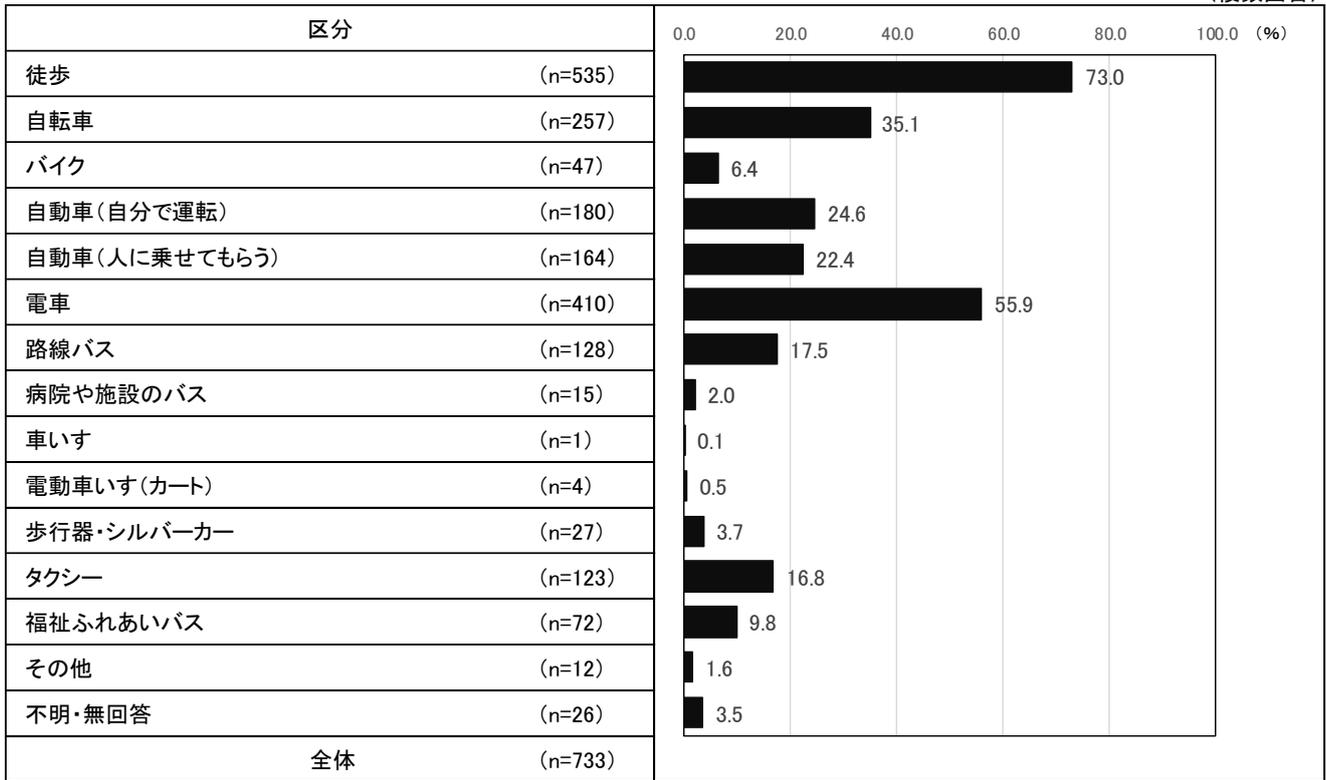
	(n)	病気	障害(脳卒中の後遺症等)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁等)	耳の障害(聞こえの問題等)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	新型コロナウイルスの流行	その他	不明・無回答
全体	317	6.6	1.3	32.2	13.9	4.4	2.2	9.1	5.7	11.0	73.8	3.8	2.5
年齢	65～74 歳	109	3.7	0.9	14.7	9.2	0.0	1.8	7.3	1.8	83.5	3.7	2.8
	75～84 歳	139	7.2	2.2	36.0	15.8	3.6	1.4	7.9	5.8	70.5	3.6	1.4
	85 歳以上	64	10.9	0.0	53.1	17.2	14.1	4.7	15.6	3.1	20.3	4.7	1.6
認定	未認定者	233	4.3	1.3	19.7	9.9	1.7	0.9	8.6	8.2	79.8	4.3	2.6
	要支援者	74	12.2	1.4	67.6	25.7	12.2	6.8	10.8	6.8	58.1	2.7	1.4
	要介護者	5	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0

○年齢別にみると、どの年代も「新型コロナウイルスの流行」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。また、「足腰などの痛み」は年齢が高くなるにつれてその割合が高くなり、85歳以上では50%を超えています。

○認定別にみると、未認定者は「新型コロナウイルスの流行」、要支援者は「足腰などの痛み」の回答率が最も高くなっています。

(11) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

(複数回答)



「徒歩」が73.0%で最も高く、次いで「電車」が55.9%、「自転車」が35.1%となっています。

	(n)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	福祉ふれあいバス	その他	不明・無回答	
全体	733	73.0	35.1	6.4	24.6	22.4	55.9	17.5	2.0	0.1	0.5	3.7	16.8	9.8	1.6	3.5	
性別	男性	306	75.8	42.5	9.5	46.1	10.1	58.2	18.6	2.6	0.0	0.3	1.0	12.1	6.2	0.0	3.9
	女性	406	71.7	30.0	4.2	8.6	32.3	54.7	16.5	1.5	0.2	0.7	5.9	20.0	12.3	3.0	3.4
年齢	65～74 歳	304	79.9	44.4	9.2	36.5	24.0	64.1	14.1	1.0	0.0	0.3	8.9	5.6	1.0	3.0	
	75～84 歳	315	70.2	33.3	5.1	19.4	20.0	54.3	21.9	2.9	0.0	0.6	2.9	18.1	12.1	0.6	4.4
	85 歳以上	103	64.1	13.6	1.9	4.9	26.2	37.9	14.6	2.9	1.0	1.9	16.5	35.9	15.5	6.8	2.9
認定	未認定者	579	77.2	40.1	7.3	29.0	20.9	60.4	16.6	1.6	0.0	0.2	0.7	10.9	8.1	1.6	3.5
	要支援者	135	57.8	16.3	3.0	6.7	28.9	37.8	21.5	3.7	0.7	1.5	16.3	41.5	17.0	1.5	3.7
	要介護者	5	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
小学校区	第一小学校区	186	66.7	47.3	5.4	26.3	25.8	52.7	9.7	2.2	0.0	1.6	3.2	14.0	11.8	0.5	2.7
	第二小学校区	171	71.3	31.6	9.4	27.5	19.3	52.6	33.3	1.8	0.0	0.0	1.2	21.1	9.4	1.8	2.3
	第三小学校区	180	77.8	26.1	5.0	21.7	23.3	60.0	17.2	2.8	0.0	0.6	3.3	15.0	10.0	2.2	5.6
	第四小学校区	167	77.2	37.1	5.4	23.4	20.4	60.5	10.8	1.8	0.6	0.0	6.6	15.0	8.4	1.8	4.2

○性別にみると、男女ともに「徒歩」の回答率が最も高くなっています。また、「自転車(自分で運転)」は女性より男性のほうが37.5ポイント多くなっていますが、「自転車(人に乗せてもらう)」は男性より女性のほうが22.2ポイント多くなっています。

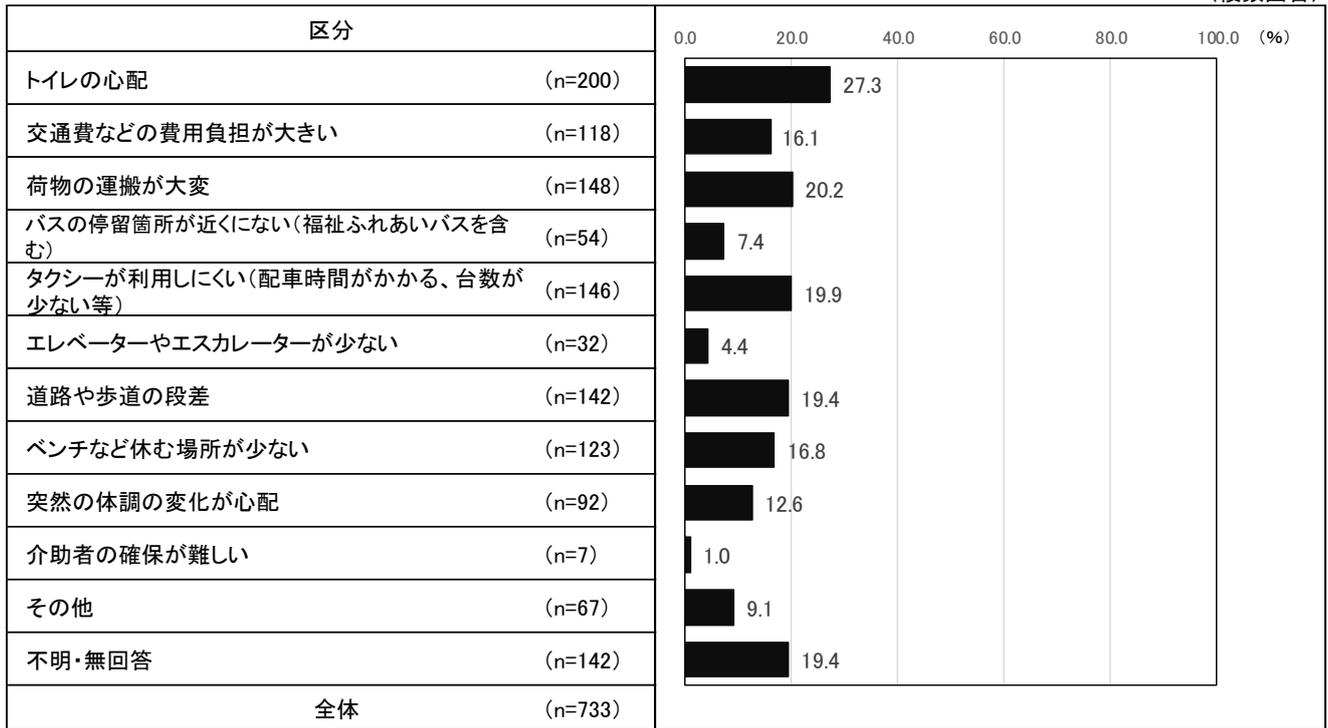
○年齢別にみると、どの年代も「徒歩」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。「自転車」は85歳以上のみ10%台と低くなっており、「自転車(自分で運転)」は65～74歳で36.5%に対し、85歳以上は10%未満となっています。また、「タクシー」は85歳以上で30%台と、ほかの年代より高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「徒歩」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが19.4ポイント少なくなっています。また、「自転車」「自転車(自分で運転)」「電車」は要支援者より未認定者のほうが20ポイント以上多く、「タクシー」は未認定者より要支援者のほうが30ポイント以上多くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「徒歩」の回答率が最も高くなっています。また、「自転車」は第三小学校区のみ20%台と低くなっています。

(12) 外出する際の困りごとは何ですか。(いくつでも)

(複数回答)



「トイレの心配」が27.3%で最も高く、次いで「荷物の運搬が大変」が20.2%、「タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)」が19.9%となっています。

	(n)	トイレの心配	交通費などの費用負担が大きい	荷物の運搬が大変	バスの停留箇所が近くにない(福祉ふれあいバスを含む)	タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)	エレベーターやエスカレーターが少ない	道路や歩道の段差	ベンチなど休む場所が少ない	突然の体調の変化が心配	介助者の確保が難しい	その他	不明・無回答	
全体	733	27.3	16.1	20.2	7.4	19.9	4.4	19.4	16.8	12.6	1.0	9.1	19.4	
性別	男性	306	33.7	19.9	12.1	6.2	12.7	3.9	16.3	17.0	12.4	0.7	9.8	20.3
	女性	406	22.7	13.5	26.4	8.6	26.1	4.9	21.9	17.0	12.8	1.2	8.9	17.5
年齢	65～74歳	304	24.7	20.4	18.1	4.6	13.8	4.9	13.8	14.8	11.2	0.0	12.2	19.7
	75～84歳	315	29.5	14.3	19.4	8.3	22.2	2.9	21.0	17.8	10.5	1.3	6.3	20.0
	85歳以上	103	30.1	10.7	29.1	13.6	33.0	7.8	33.0	21.4	22.3	2.9	8.7	11.7
認定	未認定者	579	26.8	16.6	17.1	6.4	16.6	4.1	16.2	14.0	12.1	0.3	10.2	20.4
	要支援者	135	29.6	14.8	31.1	11.1	34.8	5.9	32.6	29.6	14.8	2.2	5.2	12.6
	要介護者	5	20.0	20.0	60.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
小学校区	第一小学校区	218	32.1	31.2	24.8	7.3	19.3	4.1	21.6	19.7	16.1	1.4	5.0	13.3
	第二小学校区	444	26.4	10.6	18.9	7.7	20.3	4.7	19.6	16.7	11.7	0.7	10.4	20.7
	第三小学校区	56	19.6	3.6	7.1	5.4	21.4	3.6	10.7	7.1	5.4	1.8	17.9	25.0
	第四小学校区	218	32.1	31.2	24.8	7.3	19.3	4.1	21.6	19.7	16.1	1.4	5.0	13.3

○性別にみると、男性は「トイレの心配」、女性は「荷物の運搬が大変」の回答率が最も高くなっています。また、「トイレの心配」は女性より男性のほうが、「荷物の運搬が大変」「タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)」は男性より女性のほうがそれぞれ10ポイント以上多くなっています。

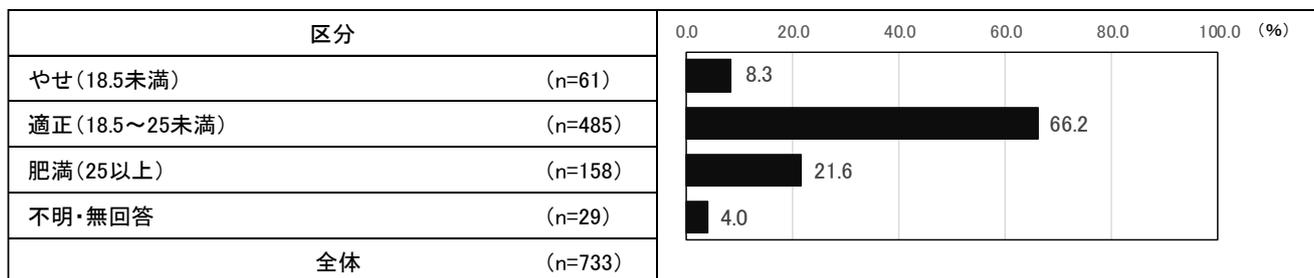
○年齢別にみると、85歳以上は「タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)」「道路や歩道の段差」、そのほかの年代は「トイレの心配」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「トイレの心配」、要支援者は「タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)」の回答率が最も高くなっています。

○小学校区別にみると、第三小学校区は「タクシーが利用しにくい(配車時間がかかる、台数が少ない等)」、そのほかの小学校区は「トイレの心配」の回答率が最も高くなっています。

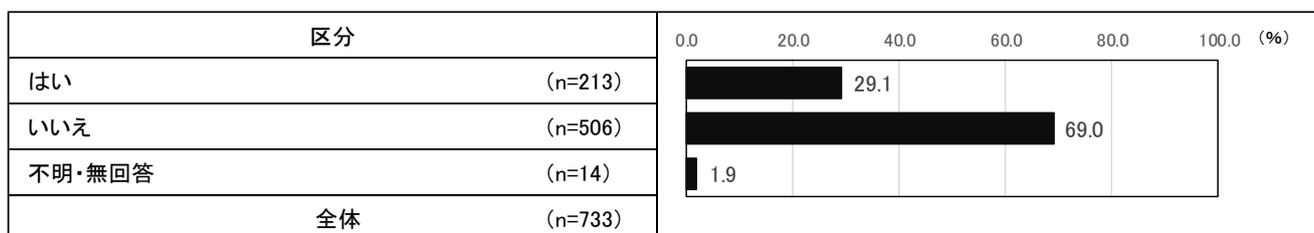
問4 食べることについて

(1) 身長・体重をご記入ください。(BMI判定)



「適正(18.5~25未満)」が66.2%で最も高く、次いで「肥満(25以上)」が21.6%、「やせ(18.5未満)」が8.3%となっています。

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



「いいえ」が69.0%、「はい」が29.1%となっています。

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。



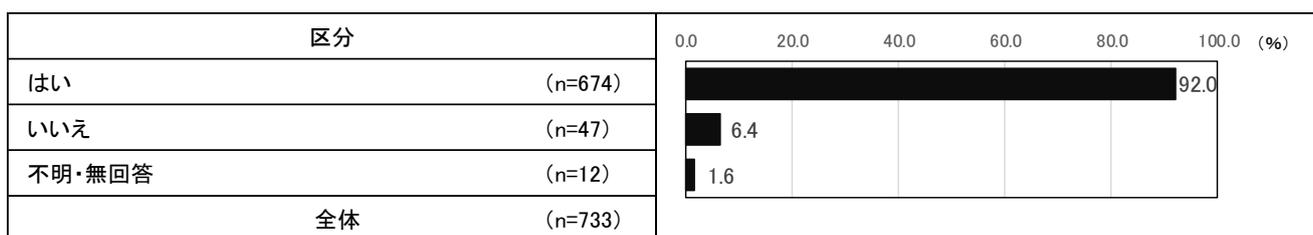
「いいえ」が66.2%、「はい」が32.2%となっています。

(4) 口の渇きが気になりますか。



「いいえ」が68.5%、「はい」が29.7%となっています。

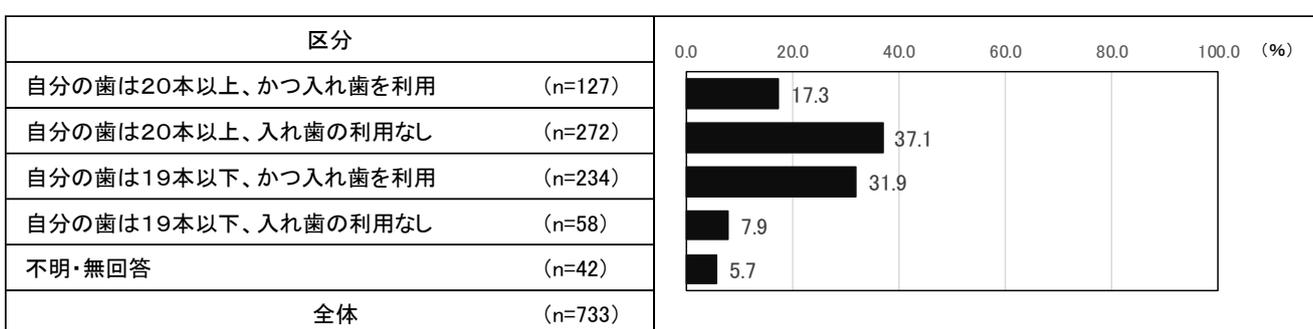
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。



「はい」が92.0%、「いいえ」が6.4%となっています。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)



「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.1%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.3%となっています。

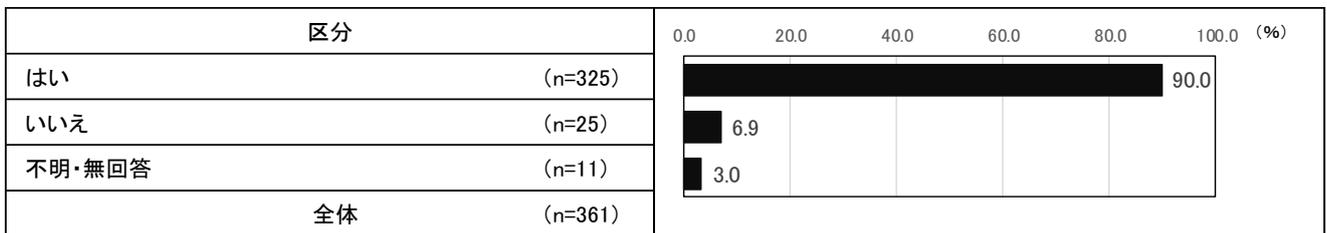
		(n)	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	不明・無回答
全体		733	17.3	37.1	31.9	7.9	5.7
年齢	65～74歳	304	15.1	52.0	20.7	8.9	3.3
	75～84歳	315	19.4	31.1	37.1	6.7	5.7
	85歳以上	103	18.4	11.7	50.5	8.7	10.7
認定	未認定者	579	18.1	40.9	28.2	8.3	4.5
	要支援者	135	14.8	21.5	48.9	5.2	9.6
	要介護者	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0

○年齢別にみると、65～74歳は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」、そのほかの年代は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」、要支援者は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の回答率が最も高くなっています。

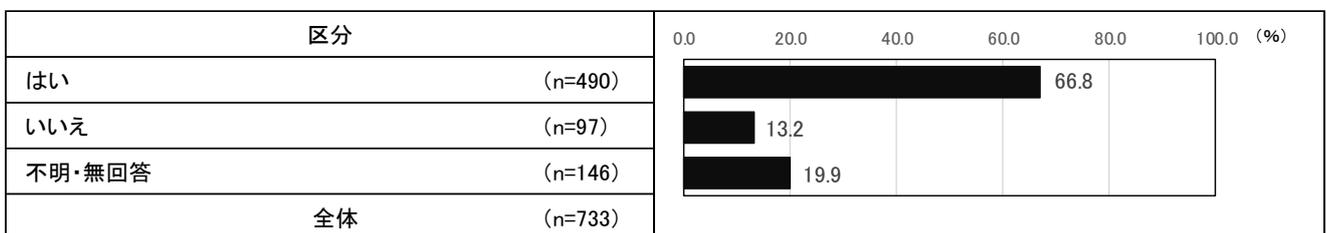
(6)で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ

(7) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。



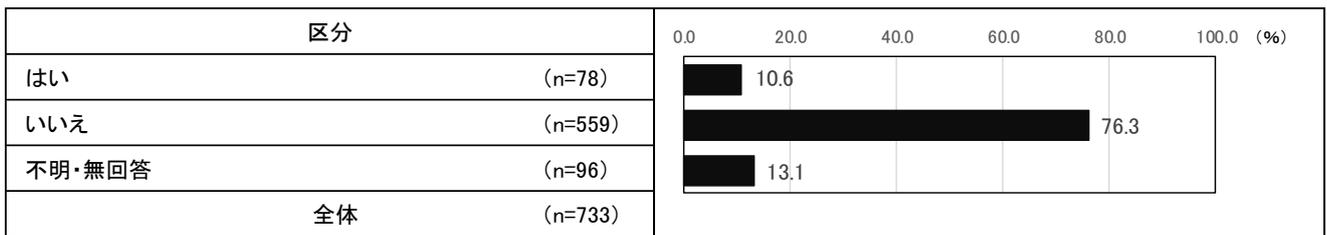
「はい」が90.0%、「いいえ」が6.9%となっています。

(8) 噛み合わせは良いですか。



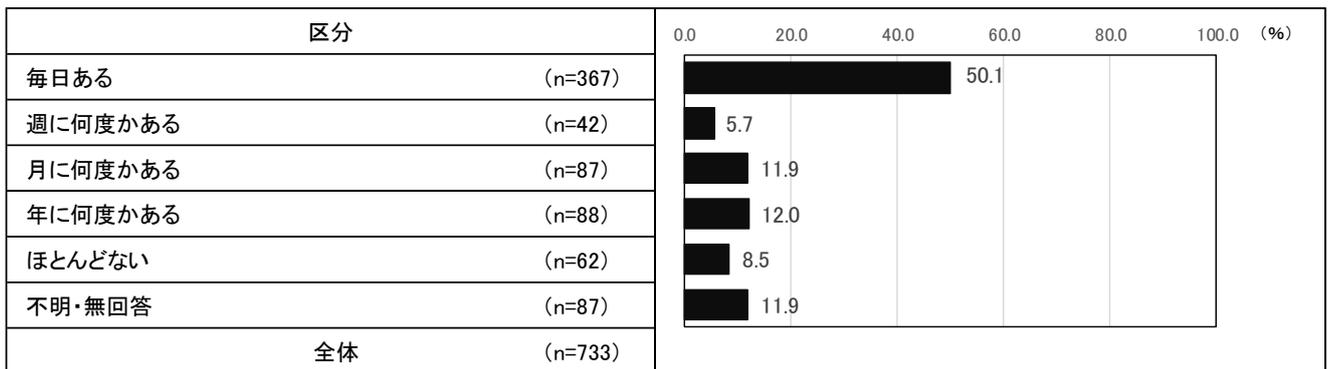
「はい」が66.8%、「いいえ」が13.2%となっています。

(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。



「いいえ」が76.3%、「はい」が10.6%となっています。

(10) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)



「毎日ある」が50.1%で最も高く、次いで「年に何度かある」が12.0%、「月に何度かある」が11.9%となっています。

	(n)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	不明・無回答	
全体	733	50.1	5.7	11.9	12.0	8.5	11.9	
性別	男性	306	54.9	5.9	8.8	8.8	10.5	11.1
	女性	406	47.3	5.9	14.5	14.8	6.7	10.8
年齢	65～74歳	304	50.7	5.9	10.2	8.2	8.2	16.8
	75～84歳	315	52.1	5.1	13.3	14.3	7.3	7.9
	85歳以上	103	45.6	7.8	13.6	16.5	11.7	4.9
世帯	一人暮らし	169	4.7	8.9	29.6	30.8	17.8	8.3
	夫婦のみ	379	64.1	4.0	6.6	7.1	5.0	13.2
	その他の世帯	173	64.7	6.9	6.9	4.6	6.4	10.4

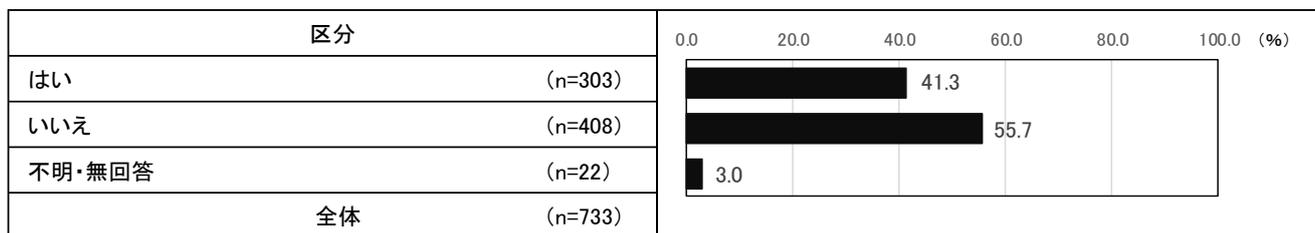
○性別にみると、男女ともに「毎日ある」の回答率が最も高くなっていますが、男性より女性のほうが7.6ポイント少なくなっています。また、「ほとんどない」は男性で10.5%と、女性より3.8ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「毎日ある」の回答率が最も高くなっています。また、「ほとんどない」は85歳以上のみ10%台となっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「年に何度かある」、そのほかの世帯は「毎日ある」の回答率が最も高くなっています。また、「ほとんどない」は一人暮らしのみ10%台で、ほかの世帯より10ポイント以上多くなっています。

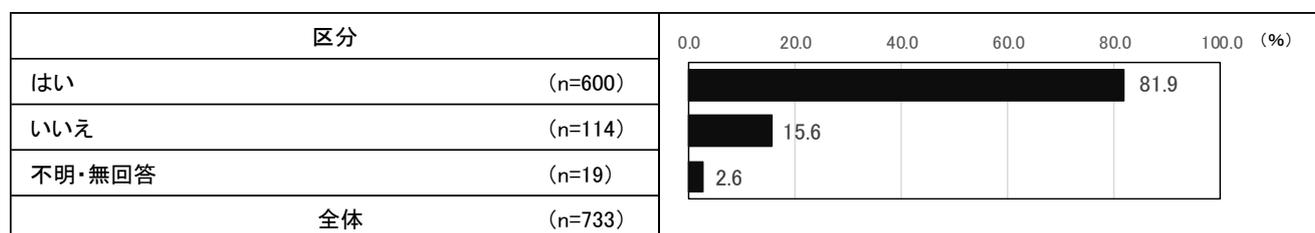
問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。



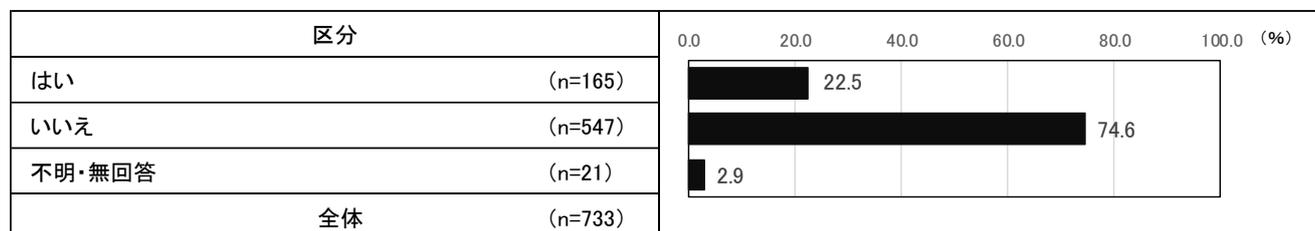
「いいえ」が55.7%、「はい」が41.3%となっています。

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。



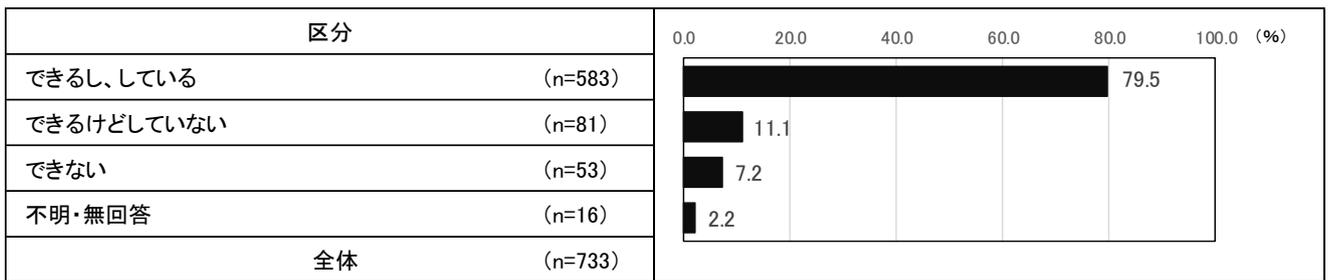
「はい」が81.9%、「いいえ」が15.6%となっています。

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。



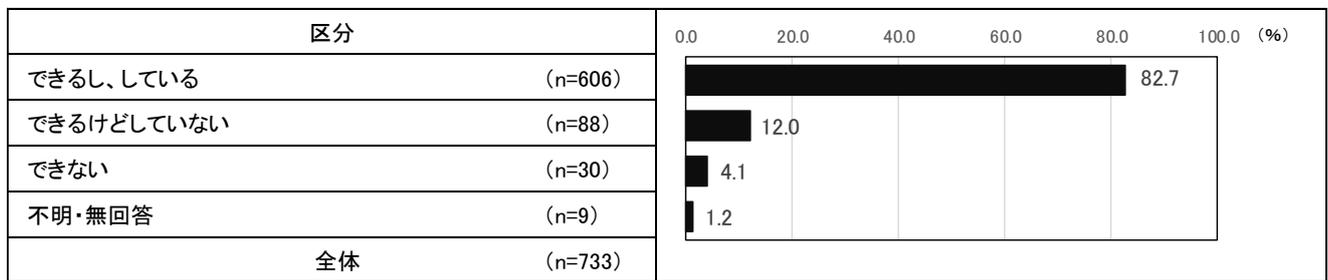
「いいえ」が74.6%、「はい」が22.5%となっています。

(4) バスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つに○)



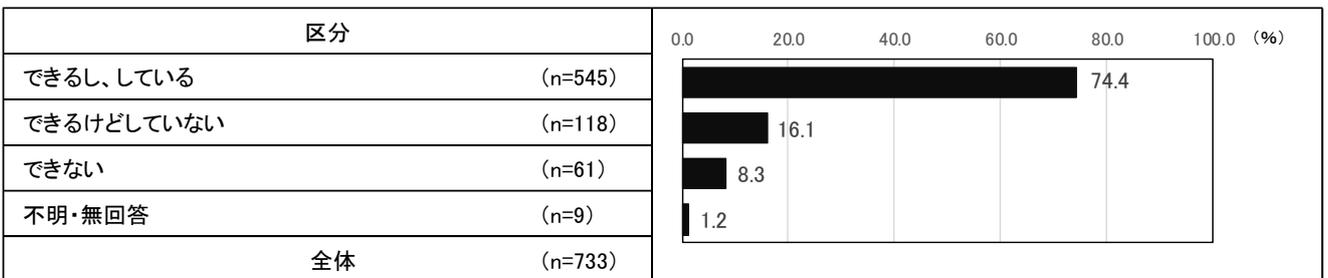
「できるし、している」が79.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.1%、「できない」が7.2%となっています。

(5) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)



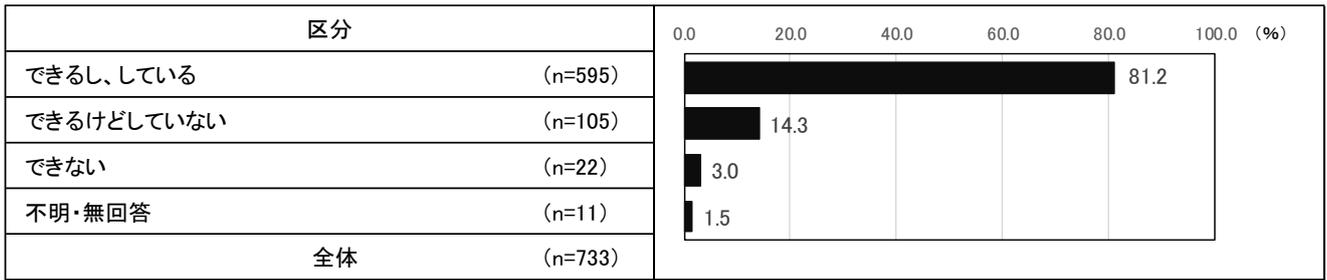
「できるし、している」が82.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が4.1%となっています。

(6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)



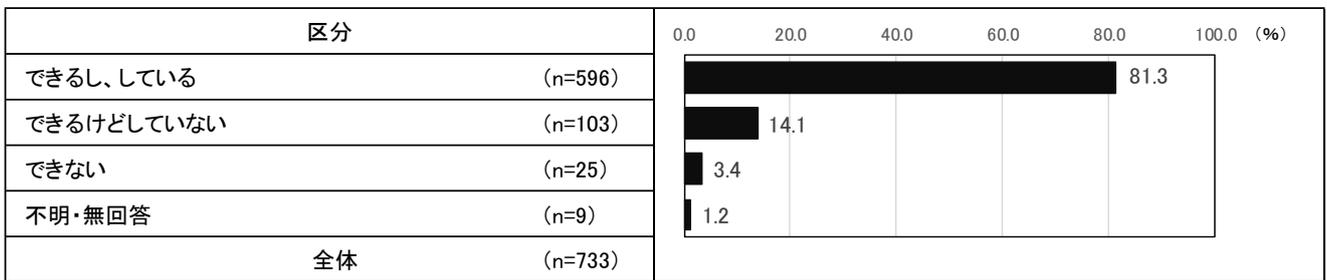
「できるし、している」が74.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.1%、「できない」が8.3%となっています。

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)



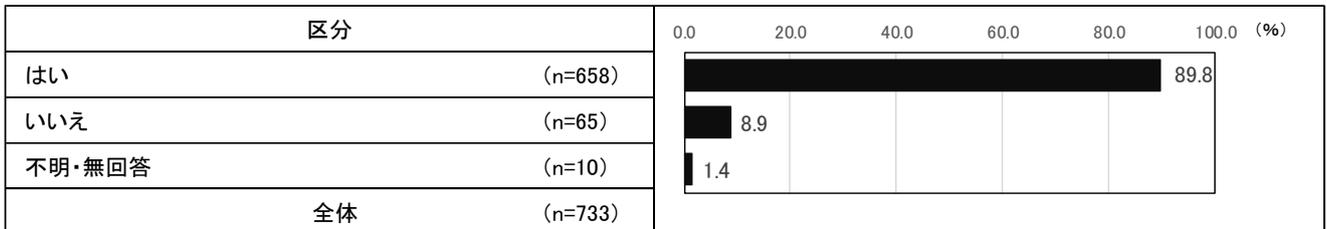
「できるし、している」が81.2%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が3.0%となっています。

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)



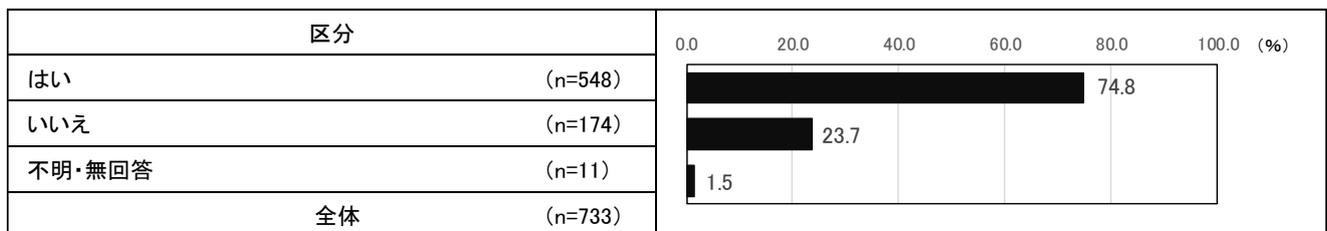
「できるし、している」が81.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.1%、「できない」が3.4%となっています。

(9) 年金等の書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか。



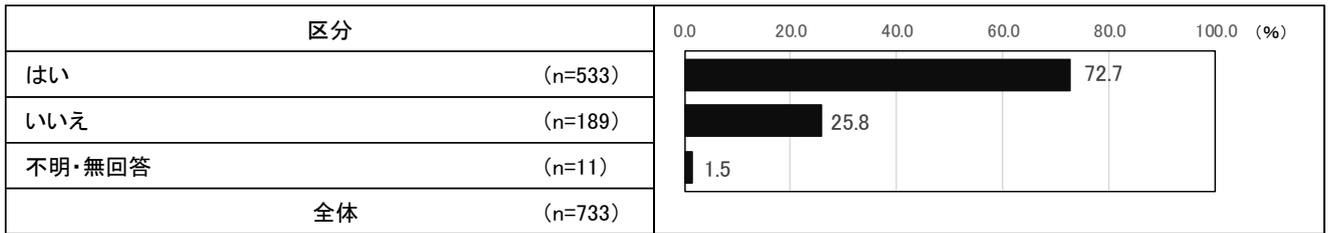
「はい」が89.8%、「いいえ」が8.9%となっています。

(10) 新聞を読んでいますか。



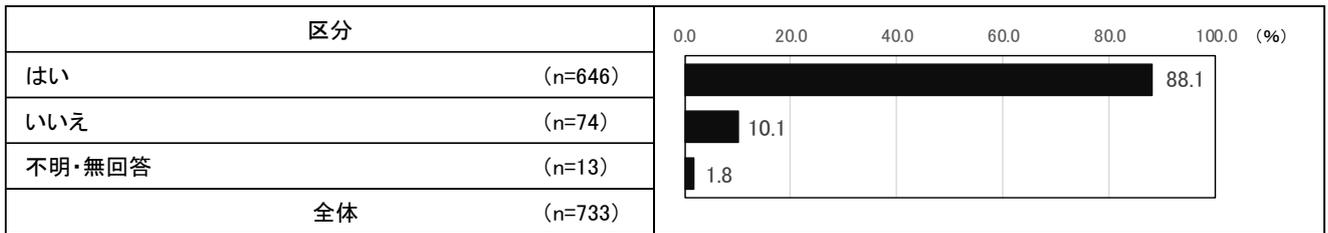
「はい」が74.8%、「いいえ」が23.7%となっています。

(11) 本や雑誌を読んでいますか。



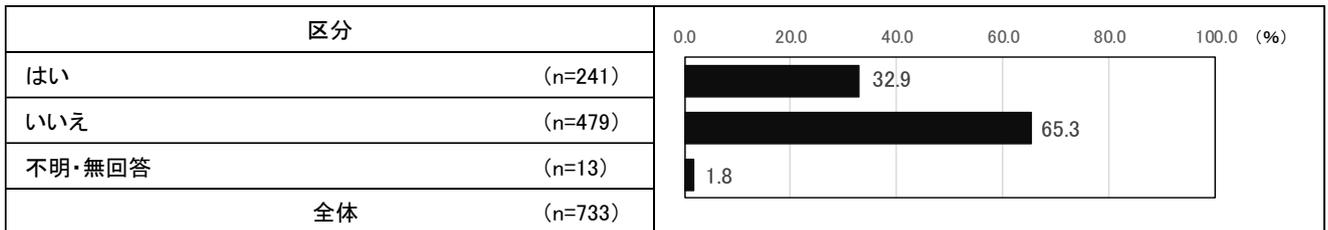
「はい」が72.7%、「いいえ」が25.8%となっています。

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。



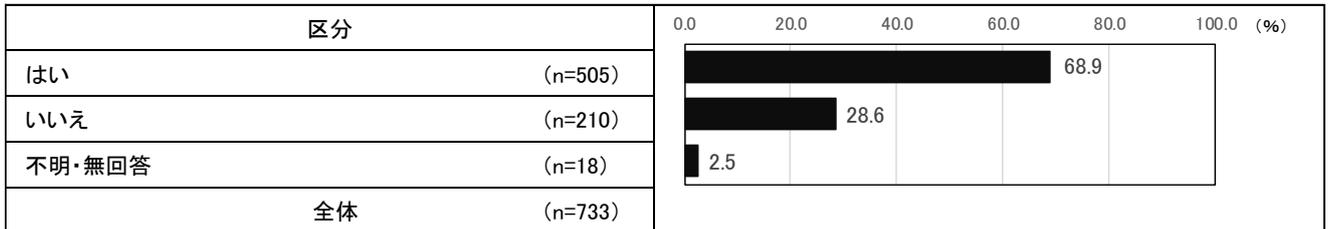
「はい」が88.1%、「いいえ」が10.1%となっています。

(13) 友人の家を訪ねていますか。



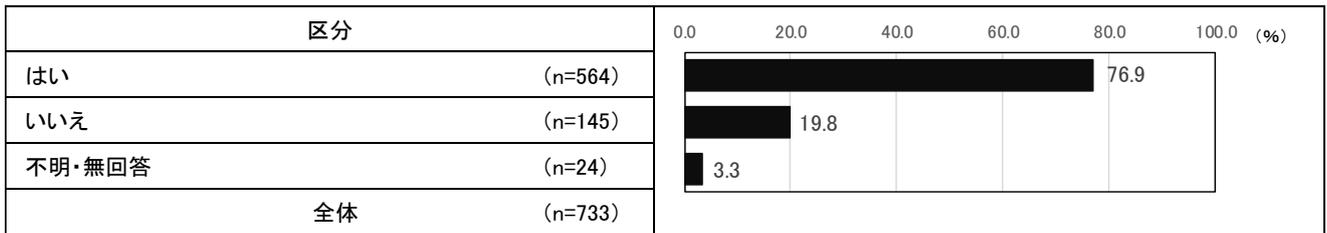
「いいえ」が65.3%、「はい」が32.9%となっています。

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。



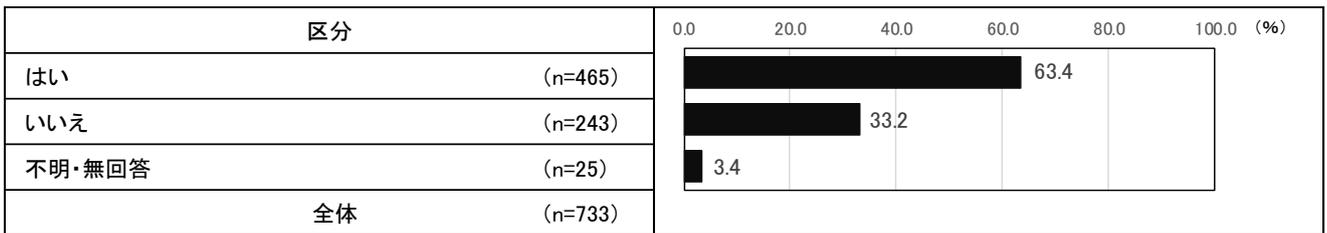
「はい」が68.9%、「いいえ」が28.6%となっています。

(15) 病人を見舞うことができますか。



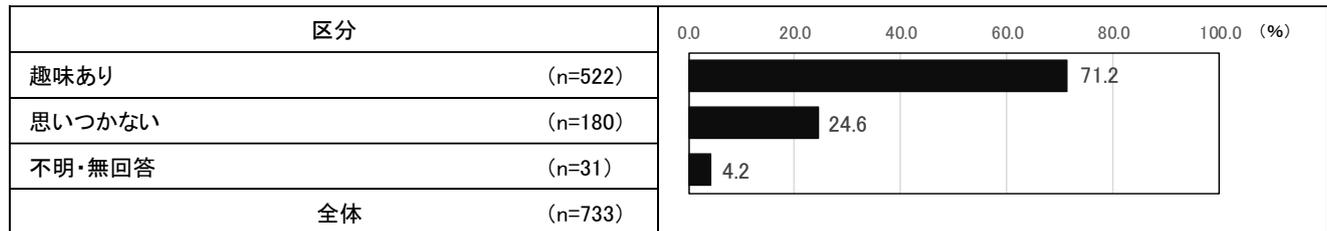
「はい」が76.9%、「いいえ」が19.8%となっています。

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。



「はい」が63.4%、「いいえ」が33.2%となっています。

(17) 趣味はありますか。



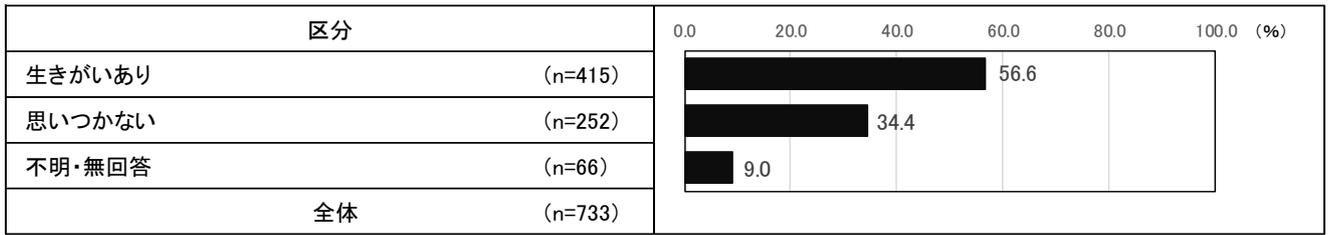
「趣味あり」が71.2%、「思いつかない」が24.6%となっています。

	(n)	趣味あり	思いつかない	不明・無回答	
全体	733	71.2	24.6	4.2	
年齢	65～74 歳	304	71.7	26.6	1.6
	75～84 歳	315	72.4	23.2	4.4
	85 歳以上	103	66.0	23.3	10.7
認定	未認定者	579	73.9	22.8	3.3
	要支援者	135	61.5	31.1	7.4
	要介護者	5	20.0	80.0	0.0

○年齢別にみると、どの年代も「趣味あり」の回答率が最も高くなっていますが、85歳以上のみ60%台となっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「趣味あり」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが12.4ポイント少なくなっています。

(18) 生きがいがありますか。



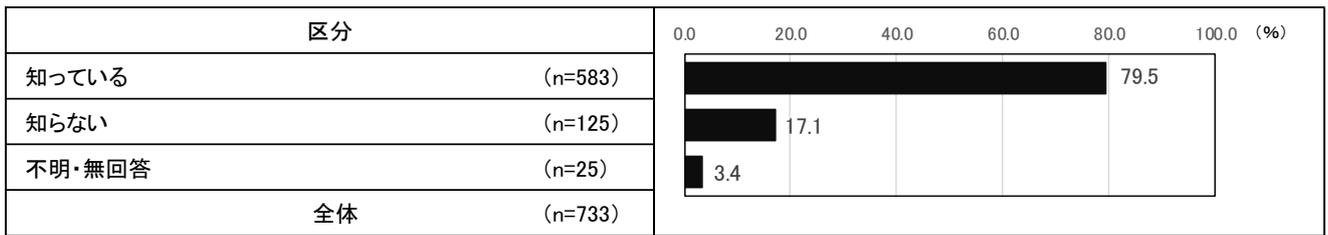
「生きがいあり」が56.6%、「思いつかない」が34.4%となっています。

	(n)	生きがいあり	思いつかない	不明・無回答	
全体	733	56.6	34.4	9.0	
年齢	65～74 歳	304	58.2	35.9	5.9
	75～84 歳	315	56.8	33.7	9.5
	85 歳以上	103	49.5	33.0	17.5
認定	未認定者	579	59.2	32.6	8.1
	要支援者	135	45.9	40.7	13.3
	要介護者	5	0.0	80.0	20.0

○年齢別にみると、どの年代も「生きがいあり」の回答率が最も高くなっていますが、85 歳以上のみ40%台となっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「生きがいあり」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが13.3ポイント少なくなっています。

(19) あなたは、災害時の避難場所についてご存じですか。



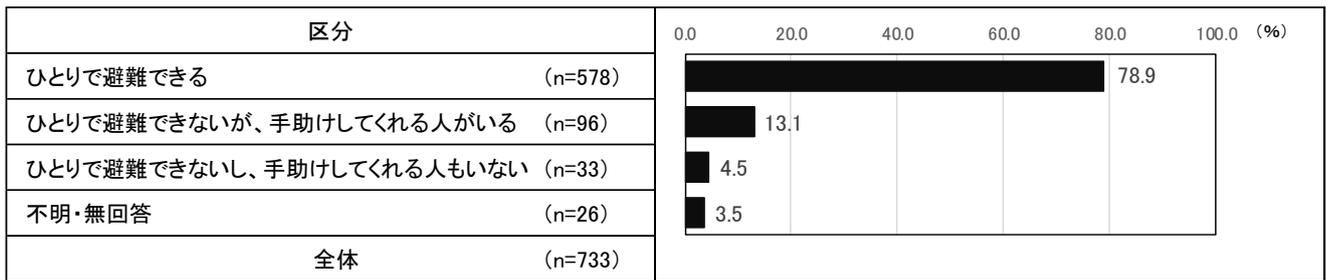
「知っている」が79.5%、「知らない」が17.1%となっています。

	(n)	知っている	知らない	不明・無回答
全体	733	79.5	17.1	3.4
年齢	65～74 歳	82.2	16.1	1.6
	75～84 歳	79.7	16.2	4.1
	85 歳以上	68.9	24.3	6.8
認定	未認定者	81.7	15.5	2.8
	要支援者	71.9	22.2	5.9
	要介護者	40.0	60.0	0.0

○年齢別にみると、どの年代も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、85 歳以上のみ70%を下回っています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者は未認定者より9.8ポイント少なくなっています。

(20) 災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所まで行くことができますか。(1つに○)



「ひとりで避難できる」が 78.9%で最も高く、次いで「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がある」が 13.1%、「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」が 4.5% となっています。

		(n)	ひとりで 避難できる	ひとりで 避難できないが、 手助けし てくれる 人がある	ひとりで 避難でき ないし、手 助けし てくれる人も いない	不明・無 回答
全体		733	78.9	13.1	4.5	3.5
性別	男性	306	86.6	8.5	2.0	2.9
	女性	406	72.7	17.0	6.7	3.7
年齢	65～74 歳	304	89.8	6.6	1.3	2.3
	75～84 歳	315	76.8	15.6	4.4	3.2
	85 歳以上	103	51.5	25.2	14.6	8.7
認定	未認定者	579	87.7	7.6	1.2	3.5
	要支援者	135	43.7	33.3	18.5	4.4
	要介護者	5	20.0	60.0	20.0	0.0

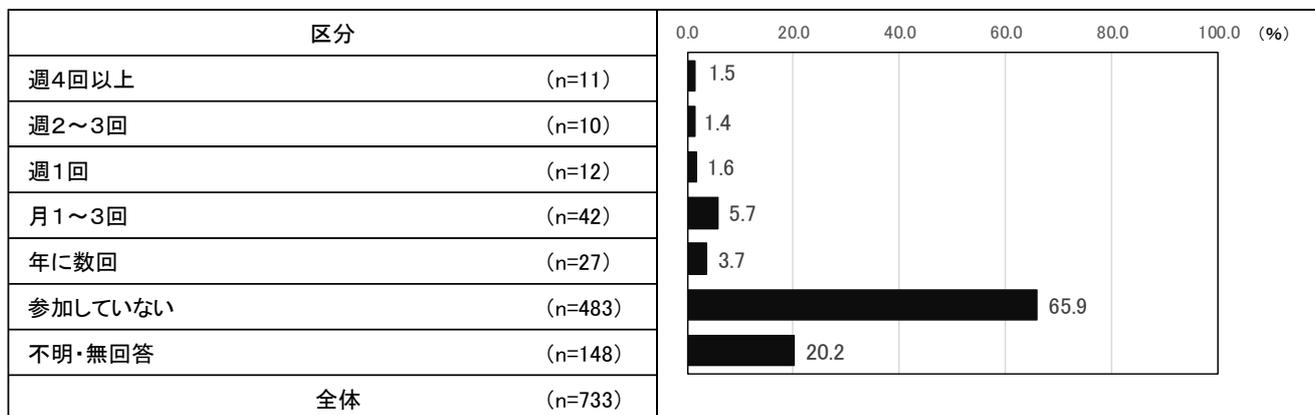
- 性別にみると、男女ともに「ひとりで避難できる」の回答率が最も高くなっていますが、男性より女性のほうが 13.9 ポイント少なくなっています。また、「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がある」は女性で 17.0%と、男性より 8.5 ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「ひとりで避難できる」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。また、85 歳以上のみ「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」が 10%台となっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「ひとりで避難できる」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者のほうが 44.0 ポイント少なくなっています。また、要支援者は「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」が 10%台となっています。

問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

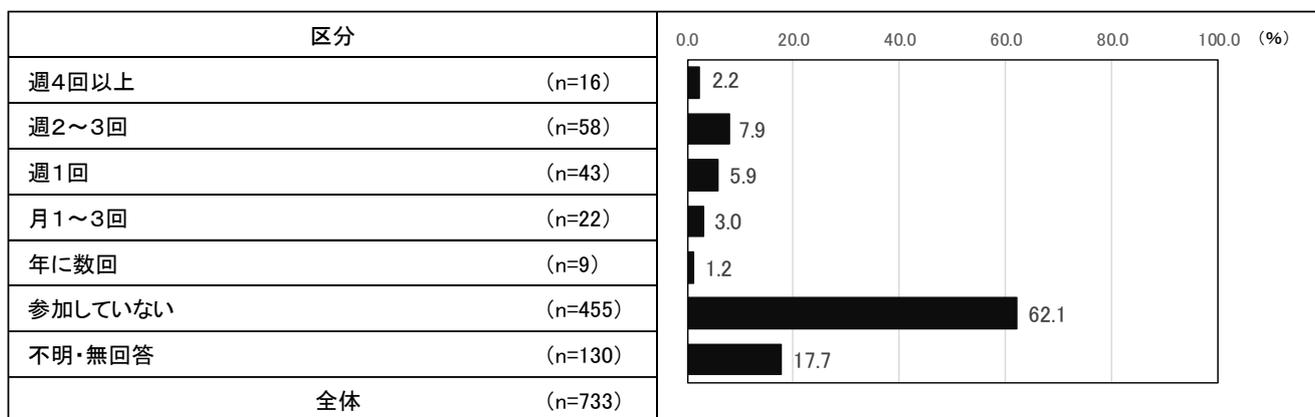
※①～⑧それぞれに回答してください(それぞれ1つに○)

① ボランティアのグループ



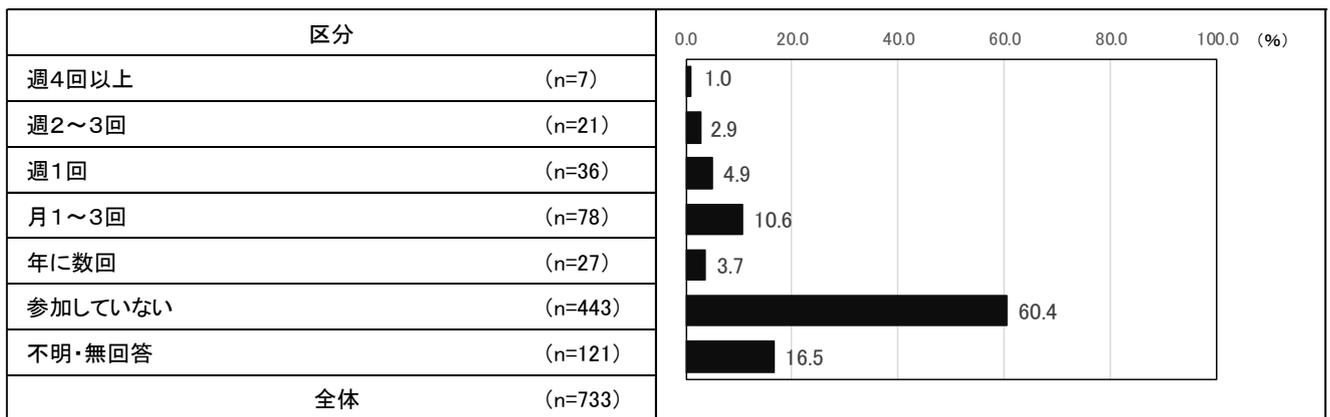
「参加していない」が65.9%で最も高く、次いで「月1～3回」が5.7%、「年に数回」が3.7%となっています。

② スポーツ関係のグループやクラブ



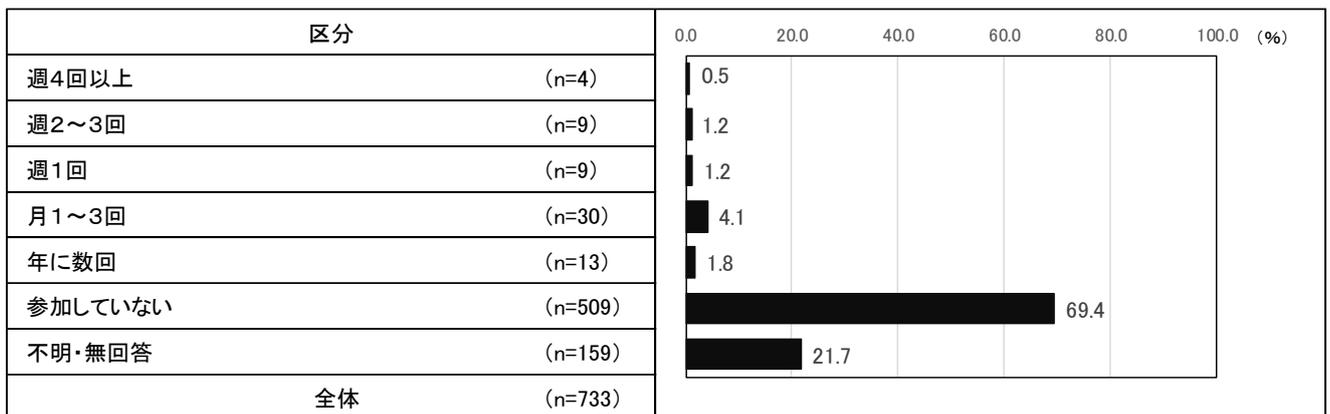
「参加していない」が62.1%で最も高く、次いで「週2～3回」が7.9%、「週1回」が5.9%となっています。

③ 趣味関係のグループ



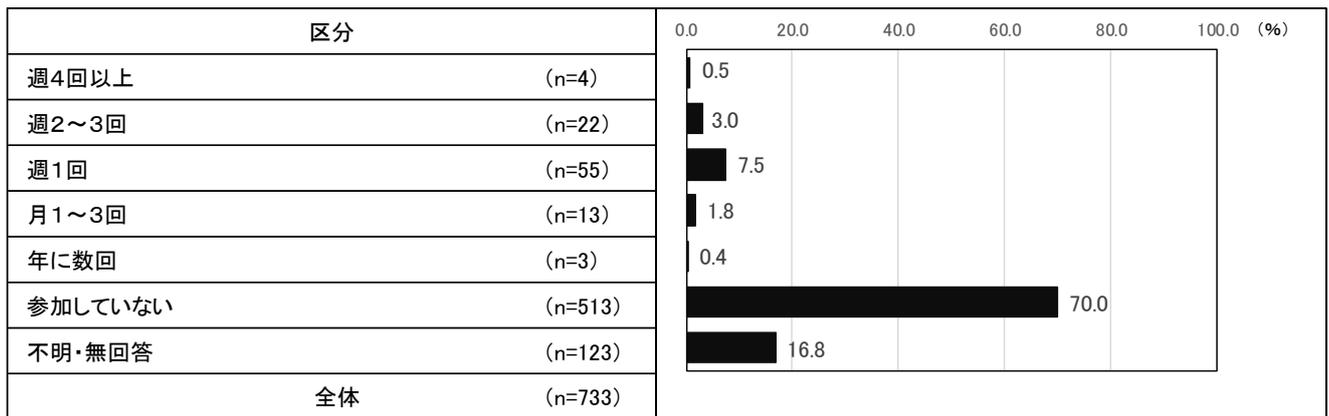
「参加していない」が60.4%で最も高く、次いで「月1～3回」が10.6%、「週1回」が4.9%となっています。

④ 学習・教養サークル



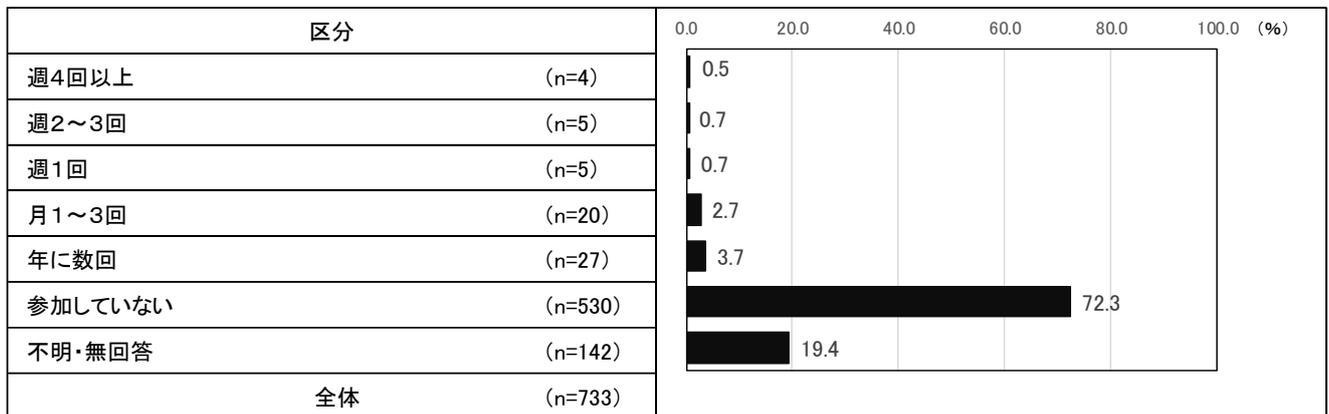
「参加していない」が69.4%で最も高く、次いで「月1～3回」が4.1%、「年に数回」が1.8%となっています。

⑤ いきいき百歳体操などの介護予防のための通いの場



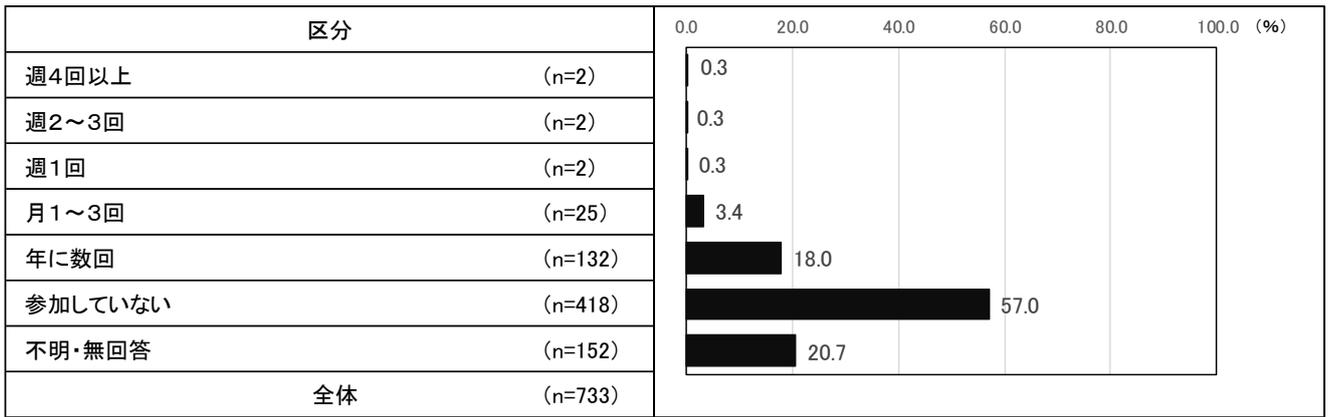
「参加していない」が70.0%で最も高く、次いで「週1回」が7.5%、「週2～3回」が3.0%となっています。

⑥ 年長者クラブ



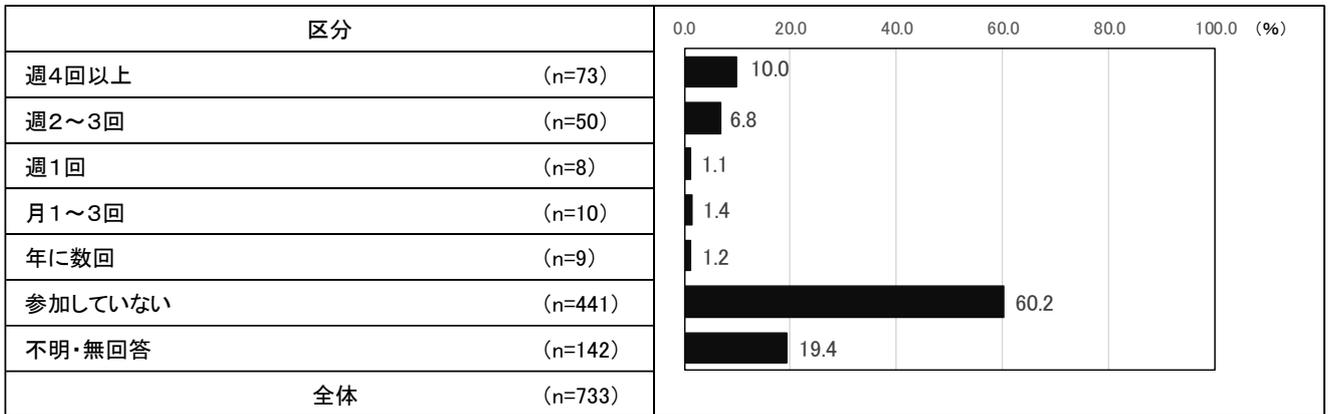
「参加していない」が72.3%で最も高く、次いで「年に数回」が3.7%、「月1～3回」が2.7%となっています。

⑦ 町内会・自治会



「参加していない」が 57.0% で最も高く、次いで「年に数回」が 18.0%、「月 1～3 回」が 3.4% となっています。

⑧ 収入のある仕事

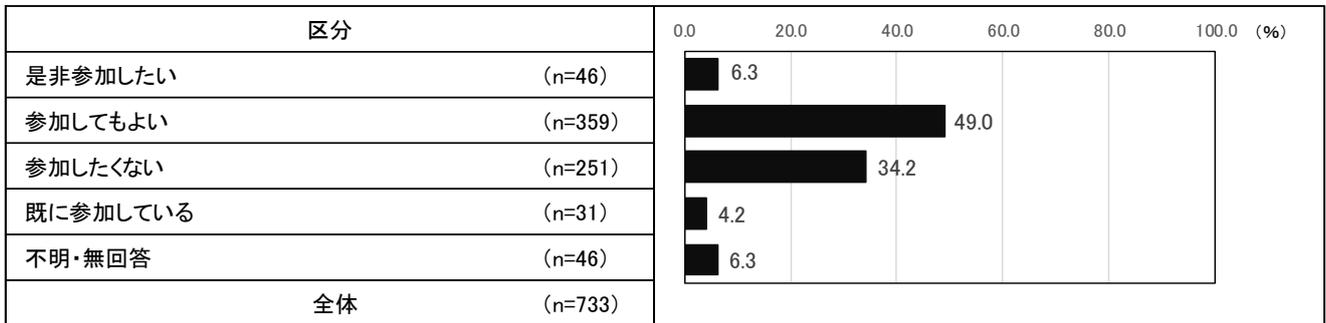


「参加していない」が 60.2% で最も高く、次いで「週 4 回以上」が 10.0%、「週 2～3 回」が 6.8% となっています。

	(n)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数 回	参加し ていな い	不明・ 無回答
①ボランティアのグループ	733	1.5	1.4	1.6	5.7	3.7	65.9	20.2
②スポーツ関係のグループやクラブ	733	2.2	7.9	5.9	3.0	1.2	62.1	17.7
③趣味関係のグループ	733	1.0	2.9	4.9	10.6	3.7	60.4	16.5
④学習・教養サークル	733	0.5	1.2	1.2	4.1	1.8	69.4	21.7
⑤いきいき百歳体操などの介護予防 のための通いの場	733	0.5	3.0	7.5	1.8	0.4	70.0	16.8
⑥年長者クラブ	733	0.5	0.7	0.7	2.7	3.7	72.3	19.4
⑦町内会・自治会	733	0.3	0.3	0.3	3.4	18.0	57.0	20.7
⑧収入のある仕事	733	10.0	6.8	1.1	1.4	1.2	60.2	19.4

○どの会・グループ等も「参加していない」の回答率が最も高くなっていますが、最も多い年長者クラブは72.3%、最も少ない町内会・自治会は57.0%となっています。また、「週4回以上」は収入のある仕事、「月1～3回」は趣味関係のグループ、「年に数回」は町内会・自治会が10%台と、そのほかの会・グループ等より高くなっています。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

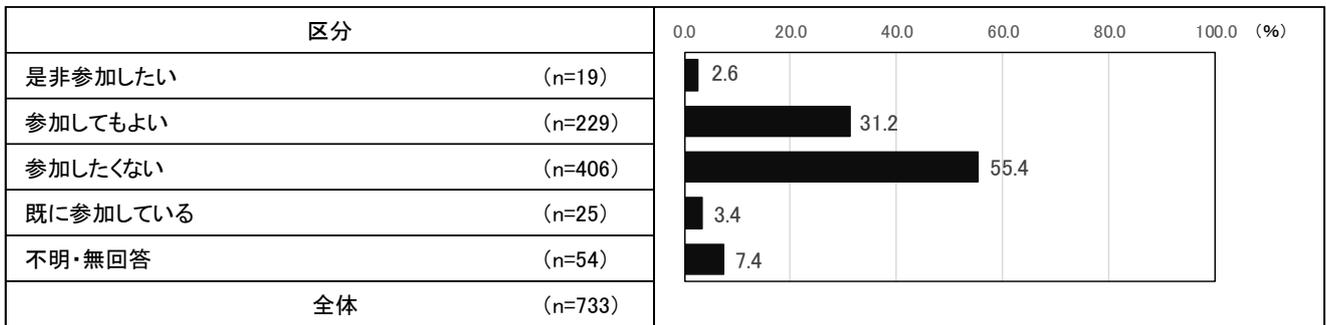


「参加してもよい」が49.0%で最も高く、次いで「参加したくない」が34.2%、「是非参加したい」が6.3%となっています。

	(n)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答	
全体	733	6.3	49.0	34.2	4.2	6.3	
年齢	65～74 歳	304	6.3	49.7	35.2	4.9	3.9
	75～84 歳	315	7.3	51.7	30.5	3.8	6.7
	85 歳以上	103	2.9	35.9	44.7	3.9	12.6
認定	未認定者	733	6.3	49.0	34.2	4.2	6.3
	要支援者	579	6.7	50.4	33.2	4.7	5.0
	要介護者	135	4.4	43.0	37.8	3.0	11.9

- 年齢別にみると、85歳以上は「参加したくない」、そのほかの年代は「参加してもよい」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「参加してもよい」の回答率が最も高くなっており、その割合に大きな差はみられません。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）



「参加したくない」が55.4%で最も高く、次いで「参加してもよい」が31.2%、「既に参加している」が3.4%となっています。

	(n)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答	
全体	733	2.6	31.2	55.4	3.4	7.4	
年齢	65～74歳	304	3.6	32.9	54.6	3.6	5.3
	75～84歳	315	2.2	32.1	54.3	3.8	7.6
	85歳以上	103	1.0	21.4	62.1	1.9	13.6
認定	未認定者	733	2.9	32.8	54.1	4.1	6.0
	要支援者	579	0.0	24.4	60.7	0.7	14.1
	要介護者	135	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

○年齢別にみると、どの年代も「参加したくない」の回答率が最も高くなっています。

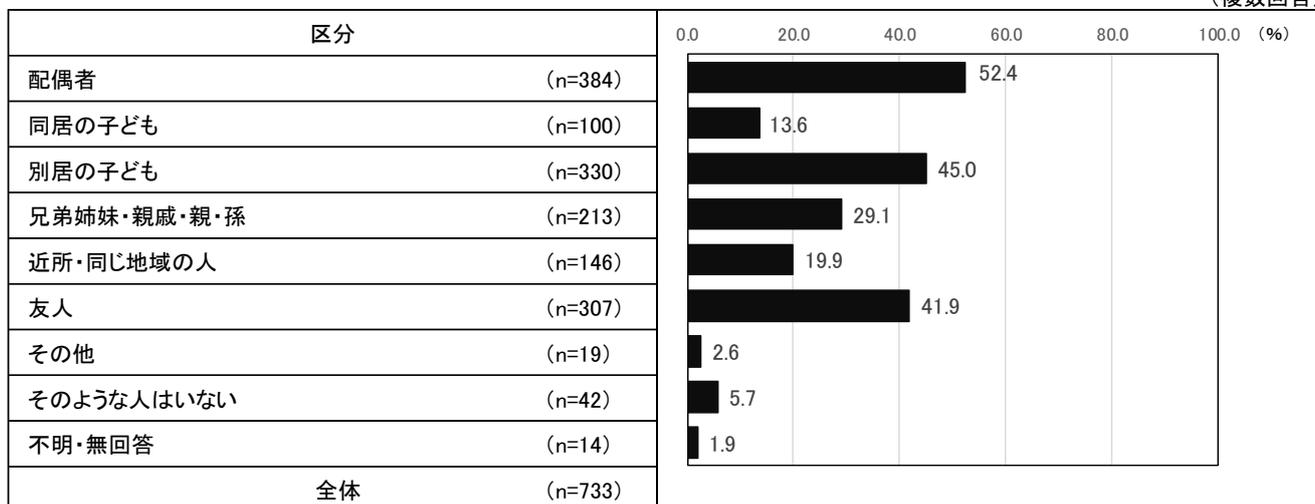
○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「参加したくない」の回答率が最も高くなっています。

問7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも）

(複数回答)



「配偶者」が 52.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 45.0%、「友人」が 41.9%となっています。

	(n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
全体	733	52.4	13.6	45.0	29.1	19.9	41.9	2.6	5.7	1.9	
性別	男性	306	69.6	8.8	34.6	18.6	7.5	29.7	2.0	9.5	2.3
	女性	406	39.9	17.5	53.7	37.7	29.8	51.7	2.7	3.0	1.5
年齢	65～74 歳	304	61.2	13.8	42.4	31.9	15.5	45.4	1.6	8.2	1.6
	75～84 歳	315	51.1	12.1	44.1	28.6	22.5	43.5	1.6	4.4	1.6
	85 歳以上	103	32.0	17.5	54.4	24.3	26.2	26.2	7.8	2.9	3.9
小学校区	第一小学校区	186	57.5	15.1	41.9	33.3	21.5	45.2	0.5	4.3	2.7
	第二小学校区	171	50.3	12.9	43.3	22.2	17.0	40.9	2.3	5.8	1.8
	第三小学校区	180	56.1	13.9	54.4	31.1	22.2	43.3	2.2	4.4	1.7
	第四小学校区	167	46.7	11.4	41.9	30.5	19.2	40.7	4.8	7.8	1.8

○性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「別居の子ども」の回答率が最も高くなっています。

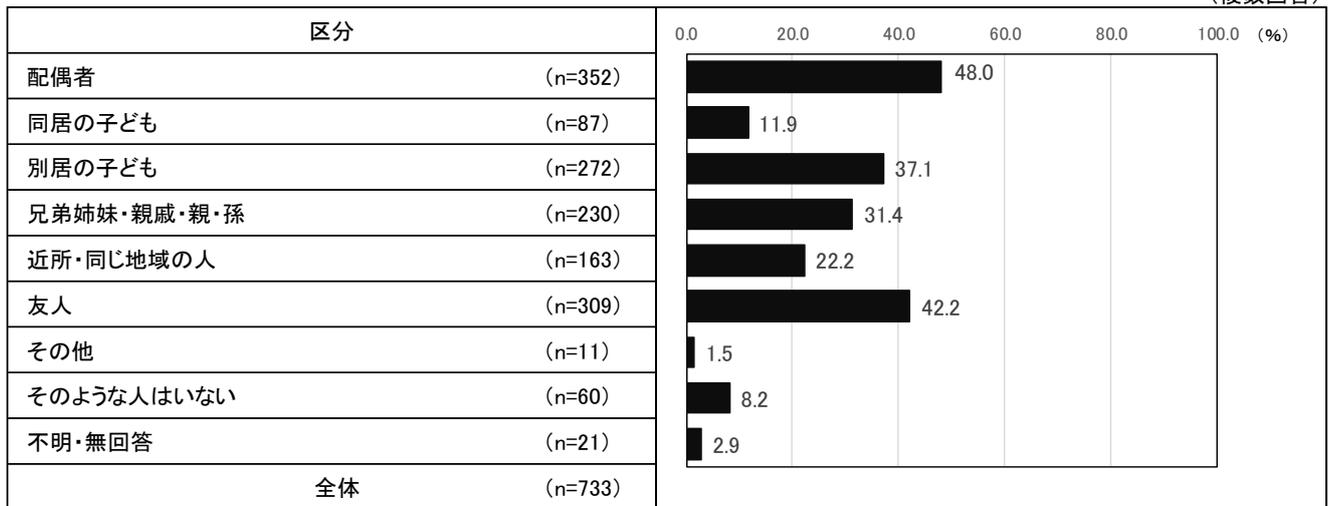
また、女性は「近隣」「友人」が男性より 20 ポイント以上多くなっています。

○年齢別にみると、85 歳以上は「別居の子ども」、そのほかの年代は「配偶者」の回答率が最も高くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「配偶者」の回答率が最も高くなっています。

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも）

(複数回答)



「配偶者」が 48.0%で最も高く、次いで「友人」が 42.2%、「別居の子ども」が 37.1%となっています。

	(n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答	
全体	733	48.0	11.9	37.1	31.4	22.2	42.2	1.5	8.2	2.9	
性別	男性	306	68.0	10.1	30.7	23.5	11.1	26.5	2.0	10.8	0.7
	女性	406	33.3	13.3	42.9	37.9	31.0	54.7	1.2	6.4	3.7
年齢	65～74 歳	304	56.9	12.2	40.1	35.5	17.4	46.7	2.0	7.2	1.0
	75～84 歳	315	46.0	11.7	35.6	29.5	26.3	41.3	1.3	7.0	1.9
	85 歳以上	103	28.2	11.7	34.0	25.2	25.2	30.1	1.0	13.6	10.7
小学校区	第一小学校区	186	53.8	14.0	38.2	36.6	28.0	44.6	1.6	5.4	2.2
	第二小学校区	171	46.8	11.7	34.5	23.4	21.1	42.1	0.6	9.9	1.8
	第三小学校区	180	50.0	12.8	43.9	35.6	21.7	44.4	1.7	6.1	2.2
	第四小学校区	167	42.5	9.0	33.5	29.9	19.2	38.3	1.8	10.8	4.8

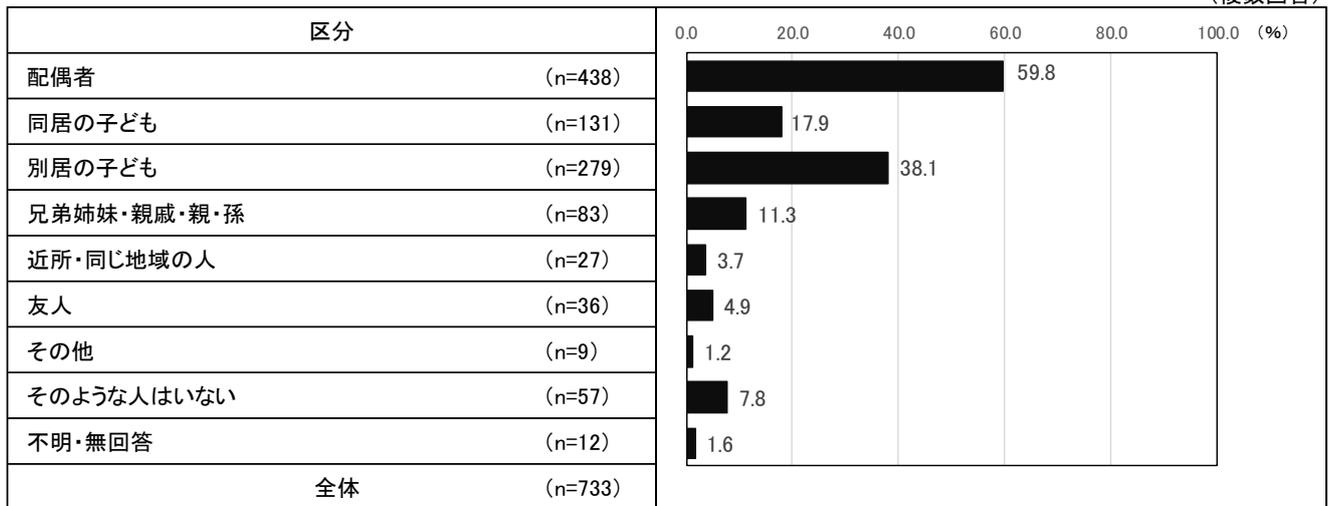
○性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「友人」の回答率が最も高くなっています。また、女性は「友人」が男性より 20 ポイント以上多くなっています。

○年齢別にみると、85 歳以上は「別居の子ども」、そのほかの年代は「配偶者」の回答率が最も高くなっています。また、85 歳以上のみ「そのような人はいない」が 10%台となっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「配偶者」の回答率が最も高くなっています。

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(いくつでも)

(複数回答)



「配偶者」が 59.8% で最も高く、次いで「別居の子ども」が 38.1%、「同居の子ども」が 17.9% となっています。

	(n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体	733	59.8	17.9	38.1	11.3	3.7	4.9	1.2	7.8	1.6
性別	男性	306	81.4	14.1	29.4	6.5	1.3	0.7	6.2	0.3
	女性	406	43.8	20.7	45.3	14.8	5.2	7.4	1.7	2.5
年齢	65～74 歳	304	70.1	16.8	31.6	12.2	3.9	5.3	1.0	9.2
	75～84 歳	315	59.4	18.1	43.2	12.4	3.5	5.1	0.0	6.0
	85 歳以上	103	32.0	18.4	40.8	5.8	2.9	2.9	5.8	8.7
世帯	一人暮らし	169	1.8	1.2	51.5	16.6	9.5	10.1	3.0	21.9
	夫婦のみ	379	90.0	2.1	39.8	7.9	1.3	2.6	0.8	3.2
	その他の世帯	173	50.9	67.6	20.8	13.3	2.3	4.0	0.6	3.5

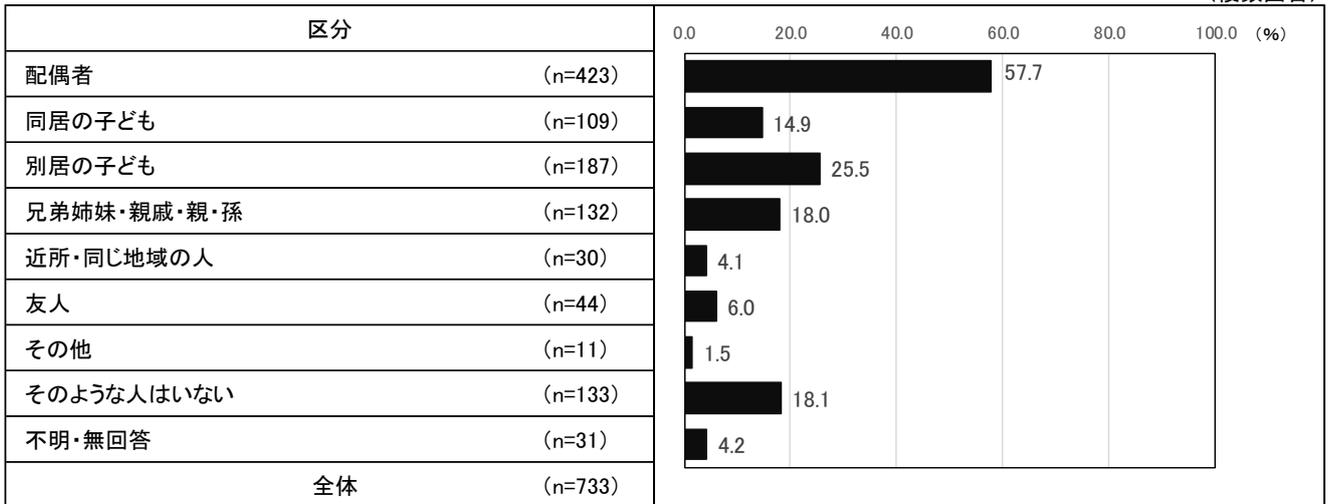
○性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「別居の子ども」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、85 歳以上は「別居の子ども」、そのほかの年代は「配偶者」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「別居の子ども」、夫婦のみは「配偶者」、その他の世帯は「同居の子ども」の回答率が最も高くなっています。また、一人暮らしのみ「そのような人はいない」が 20% 台と高くなっています。

(4) 反対に、看病や世話をししてあげる人はいますか。(いくつでも)

(複数回答)



「配偶者」が57.7%で最も高く、次いで「別居の子ども」が25.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.0%となっています。

	(n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
全体	733	57.7	14.9	25.5	18.0	4.1	6.0	1.5	18.1	4.2
性別	男性	306	73.2	12.7	19.0	13.1	2.3	2.0	15.0	1.6
	女性	406	46.3	16.7	30.5	21.7	5.2	9.1	20.2	5.9
年齢	65～74歳	304	65.1	16.1	27.3	25.3	3.9	4.9	15.8	1.6
	75～84歳	315	57.1	14.0	25.4	14.0	4.4	7.6	18.1	4.4
	85歳以上	103	38.8	13.6	20.4	7.8	2.9	3.9	24.3	11.7
世帯	一人暮らし	169	2.4	1.2	22.5	18.3	8.3	11.8	41.4	12.4
	夫婦のみ	379	86.0	2.4	30.6	15.3	2.9	4.0	9.2	1.3
	その他の世帯	173	50.3	56.1	16.2	22.5	1.7	4.0	14.5	2.9

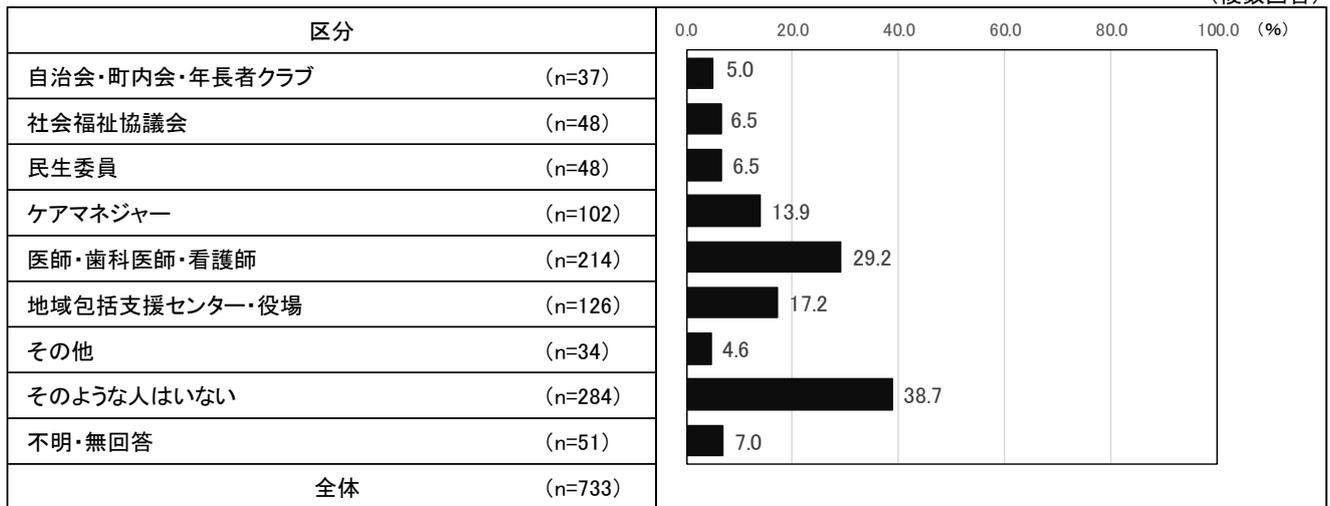
○性別にみると、男女ともに「配偶者」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが26.9ポイント多くなっています。また、「別居の子ども」は男性より女性のほうが10ポイント以上多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「配偶者」の回答率が最も高くなっていますが、85歳以上のみ40%未満と低くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「そのような人はいない」、夫婦のみは「配偶者」、その他の世帯は「同居の子ども」の回答率が最も高くなっています。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はいますか。(いくつでも)

(複数回答)

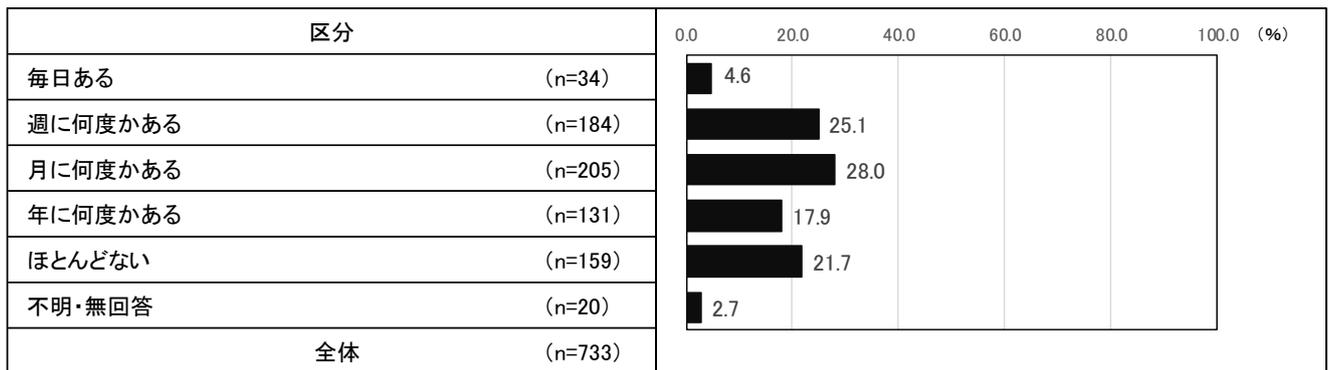


「そのような人はいない」が 38.7%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 29.2%、「地域包括支援センター・役場」が 17.2%となっています。

		(n)	自治 会・町 内会・ 年長者 クラブ	社会福 祉協議 会	民生委 員	ケアマ ネジャ ー	医師・ 歯科医 師・看 護師	地域包 括支援 センタ ー・役 場	その他	そのよ うな人 はいな い	不明・ 無回答
全体		733	5.0	6.5	6.5	13.9	29.2	17.2	4.6	38.7	7.0
性別	男性	306	3.9	5.9	3.6	11.1	28.4	13.4	4.6	44.1	4.2
	女性	406	5.7	7.4	8.6	16.0	30.5	20.7	4.7	34.2	8.9
年齢	65～74 歳	304	3.0	5.6	2.3	7.2	25.7	11.5	5.9	51.6	5.9
	75～84 歳	315	6.0	6.7	9.8	14.3	31.1	20.3	3.2	32.7	6.7
	85 歳以上	103	8.7	9.7	9.7	31.1	35.9	25.2	5.8	18.4	8.7
認定	未認定者	579	5.5	6.2	5.2	4.5	29.0	12.8	5.7	44.7	7.4
	要支援者	135	3.0	7.4	12.6	51.1	30.4	37.0	0.7	14.1	5.2
	要介護者	5	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	2.7	7.5	4.8	16.7	27.4	19.9	4.3	43.5	4.3
	第二小学校区	171	6.4	5.8	8.2	8.8	27.5	16.4	5.3	40.9	7.0
	第三小学校区	180	7.8	7.2	5.0	15.6	33.9	17.2	3.9	34.4	6.1
	第四小学校区	167	4.2	5.4	9.0	13.2	29.9	15.6	4.8	35.9	9.6
世帯	一人暮らし	169	5.9	8.9	14.2	20.7	31.4	22.5	3.6	27.2	7.7
	夫婦のみ	379	4.2	6.3	5.0	11.1	30.6	16.1	4.2	43.3	5.8
	その他の世帯	173	6.4	5.2	2.9	12.7	24.9	14.5	5.8	39.9	8.7

- 性別にみると、男女ともに「そのような人はいない」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが9.9ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、85歳以上は「医師・歯科医師・看護師」、そのほかの年代は「そのような人はいない」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、未認定者は「そのような人はいない」、要支援者は「ケアマネジャー」の回答率が最も高くなっています。また、「地域包括支援センター・役場」は未認定者より要支援者のほうが20ポイント以上多くなっています。
- 小学校区別にみると、どの小学校区も「そのような人はいない」の回答率が最も高くなっています。ケアマネジャーは第二小学校区のみ10%未満となっています。
- 世帯別にみると、一人暮らしは「医師・歯科医師・看護師」、そのほかの世帯は「そのような人はいない」の回答率が最も高くなっています。

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)



「月に何度かある」が28.0%で最も高く、次いで「週に何度かある」が25.1%、「ほとんどない」が21.7%となっています。

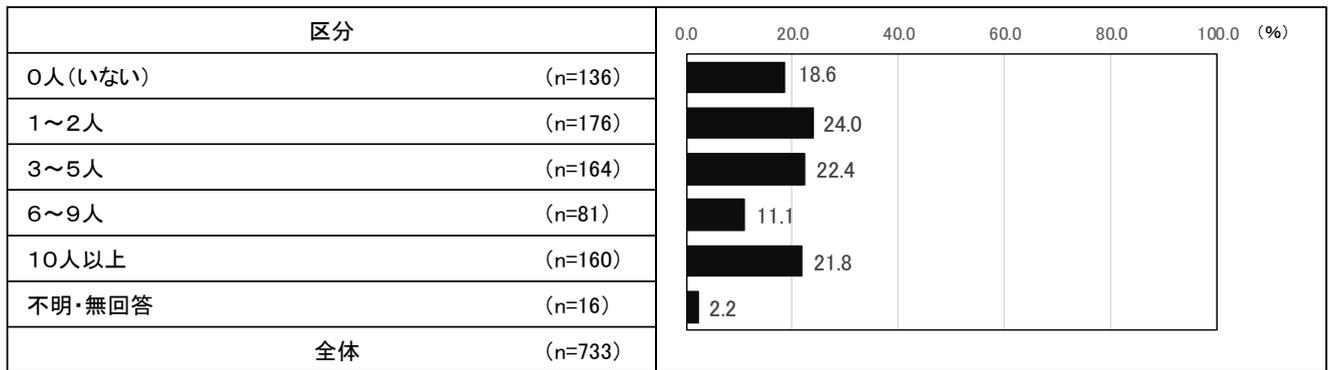
	(n)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	不明・無回答	
全体	733	4.6	25.1	28.0	17.9	21.7	2.7	
性別	男性	306	2.6	23.9	25.2	20.6	26.8	1.0
	女性	406	5.4	26.4	30.3	16.0	18.0	3.9
年齢	65～74歳	304	3.0	26.6	26.3	22.0	20.4	1.6
	75～84歳	315	5.4	25.7	28.3	16.2	22.5	1.9
	85歳以上	103	6.8	19.4	31.1	10.7	23.3	8.7
小学校区	第一小学校区	186	6.5	27.4	28.5	17.7	17.7	2.2
	第二小学校区	171	3.5	25.1	26.3	19.3	22.2	3.5
	第三小学校区	180	4.4	27.2	28.3	18.9	18.3	2.8
	第四小学校区	167	3.6	22.2	28.7	16.2	26.3	3.0

○性別にみると、男性は「ほとんどない」、女性は「月に何度かある」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、65～74歳は「週に何度かある」、そのほかの年代は「月に何度かある」の回答率が最も高くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「月に何度かある」の回答率が最も高くなっています。

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても一人と数えることとします。(1つに○)



「1~2人」が24.0%で最も高く、次いで「3~5人」が22.4%、「10人以上」が21.8%となっています。

	(n)	0人(いない)	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	不明・無回答	
全体	733	18.6	24.0	22.4	11.1	21.8	2.2	
性別	男性	306	23.2	23.5	19.9	11.4	20.6	1.3
	女性	406	15.3	23.6	24.4	11.1	22.9	2.7
年齢	65~74歳	304	18.8	25.3	22.7	9.9	22.0	1.3
	75~84歳	315	19.4	22.2	21.3	13.0	23.2	1.0
	85歳以上	103	16.5	21.4	27.2	8.7	17.5	8.7
認定	未認定者	579	18.5	22.6	23.3	10.9	23.1	1.6
	要支援者	135	20.0	25.2	20.0	11.9	17.8	5.2
	要介護者	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0

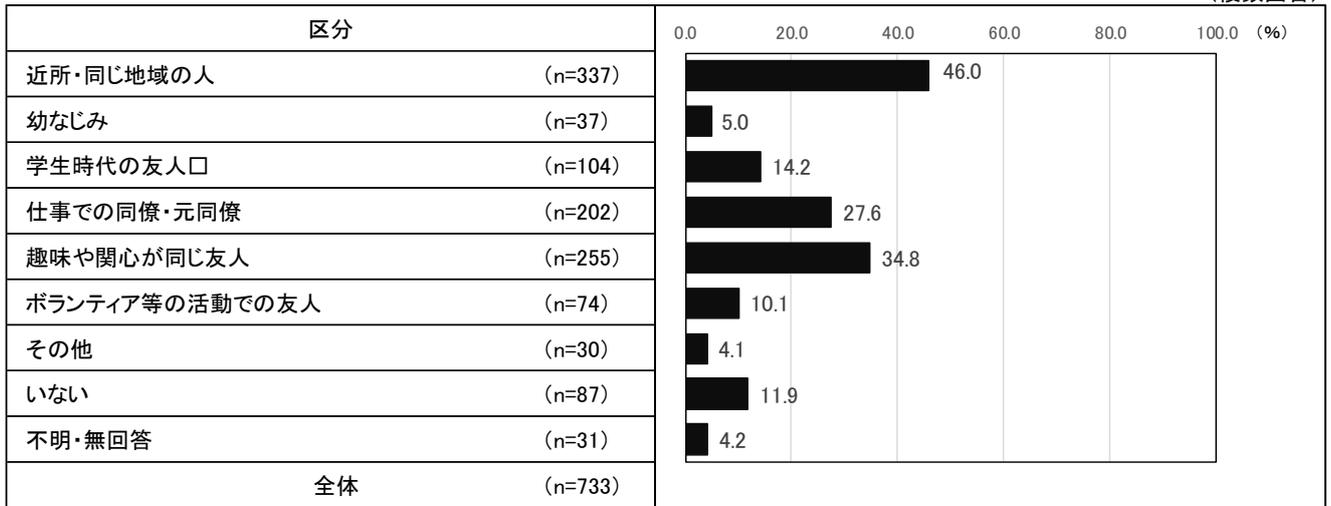
○性別にみると、男性は「1~2人」、女性は「3~5人」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、65~74歳は「1~2人」、75~84歳は「10人以上」、85歳以上は「3~5人」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「3~5人」、要支援者は「1~2人」の回答率が最も高くなっています。

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

(複数回答)



「近所・同じ地域の人」が 46.0%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 34.8%、「仕事での同僚・元同僚」が 27.6%となっています。

	(n)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	不明・無回答	
全体	733	46.0	5.0	14.2	27.6	34.8	10.1	4.1	11.9	4.2	
性別	男性	306	32.4	3.9	14.7	35.0	33.0	8.2	2.6	15.4	3.6
	女性	406	55.9	5.7	14.3	22.7	36.7	11.3	5.2	9.4	4.4
年齢	65～74 歳	304	39.8	4.6	17.4	36.5	33.2	10.2	3.0	10.9	3.0
	75～84 歳	315	49.8	5.7	12.4	24.1	36.8	9.8	3.2	12.4	3.2
	85 歳以上	103	50.5	2.9	11.7	14.6	34.0	8.7	10.7	13.6	10.7
認定	未認定者	579	44.4	5.4	16.1	31.3	36.1	10.7	3.5	10.9	3.3
	要支援者	135	52.6	3.0	8.1	15.6	30.4	6.7	7.4	14.1	8.9
	要介護者	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	55.4	3.2	15.1	27.4	34.9	9.7	3.2	8.1	3.8
	第二小学校区	171	40.9	5.3	19.9	23.4	37.4	12.9	4.7	14.0	3.5
	第三小学校区	180	45.6	4.4	11.1	28.3	36.7	8.3	5.6	12.2	5.0
	第四小学校区	167	42.5	6.6	12.6	33.5	31.7	9.0	3.6	10.8	4.8

○性別にみると、男性は「仕事での同僚・元同僚」、女性は「近所・同じ地域の人」の回答率が最も高くなっています。また、「近所・同じ地域の人」は男性より女性のほうが20ポイント以上多く、「仕事での同僚・元同僚」は女性より男性のほうが10ポイント以上多くなっています。

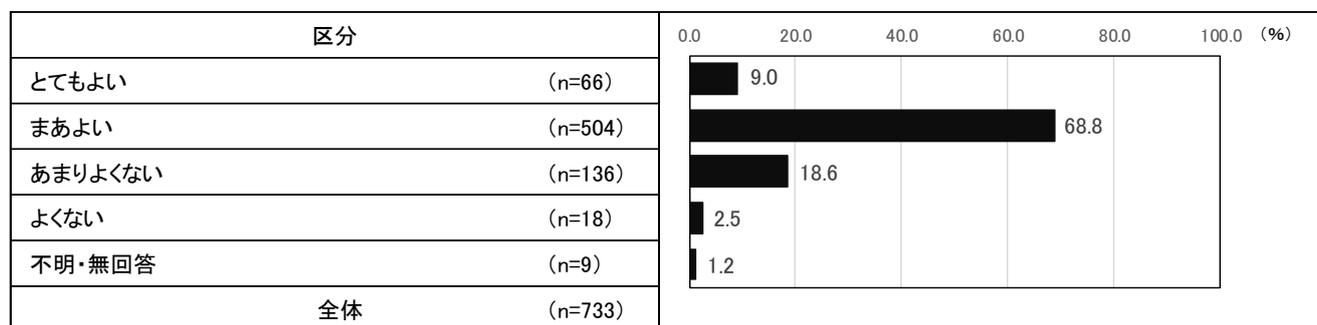
○年齢別にみると、どの年代も「近所・同じ地域の人」の回答率が最も高くなっています。また、「仕事での同僚・元同僚」は65～74歳で36.5%と、ほかの年代より10ポイント以上多くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「近所・同じ地域の人」の回答率が最も高くなっています。また、「仕事での同僚・元同僚」は要支援者より未認定者のほうが10ポイント以上多くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「近所・同じ地域の人」の回答率が最も高くなっていますが、第一小学校区のみ50%台で、そのほかの小学校区より高くなっています。

問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)



「まあよい」が68.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が18.6%、「とてもよい」が9.0%となっています。

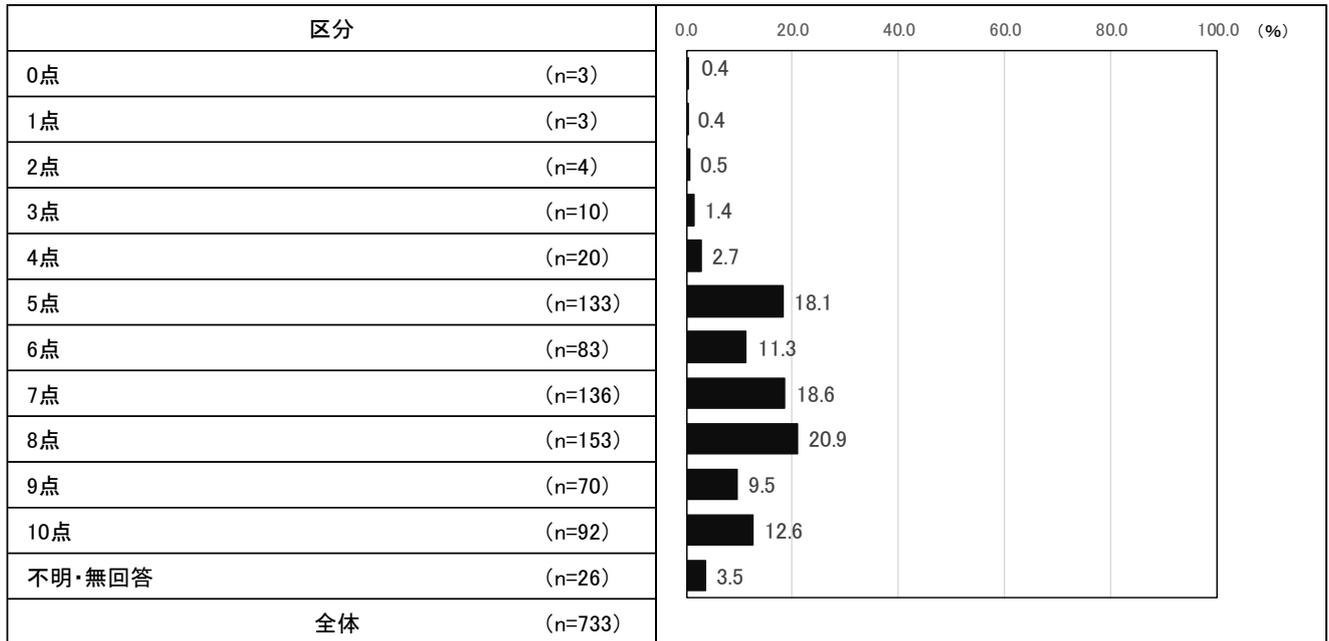
	(n)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	不明・無回答	【別掲】		
							の計 「よい」「まあよい」	「よくない」「あまりよくない」の計	
全体	733	9.0	68.8	18.6	2.5	1.2	77.8	21.0	
年齢	65～74 歳	304	10.9	72.7	13.8	2.0	0.7	83.6	15.8
	75～84 歳	315	8.3	69.5	18.1	2.5	1.6	77.8	20.6
	85 歳以上	103	3.9	58.3	32.0	3.9	1.9	62.1	35.9
認定	未認定者	579	10.2	73.6	14.2	1.4	0.7	83.8	15.5
	要支援者	135	3.0	51.1	35.6	6.7	3.7	54.1	42.2
	要介護者	5	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	40.0	60.0

○年齢別にみると、どの年代も「まあよい」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「とてもよい」と「まあよい」の割合が低くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「まあよい」の回答率が最も高くなっています。また、「よい」は要支援者で54.1%と、未認定者より29.7ポイント少なくなっています。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

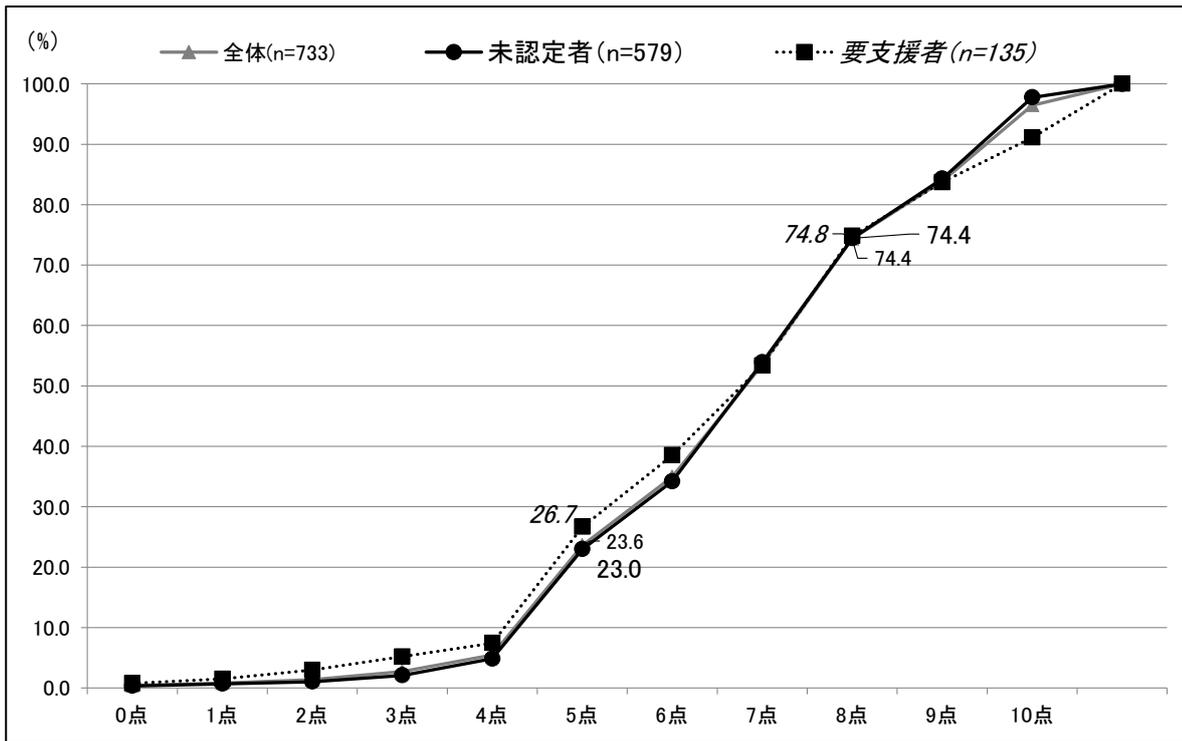


「8点」が20.9%で最も高く、次いで「7点」が18.6%、「5点」が18.1%となっています。

	(n)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	不明・無回答	
全体	733	0.4	0.4	0.5	1.4	2.7	18.1	11.3	18.6	20.9	9.5	12.6	3.5	
年齢	65～74歳	304	0.3	0.3	0.7	1.3	3.9	17.4	10.5	20.1	22.4	9.9	10.2	3.0
	75～84歳	315	0.6	0.6	0.6	1.0	2.2	20.3	11.7	16.5	18.1	10.8	13.7	3.8
	85歳以上	103	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	15.5	12.6	20.4	23.3	4.9	15.5	4.9
認定	未認定者	579	0.3	0.3	0.3	1.0	2.8	18.1	11.2	19.7	20.6	9.8	13.5	2.2
	要支援者	135	0.7	0.7	1.5	2.2	2.2	19.3	11.9	14.8	21.5	8.9	7.4	8.9
	要介護者	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

○年齢別にみると、75～84歳は「5点」、そのほかの年代は「8点」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「8点」の回答率が最も高くなっています。

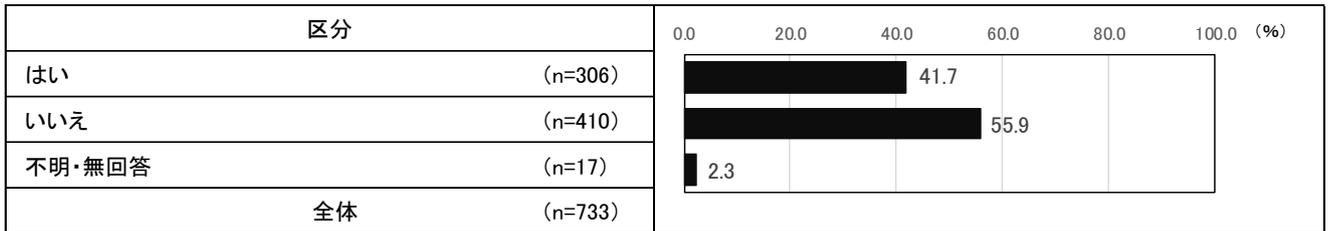


○認定別に得点区分を累積相対度数で見ると、未認定者・要支援者ともに「5点」から回答率が増加する傾向がみられます。また、回答率が最も高い「8点」以下の割合については、未認定者・要支援者に大きな違いはみられません。

		(n)	幸福度 8 点未満	幸福度 8 点以上	不明・無回答
全体		733	53.5	43.0	3.5
性別	男性	306	60.1	35.0	4.9
	女性	406	48.0	49.3	2.7
小学校区	第一小学校区	186	50.5	45.2	4.3
	第二小学校区	171	60.2	37.4	2.3
	第三小学校区	180	46.7	49.4	3.9
	第四小学校区	167	58.1	37.7	4.2
経済状況	大変苦しい	36	66.7	27.8	5.6
	やや苦しい	182	63.7	31.3	4.9
	ふつう	444	52.0	45.5	2.5
	ややゆとりがある	44	31.8	63.6	4.5
	大変ゆとりがある	12	25.0	75.0	0.0
外出頻度	ほとんど外出しない	39	59.0	33.3	7.7
	週1回	84	59.5	38.1	2.4
	週2～4回	355	54.6	42.3	3.1
	週5回以上	243	49.8	46.9	3.3
健康状態	とてもよい	66	28.8	71.2	0.0
	まあよい	504	50.8	46.8	2.4
	あまりよくない	136	75.7	19.9	4.4
	よくない	18	72.2	22.2	5.6

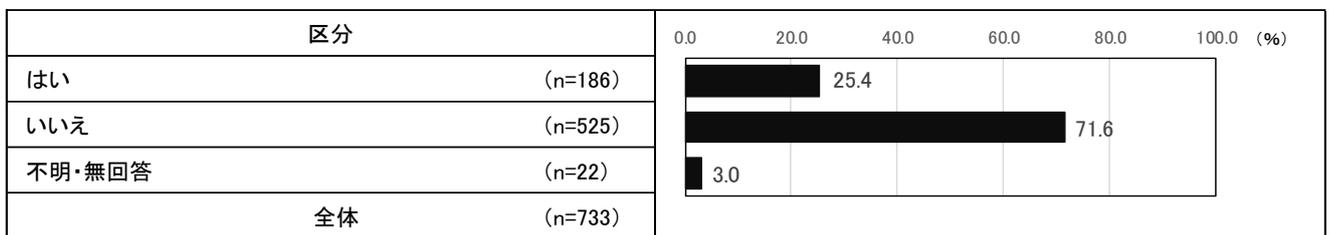
- 性別にみると、男性は「8点未満」、女性は「8点以上」の回答率が最も高くなっています。
- 小学校区別にみると、第三小学校区は「8点以上」、そのほかの小学校区は「8点未満」の回答率が最も高くなっています。
- 経済状況別にみると、ややゆとりがある、ゆとりがある人は「8点以上」、そのほかは「8点未満」の回答率が最も高くなっており、経済的にゆとりがある人ほど「8点未満」の割合が低くなっています。
- 外出頻度別にみると、どの外出頻度も「8点未満」の回答率が最も高くなっていますが、外出頻度が増えるほど「8点以上」の割合が高くなっています。
- 健康状態別にみると、健康状態がとてもよい人は「8点以上」、そのほかは「8点未満」の回答率が最も高くなっており、健康状態があまりよくない、よくない人は「8点未満」が70%台と高くなっています。

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



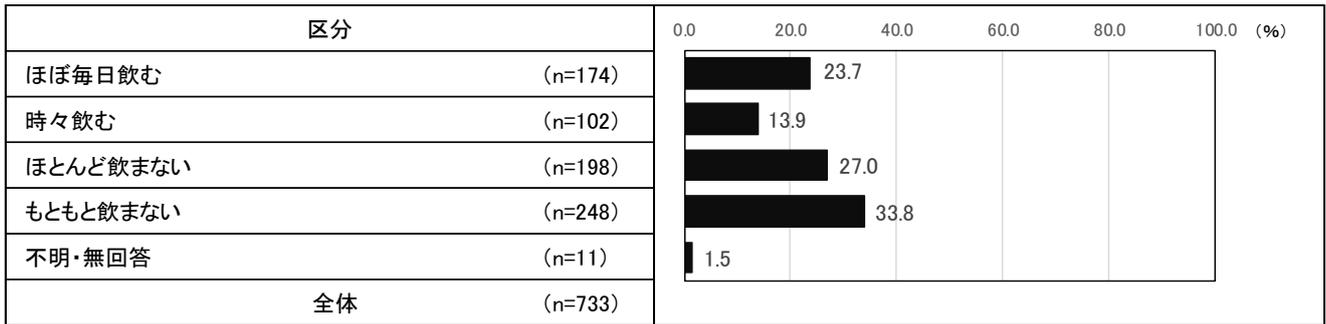
「いいえ」が55.9%、「はい」が41.7%となっています。

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



「いいえ」が71.6%、「はい」が25.4%となっています。

(5) お酒は飲みますか。(1つに○)

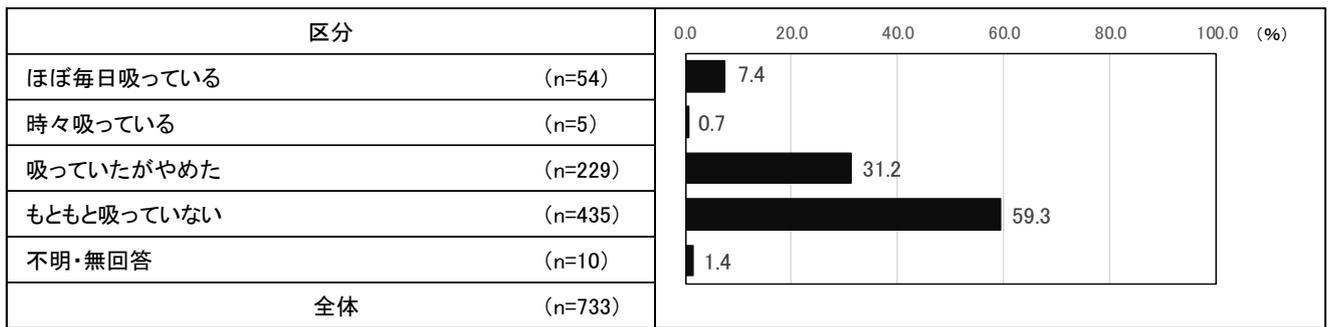


「もともと飲まない」が33.8%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が27.0%、「ほぼ毎日飲む」が23.7%となっています。

	(n)	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	不明・無回答	【別掲】	
							飲む(「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の計)	飲まない(「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」の計)
全体	733	23.7	13.9	27.0	33.8	1.5	37.7	60.8
性別	男性	43.5	15.4	22.2	16.3	2.6	58.8	38.6
	女性	9.1	12.8	30.5	46.8	0.7	21.9	77.3
年齢	65～74歳	28.9	16.1	24.7	28.6	1.6	45.1	53.3
	75～84歳	22.9	13.3	27.6	34.6	1.6	36.2	62.2
	85歳以上	11.7	9.7	31.1	46.6	1.0	21.4	77.7
認定	未認定者	25.7	15.5	24.4	33.2	1.2	41.3	57.5
	要支援者	14.8	8.1	36.3	37.8	3.0	23.0	74.1
	要介護者	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	80.0
世帯	一人暮らし	13.0	15.4	27.8	42.6	1.2	28.4	70.4
	夫婦のみ	27.4	14.0	27.4	29.0	2.1	41.4	56.5
	その他の世帯	26.0	12.7	25.4	35.3	0.6	38.7	60.7

- 性別にみると、男性は「ほぼ毎日飲む」、女性は「もともと飲まない」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、65～74歳は「ほぼ毎日飲む」、そのほかの年代は「もともと飲まない」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「もともと飲まない」の回答率が最も高くなっています。また、「ほぼ毎日飲む」は要支援者より未認定者のほうが10ポイント以上多くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「もともと飲まない」の回答率が最も高くなっています。

(6) タバコは吸っていますか。(1つに○)



「もともと吸っていない」が 59.3%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 31.2%、「ほぼ毎日吸っている」が 7.4%となっています。

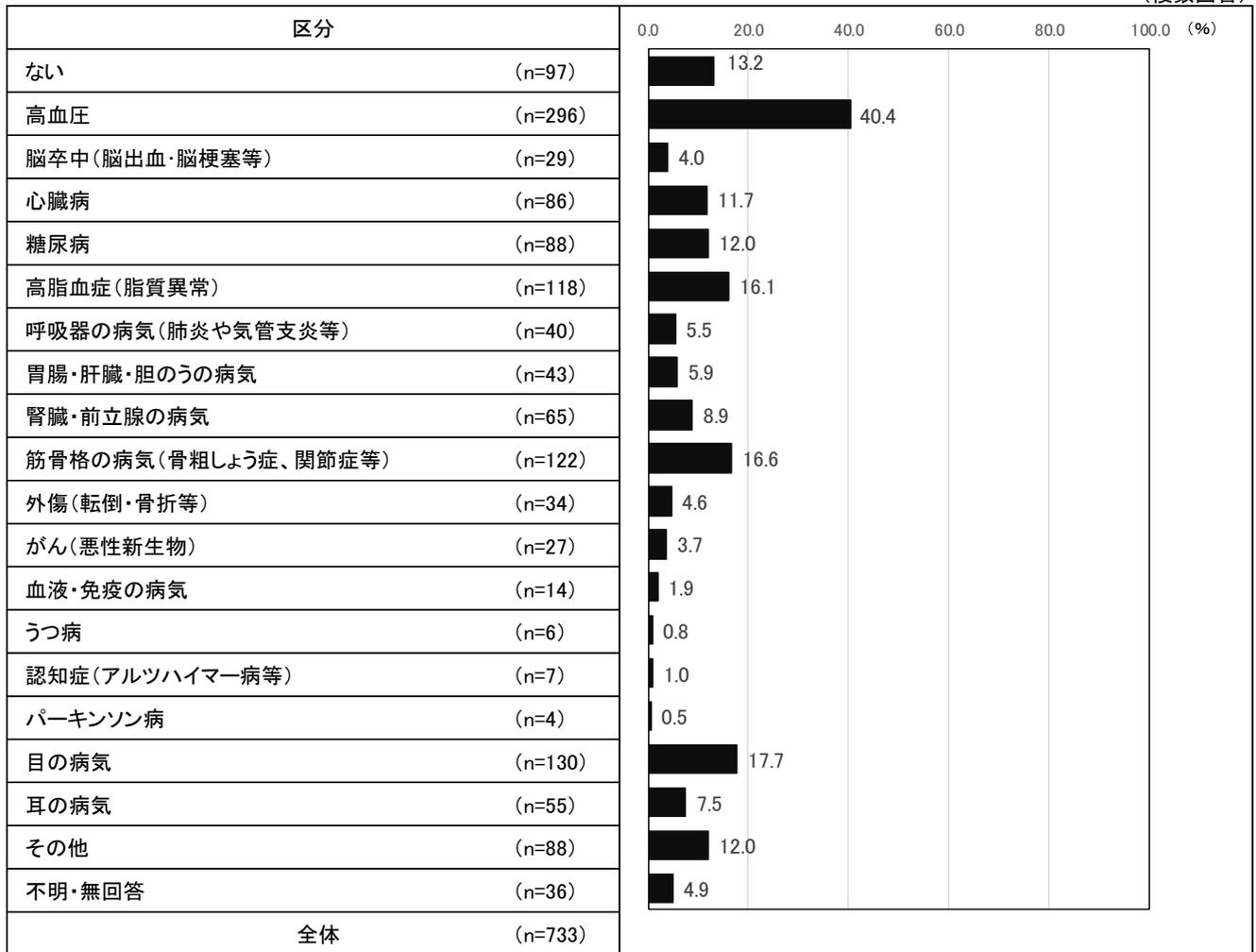
	(n)	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	不明・無回答	【別掲】	
							吸っている(「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の計)	吸っていない(「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」の計)
全体	733	7.4	0.7	31.2	59.3	1.4	8.0	90.6
性別	男性	12.7	1.3	62.4	21.9	1.6	14.1	84.3
	女性	2.7	0.2	8.6	87.2	1.2	3.0	95.8
世帯	一人暮らし	7.4	0.7	31.2	59.3	1.4	8.0	90.6
	夫婦のみ	3.6	1.2	20.1	72.2	3.0	4.7	92.3
	その他の世帯	8.7	0.5	38.8	50.7	1.3	9.2	89.4

○性別にみると、男性は「吸っていたがやめた」、女性は「もともと吸っていない」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「もともと吸っていない」の回答率が最も高くなっていますが、夫婦のみは 72.2%と、そのほかの世帯より 10 ポイント以上多くなっています。

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

(複数回答)



「高血圧」が40.4%で最も高く、次いで「目の病気」が17.7%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が16.6%となっています。

	(n)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
全体	733	13.2	40.4	4.0	11.7	12.0	16.1	5.5	5.9	8.9	16.6	
性別	男性	306	13.1	45.1	6.2	15.7	14.4	12.7	5.9	5.9	19.6	6.2
	女性	406	13.5	37.7	2.5	8.6	9.6	18.5	5.2	5.9	1.0	25.1
年齢	65～74歳	304	17.1	39.1	2.3	6.6	8.9	17.4	4.6	5.3	6.9	9.9
	75～84歳	315	11.7	39.4	5.7	14.0	15.6	15.6	5.1	5.4	9.5	17.1
	85歳以上	103	5.8	48.5	3.9	20.4	9.7	15.5	9.7	8.7	12.6	33.0
	(n)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答	
全体	733	4.6	3.7	1.9	0.8	1.0	0.5	17.7	7.5	12.0	4.9	
性別	男性	306	2.3	4.2	2.3	1.0	1.3	0.7	15.4	6.9	11.8	2.6
	女性	406	6.2	3.2	1.5	0.7	0.7	0.5	19.5	8.1	12.6	5.9
年齢	65～74歳	304	4.9	4.3	1.3	0.3	0.7	0.3	14.8	4.3	10.9	5.3
	75～84歳	315	4.1	2.5	2.9	1.3	1.6	1.0	18.1	8.6	12.7	5.1
	85歳以上	103	4.9	5.8	1.0	1.0	0.0	0.0	23.3	14.6	11.7	2.9

○性別にみると、男女とも「高血圧」の回答率が最も高くなっています。また、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」は女性で25.1%と、男性より18.9ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「高血圧」の回答率が最も高くなっていますが、特に85歳以上で48.5%と高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「心臓病」「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」等の割合が高くなっています。一方、「ない」は年齢が高くなるにつれて割合が低くなっています。

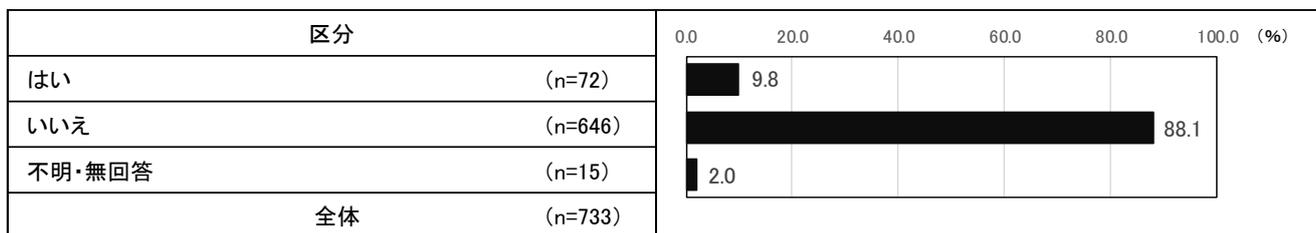
	(n)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
全体	733	13.2	40.4	4.0	11.7	12.0	16.1	5.5	5.9	8.9	16.6	
認定	未認定者	579	16.1	38.3	2.4	9.5	10.9	17.1	4.0	4.8	13.5	
	要支援者	135	2.2	48.9	11.1	19.3	15.6	13.3	11.9	8.9	31.1	
	要介護者	5	0.0	40.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
小学校区	第一小学校区	186	10.8	33.9	2.7	16.7	10.8	17.7	5.4	7.0	17.2	
	第二小学校区	171	14.0	42.7	5.3	11.7	14.0	16.4	2.9	5.3	14.6	
	第三小学校区	180	11.7	44.4	5.0	7.8	12.8	15.6	6.1	5.6	18.3	
	第四小学校区	167	16.2	41.3	3.0	10.2	9.6	16.2	8.4	6.0	16.8	
	(n)	折外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答	
全体	733	4.6	3.7	1.9	0.8	1.0	0.5	17.7	7.5	12.0	4.9	
認定	未認定者	579	3.1	3.1	1.6	0.9	0.7	0.0	16.4	5.7	11.2	5.0
	要支援者	135	10.4	5.9	3.0	0.7	1.5	3.0	23.0	14.8	14.8	4.4
	要介護者	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	5.4	3.8	0.5	0.5	0.0	0.5	17.2	7.0	10.2	4.8
	第二小学校区	171	7.0	4.1	2.9	1.2	1.8	0.0	17.0	7.0	9.9	1.8
	第三小学校区	180	2.2	1.7	3.9	1.1	2.2	1.1	16.7	7.8	18.9	6.7
	第四小学校区	167	3.6	5.4	0.6	0.6	0.0	0.6	19.2	9.0	9.0	5.4

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「高血圧」の回答率が最も高くなっています。また、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」は要支援者で未認定者より10ポイント以上多くなっています。「ない」は未認定者で要支援者より10ポイント以上多くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「高血圧」の回答率が最も高くなっていますが、第一小学校区のみ30%台と、ほかの小学校区より低くなっています。

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

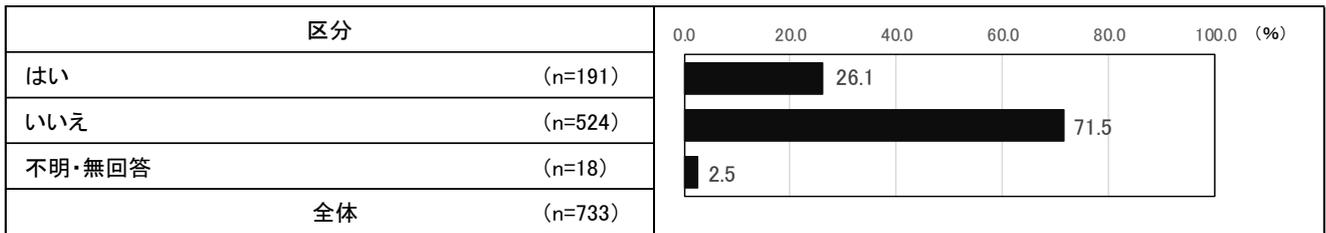


「いいえ」が88.1%、「はい」が9.8%となっています。

	(n)	はい	いいえ	不明・無回答
全体	733	9.8	88.1	2.0
年齢	65～74 歳	12.2	87.2	0.7
	75～84 歳	7.9	89.2	2.9
	85 歳以上	8.7	87.4	3.9

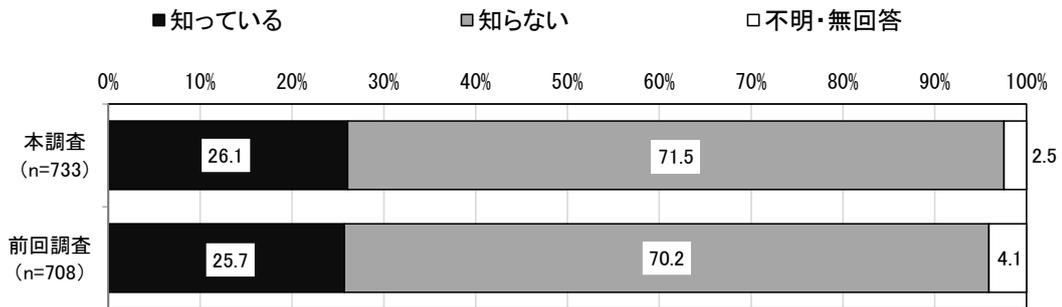
○年齢別にみると、どの年代も「いいえ」の回答率が最も高くなっています。また、「はい」は65～74歳のみ10%台となっています。

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



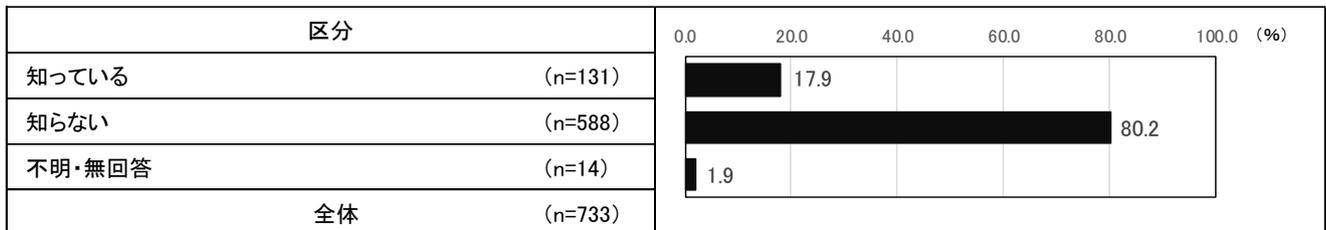
「知らない」が71.5%、「知っている」が26.1%となっています。

【過去の調査との比較】



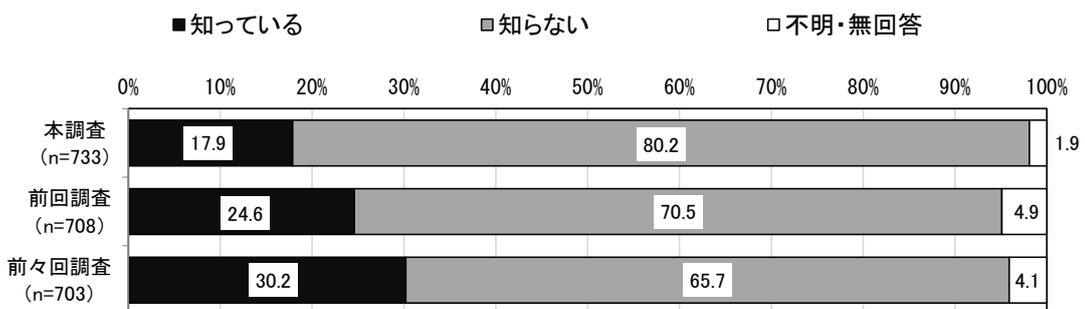
過去の調査と比較すると大きな差はありません。

(3) あなたは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」をご存じですか。



「知らない」が80.2%、「知っている」が17.9%となっています。

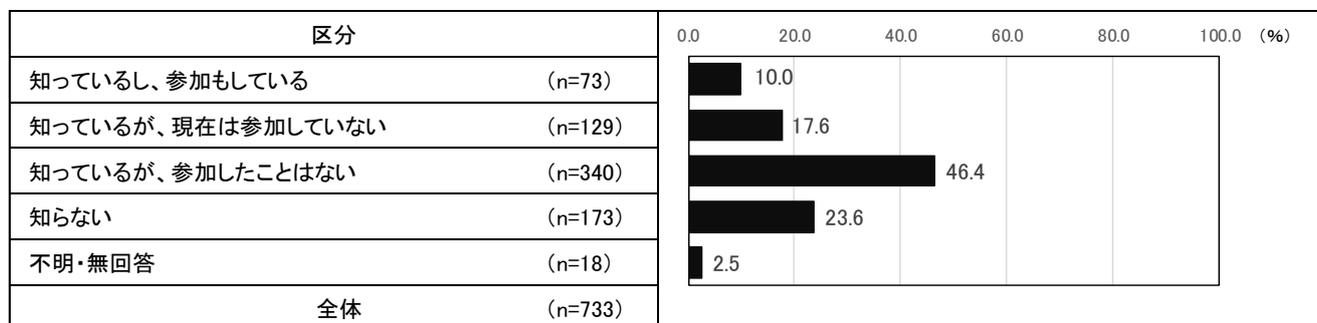
【過去の調査との比較】



過去の調査と比較すると、「知っている」は減少傾向にあります。

問10 介護予防について

(1) あなたは、町内各地で実施されている「いきいき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」をご存じですか。(1つに○)



「知っているが、参加したことはない」が 46.4%で最も高く、次いで「知らない」が 23.6%、「知っているが、現在は参加していない」が 17.6%となっています。

		(n)	知っているし、参加もしている	知っているが、現在は参加していない	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体		733	10.0	17.6	46.4	23.6	2.5
性別	男性	306	1.6	11.4	47.1	38.2	1.6
	女性	406	16.7	22.2	45.3	13.3	2.5
年齢	65～74歳	304	6.6	14.5	44.7	33.2	1.0
	75～84歳	315	12.7	18.1	47.6	19.4	2.2
	85歳以上	103	11.7	24.3	47.6	9.7	6.8
認定	未認定者	579	9.2	16.4	45.9	26.9	1.6
	要支援者	135	14.8	23.0	47.4	9.6	5.2
	要介護者	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

○性別にみると、男女ともに「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。また、「知らない」は男性で38.2%と、女性より24.9ポイント多くなっており、「知っているし、参加もしている」は女性で16.7%と、男性より15.1ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「知っているが、現在は参加していない」の割合が高くなっており、「知らない」は65～74歳のみ30%台と高くなっています。

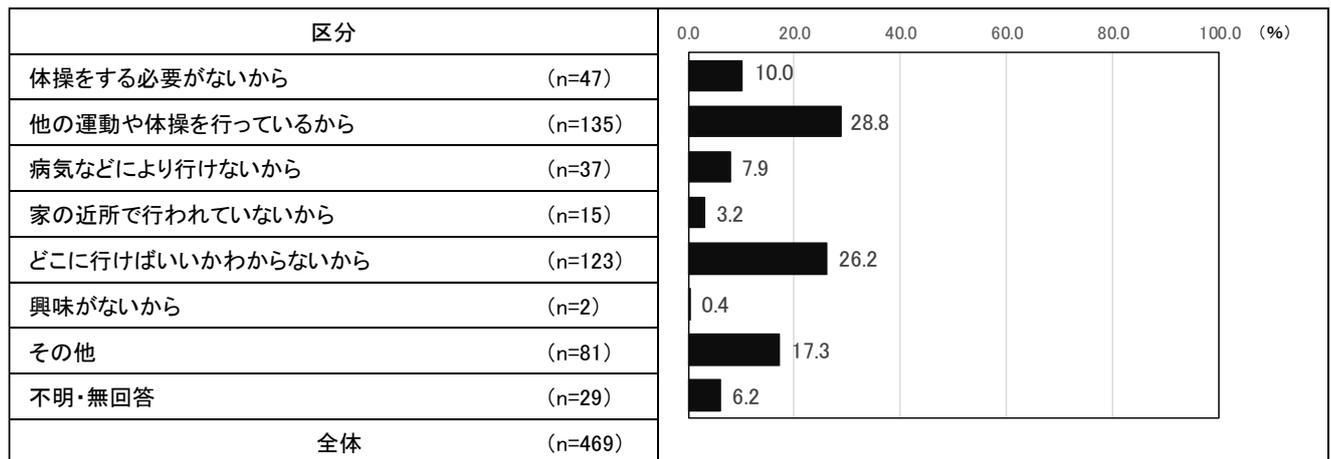
○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。また、「知らない」は未認定者で26.9%と、未認定者より17.3ポイント多くなっています。

	(n)	知っている し、参加も している	知っている が、現在は 参加してい ない	知っている が、参加し たことはない	知らない	不明・無回 答	
全体	733	10.0	17.6	46.4	23.6	2.5	
世帯	一人暮らし	169	14.8	20.7	44.4	16.6	3.6
	夫婦のみ	379	7.1	17.7	48.3	25.1	1.8
	その他の世帯	173	12.1	13.3	45.1	27.2	2.3

○世帯別にみると、どの世帯も「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。また、一人暮らしのみ「知らない」が20%未満と低くなっています。

(1)で「2 知っているが、現在は参加していない」「3 知っているが、参加したことはない」の方のみ

(2)現在、「いきいき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」に参加していない理由は何ですか。
(1つに○)



「他の運動や体操を行っているから」が28.8%で最も高く、次いで「どこへ行けばいいかわからないから」が26.2%、「その他」が17.3%となっています。

	(n)	体操をする必要がないから	他の運動や体操を行っているから	病気などにより行けないから	家の近所で行われていないから	どこに行けばいいかわからないから	興味がないから	その他	不明・無回答	
全体	469	10.0	28.8	7.9	3.2	26.2	0.4	17.3	6.2	
性別	男性	179	15.6	35.8	4.5	1.7	29.1	0.6	7.8	5.0
	女性	274	5.5	24.8	10.6	4.0	24.8	0.4	23.4	6.6
年齢	65～74 歳	180	12.8	26.1	4.4	1.1	30.6	0.6	20.6	3.9
	75～84 歳	207	8.7	33.3	7.7	4.3	26.1	0.5	14.0	5.3
	85 歳以上	74	5.4	23.0	17.6	5.4	18.9	0.0	17.6	12.2
認定	未認定者	361	11.6	29.6	3.0	3.0	28.8	0.6	18.8	4.4
	要支援者	95	2.1	25.3	24.2	4.2	17.9	0.0	13.7	12.6
	要介護者	5	0.0	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
小学校区	第一小学校区	121	9.9	30.6	8.3	3.3	24.0	0.0	19.8	4.1
	第二小学校区	102	7.8	28.4	6.9	6.9	30.4	1.0	12.7	5.9
	第三小学校区	119	10.9	29.4	9.2	0.8	25.2	0.0	16.0	8.4
	第四小学校区	106	9.4	26.4	6.6	2.8	26.4	0.9	21.7	5.7
世帯	一人暮らし	110	6.4	28.2	10.9	4.5	20.9	0.0	20.0	9.1
	夫婦のみ	250	10.8	32.0	6.4	2.4	29.2	0.4	15.2	3.6
	その他の世帯	101	10.9	20.8	8.9	4.0	26.7	1.0	18.8	8.9

○性別にみると、男女ともに「他の運動や体操を行っているから」、女性は同率で「どこに行けばいいかわからないから」の回答率が最も高くなっています。また、「体操をする必要がないから」は男性で 15.6%と、女性より 10 ポイント以上多くなっています。

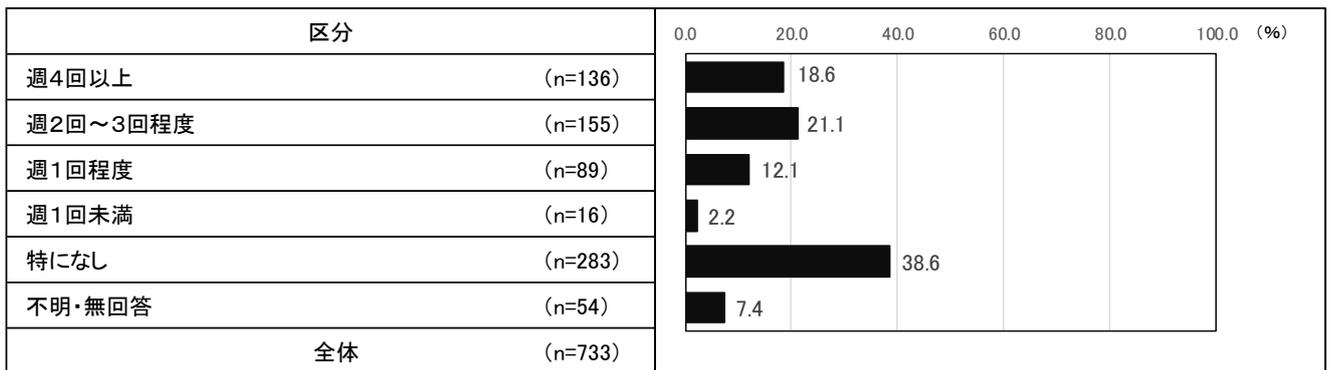
○年齢別にみると、65～74 歳は「どこに行けばいいかわからないから」、そのほかの年代は「他の運動や体操を行っているから」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「病気などにより行けないから」の割合が高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「他の運動や体操を行っているから」の回答率が最も高くなっています。また、「病気などにより行けないから」は未認定者より要支援者が 20 ポイント以上多くなっています。

○小学校区別にみると、第二小学校区・第四小学校区は「どこに行けばいいかわからないから」、第一小学校区・第三小学校区・第四小学校区は「他の運動や体操を行っているから」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、その他の世帯は「どこに行けばいいかわからないから」、そのほかの世帯は「他の運動や体操を行っているから」の回答率が最も高くなっています。

(3) 運動習慣はありますか (デイサービスやいきいき百歳体操などを含む)。(1つに○)



「特になし」が 38.6%で最も高く、次いで「週2回~3回程度」が 21.1%、「週4回以上」が 18.6%となっています。

		(n)	週4回以上	週2回～3 回程度	週1回程度	週1回未満	特になし	不明・無回 答
全体		733	18.6	21.1	12.1	2.2	38.6	7.4
年齢	65～74 歳	304	20.7	22.0	10.2	2.6	41.4	3.0
	75～84 歳	315	18.4	21.3	14.3	1.9	36.8	7.3
	85 歳以上	103	12.6	19.4	10.7	1.9	36.9	18.4
認定	未認定者	579	21.2	19.3	10.2	2.1	41.5	5.7
	要支援者	135	8.1	28.9	21.5	3.0	25.9	12.6
	要介護者	5	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0
小学校区	第一小学校区	186	16.1	23.1	10.8	2.2	41.4	6.5
	第二小学校区	171	21.6	18.1	11.1	2.9	39.2	7.0
	第三小学校区	180	19.4	24.4	15.0	1.1	32.2	7.8
	第四小学校区	167	16.8	19.8	12.6	3.0	41.3	6.6
世帯	一人暮らし	169	16.6	20.1	11.2	3.0	37.3	11.8
	夫婦のみ	379	21.6	22.4	10.6	2.4	37.2	5.8
	その他の世帯	173	14.5	20.2	16.8	1.2	42.2	5.2

○年齢別にみると、どの年代も「特になし」の回答率が最も高くなっています。年齢が高くなるにつれて「週4回以上」「週2回～3回程度」の割合が低くなっています。

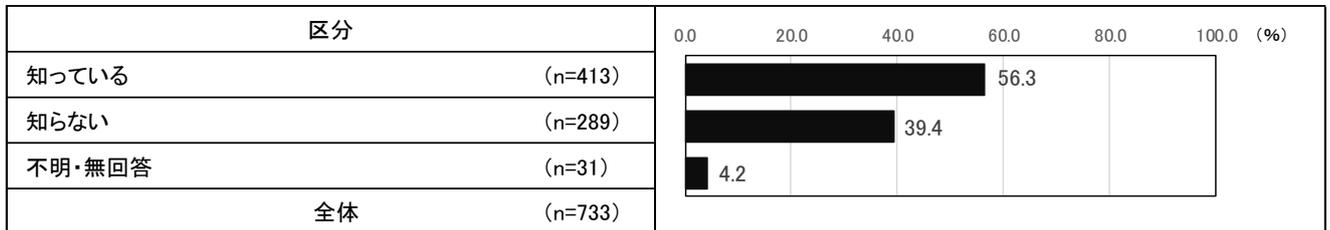
○認定別にみると、未認定者は「特になし」、要支援者は「週2回～3回程度」の回答率が最も高くなっています。また、「週4回以上」は要支援者より未認定者のほうが10ポイント以上多くなっています。

○小学校区別にみると、どの小学校区も「特になし」の回答率が最も高くなっていますが、第三小学校区は32.2%と、ほかの小学校区より低くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「特になし」の回答率が最も高くなっていますが、その他の世帯のみ40%台と高くなっています。

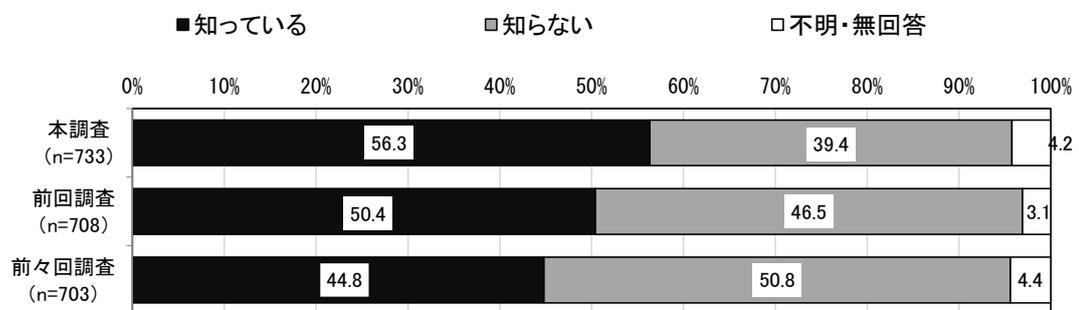
問11 その他について

(1) あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存じですか。
(1つに○)



「知っている」が56.3%、「知らない」が39.4%となっています。

【過去の調査との比較】

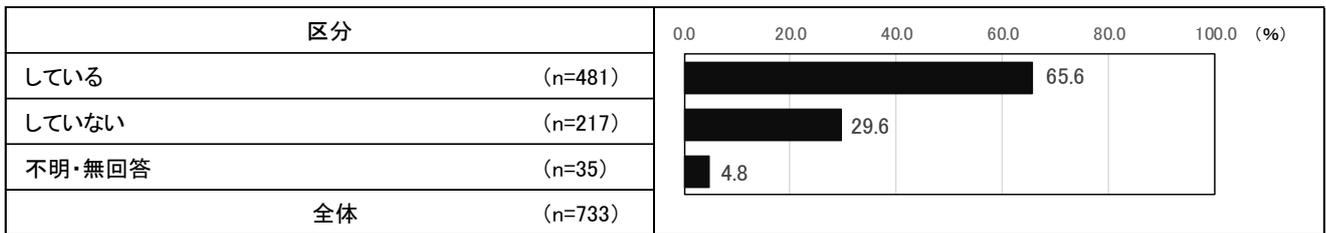


過去の調査と比較すると、「知っている」は増加傾向にあります。

		(n)	知っている	知らない	不明・無回答
全体		733	56.3	39.4	4.2
性別	男性	306	47.1	50.0	2.9
	女性	406	63.5	32.0	4.4
年齢	65～74 歳	304	55.3	43.1	1.6
	75～84 歳	315	56.2	39.4	4.4
	85 歳以上	103	58.3	31.1	10.7
認定	未認定者	579	50.6	45.9	3.5
	要支援者	135	82.2	11.1	6.7
	要介護者	5	40.0	60.0	0.0
小学校区	第一小学校区	186	58.1	38.2	3.8
	第二小学校区	171	49.7	45.6	4.7
	第三小学校区	180	60.6	35.6	3.9
	第四小学校区	167	54.5	40.7	4.8
世帯	一人暮らし	169	61.5	32.5	5.9
	夫婦のみ	379	54.6	41.7	3.7
	その他の世帯	173	54.3	42.2	3.5

- 性別にみると、男性は「知らない」、女性は「知っている」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「知っている」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者より要支援者の方が 30 ポイント以上多くなっています。
- 小学校区別にみると、どの小学校区も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、第二小学校区は 50%未満と、ほかの小学校区より低くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「知っている」の回答率が最も高くなっています。

(2) あなたは、詐欺やひったくり、空き巣などの被害にあわないように対策をしていますか。(1つに○)

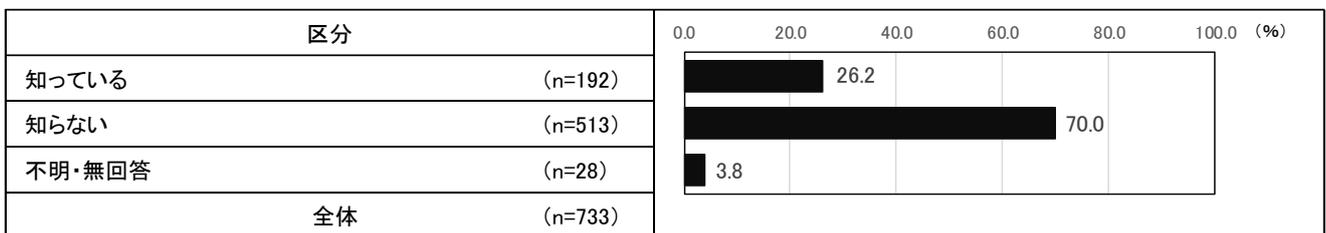


「している」が65.6%、「していない」が29.6%となっています。

	(n)	している	していない	不明・無回答
全体	733	65.6	29.6	4.8
性別				
男性	306	56.2	39.9	3.9
女性	406	72.7	22.4	4.9

○性別にみると、男女とも「している」の回答率が最も高くなっていますが、男性より女性のほうが16.5ポイント多くなっています。

(3) あなたは、ふれあいセンター1階で実施している消費者相談をご存じですか。(1つに○)



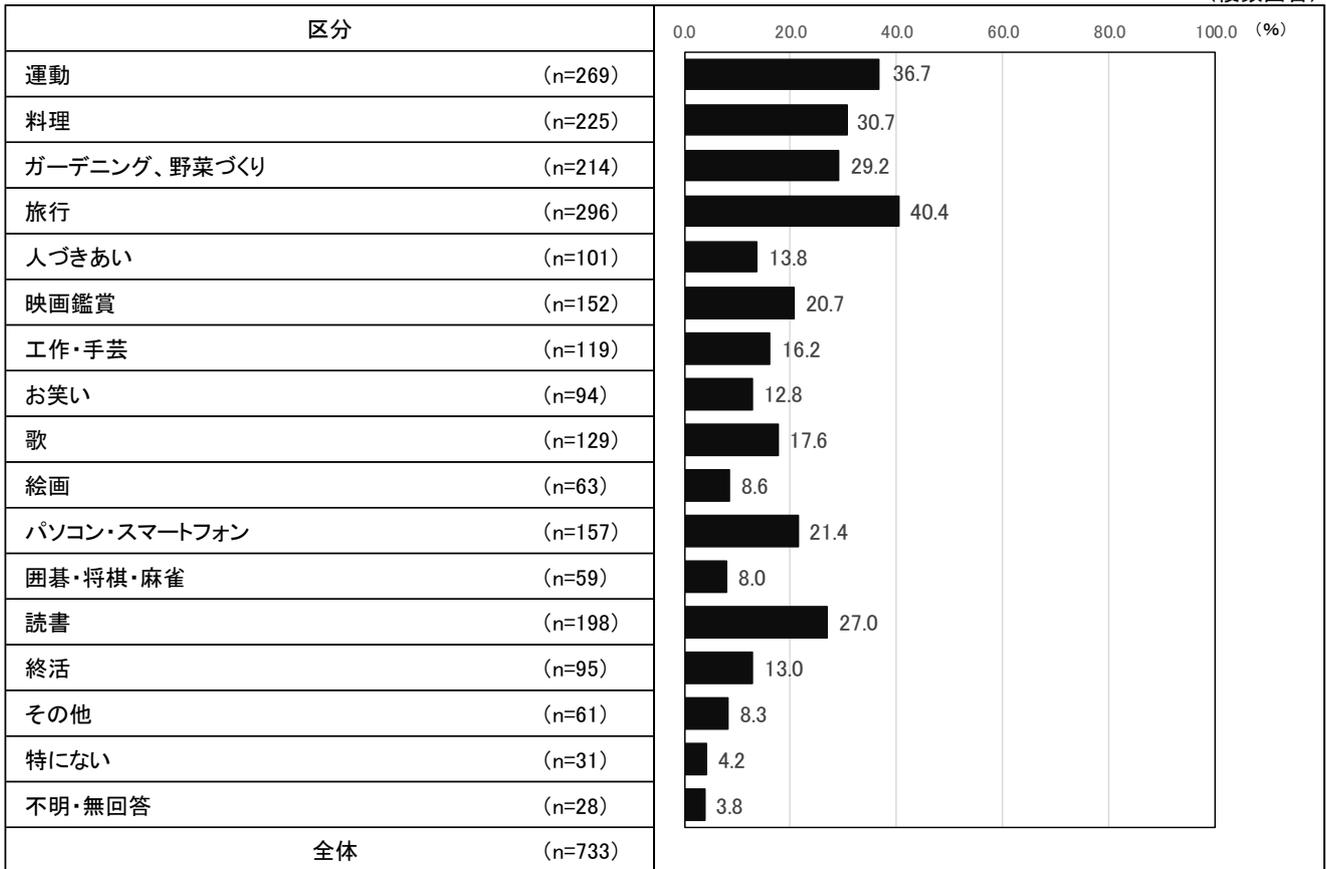
「知らない」が70.0%、「知っている」が26.2%となっています。

	(n)	知っている	知らない	不明・無回答
全体	733	26.2	70.0	3.8
性別				
男性	306	22.9	73.9	3.3
女性	406	28.6	67.7	3.7

○性別にみると、男女とも「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが6.2ポイント多くなっています。

(4) 興味・関心のあることは何ですか。(5つまでに○)

(複数回答)



「旅行」が40.4%で最も高く、次いで「運動」が36.7%、「料理」が30.7%となっています。

		(n)	運動	料理	ガーデニング、 野菜づくり	旅行	人づきあい	映画鑑賞	工作・手芸	お笑い	歌
全体		733	36.7	30.7	29.2	40.4	13.8	20.7	16.2	12.8	17.6
性別	男性	306	44.1	20.9	23.5	42.5	11.1	22.5	5.9	12.1	15.7
	女性	406	32.3	38.4	33.3	39.2	15.8	20.2	23.9	13.1	19.0
年齢	65～74 歳	304	42.8	33.6	27.3	47.7	10.2	24.7	17.1	13.2	13.2
	75～84 歳	315	33.7	30.2	30.5	38.4	17.1	22.5	15.9	13.0	19.4
	85 歳以上	103	29.1	25.2	30.1	27.2	13.6	4.9	14.6	11.7	25.2
認定	未認定者	579	40.6	31.1	30.1	44.0	12.3	21.9	16.4	12.3	17.1
	要支援者	135	22.2	27.4	25.9	27.4	19.3	17.8	14.8	16.3	19.3
	要介護者	5	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0
		(n)	絵画	パソコン・スマートフォン	麻雀・将棋	読書	終活	その他	特にない	答不明・無回答	
全体		733	8.6	21.4	8.0	27.0	13.0	8.3	4.2	3.8	
性別	男性	306	6.2	29.4	15.7	25.8	10.1	9.5	6.2	2.6	
	女性	406	10.3	15.3	2.2	28.1	15.0	7.6	3.0	4.2	
年齢	65～74 歳	304	7.6	23.4	4.3	27.0	12.5	7.6	4.6	1.6	
	75～84 歳	315	8.6	22.2	10.5	29.5	14.3	10.2	3.5	3.5	
	85 歳以上	103	10.7	12.6	12.6	20.4	10.7	5.8	4.9	10.7	
認定	未認定者	579	9.0	22.1	7.9	27.8	13.1	8.3	3.8	2.6	
	要支援者	135	6.7	19.3	8.9	25.2	11.1	9.6	5.2	8.9	
	要介護者	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	

- 性別にみると、男性は「運動」、女性は「旅行」の回答率が最も高くなっています。また、「料理」「工作・手芸」は男性より女性のほうが10ポイント以上多く、「運動」「パソコン・スマートフォン」「囲碁・将棋・麻雀」は女性より男性のほうが10ポイント以上多くなっています。
- 年齢別にみると、85歳以上は「ガーデニング、野菜づくり」、そのほかの年代は「旅行」の回答率が最も高くなっています。また、「運動」「料理」「旅行」「映画鑑賞」「工作・手芸」「パソコン・スマートフォン」は年齢が高くなるにつれて割合が低くなっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「旅行」、要支援者は同率で「料理」の回答率が最も高くなっています。また、「運動」「旅行」は要支援者より未認定者のほうが10ポイント以上多くなっています。

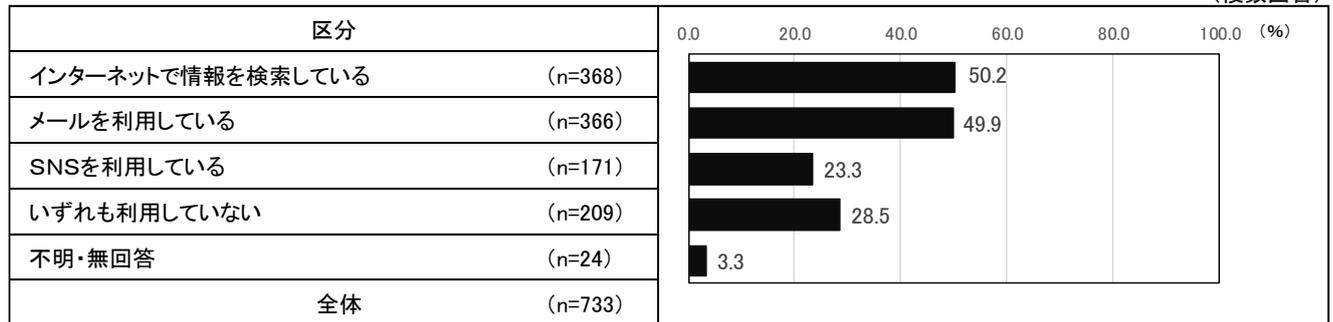
		(n)	運動	料理	ガーデニング、 野菜づくり	旅行	人づきあい	映画鑑賞	工作・手芸	お笑い	歌
全体		733	36.7	30.7	29.2	40.4	13.8	20.7	16.2	12.8	17.6
小学校区	第一小学校区	186	38.7	31.7	37.6	40.3	14.0	22.6	15.6	16.1	16.7
	第二小学校区	171	33.3	26.9	27.5	46.2	15.2	17.5	15.2	10.5	16.4
	第三小学校区	180	38.3	34.4	27.2	41.7	16.1	18.3	17.8	9.4	23.3
	第四小学校区	167	36.5	28.1	22.8	35.3	10.2	26.3	14.4	15.6	13.8
世帯	一人暮らし	169	32.5	29.0	26.0	37.3	18.9	21.3	18.3	8.9	21.9
	夫婦のみ	379	39.1	31.1	27.2	43.8	13.2	21.1	13.7	14.2	17.2
	その他の世帯	173	36.4	30.6	35.8	37.0	10.4	19.1	19.1	13.3	13.9
		(n)	絵画	パソコン・ スマートフォン	麻雀・ 囲碁・将棋・	読書	終活	その他	特 に な い	答 不 明 ・ 無 回	
全体		733	8.6	21.4	8.0	27.0	13.0	8.3	4.2	3.8	
小学校区	第一小学校区	186	8.6	21.0	7.0	23.7	12.9	4.3	2.2	2.7	
	第二小学校区	171	9.4	26.3	8.8	29.8	12.3	9.4	5.8	4.7	
	第三小学校区	180	8.9	19.4	8.3	32.8	15.0	8.9	5.0	2.8	
	第四小学校区	167	8.4	19.2	8.4	22.8	12.6	10.2	4.2	5.4	
世帯	一人暮らし	169	11.2	17.2	6.5	30.2	14.8	10.7	4.7	6.5	
	夫婦のみ	379	5.8	23.5	9.5	26.4	12.4	8.7	4.5	3.2	
	その他の世帯	173	11.6	19.1	6.9	26.6	12.1	5.8	3.5	2.3	

○小学校区別にみると、第四小学校区は「運動」、そのほかの小学校区は「旅行」の回答率が最も高くなっています。また、「ガーデニング、野菜づくり」は第一小学校区のみ30%台と、ほかの小学校区より10ポイント以上多くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「旅行」の回答率が最も高くなっています。また、「パソコン・スマートフォン」は夫婦のみ20%台、「読書」は一人暮らしのみ30%台となっています。

(5) 情報を入力したり共有するために、パソコンやスマートフォンなどを使ってインターネットで情報を検索したり、メールや SNS を利用していますか。(いくつでも)

(複数回答)



「旅行」が 40.4%で最も高く、次いで「運動」が 36.7%、「料理」が 30.7%となっています。

	(n)	インターネットで情報を検索している	メールを利用している	SNSを利用している	いずれも利用していない	不明・無回答	
全体	733	50.2	49.9	23.3	28.5	3.3	
性別	男性	306	64.7	45.4	22.5	27.5	1.6
	女性	406	39.7	54.2	23.6	29.1	3.9
年齢	65～74 歳	304	68.8	58.2	33.2	15.1	0.7
	75～84 歳	315	42.9	49.2	20.0	33.0	3.5
	85 歳以上	103	20.4	27.2	5.8	55.3	8.7
認定	未認定者	579	56.8	52.5	25.9	25.4	1.9
	要支援者	135	25.2	40.0	14.1	40.7	8.1
	要介護者	5	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	35.5	49.7	22.5	32.5	4.7
	夫婦のみ	379	57.0	52.2	23.2	25.1	2.4
	その他の世帯	173	49.7	45.1	24.3	32.4	2.9

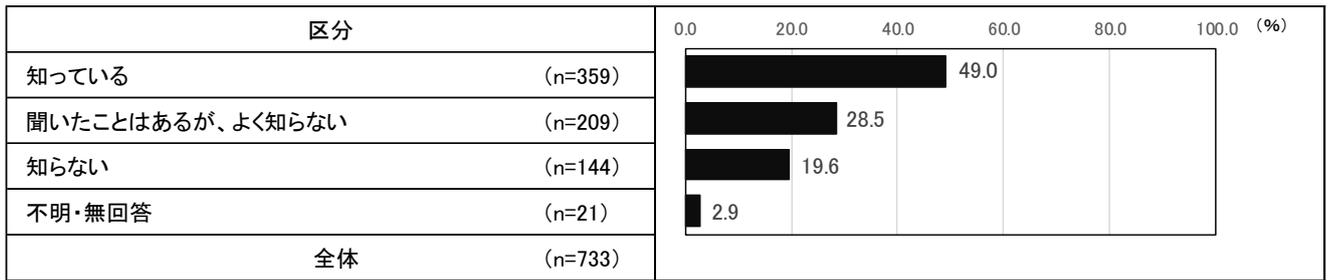
○性別にみると、男性は「インターネットで情報を検索している」、女性は「メールを利用している」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、65～74 歳は「インターネットで情報を検索している」、75～84 歳は「メールを利用している」、85 歳以上は「いずれも利用していない」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「インターネットで情報を検索している」、要支援者は「いずれも利用していない」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、一人暮らしは「メールを利用している」、そのほかの世帯は「インターネットで情報を検索している」の回答率が最も高くなっています。

(6) エンディングノートをご存じですか。(1つに○)



「知っている」が49.0%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が28.5%、「知らない」が19.6%となっています。

		(n)	知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない	不明・無回答
全体		733	49.0	28.5	19.6	2.9
性別	男性	306	37.6	29.7	30.4	2.3
	女性	406	57.6	28.1	11.6	2.7
年齢	65～74 歳	304	54.3	27.0	18.1	0.7
	75～84 歳	315	45.1	30.8	20.3	3.8
	85 歳以上	103	46.6	27.2	20.4	5.8
認定	未認定者	579	50.8	28.5	19.0	1.7
	要支援者	135	43.7	29.6	20.0	6.7
	要介護者	5	40.0	20.0	40.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	56.8	21.9	17.8	3.6
	夫婦のみ	379	47.8	29.6	19.8	2.9
	その他の世帯	173	44.5	32.9	20.8	1.7

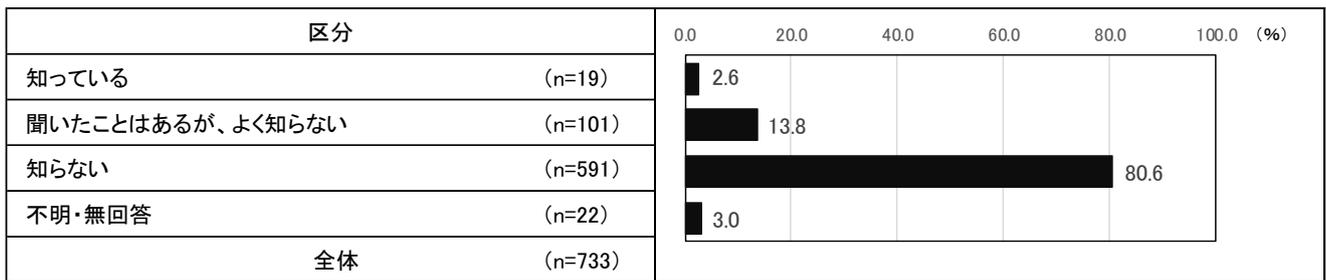
○性別にみると、男女とも「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、女性のほうが男性より20.0ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「知っている」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者のほうが要支援者より7.1ポイント多くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしのみ50%台と高くなっています。

(7) ACP (人生会議) をご存じですか。(1つに○)



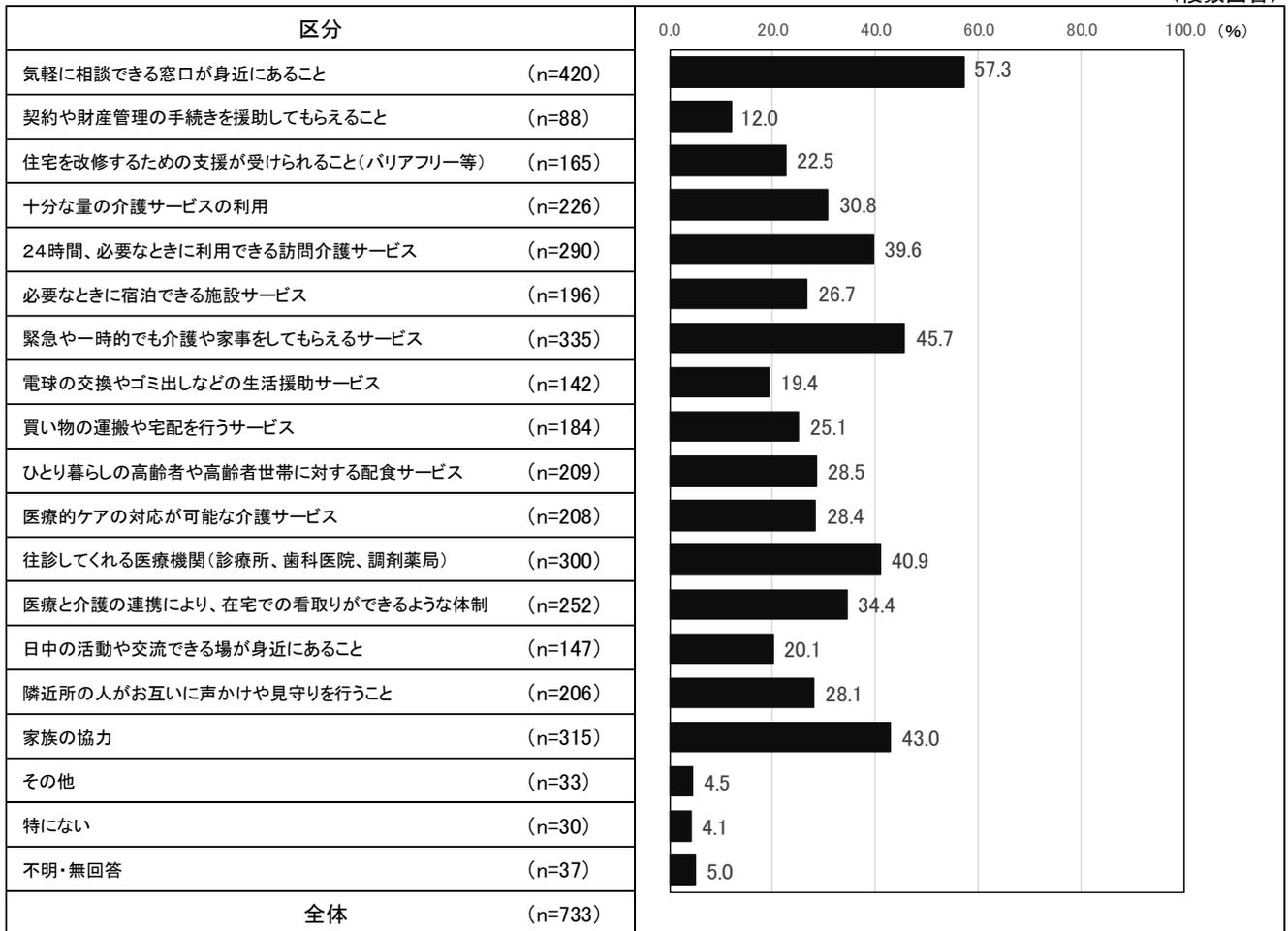
「知らない」が 80.6%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が 13.8%、「知っている」が 2.6%となっています。

		(n)	知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない	不明・無回答
全体		733	2.6	13.8	80.6	3.0
性別	男性	306	2.3	11.4	84.6	1.6
	女性	406	2.7	15.5	78.3	3.4
年齢	65～74 歳	304	2.3	11.5	84.5	1.6
	75～84 歳	315	3.2	13.3	81.0	2.5
	85 歳以上	103	1.9	23.3	67.0	7.8
認定	未認定者	579	2.6	13.8	81.9	1.7
	要支援者	135	2.2	14.8	74.8	8.1
	要介護者	5	0.0	0.0	100.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	5.3	16.0	74.0	4.7
	夫婦のみ	379	2.1	13.7	82.1	2.1
	その他の世帯	173	1.2	12.1	84.4	2.3

- 性別にみると、男女ともに「知らない」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、85 歳以上のみ 60%台と低くなっています。
- 認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、未認定者のほうが要支援者より 7.1 ポイント多くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしのみ 70%台と低くなっています。

(8) 高齢者に対してどのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(いくつでも)

(複数回答)



「家族の協力」が 66.1%で最も高く、次いで「緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス」が 45.1%、「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」が 41.9%となっています。

		(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス	必要なときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス
全体		733	57.3	12.0	22.5	30.8	39.6	26.7	45.7	19.4	25.1	28.5
性別	男性	306	57.2	14.4	19.0	30.4	35.0	23.2	40.5	14.1	26.1	30.7
	女性	406	57.9	10.6	25.6	31.5	42.9	29.3	49.8	22.4	23.9	27.1
年齢	65～74 歳	304	60.9	13.2	26.6	34.9	36.8	29.9	47.0	17.8	26.0	29.9
	75～84 歳	315	54.9	11.1	20.0	28.3	41.0	24.1	44.4	16.5	23.2	27.3
	85 歳以上	103	53.4	12.6	17.5	27.2	44.7	26.2	45.6	31.1	28.2	30.1
		(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特にない	不明・無回答	
全体		733	28.4	40.9	34.4	20.1	28.1	43.0	4.5	4.1	5.0	
性別	男性	306	28.4	38.2	30.1	17.0	25.5	44.8	3.6	5.2	3.9	
	女性	406	28.6	42.9	37.4	22.2	29.6	41.9	5.2	3.0	5.4	
年齢	65～74 歳	304	27.0	41.4	31.6	20.1	25.0	46.1	3.9	3.9	3.3	
	75～84 歳	315	29.5	40.0	35.6	21.3	28.9	39.4	5.1	3.8	5.1	
	85 歳以上	103	31.1	42.7	38.8	17.5	35.0	44.7	4.9	5.8	8.7	

○性別にみると、男女ともに「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」「医療的ケアの対応が可能な介護サービス」「医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制」「隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」の割合が高くなっています。

	(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス	必要なときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス	
全体	733	57.3	12.0	22.5	30.8	39.6	26.7	45.7	19.4	25.1	28.5	
小学校区	第一小学校区	186	54.3	10.2	28.0	28.5	43.0	33.3	44.1	16.7	24.7	32.3
	第二小学校区	171	57.3	10.5	19.3	30.4	38.0	22.8	50.3	17.5	29.2	28.1
	第三小学校区	180	58.9	15.6	24.4	35.0	40.6	22.8	41.1	23.9	28.3	28.9
	第四小学校区	167	59.9	12.0	18.0	29.9	35.3	26.9	46.1	16.8	19.2	26.9
	(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特になし	不明・無回答		
全体	733	28.4	40.9	34.4	20.1	28.1	43.0	4.5	4.1	5.0		
小学校区	第一小学校区	186	28.0	44.1	34.4	21.0	28.0	44.1	4.3	3.8	4.3	
	第二小学校区	171	24.6	43.3	31.0	19.9	29.2	38.0	4.7	4.1	3.5	
	第三小学校区	180	35.6	41.7	38.3	21.7	28.9	48.9	4.4	2.2	5.6	
	第四小学校区	167	25.7	34.7	34.7	17.4	26.9	42.5	4.8	6.0	6.0	

○小学校区別にみると、どの小学校区も「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。

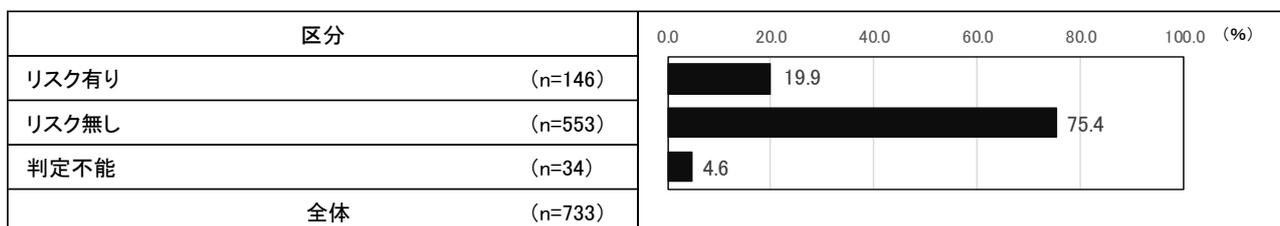
		(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス	必要なときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス
全体		733	57.3	12.0	22.5	30.8	39.6	26.7	45.7	19.4	25.1	28.5
世帯	一人暮らし	169	54.4	7.1	10.7	19.5	36.1	21.9	43.2	21.3	14.8	28.4
	夫婦のみ	379	58.6	13.2	25.1	35.1	43.3	28.8	47.2	19.5	30.1	30.6
	その他の世帯	173	59.0	15.0	28.3	32.9	35.3	27.7	45.7	15.0	23.7	24.9
		(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特にない	不明・無回答	
全体		733	28.4	40.9	34.4	20.1	28.1	43.0	4.5	4.1	5.0	
世帯	一人暮らし	169	22.5	32.5	34.9	21.9	31.4	30.2	4.7	4.1	8.3	
	夫婦のみ	379	30.1	43.0	33.8	19.8	27.2	45.9	4.5	3.2	4.0	
	その他の世帯	173	31.2	44.5	34.1	19.7	28.3	50.3	4.6	6.4	2.9	

○世帯別にみると、どの世帯も「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」「買い物の運搬や宅配を行うサービス」は夫婦のみがそのほかの世帯より高くなっています。「家族の協力」はその他の世帯がそのほかの世帯より高くなっています。

■リスク分析

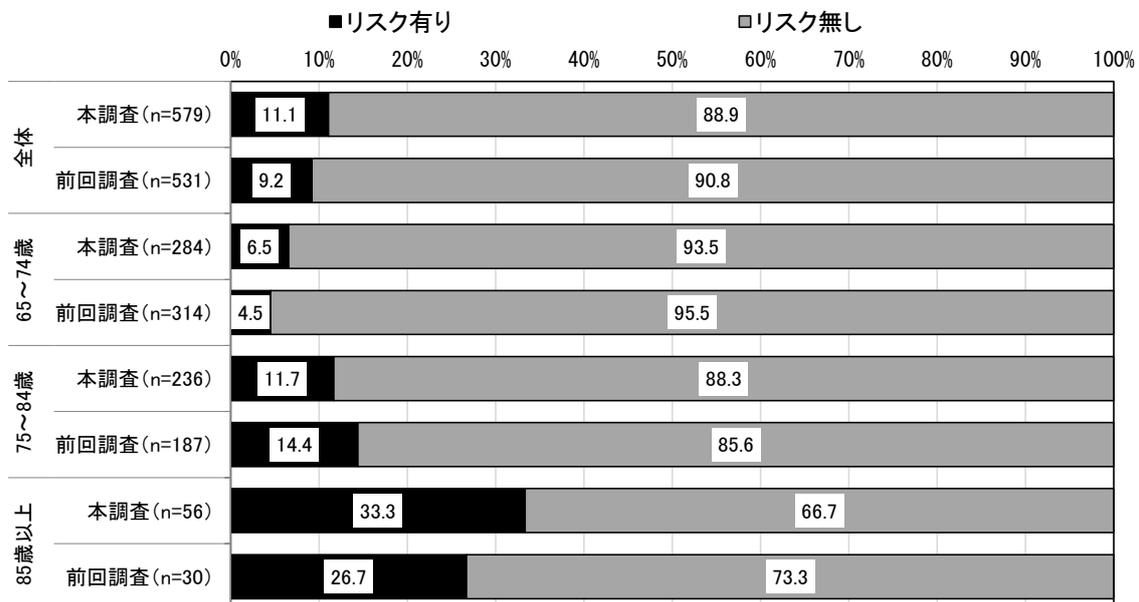
運動器の機能低下リスク

判定方法	
次の5項目のうち3項目以上に該当すれば「リスク有り」(5項目全てを判定)	
○問3(1)「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」で、「3 できない」を選択	
○問3(2)「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」で、「3 できない」を選択	
○問3(3)「15分位続けて歩いていますか」で、「3 できない」を選択	
○問3(4)「過去1年間に転んだ経験がありますか」で、「1 何度もある」「2 1度ある」を選択	
○問3(5)「転倒に対する不安は大きいですか」で、「1 とても不安である」「2 やや不安である」を選択	



「リスク無し」が75.4%、「リスク有り」が19.9%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は85歳以上で33.3%と、前回調査より6.6ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	19.9	75.4	4.6
性別	男性	306	12.4	84.3	3.3
	女性	406	25.9	68.7	5.4
年齢	65～74 歳	304	8.2	87.8	3.9
	75～84 歳	315	20.6	74.9	4.4
	85 歳以上	103	52.4	40.8	6.8
認定	未認定者	579	10.5	84.6	4.8
	要支援者	135	57.0	39.3	3.7
	要介護者	5	80.0	20.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	27.2	66.9	5.9
	夫婦のみ	379	14.8	81.5	3.7
	その他の世帯	173	23.7	72.3	4.0

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが15.6ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、85歳以上は「リスク有り」、そのほかの年代は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「リスク無し」、要支援者は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしのみ60%台と低くなっています。

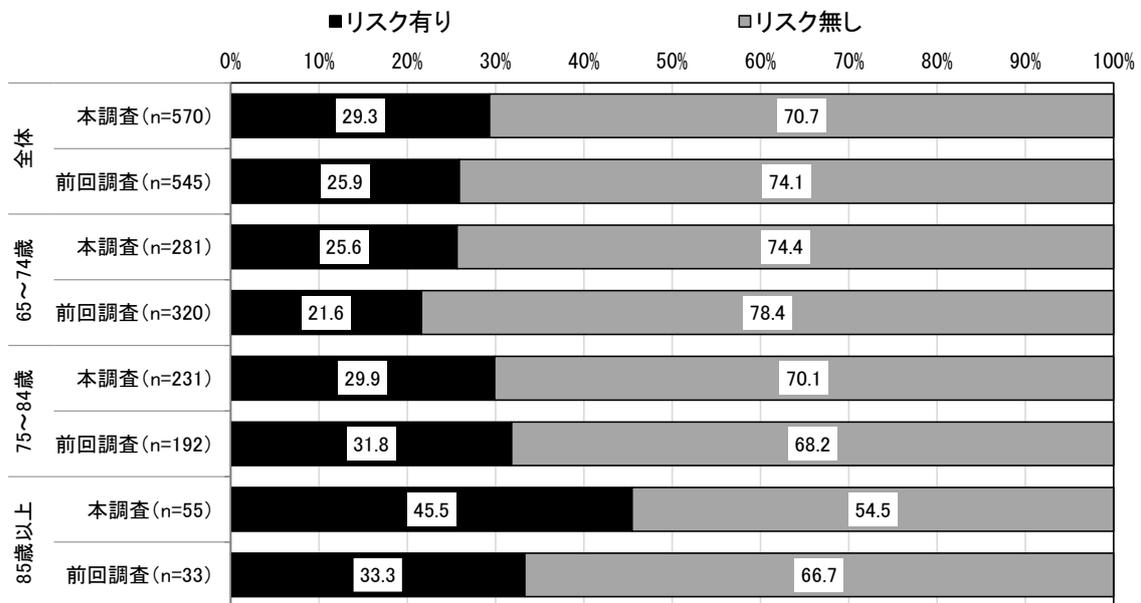
転倒リスク

判定方法	
問3(4)「過去1年間に転んだ経験がありますか」で、「1 何度もある」「2 1度ある」の選択肢を選んだ場合は「リスク有り」	

区分	人数	割合 (%)
リスク有り	(n=250)	34.1
リスク無し	(n=473)	64.5
判定不能	(n=10)	1.4
全体	(n=733)	

「リスク無し」が64.5%、「リスク有り」が34.1%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は85歳以上で45.5%と、前回調査より12.2ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	34.1	64.5	1.4
性別	男性	306	30.1	68.3	1.6
	女性	406	36.9	61.8	1.2
年齢	65～74 歳	304	26.6	72.0	1.3
	75～84 歳	315	35.2	63.2	1.6
	85 歳以上	103	54.4	44.7	1.0
認定	未認定者	579	28.8	69.6	1.6
	要支援者	135	57.0	42.2	0.7
	要介護者	5	60.0	40.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	41.4	56.2	2.4
	夫婦のみ	379	31.4	67.8	0.8
	その他の世帯	173	33.5	64.7	1.7

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

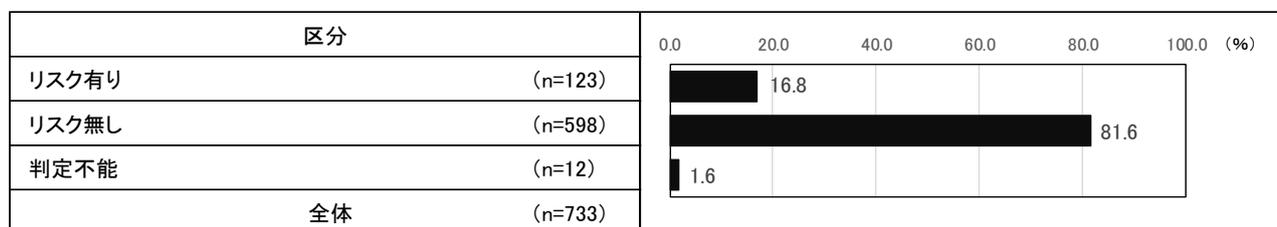
○年齢別にみると、85 歳以上は「リスク有り」、そのほかの年代は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「リスク無し」、要支援者は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしは 50%台と低くなっています。

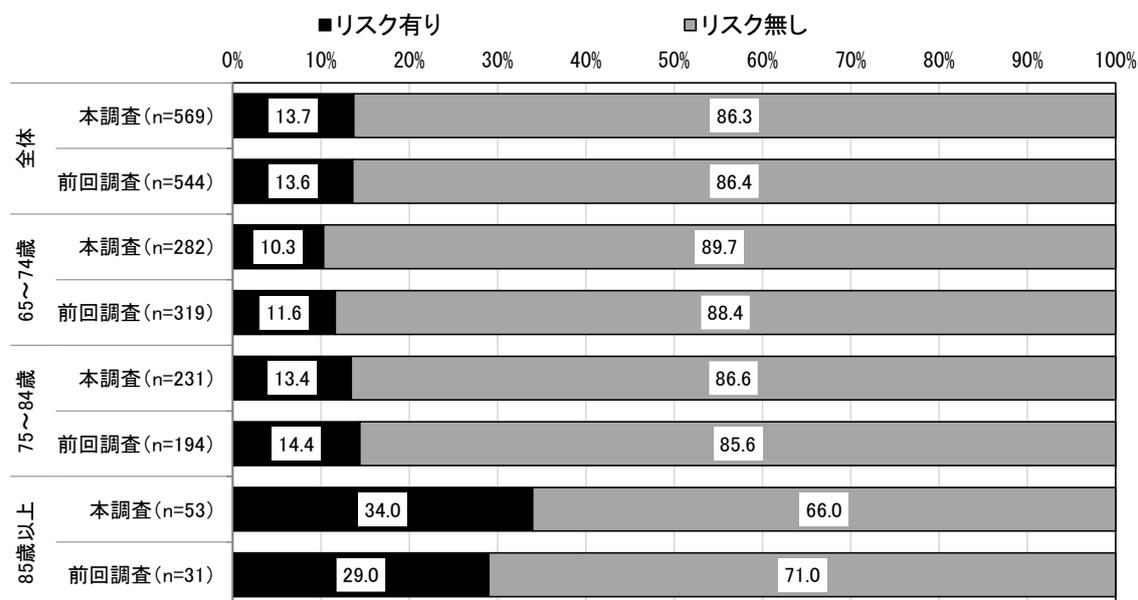
閉じこもり傾向

判定方法	
問3(6)「週に1回以上は外出していますか」で、「1 ほとんど外出しない」「2 週1回」の選択肢を選んだ場合は「リスク有り」	



「リスク無し」が81.6%、「リスク有り」が16.8%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は85歳以上で34.0%と、前回調査より5.0ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	16.8	81.6	1.6
性別	男性	306	15.4	83.3	1.3
	女性	406	17.7	80.5	1.7
年齢	65～74 歳	304	11.2	87.8	1.0
	75～84 歳	315	16.8	81.6	1.6
	85 歳以上	103	34.0	62.1	3.9
認定	未認定者	579	13.5	84.8	1.7
	要支援者	135	28.9	69.6	1.5
	要介護者	5	80.0	20.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	20.1	77.5	2.4
	夫婦のみ	379	14.5	84.4	1.1
	その他の世帯	173	17.3	80.3	2.3

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっており、85歳以上では60%台となっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者で69.6%と、未認定者より15.2ポイント少なくなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしは70%台となっています。

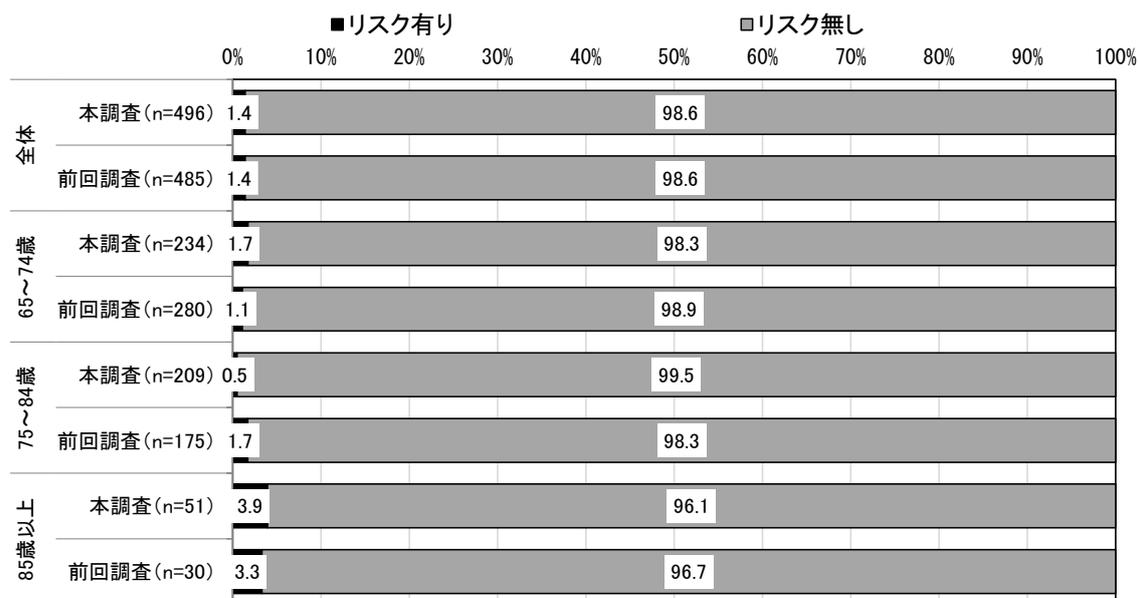
低栄養状態

判定方法	
身長・体重から算出される BMI18.5 未満で、6ヶ月間で2～3kg 以上の体重減少がある場合はリスクあり (2項目全てを答えた人を判定)	
○問4(1)「身長・体重をお答えください」で、BMI18.5 未満が該当	
○問4(9)「6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか」で、「1 はい」を選択	

区分		0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0 (%)
リスク有り	(n=11)	1.5					
リスク無し	(n=613)	83.6					
判定不能	(n=109)	14.9					
全体	(n=733)						

「リスク無し」が83.6%、「リスク有り」が1.5%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と大きな差はありません。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	1.5	83.6	14.9
性別	男性	306	0.7	86.3	13.1
	女性	406	2.2	82.8	15.0
年齢	65～74 歳	304	1.3	80.3	18.4
	75～84 歳	315	1.0	87.3	11.7
	85 歳以上	103	3.9	86.4	9.7
認定	未認定者	579	1.2	84.5	14.3
	要支援者	135	3.0	83.0	14.1
	要介護者	5	0.0	80.0	20.0
世帯	一人暮らし	169	2.4	84.0	13.6
	夫婦のみ	379	1.3	83.4	15.3
	その他の世帯	173	1.2	85.5	13.3

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

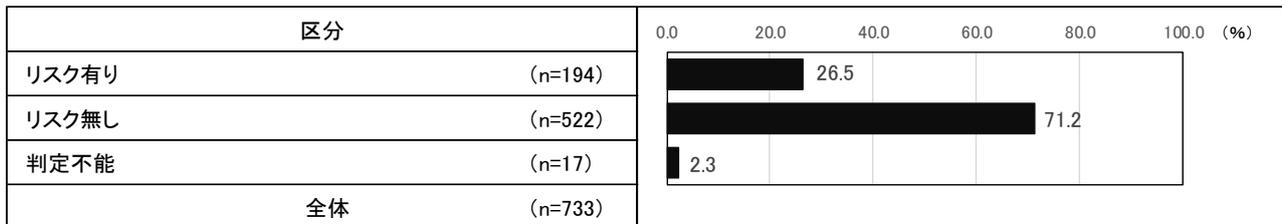
○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

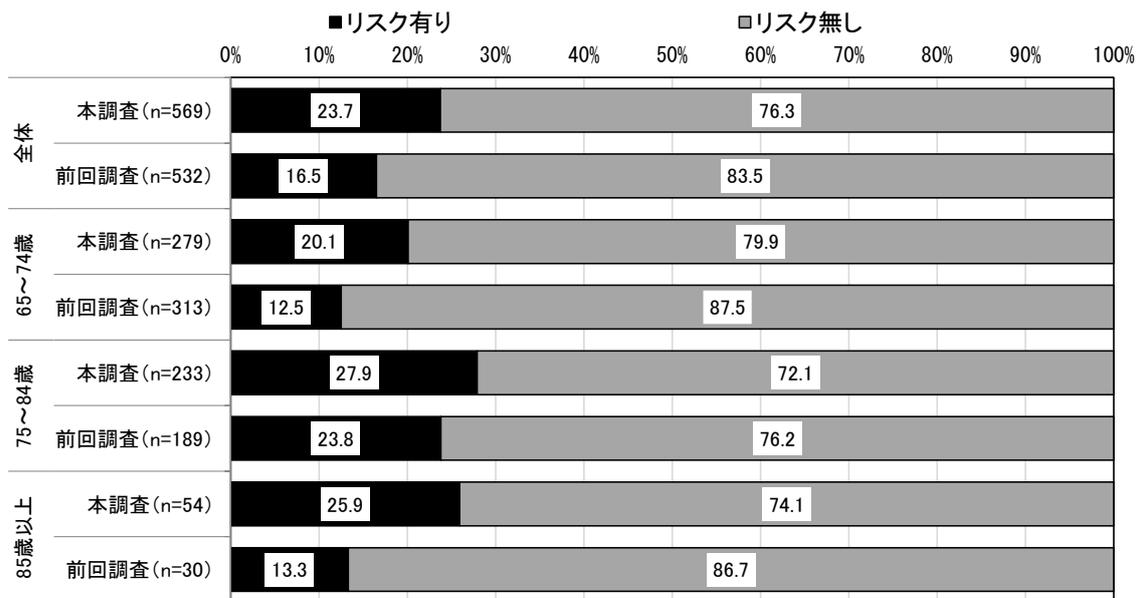
口腔機能の低下リスク

判定方法	
次の3項目のうち2項目以上に該当すればリスクあり(3項目全てを答えた人を判定)	
○問4(2)「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」で、「1 はい」を選択	
○問4(3)「お茶や汁物等でむせることがありますか」で、「1 はい」を選択	
○問4(4)「口の渇きが気になりますか」で、「1 はい」を選択	



「リスク無し」が71.2%、「リスク有り」が26.5%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は85歳以上で25.9%と、前回調査より12.6ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	26.5	71.2	2.3
性別	男性	306	22.5	76.1	1.3
	女性	406	29.3	68.5	2.2
年齢	65～74 歳	304	20.7	77.6	1.6
	75～84 歳	315	29.8	67.9	2.2
	85 歳以上	103	33.0	65.0	1.9
認定	未認定者	579	23.3	75.0	1.7
	要支援者	135	39.3	57.8	3.0
	要介護者	5	40.0	60.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	29.0	69.8	1.2
	夫婦のみ	379	24.5	73.4	2.1
	その他の世帯	173	28.9	68.8	2.3

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、女性より男性のほうが7.6ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者で57.8%と、未認定者より17.2ポイント少なくなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

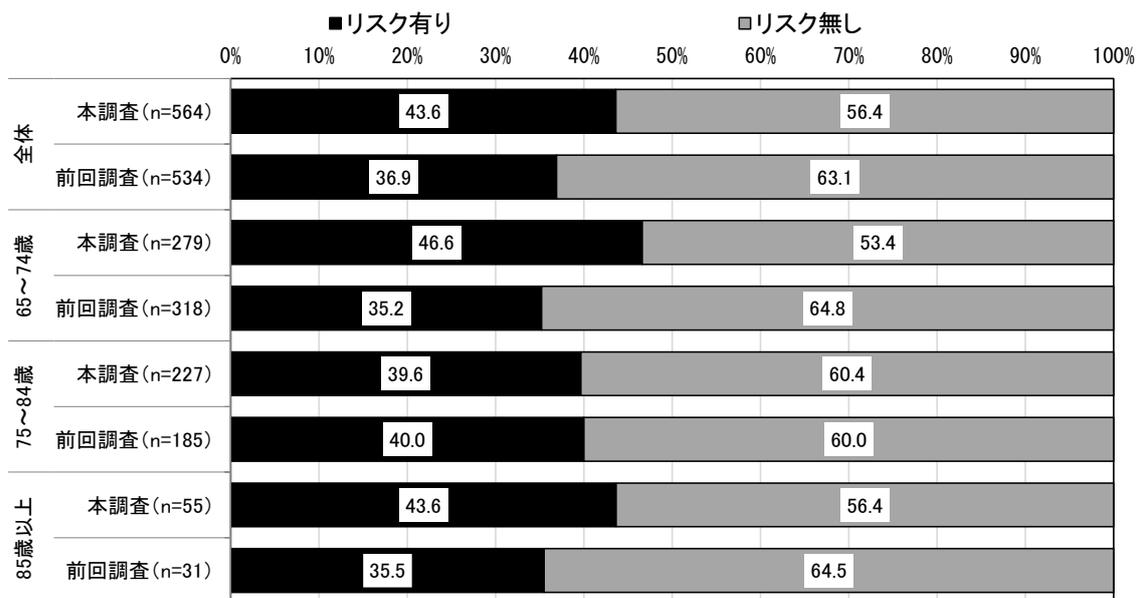
うつ傾向リスク

判定方法	
次の2項目のうち1項目以上に該当すればリスクあり(2項目全てを答えた人を判定)	
○問8(3)「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」で、「1 はい」を選択	
○問8(4)「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」で、「1 はい」を選択	

区分	人数	割合 (%)
リスク有り	(n=326)	44.5
リスク無し	(n=380)	51.8
判定不能	(n=27)	3.7
全体	(n=733)	

「リスク無し」が51.8%、「リスク有り」が44.5%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は65～74歳で46.6%と、前回調査より11.4ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	44.5	51.8	3.7
性別	男性	306	39.2	57.2	3.6
	女性	406	48.3	47.8	3.9
年齢	65～74 歳	304	45.4	52.3	2.3
	75～84 歳	315	43.5	52.1	4.4
	85 歳以上	103	43.7	50.5	5.8
認定	未認定者	579	42.5	54.9	2.6
	要支援者	135	51.1	40.7	8.1
	要介護者	5	60.0	20.0	20.0
世帯	一人暮らし	169	43.2	52.7	4.1
	夫婦のみ	379	41.2	54.6	4.2
	その他の世帯	173	51.4	46.2	2.3

○性別にみると、男性は「リスク無し」、「女性」は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「リスク無し」、要支援者は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。

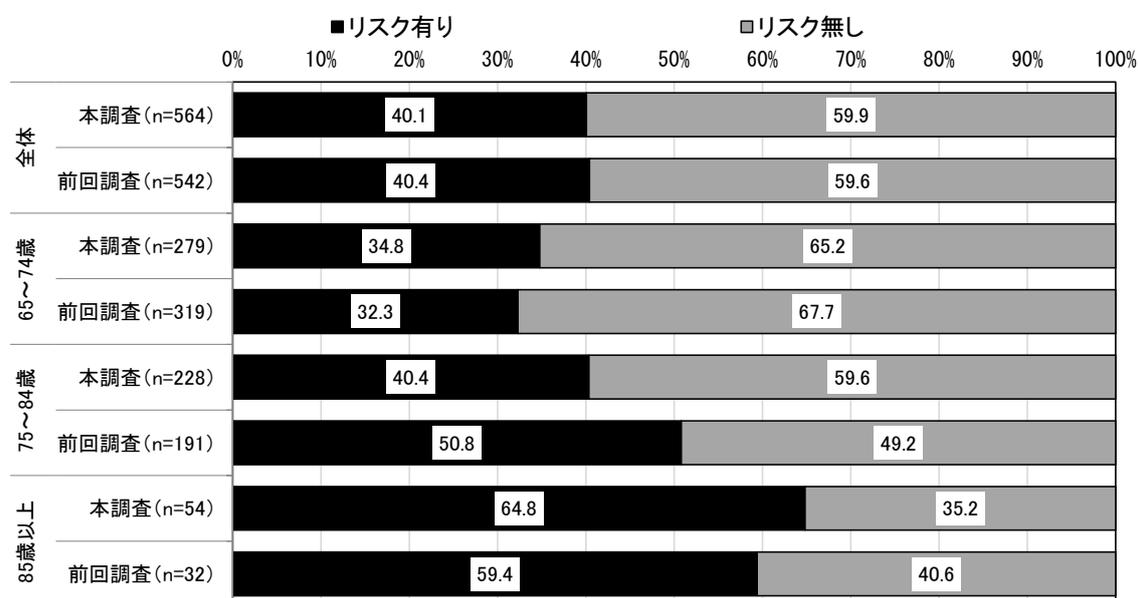
○世帯別にみると、その他の世帯は「リスク有り」、そのほかの世帯は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

認知機能の低下リスク

判定方法	
問5(1)「物忘れが多いと感じますか」で「1 はい」の選択肢を選んだ場合は「リスク有り」	
区分	0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 (%)
リスク有り (n=303)	41.3
リスク無し (n=408)	55.7
判定不能 (n=22)	3.0
全体 (n=733)	

「リスク無し」が55.7%、「リスク有り」が41.3%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は75～84歳で40.4%と、前回調査より10.4ポイント減少しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	41.3	55.7	3.0
性別	男性	306	38.6	59.5	2.0
	女性	406	43.8	53.0	3.2
年齢	65～74 歳	304	32.6	65.8	1.6
	75～84 歳	315	42.9	53.7	3.5
	85 歳以上	103	64.1	33.0	2.9
認定	未認定者	579	39.0	58.4	2.6
	要支援者	135	51.1	45.9	3.0
	要介護者	5	80.0	20.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	44.4	52.1	3.6
	夫婦のみ	379	38.8	58.6	2.6
	その他の世帯	173	45.1	53.2	1.7

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

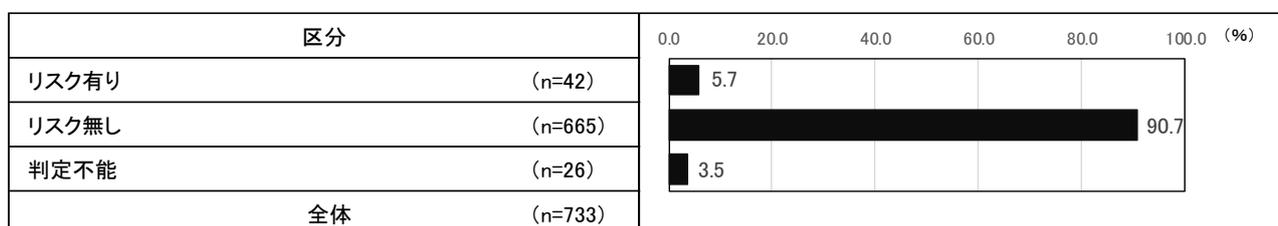
○年齢別にみると、85 歳以上は「リスク有り」、そのほかの年代は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○認定別にみると、未認定者は「リスク無し」、要支援者は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

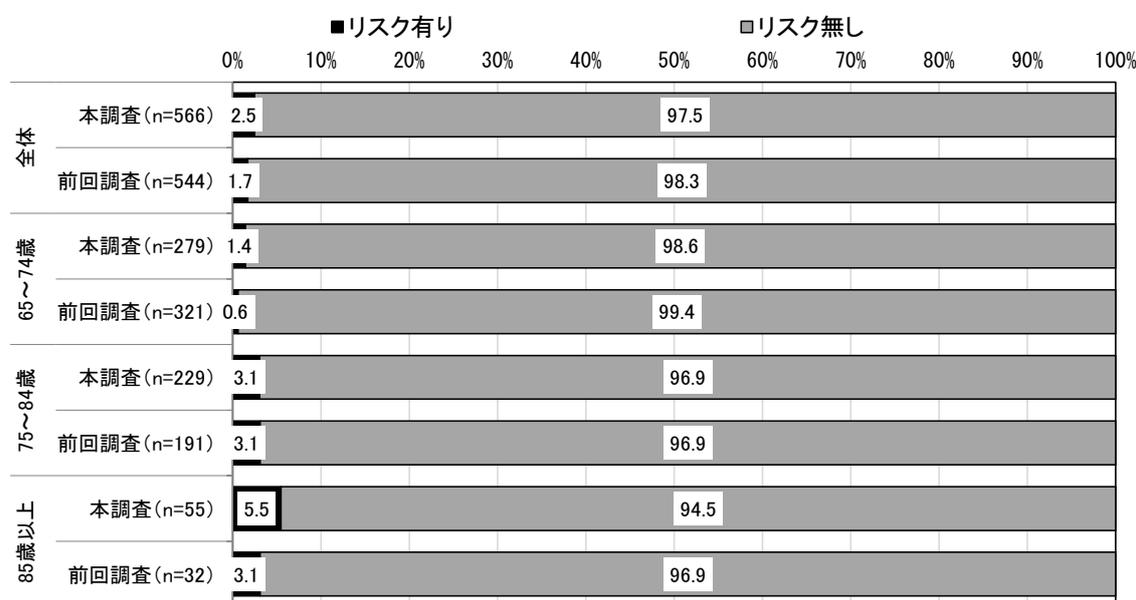
IADLの低下リスク

判定方法	
次の5項目中、それぞれ「できるし、している」「できるが、していない」と回答した方を1点として、合計3点以下の場合は「リスク有り」(5項目全てを答えた人を判定)	
○問5(4)「バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」	
○問5(5)「自分で食品・日用品の買物をしていますか」	
○問5(6)「自分で食事の用意をしていますか」	
○問5(7)「自分で請求書の支払いをしていますか」	
○問5(8)「自分で預貯金の出し入れをしていますか」	
※IADLとは、買物、洗濯、電話、薬の管理など活動的な日常生活を送るための動作のことを、「手段的日常生活動作(Instrument Activity of Daily Living:IADL)」といい、その自立度から、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる。	



「リスク無し」が90.7%、「リスク有り」が5.7%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と大きな差はありません。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	5.7	90.7	3.5
性別	男性	306	7.2	88.6	4.2
	女性	406	4.4	93.3	2.2
年齢	65～74 歳	304	2.6	95.7	1.6
	75～84 歳	315	6.3	89.5	4.1
	85 歳以上	103	11.7	83.5	4.9
認定	未認定者	579	2.4	95.3	2.2
	要支援者	135	17.8	75.6	6.7
	要介護者	5	40.0	60.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	4.7	93.5	1.8
	夫婦のみ	379	5.0	90.5	4.5
	その他の世帯	173	7.5	91.3	1.2

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合が低くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者で75.6%と、未認定者より19.7ポイント少なくなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

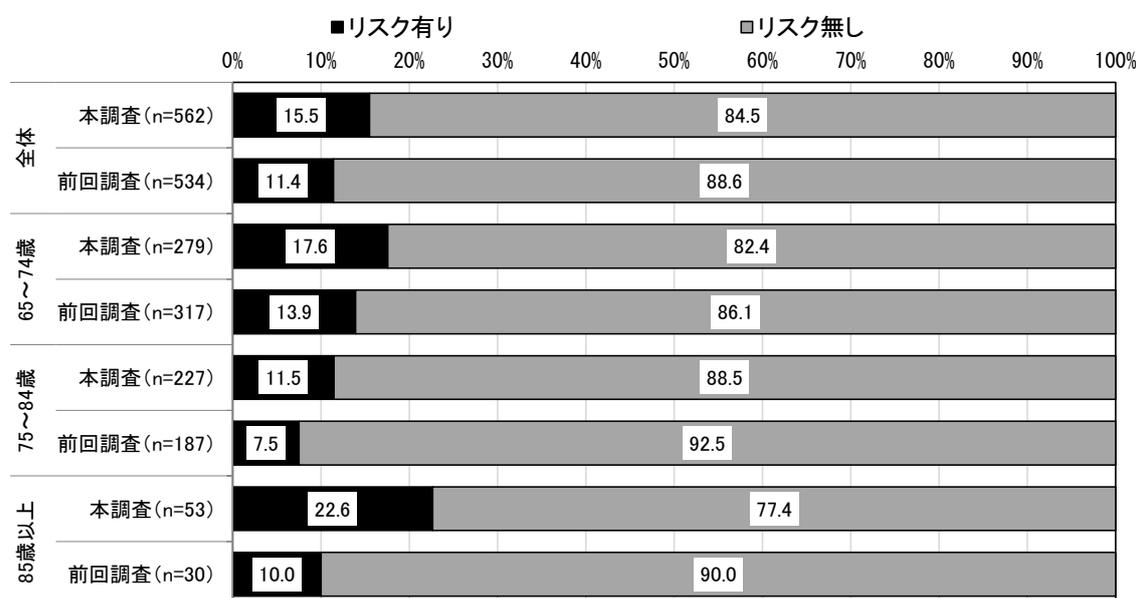
知的能動性低下リスク

判定方法	
次の4項目中、それぞれ「はい」と回答した方を1点として、合計2点以下の場合は「リスク有り」(4項目全てを答えた人を判定)	
○問5(9)「年金等の書類が書けますか」	
○問5(10)「新聞を読んでいますか」	
○問5(11)「本や雑誌を読んでいますか」	
○問5(12)「健康についての記事や番組に関心がありますか」	
※知的能動性とは、情報を自ら収集して表現できる能力	

区分	人数	割合 (%)
リスク有り	(n=124)	16.9
リスク無し	(n=590)	80.5
判定不能	(n=19)	2.6
全体	(n=733)	

「リスク無し」が80.5%、「リスク有り」が16.9%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

過去の調査と比較すると、「リスク有り」は85歳以上で22.6%と、前回調査より12.6ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	16.9	80.5	2.6
性別	男性	306	18.0	77.8	4.2
	女性	406	16.7	82.5	0.7
年齢	65～74 歳	304	17.8	80.6	1.6
	75～84 歳	315	14.6	82.5	2.9
	85 歳以上	103	22.3	72.8	4.9
認定	未認定者	579	15.0	82.0	2.9
	要支援者	135	23.0	75.6	1.5
	要介護者	5	40.0	60.0	0.0
世帯	一人暮らし	169	16.0	81.1	3.0
	夫婦のみ	379	16.4	80.5	3.2
	その他の世帯	173	18.5	80.3	1.2

○性別にみると、男女ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、85 歳以上のみ 70%台と低くなっています。

○認定別にみると、未認定者・要支援者ともに「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。

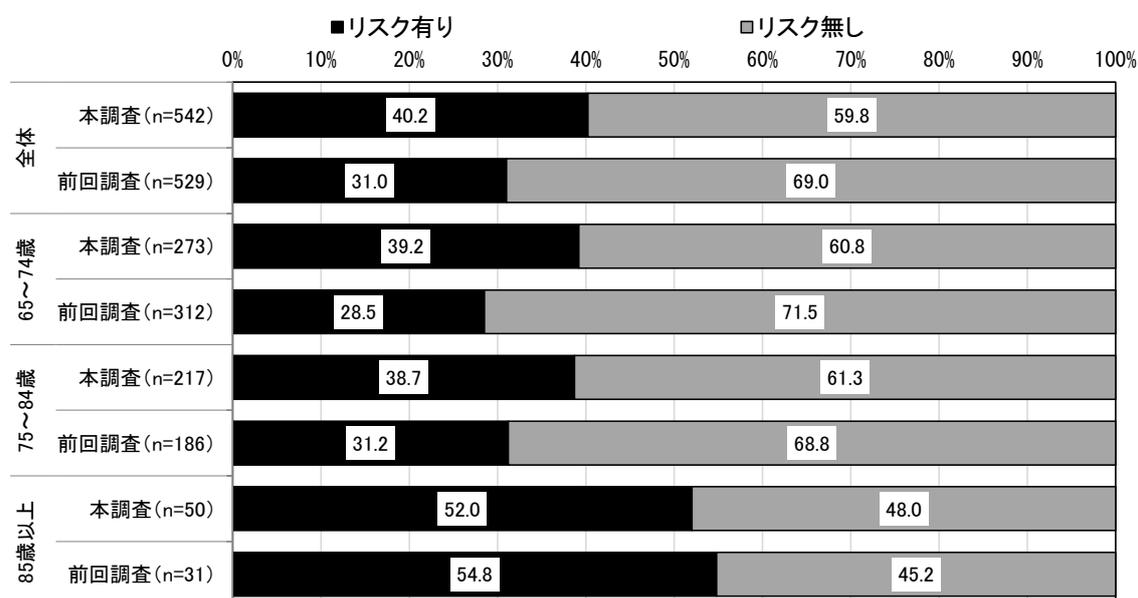
社会的役割低下リスク

判定方法	
次の4項目中、それぞれ「はい」と回答した方を1点として、合計2点以下の場合は「リスク有り」(4項目全てを答えた人を判定)	
○問5(13)「友人の家を訪ねていますか」	
○問5(14)「家族や友人の相談にのっていますか」	
○問5(15)「病人を見舞うことができますか」	
○問5(16)「若い人に自分から話しかけることがありますか」	
※社会的役割とは、人を思いやる、相談にのる、他の世代との積極的な交流などが、この能力	

区分	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0 (%)
リスク有り (n=300)	40.9					
リスク無し (n=387)	52.8					
判定不能 (n=46)	6.3					
全体 (n=733)						

「リスク無し」が52.8%、「リスク有り」が40.9%となっています。

【未認定者－過去の調査との比較】



※前回調査と比較するため「判定不能」を除いて集計しています

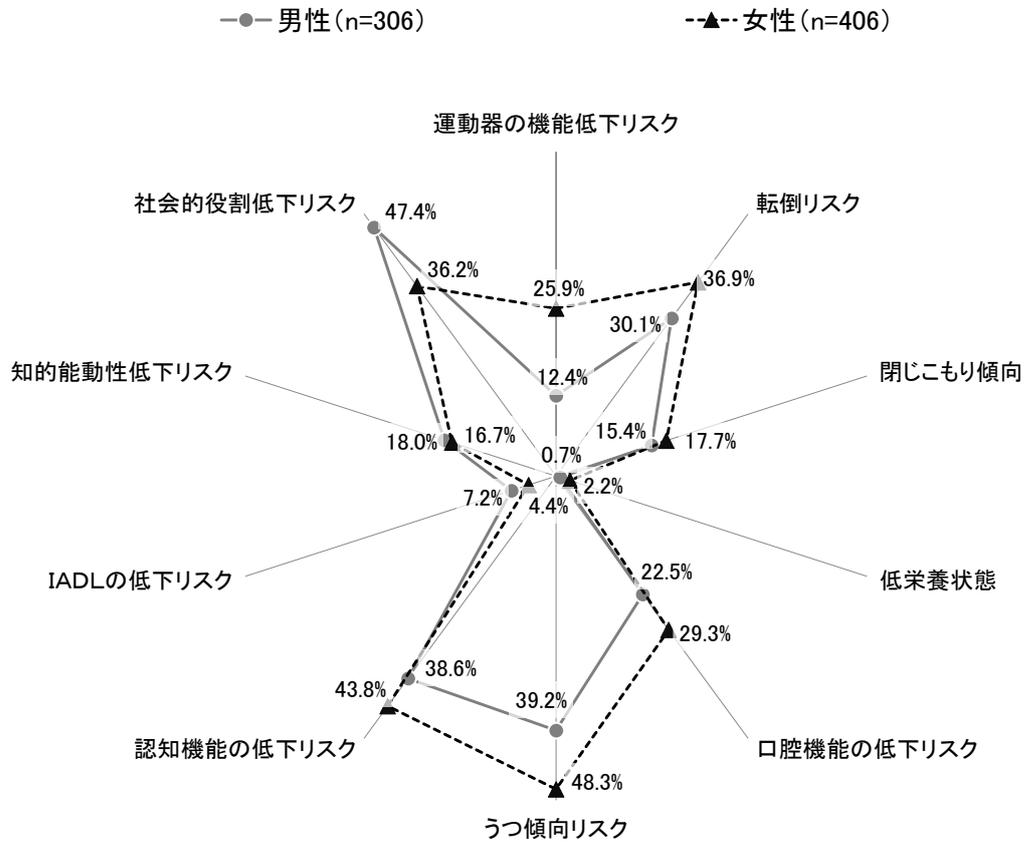
過去の調査と比較すると、「リスク有り」は65～74歳で39.2%と、前回調査より10.7ポイント増加しています。

		(n)	リスク有り	リスク無し	判定不能
全体		733	40.9	52.8	6.3
性別	男性	306	47.4	46.4	6.2
	女性	406	36.2	57.6	6.2
年齢	65～74 歳	304	37.8	58.2	3.9
	75～84 歳	315	40.6	51.7	7.6
	85 歳以上	103	50.5	40.8	8.7
認定	未認定者	579	37.7	56.0	6.4
	要支援者	135	53.3	41.5	5.2
	要介護者	5	80.0	0.0	20.0
世帯	一人暮らし	169	46.7	47.3	5.9
	夫婦のみ	379	36.9	56.5	6.6
	その他の世帯	173	44.5	50.3	5.2

- 性別にみると、男性は「リスク有り」、女性は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、85 歳以上は「リスク有り」、そのほかの年代は「リスク無し」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、未認定者は「リスク無し」、要支援者は「リスク有り」の回答率が最も高くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「リスク無し」の回答率が最も高くなっていますが、一人暮らしのみ 40%台となっています。

■リスク分析のまとめ

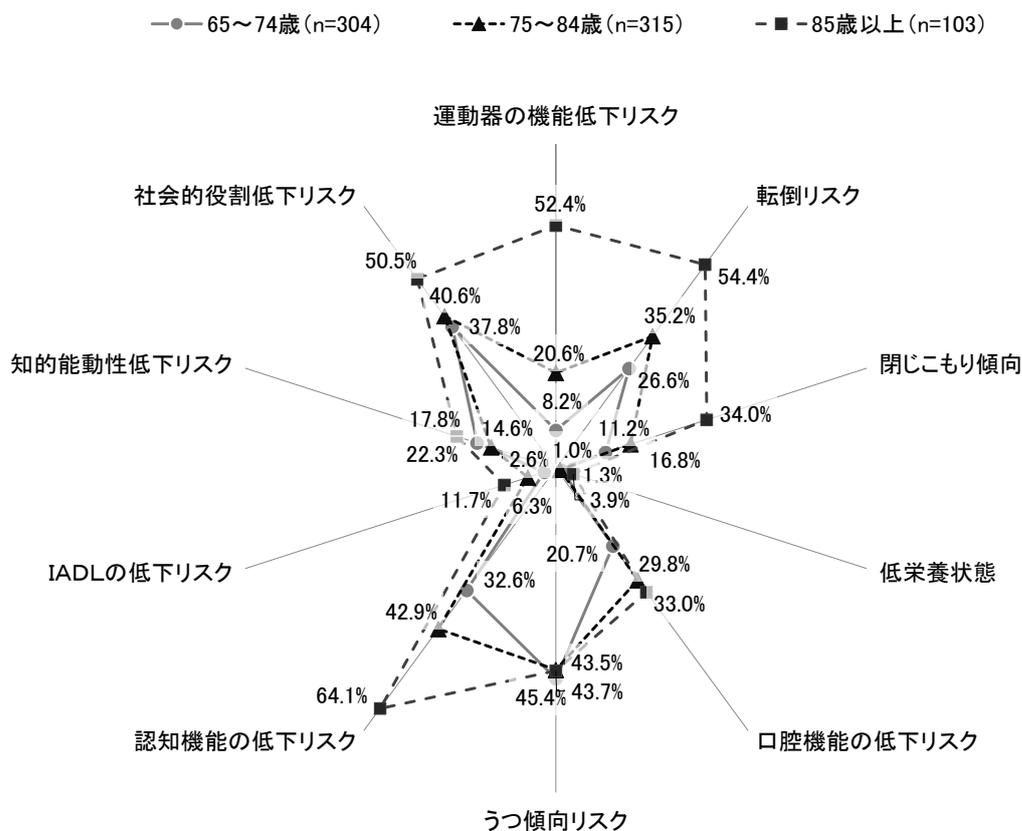
性別リスク分布



	(n)	運動器の機能低下リスク	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下リスク	うつ傾向リスク	認知機能の低下リスク	IADLの低下リスク	知的能動性低下リスク	社会的役割低下リスク
男性	306	12.4	30.1	15.4	0.7	22.5	39.2	38.6	7.2	18.0	47.4
女性	406	25.9	36.9	17.7	2.2	29.3	48.3	43.8	4.4	16.7	36.2

○性別に「リスク有り」の分布をみると、男性は「社会的役割の低下リスク」、女性は「運動器の機能低下リスク」「うつ傾向リスク」でそれぞれ10ポイント程度多くなっています。「知的能動性低下リスク」「社会的役割低下リスク」をのぞき、男性より女性のほうが「リスク有り」の割合が高くなっています。

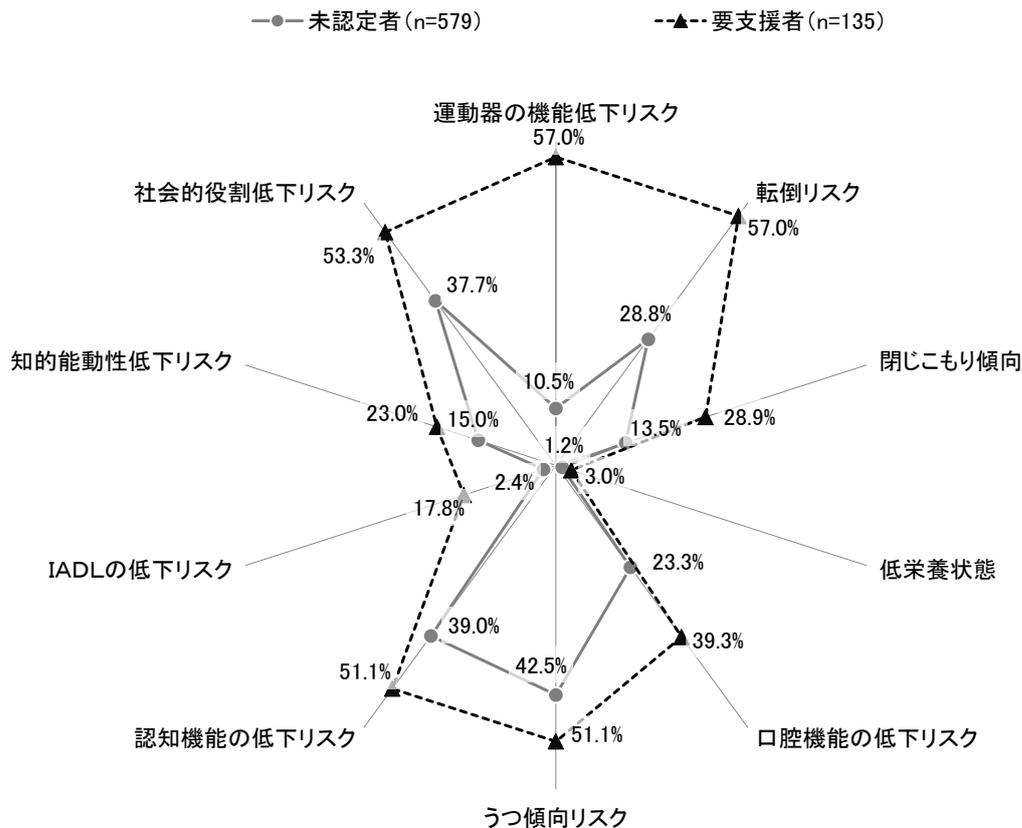
年齢別リスク分布



	(n)	運動器の機能低下リスク	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下リスク	うつ傾向リスク	認知機能の低下リスク	IADLの低下リスク	知的能動性低下リスク	社会的役割低下リスク
65~74歳	304	8.2	26.6	11.2	1.3	20.7	45.4	32.6	2.6	17.8	37.8
75~84歳	315	20.6	35.2	16.8	1.0	29.8	43.5	42.9	6.3	14.6	40.6
85歳以上	103	52.4	54.4	34.0	3.9	33.0	43.7	64.1	11.7	22.3	50.5

○年齢別に「リスク有り」の分布をみると、多くの項目で年齢が高くなるにつれて「リスク有り」の割合が高くなっており、特に「運動器の機能低下リスク」「転倒リスク」「認知機能の低下リスク」「社会的役割低下リスク」は、85歳以上で50%を超えています。一方、「うつ傾向のリスク」は年齢による大きな差はみられず、65~74歳で「リスク有り」が45.4%とほかの年代より高くなっています。

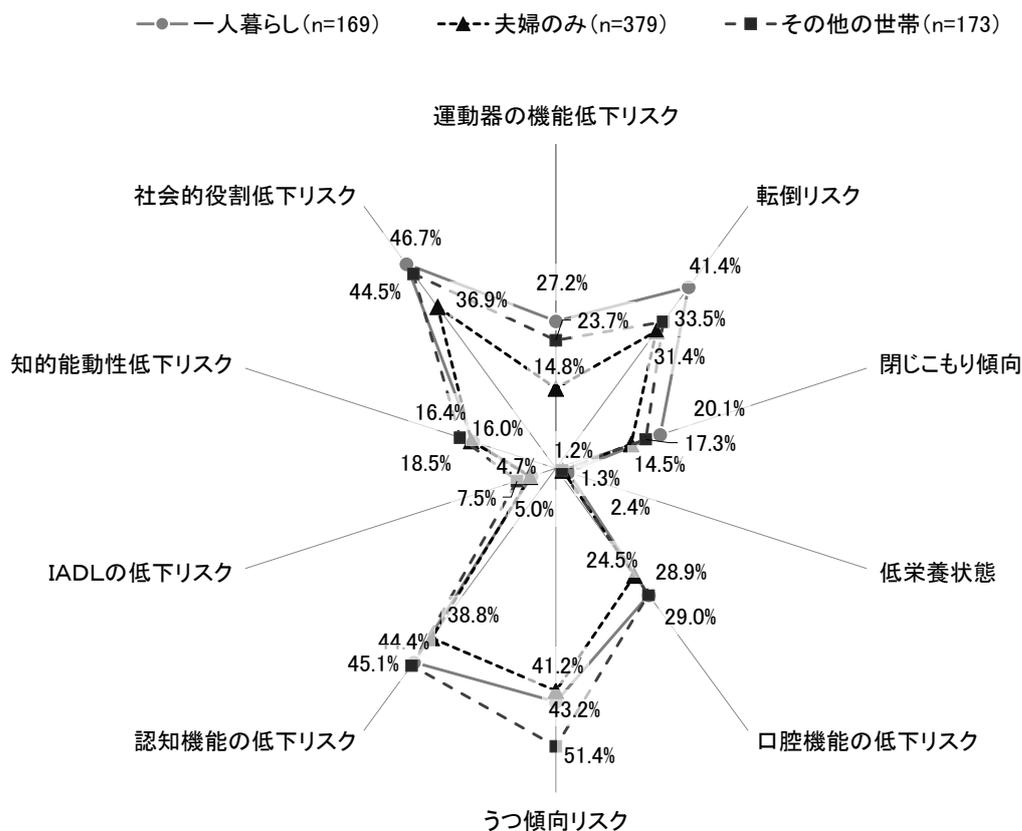
認定別リスク分布



	(n)	運動器の機能低下リスク	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下リスク	うつ傾向リスク	認知機能の低下リスク	IADLの低下リスク	知的能動性低下リスク	社会的役割低下リスク
未認定者	579	10.5	28.8	13.5	1.2	23.3	42.5	39.0	2.4	15.0	37.7
要支援者	135	57.0	57.0	28.9	3.0	39.3	51.1	51.1	17.8	23.0	53.3

○認定別に「リスク有り」の分布をみると、すべての項目で未認定者より要支援者のほうが「リスク有り」の割合が高くなっており、特に「運動器の機能低下リスク」「転倒リスク」ではその差が大きくなっています。一方、「うつ傾向のリスク」「認知機能の低下リスク」「社会的役割低下リスク」は未認定者も「リスク有り」が40%前後と比較的高くなっています。

世帯別リスク分布



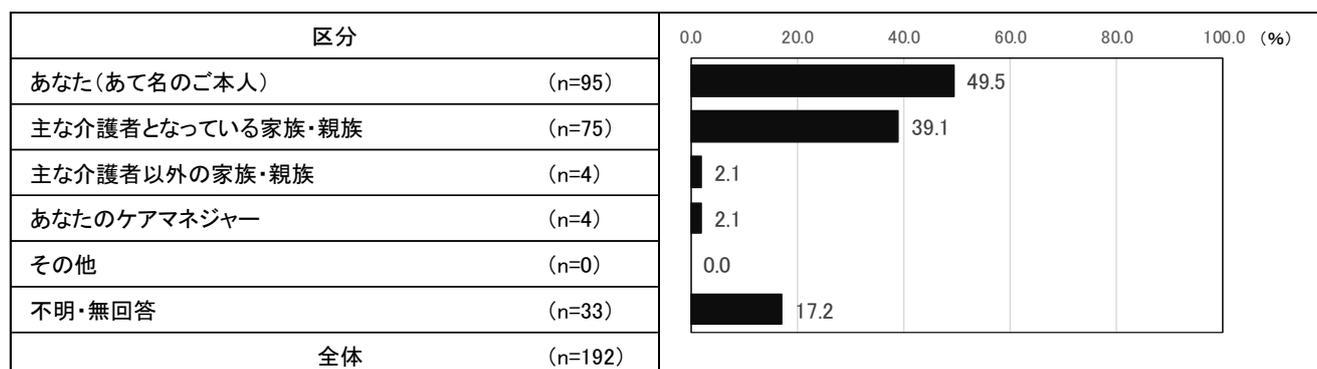
	(n)	運動器の機能低下リスク	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下リスク	うつ傾向リスク	認知機能の低下リスク	IADLの低下リスク	知的能動性低下リスク	社会的役割低下リスク
一人暮らし	169	27.2	41.4	20.1	2.4	29.0	43.2	44.4	4.7	16.0	46.7
夫婦のみ	379	14.8	31.4	14.5	1.3	24.5	41.2	38.8	5.0	16.4	36.9
その他の世帯	173	23.7	33.5	17.3	1.2	28.9	51.4	45.1	7.5	18.5	44.5

○世帯別に「リスク有り」の分布をみると、一人暮らしは「転倒リスク」、その他の世帯は「うつ傾向リスク」で、「リスク有り」の割合が比較的高くなっています。

第3章 在宅介護実態調査結果

回答者の状況

調査票を記入されたのはどなたですか。



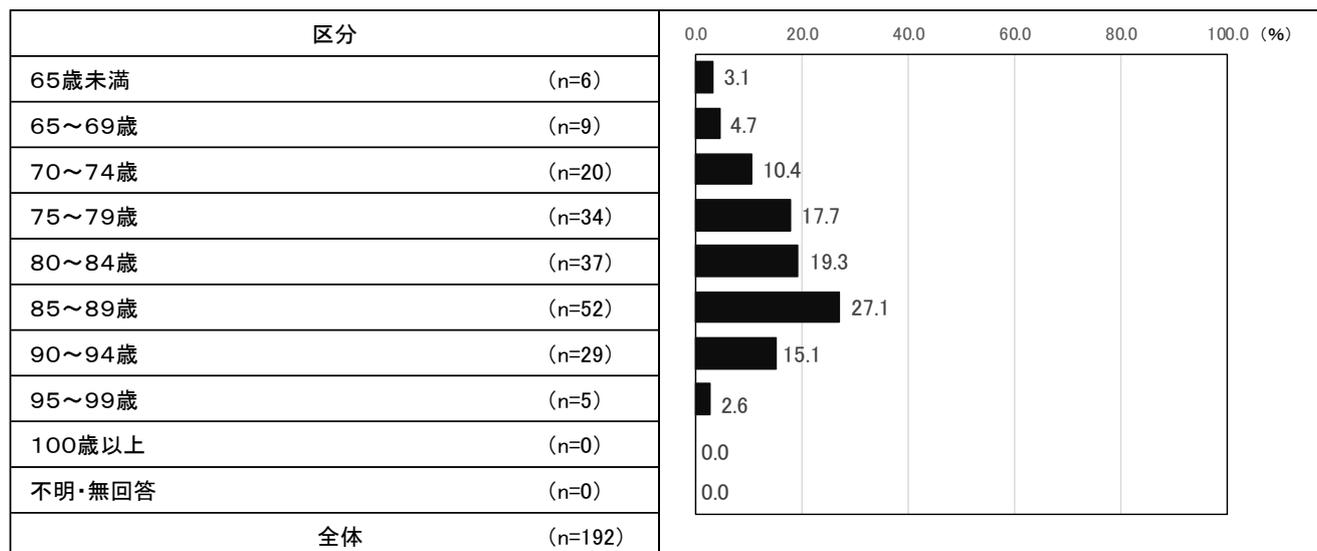
「あなた(あて名のご本人)」が49.5%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が39.1%、「主な介護者以外の家族・親族」と「あなたのケアマネジャー」が、ともに2.1%となっています。

性別(認定データによる集計)



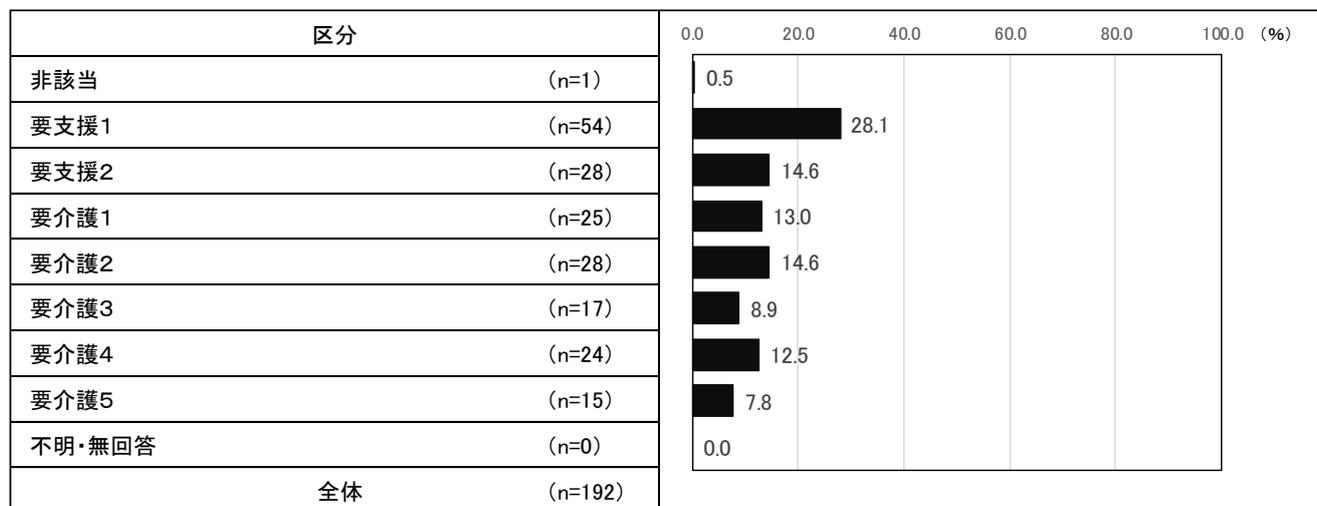
「女性」が62.0%、「男性」が38.0%となっています。

年齢（認定データによる集計）



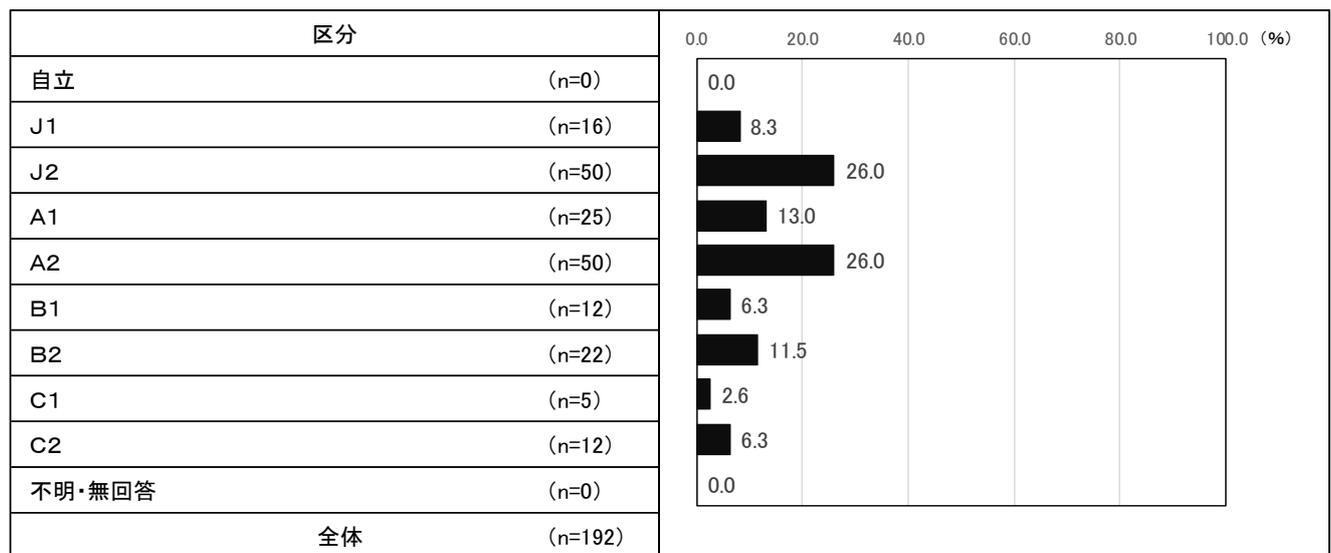
「85～89歳」が27.1%で最も高く、次いで「80～84歳」が19.3%、「75～79歳」が17.7%となっています。

要支援・要介護度（認定データによる集計）



「要支援1」が28.1%で最も高く、次いで「要支援2」と「要介護2」がともに14.6%、「要介護1」が13.0%となっています。

障害高齢者の日常生活自立度（認定データによる集計）

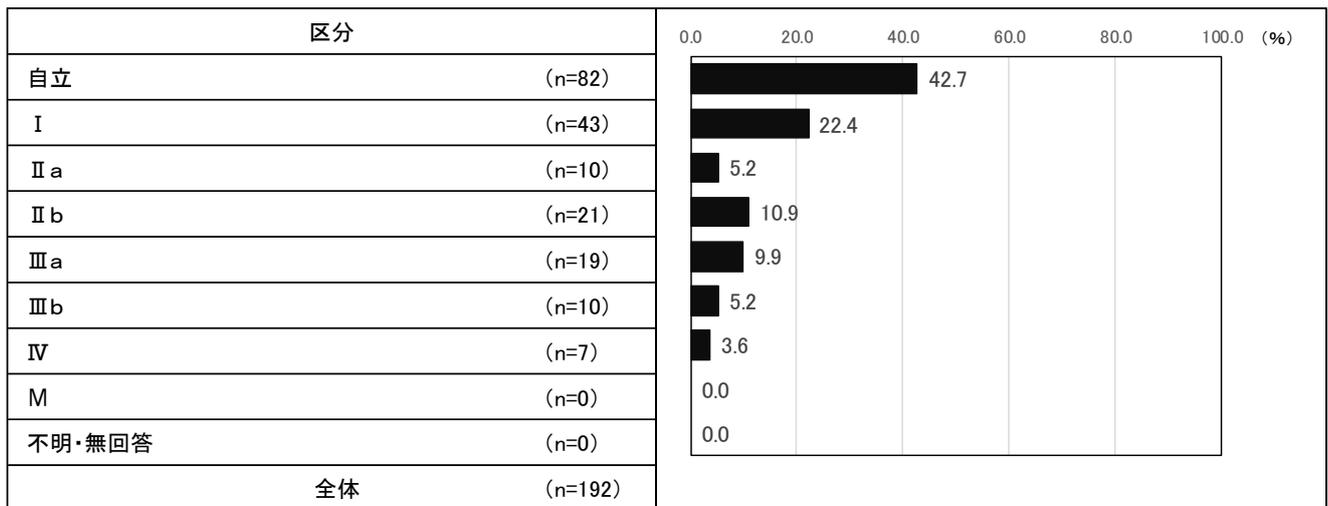


「J2」と「A2」が、ともに26.0%で最も高く、次いで「A1」が13.0%、「B2」が11.5%となっています。

※障害高齢者の日常生活自立度 判定基準について

ランク	判断基準
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
J1	交通機関等を利用して外出する。
J2	隣近所へなら外出する。
A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。
A1	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
A2	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。
B1	車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
B2	介助により車椅子に移乗する。
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。
C1	自力で寝返りをうつ。
C2	自力では寝返りもうてない。

認知症高齢者の日常生活自立度（認定データによる集計）



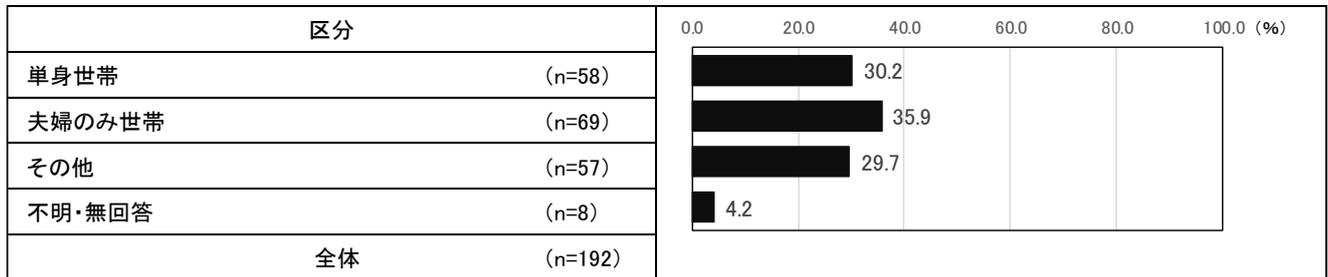
「自立」が42.7%で最も高く、次いで「I」が22.4%、「II b」が10.9%となっています。

※認知症高齢者の日常生活自立度 判定基準について

ランク	判断基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

A票 あなた（あて名のご本人）について

問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つに○）



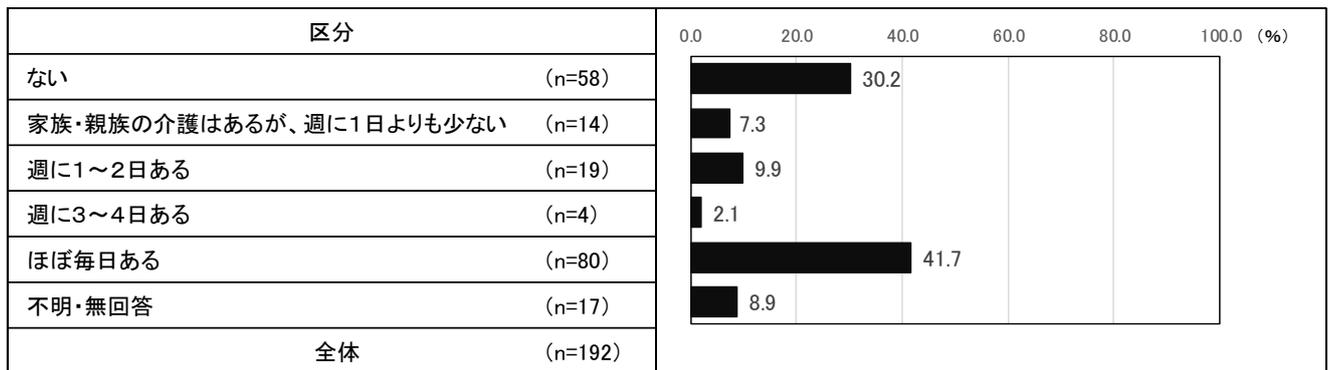
「夫婦のみ世帯」が35.9%で最も高く、次いで「単身世帯」が30.2%、「その他」が29.7%となっています。

		(n)	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	不明・無回答
全体		192	30.2	35.9	29.7	4.2
性別	男性	73	17.8	54.8	23.3	4.1
	女性	119	37.8	24.4	33.6	4.2
年齢	74歳以下	35	8.6	54.3	31.4	5.7
	75～84歳	71	35.2	42.3	22.5	0.0
	85歳以上	86	34.9	23.3	34.9	7.0
認定	要支援者	82	30.5	26.8	36.6	6.1
	要介護者	109	30.3	42.2	24.8	2.8
認知症自立度	自立+Ⅰ	120	32.5	35.0	29.2	3.3
	Ⅱ	31	16.1	32.3	41.9	9.7
	Ⅲ以上	41	34.1	41.5	22.0	2.4
サービス利用	未利用	109	30.3	37.6	30.3	1.8
	訪問系のみ	33	30.3	42.4	21.2	6.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	33.3	44.4	16.7	5.6
	通所系・短期系のみ	32	28.1	18.8	43.8	9.4

- 性別にみると、男性は「夫婦のみ世帯」、女性は「単身世帯」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、74歳以下・75～84歳は「夫婦のみ世帯」、85歳以上は「単身世帯」「その他」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、要支援者は「その他」、要介護者は「夫婦のみ世帯」の回答率が最も高くなっています。
- 認知症自立度別にみると、自立+Ⅰ・Ⅲ以上は「夫婦のみ世帯」、Ⅱは「その他」の回答率が最も高くなっています。
- サービス利用別にみると、通所系・短期系のみは「その他」、そのほかのサービス利用は「夫婦のみ世帯」の回答率が最も高くなっています。

※認定別のクロス集計においては、「非該当」を除き算出しているため、nの合計が192となりません。

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つに○)



「ほぼ毎日ある」が41.7%で最も高く、次いで「ない」が30.2%、「週に1～2日ある」が9.9%となっています。

	(n)	ない	家族・親 族の介 護はある が、週に 1日より も少ない	週に1～ 2日ある	週に3～ 4日ある	ほぼ毎 日ある	不明・無 回答	
全体	192	30.2	7.3	9.9	2.1	41.7	8.9	
年 齢	74 歳以下	35	25.7	11.4	2.9	5.7	48.6	5.7
	75～84 歳	71	36.6	5.6	11.3	1.4	38.0	7.0
	85 歳以上	86	26.7	7.0	11.6	1.2	41.9	11.6
認 定	要支援者	82	36.6	12.2	6.1	1.2	35.4	8.5
	要介護者	109	24.8	3.7	12.8	2.8	46.8	9.2

○年齢別にみると、どの年代も「ほぼ毎日ある」の回答率が最も高くなっていますが、74 歳以下は 40% 台後半と高くなっています。また、「ない」の回答率は 75～84 歳において最も高くなっています。

○認定別にみると、要支援者は「ない」、要介護者は「ほぼ毎日ある」の回答率が最も高くなっています。

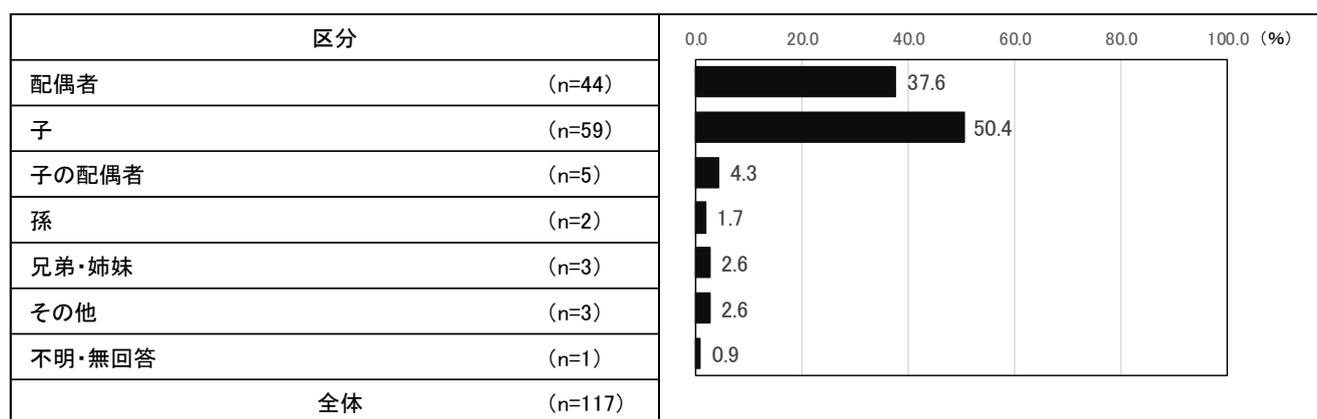
	(n)	ない	家族・親 族の介 護はある が、週に 1日より も少ない	週に1～ 2日ある	週に3～ 4日ある	ほぼ毎 日ある	不明・無 回答	
全体	192	30.2	7.3	9.9	2.1	41.7	8.9	
世帯	単身世帯	58	41.4	3.4	20.7	1.7	20.7	12.1
	夫婦のみ世帯	69	31.9	8.7	7.2	2.9	43.5	5.8
	その他	57	17.5	8.8	3.5	1.8	63.2	5.3
認知症自立度	自立+ I	120	33.3	9.2	10.0	2.5	37.5	7.5
	II	31	22.6	6.5	6.5	3.2	41.9	19.4
	III以上	41	26.8	2.4	12.2	0.0	53.7	4.9
サービス利用	未利用	109	27.5	9.2	9.2	2.8	44.0	7.3
	訪問系のみ	33	36.4	6.1	9.1	0.0	36.4	12.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	55.6	0.0	5.6	5.6	33.3	0.0
	通所系・短期系のみ	32	18.8	6.3	15.6	0.0	43.8	15.6

○世帯別にみると、単身世帯は「ない」、そのほかの世帯は「ほぼ毎日ある」の回答率が最も高くなっています。また、「ほぼ毎日ある」の回答率は、その他において最も高くなっており、「ない」は単身世帯で最も高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「ほぼ毎日ある」の回答率が最も高くなっていますが、III以上は50%台と高くなっています。

○サービス利用別にみると、訪問系のみは「ない」「ほぼ毎日ある」の回答率がともに最も高くなっています。訪問系を含む組み合わせは「ない」、そのほかのサービス利用は「ほぼ毎日ある」の回答率が最も高くなっています。

問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つに○)



「子」が50.4%で最も高く、次いで「配偶者」が37.6%、「子の配偶者」が4.3%となっています。

	(n)	配偶者	子	子の配 偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	不明・ 無回答
全体	117	37.6	50.4	4.3	1.7	2.6	2.6	0.9
性別	男性	46	60.9	37.0	0.0	0.0	2.2	0.0
	女性	71	22.5	59.2	7.0	2.8	2.8	1.4
年齢	74歳以下	24	66.7	16.7	0.0	0.0	4.2	12.5
	75～84歳	40	50.0	40.0	0.0	2.5	5.0	0.0
	85歳以上	53	15.1	73.6	9.4	1.9	0.0	0.0
認定	要支援者	45	28.9	57.8	4.4	2.2	2.2	2.2
	要介護者	72	43.1	45.8	4.2	1.4	2.8	0.0

- 性別にみると、男性は「配偶者」、女性は「子」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、85歳以上は「子」、そのほかの年代は「配偶者」の回答率が最も高くなっています。また、「子の配偶者」は85歳以上でのみ回答があり、9.4%となっています。
- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「子」の回答率が最も高くなっています。また、「配偶者」は要介護者で43.1%と、要支援者より14.2ポイント多くなっています。

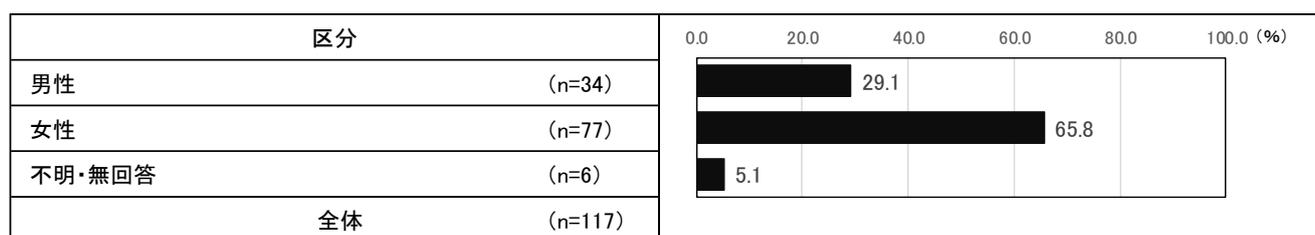
	(n)	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	不明・無回答
全体	117	37.6	50.4	4.3	1.7	2.6	2.6	0.9
世帯	単身世帯	27	0.0	77.8	11.1	3.7	3.7	0.0
	夫婦のみ世帯	43	81.4	16.3	0.0	0.0	0.0	2.3
	その他	44	18.2	65.9	4.5	2.3	4.5	0.0
認知症自立度	自立+ I	71	33.8	53.5	4.2	1.4	1.4	1.4
	II	18	44.4	38.9	5.6	5.6	5.6	0.0
	III以上	28	42.9	50.0	3.6	0.0	3.6	0.0
サービス利用	未利用	71	39.4	53.5	2.8	2.8	0.0	1.4
	訪問系のみ	17	41.2	41.2	5.9	0.0	5.9	0.0
	訪問系を含む組み合わせ	8	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	通所系・短期系のみ	21	23.8	57.1	4.8	0.0	9.5	4.8

○世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「配偶者」、そのほかの世帯は「子」の回答率が最も高くなっています。「子の配偶者」は夫婦のみ世帯では0.0%と回答がみられません。

○認知症自立度別にみると、IIは「配偶者」、そのほかの認知症自立度は「子」の回答率が最も高くなっています。

○サービス利用別にみると、訪問系のみは「配偶者」「子」、訪問系を含む組み合わせは「配偶者」、そのほかのサービス利用は「子」の回答率が最も高くなっています。

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(未記入でも結構です)

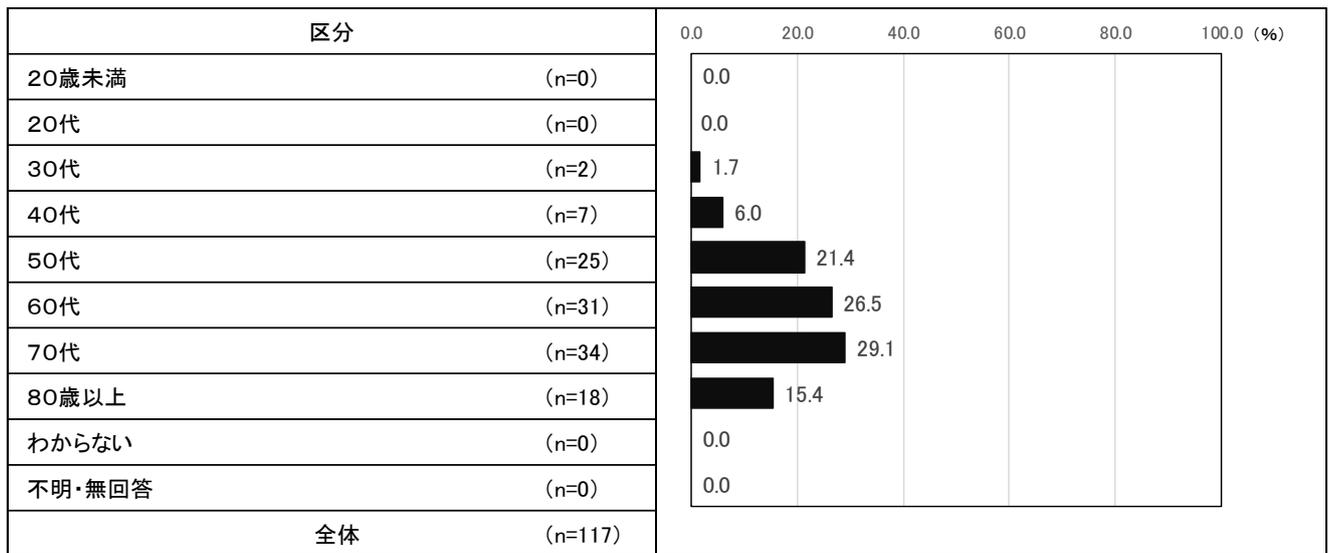


「女性」が65.8%、「男性」が29.1%となっています。

		(n)	男性	女性	不明・無回答
全体		117	29.1	65.8	5.1
性別	男性	46	10.9	87.0	2.2
	女性	71	40.8	52.1	7.0
年齢	74歳以下	24	33.3	58.3	8.3
	75～84歳	40	30.0	65.0	5.0
	85歳以上	53	26.4	69.8	3.8
世帯	単身世帯	27	29.6	66.7	3.7
	夫婦のみ世帯	43	39.5	55.8	4.7
	その他	44	15.9	77.3	6.8
認知症自立度	自立+Ⅰ	71	28.2	66.2	5.6
	Ⅱ	18	38.9	55.6	5.6
	Ⅲ以上	28	25.0	71.4	3.6
サービス利用	未利用	71	36.6	60.6	2.8
	訪問系のみ	17	23.5	70.6	5.9
	訪問系を含む組み合わせ	8	25.0	62.5	12.5
	通所系・短期系のみ	21	9.5	81.0	9.5

- 性別にみると、男女ともに「女性」の回答率が最も高くなっていますが、男性で87.0%と、女性より34.9ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「女性」の回答率が最も高くなっています。年齢が高くなるにつれて「男性」の割合が低くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「女性」の回答率が最も高くなっていますが、その他は70%台と高くなっています。
- 認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「女性」の回答率が最も高くなっていますが、Ⅲ以上は70%台と高くなっています。
- サービス利用別にみると、どのサービス利用も「女性」の回答率が最も高くなっています。「男性」は通所系・短期系のみ10%未満と低くなっています。

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つに○)



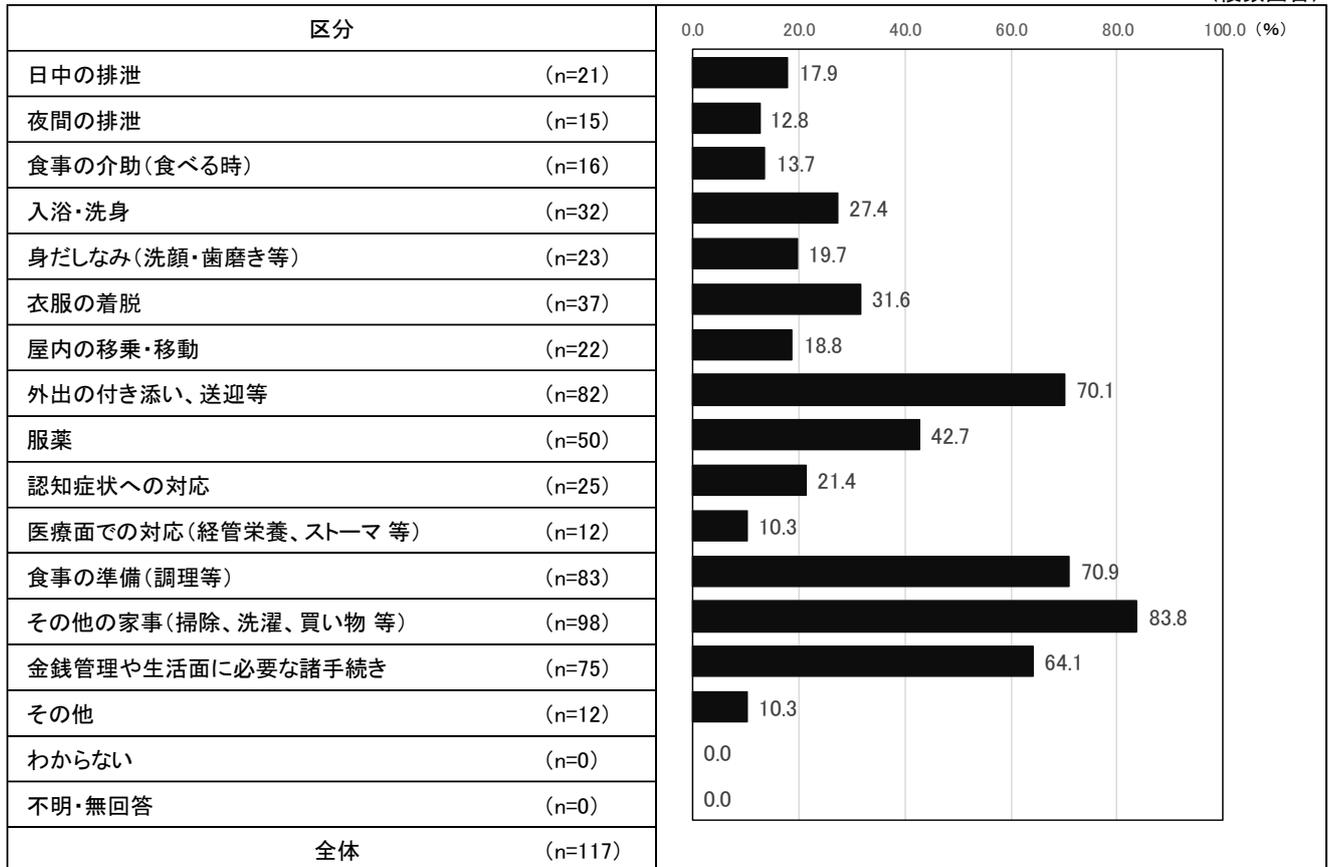
「70代」が29.1%で最も高く、次いで「60代」が26.5%、「50代」が21.4%となっています。

		(n)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
全体		117	0.0	0.0	1.7	6.0	21.4	26.5	29.1	15.4	0.0	0.0
性別	男性	46	0.0	0.0	2.2	6.5	21.7	10.9	34.8	23.9	0.0	0.0
	女性	71	0.0	0.0	1.4	5.6	21.1	36.6	25.4	9.9	0.0	0.0
年齢	74歳以下	24	0.0	0.0	4.2	12.5	12.5	8.3	58.3	4.2	0.0	0.0
	75～84歳	40	0.0	0.0	2.5	7.5	22.5	10.0	35.0	22.5	0.0	0.0
	85歳以上	53	0.0	0.0	0.0	1.9	24.5	47.2	11.3	15.1	0.0	0.0
世帯	単身世帯	27	0.0	0.0	0.0	11.1	29.6	40.7	11.1	7.4	0.0	0.0
	夫婦のみ世帯	43	0.0	0.0	0.0	2.3	9.3	9.3	46.5	32.6	0.0	0.0
	その他	44	0.0	0.0	4.5	6.8	29.5	31.8	22.7	4.5	0.0	0.0
認知症自立度	自立+Ⅰ	71	0.0	0.0	1.4	9.9	23.9	23.9	28.2	12.7	0.0	0.0
	Ⅱ	18	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	27.8	33.3	16.7	0.0	0.0
	Ⅲ以上	28	0.0	0.0	0.0	0.0	17.9	32.1	28.6	21.4	0.0	0.0
サービス利用	未利用	71	0.0	0.0	1.4	4.2	22.5	29.6	25.4	16.9	0.0	0.0
	訪問系のみ	17	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6	11.8	35.3	23.5	0.0	0.0
	訪問系を含む組み合わせ	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0
	通所系・短期系のみ	21	0.0	0.0	4.8	9.5	23.8	28.6	28.6	4.8	0.0	0.0

- 性別にみると、男性は「70代」、女性は「60代」の回答率が最も高くなっています。「60代」は女性で36.6%と、男性より25.7ポイント多くなっています。「80歳以上」は男性で23.9%と、女性より14.0ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、85歳以上は「60代」、そのほかの年代は「70代」の回答率が最も高くなっています。「80歳以上」は75～84歳で22.5%と、最も高くなっています。
- 世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「70代」、そのほかの世帯は「60代」の回答率が最も高くなっています。「80歳以上」は夫婦のみ世帯のみ30%以上と高くなっています。
- 認知症自立度別にみると、Ⅲ以上は「60代」、そのほかの認知症自立度は「70代」の回答率が最も高くなっています。「80歳以上」はⅢ以上で20%以上と高くなっています。
- サービス利用別にみると、訪問系のみ・訪問系を含む組み合わせは「70代」、通所系・短期系のみは「60代」「70代」、未利用は「60代」の回答率が最も高くなっています。

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)



「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 83.8%で最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 70.9%、「外出の付き添い、送迎等」が 70.1%となっています。

		(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		117	17.9	12.8	13.7	27.4	19.7	31.6	18.8	70.1	42.7	
性別	男性	46	21.7	10.9	10.9	39.1	17.4	37.0	10.9	69.6	43.5	
	女性	71	15.5	14.1	15.5	19.7	21.1	28.2	23.9	70.4	42.3	
年齢	74歳以下	24	12.5	8.3	8.3	37.5	8.3	20.8	20.8	66.7	20.8	
	75～84歳	40	17.5	10.0	7.5	25.0	20.0	40.0	15.0	72.5	45.0	
	85歳以上	53	20.8	17.0	20.8	24.5	24.5	30.2	20.8	69.8	50.9	
		(n)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答		
全体		117	21.4	10.3	70.9	83.8	64.1	10.3	0.0	0.0		
性別	男性	46	23.9	15.2	73.9	73.9	65.2	13.0	0.0	0.0		
	女性	71	19.7	7.0	69.0	90.1	63.4	8.5	0.0	0.0		
年齢	74歳以下	24	4.2	0.0	70.8	83.3	45.8	8.3	0.0	0.0		
	75～84歳	40	25.0	12.5	67.5	82.5	67.5	7.5	0.0	0.0		
	85歳以上	53	26.4	13.2	73.6	84.9	69.8	13.2	0.0	0.0		

○性別にみると、男性は「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、女性は「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の回答率が最も高くなっています。また、「入浴・洗身」は19.4ポイント、「衣服の着脱」は8.8ポイント、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」は8.2ポイント、女性より男性のほうが多くなっています。「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」は16.2ポイント、「屋内の移乗・移動」は13.0ポイント、男性より女性のほうが多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の回答率が最も高くなっています。「認知症状への対応」は、75歳以上の年代で20%台後半となっています。「入浴・洗身」は74歳以下で30%台後半と高くなっていますが、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は74歳以下のみ40%台と低くなっています。

	(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体	117	17.9	12.8	13.7	27.4	19.7	31.6	18.8	70.1	42.7	
認定	要支援者	45	15.6	15.6	35.6	20.0	31.1	13.3	62.2	42.2	
	要介護者	72	19.4	11.1	12.5	22.2	19.4	31.9	22.2	75.0	43.1
世帯	単身世帯	27	7.4	11.1	11.1	3.7	11.1	14.8	11.1	63.0	25.9
	夫婦のみ世帯	43	16.3	9.3	11.6	37.2	25.6	34.9	20.9	67.4	41.9
	その他	44	27.3	18.2	18.2	34.1	20.5	40.9	22.7	77.3	54.5
	(n)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答		
全体	117	21.4	10.3	70.9	83.8	64.1	10.3	0.0	0.0		
認定	要支援者	45	20.0	11.1	68.9	75.6	66.7	13.3	0.0	0.0	
	要介護者	72	22.2	9.7	72.2	88.9	62.5	8.3	0.0	0.0	
世帯	単身世帯	27	11.1	7.4	55.6	74.1	59.3	3.7	0.0	0.0	
	夫婦のみ世帯	43	23.3	7.0	72.1	83.7	60.5	7.0	0.0	0.0	
	その他	44	27.3	11.4	84.1	88.6	72.7	18.2	0.0	0.0	

○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の回答率が最も高くなっています。「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」は13.3ポイント、「外出の付き添い、送迎等」は12.8ポイント、「屋内の移乗・移動」は8.9ポイント、要支援者より要介護者のほうが多くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の回答率が最も高くなっています。単身世帯は「入浴・洗身」「衣服の着脱」「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」がほかの世帯より10ポイント以上少なくなっています。

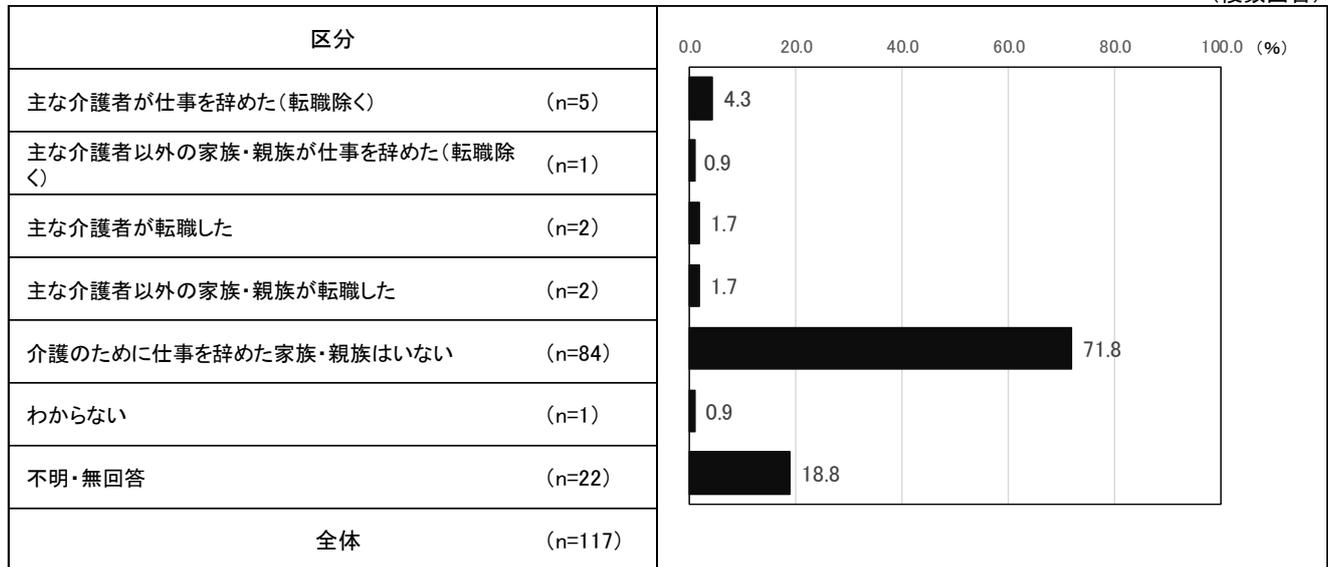
	(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体	117	17.9	12.8	13.7	27.4	19.7	31.6	18.8	70.1	42.7	
認知症自立度	自立+ I	71	18.3	16.9	15.5	31.0	19.7	32.4	16.9	63.4	40.8
	II	18	16.7	5.6	16.7	27.8	27.8	38.9	27.8	72.2	50.0
	III以上	28	17.9	7.1	7.1	17.9	14.3	25.0	17.9	85.7	42.9
サービス利用	未利用	71	19.7	8.5	14.1	25.4	18.3	25.4	21.1	69.0	46.5
	訪問系のみ	17	11.8	23.5	5.9	29.4	23.5	52.9	5.9	58.8	47.1
	訪問系を含む組み合わせ	8	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0
	通所系・短期系のみ	21	23.8	23.8	19.0	33.3	23.8	42.9	23.8	85.7	33.3
	(n)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	不明・無回答		
全体	117	21.4	10.3	70.9	83.8	64.1	10.3	0.0	0.0		
認知症自立度	自立+ I	71	21.1	8.5	69.0	80.3	62.0	11.3	0.0	0.0	
	II	18	22.2	11.1	72.2	100.0	72.2	5.6	0.0	0.0	
	III以上	28	21.4	14.3	75.0	82.1	64.3	10.7	0.0	0.0	
サービス利用	未利用	71	25.4	12.7	70.4	81.7	69.0	15.5	0.0	0.0	
	訪問系のみ	17	17.6	0.0	70.6	88.2	64.7	0.0	0.0	0.0	
	訪問系を含む組み合わせ	8	12.5	0.0	75.0	100.0	37.5	12.5	0.0	0.0	
	通所系・短期系のみ	21	14.3	14.3	71.4	81.0	57.1	0.0	0.0	0.0	

○認知症自立度別にみると、自立+ I・IIは「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、III以上は「外出の付き添い、送迎等」の回答率が最も高くなっています。

○サービス利用別にみると、通所系・短期系のみは「外出の付き添い、送迎等」、そのほかのサービス利用は「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の回答率が最も高くなっています。未利用は、「認知症状への対応」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は未利用で割合が高く、「食事の介助(食べる時)」「屋内の移乗・移動」は訪問系のみで低くなっています。

問7 ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも)

(複数回答)



「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 71.8%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 4.3%、「主な介護者が転職した」と「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が、ともに 1.7%となっています。

		(n)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族 が転職した	介護のために仕事を辞めた家 族・親族はいない	わからない	不明・無回答
全体		117	4.3	0.9	1.7	1.7	71.8	0.9	18.8
性別	男性	46	2.2	2.2	0.0	0.0	78.3	2.2	15.2
	女性	71	5.6	0.0	2.8	2.8	67.6	0.0	21.1
年齢	74歳以下	24	4.2	0.0	0.0	0.0	83.3	4.2	8.3
	75～84歳	40	0.0	0.0	5.0	2.5	67.5	0.0	25.0
	85歳以上	53	7.5	1.9	0.0	1.9	69.8	0.0	18.9
認定	要支援者	45	6.7	0.0	0.0	0.0	71.1	0.0	22.2
	要介護者	72	2.8	1.4	2.8	2.8	72.2	1.4	16.7

- 性別にみると、男女ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっていますが、男性は78.3%と、女性より10.7ポイント多くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっており、74歳以下は80%台と高くなっています。
- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっています。

	(n)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族 が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族 が転職した	介護のために仕事を辞めた家 族・親族はいない	わからない	不明・無回答	
全体	117	4.3	0.9	1.7	1.7	71.8	0.9	18.8	
世帯	単身世帯	27	3.7	0.0	0.0	0.0	74.1	0.0	22.2
	夫婦のみ世帯	43	4.7	0.0	2.3	0.0	76.7	0.0	16.3
	その他	44	4.5	2.3	2.3	4.5	68.2	0.0	18.2
認知症自立度	自立+ I	71	7.0	0.0	1.4	1.4	69.0	0.0	21.1
	II	18	0.0	0.0	5.6	5.6	72.2	0.0	16.7
	III以上	28	0.0	3.6	0.0	0.0	78.6	3.6	14.3
サービス利用	未利用	71	4.2	1.4	1.4	2.8	69.0	0.0	21.1
	訪問系のみ	17	5.9	0.0	5.9	0.0	76.5	0.0	11.8
	訪問系を含む組み合わせ	8	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	12.5	12.5
	通所系・短期系のみ	21	0.0	0.0	0.0	0.0	81.0	0.0	19.0

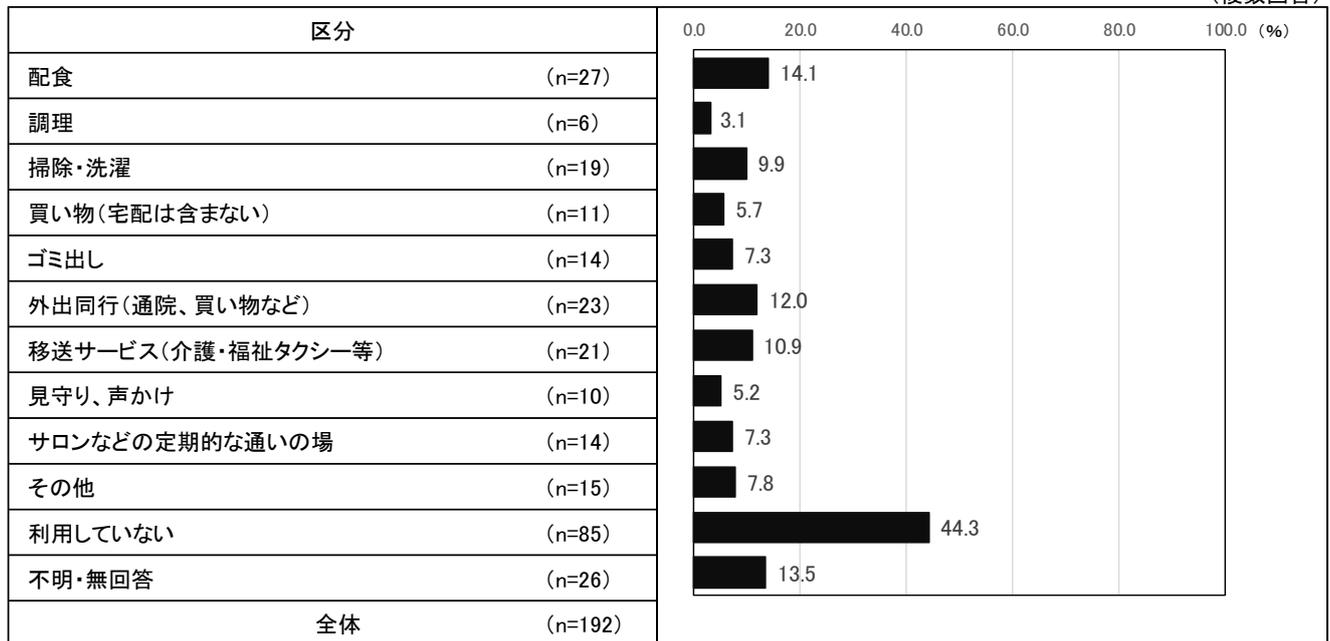
○世帯別にみると、どの世帯も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は自立+ Iのみ回答があり、7.0%となっています。

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の回答率が最も高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は訪問系を含む組み合わせのみ10%台となっています。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)



「利用していない」が44.3%で最も高く、次いで「配食」が14.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が12.0%となっています。

		(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	「出し出し」	外出同行(通院、買い物等)
全体		192	14.1	3.1	9.9	5.7	7.3	12.0
性別	男性	73	12.3	2.7	6.8	8.2	9.6	12.3
	女性	119	15.1	3.4	11.8	4.2	5.9	11.8
年齢	74歳以下	35	5.7	0.0	0.0	5.7	2.9	11.4
	75～84歳	71	8.5	4.2	12.7	4.2	7.0	11.3
	85歳以上	86	22.1	3.5	11.6	7.0	9.3	12.8
認定	要支援者	82	18.3	3.7	8.5	4.9	7.3	11.0
	要介護者	109	11.0	2.8	11.0	6.4	7.3	12.8
		(n)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
全体		192	10.9	5.2	7.3	7.8	44.3	13.5
性別	男性	73	13.7	4.1	6.8	5.5	43.8	17.8
	女性	119	9.2	5.9	7.6	9.2	44.5	10.9
年齢	74歳以下	35	5.7	5.7	5.7	17.1	40.0	17.1
	75～84歳	71	14.1	4.2	5.6	7.0	47.9	16.9
	85歳以上	86	10.5	5.8	9.3	4.7	43.0	9.3
認定	要支援者	82	8.5	4.9	9.8	8.5	47.6	12.2
	要介護者	109	12.8	5.5	5.5	7.3	41.3	14.7

- 性別にみると、男女ともに「利用していない」の回答率が最も高くなっています。次いで、男性では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、女性では「配食」が高くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「利用していない」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「配食」の割合が高くなっており、85歳以上では20%台となっています。
- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「利用していない」の回答率が最も高くなっています。次いで、要支援者では「配食」、要介護者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。

	(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院・買い物等)	
全体	192	14.1	3.1	9.9	5.7	7.3	12.0	
世帯	単身世帯	58	20.7	1.7	17.2	6.9	10.3	12.1
	夫婦のみ世帯	69	10.1	5.8	8.7	4.3	8.7	11.6
	その他	57	8.8	0.0	1.8	3.5	1.8	10.5
認知症自立度	自立+ I	120	15.8	3.3	10.8	6.7	8.3	13.3
	II	31	6.5	0.0	6.5	0.0	0.0	9.7
	III以上	41	14.6	4.9	9.8	7.3	9.8	9.8
	(n)	福祉タクシー等 移送サービス(介護・ 福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	利用していない	不明・無回答	
全体	192	10.9	5.2	7.3	7.8	44.3	13.5	
世帯	単身世帯	58	5.2	6.9	8.6	3.4	44.8	8.6
	夫婦のみ世帯	69	11.6	5.8	5.8	10.1	44.9	15.9
	その他の世帯	57	15.8	1.8	7.0	10.5	47.4	14.0
認知症自立度	自立+ I	120	9.2	5.8	8.3	7.5	45.0	11.7
	II	31	12.9	0.0	9.7	12.9	38.7	19.4
	III以上	41	14.6	7.3	2.4	4.9	46.3	14.6

○世帯別にみると、どの世帯も「利用していない」「利用していない」の回答率が最も高くなっています。また、「配食」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」は単身世帯で高くなっていますが、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」では低くなっています。

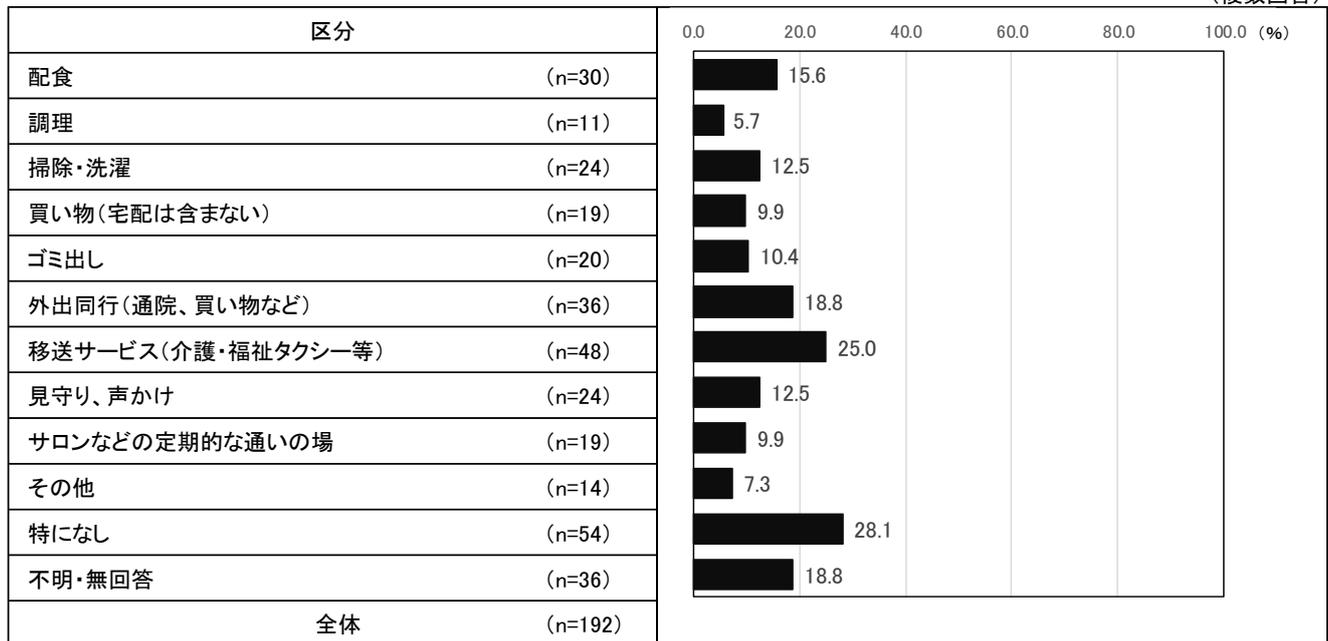
○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「利用していない」の回答率が最も高くなっています。

		(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物等)
全体		192	14.1	3.1	9.9	5.7	7.3	12.0
サービス利用	未利用	109	17.4	5.5	12.8	6.4	10.1	15.6
	訪問系のみ	33	12.1	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0
	訪問系を含む組み合わせ	18	11.1	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0
	通所系・短期系のみ	32	6.3	0.0	6.3	9.4	6.3	15.6
		(n)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	不明・無回答
全体		192	10.9	5.2	7.3	7.8	44.3	13.5
サービス利用	未利用	109	11.9	6.4	10.1	6.4	43.1	11.0
	訪問系のみ	33	6.1	3.0	0.0	6.1	51.5	21.2
	訪問系を含む組み合わせ	18	5.6	0.0	5.6	11.1	50.0	16.7
	通所系・短期系のみ	32	15.6	6.3	6.3	12.5	37.5	12.5

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「利用していない」の回答率が最も高くなっています。また、「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」は、未利用・通所系・短期系で高くなっています。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じるサービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じるサービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

(複数回答)



「特になし」が28.1%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.0%、「外出同行（通院、買い物等）」が18.8%となっています。

		(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物等)
全体		192	15.6	5.7	12.5	9.9	10.4	18.8
性別	男性	73	11.0	5.5	9.6	12.3	9.6	21.9
	女性	119	18.5	5.9	14.3	8.4	10.9	16.8
年齢	74歳以下	35	8.6	0.0	8.6	8.6	11.4	20.0
	75～84歳	71	14.1	4.2	12.7	5.6	7.0	14.1
	85歳以上	86	19.8	9.3	14.0	14.0	12.8	22.1
認定	要支援者	82	15.9	3.7	9.8	7.3	8.5	18.3
	要介護者	109	15.6	7.3	14.7	11.9	11.9	19.3
		(n)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	不明・無回答
全体		192	25.0	12.5	9.9	7.3	28.1	18.8
性別	男性	73	23.3	12.3	9.6	5.5	24.7	26.0
	女性	119	26.1	12.6	10.1	8.4	30.3	14.3
年齢	74歳以下	35	17.1	8.6	14.3	8.6	28.6	17.1
	75～84歳	71	26.8	9.9	11.3	9.9	25.4	18.3
	85歳以上	86	26.7	16.3	7.0	4.7	30.2	19.8
認定	要支援者	82	25.6	11.0	11.0	8.5	29.3	17.1
	要介護者	109	24.8	13.8	9.2	6.4	26.6	20.2

○性別にみると、男女ともに「特になし」の回答率が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」となっています。

○年齢別にみると、75～84歳は「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、そのほかの年代は「特になし」の回答率が最も高くなっています。年齢が高くなるにつれて「配食」「調理」「掃除・洗濯」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」の割合が高くなっています。「サロンなどの定期的な通いの場」は、年齢が高くなるにつれて割合が低くなっています。

○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「特になし」の回答率が最も高くなっています。また、「調理」「掃除・洗濯」「買い物(宅配は含まない)」「ゴミ出し」「外出同行(通院、買い物等)」「見守り、声かけ」の割合は、要介護者のほうが高くなっています。

	(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物等)	
全体	192	15.6	5.7	12.5	9.9	10.4	18.8	
世帯	単身世帯	58	22.4	3.4	19.0	12.1	13.8	17.2
	夫婦のみ世帯	69	10.1	8.7	11.6	8.7	11.6	20.3
	その他	57	14.0	3.5	7.0	7.0	3.5	19.3
認知症自立度	自立+ I	120	16.7	5.8	12.5	10.0	8.3	19.2
	II	31	6.5	0.0	3.2	6.5	3.2	12.9
	III以上	41	19.5	9.8	19.5	12.2	22.0	22.0
	(n)	移送サービス(介護・福祉タクシー等) 福祉タクシー等	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	不明・無回答	
全体	192	25.0	12.5	9.9	7.3	28.1	18.8	
世帯	単身世帯	58	25.9	13.8	10.3	8.6	15.5	19.0
	夫婦のみ世帯	69	20.3	11.6	7.2	8.7	30.4	17.4
	その他	57	29.8	8.8	12.3	5.3	42.1	17.5
認知症自立度	自立+ I	120	26.7	11.7	13.3	7.5	30.0	13.3
	II	31	22.6	6.5	0.0	9.7	29.0	35.5
	III以上	41	22.0	19.5	7.3	4.9	22.0	22.0

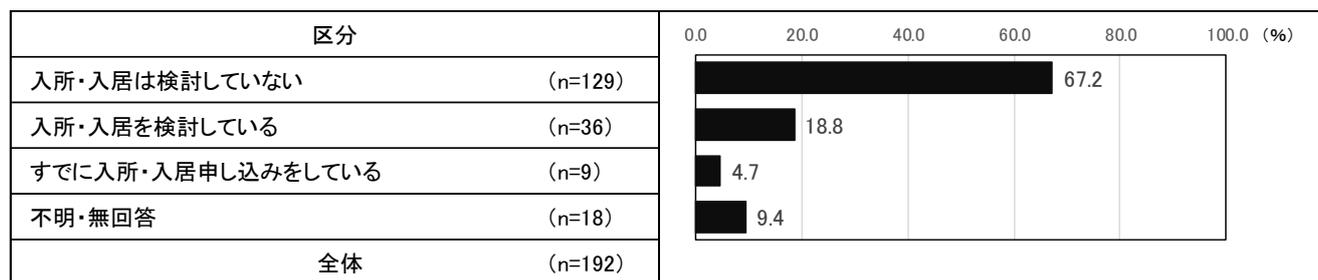
○世帯別にみると、単身世帯は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、そのほかの世帯は「特になし」の回答率が最も高くなっています。「配食」「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」は、単身世帯で高くなっています。

○認知症自立度別にみると、自立+ I・IIは「特になし」、III以上は「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「特になし」の回答率が最も高くなっています。次いで、自立+ I・IIは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、III以上は「配食」「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」が高くなっています。

	(n)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物等)
全体	192	15.6	5.7	12.5	9.9	10.4	18.8
サービス利用	未利用	109	14.7	8.3	13.8	10.1	22.9
	訪問系のみ	33	15.2	3.0	9.1	3.0	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	33.3	0.0	22.2	27.8	16.7
	通所系・短期系のみ	32	9.4	3.1	6.3	6.3	15.6
	(n)	福祉サービス(介護・福祉タクシー等) 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	不明・無回答
全体	192	25.0	12.5	9.9	7.3	28.1	18.8
サービス利用	未利用	109	27.5	14.7	10.1	7.3	17.4
	訪問系のみ	33	21.2	9.1	9.1	12.1	21.2
	訪問系を含む組み合わせ	18	33.3	5.6	11.1	5.6	11.1
	通所系・短期系のみ	32	15.6	12.5	9.4	3.1	25.0

○サービス利用別にみると、訪問系を含む組み合わせは「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、そのほかのサービス利用は「特になし」の回答率が最も高くなっています。また、「配食」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」は、訪問系を含む組み合わせのみで10ポイント以上多くなっています。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つに○)



「入所・入居は検討していない」が 67.2%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 18.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.7%となっています。

	(n)	入所・入居は 検討してい ない	入所・入居を 検討している	すでに入所・ 入居申込みを している	不明・無回答	
全体	192	67.2	18.8	4.7	9.4	
年齢	74歳以下	35	74.3	8.6	2.9	14.3
	75～84歳	71	67.6	21.1	5.6	5.6
	85歳以上	86	64.0	20.9	4.7	10.5
認定	要支援者	82	69.5	17.1	4.9	8.5
	要介護者	109	65.1	20.2	4.6	10.1

○年齢別にみると、どの年代も「入所・入居は検討していない」の回答率が最も高くなっています。

「入所・入居を検討している」は 74歳以下で 8.6%と、ほかの年代より低くなっています。

○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「入所・入居は検討していない」の回答率が最も高くなっています。

		(n)	入所・入居は 検討していな い	入所・入居を 検討している	すでに入所・ 入居申込みを している	不明・無回答
全体		192	67.2	18.8	4.7	9.4
世帯	単身世帯	58	60.3	24.1	5.2	10.3
	夫婦のみ世帯	69	71.0	15.9	2.9	10.1
	その他	57	71.9	17.5	7.0	3.5
認知症自立度	自立+ I	120	66.7	19.2	6.7	7.5
	II	31	64.5	12.9	0.0	22.6
	III以上	41	70.7	22.0	2.4	4.9
サービス利用	未利用	109	60.6	22.9	5.5	11.0
	訪問系のみ	33	75.8	15.2	0.0	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	72.2	11.1	11.1	5.6
	通所系・短期系のみ	32	78.1	12.5	3.1	6.3

○世帯別にみると、どの世帯も「入所・入居は検討していない」の回答率が最も高くなっています。

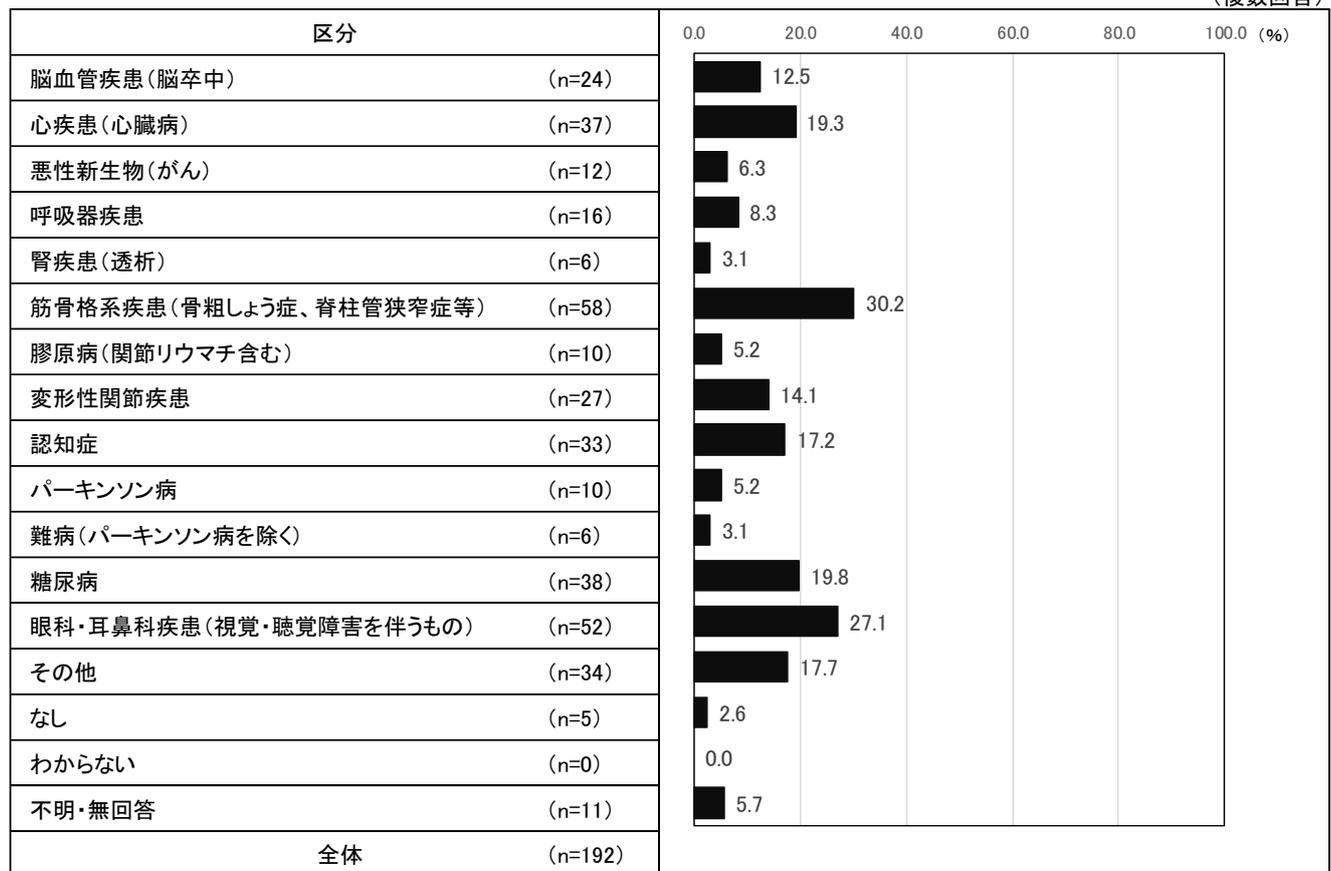
「入所・入居を検討している」は単身世帯で24.1%と、ほかの世帯より高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「入所・入居は検討していない」の回答率が最も高くなっています。また、「すでに入所・入居申込みをしている」は、IIで12.9%と他の認知症自立度より低くなっています。

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「入所・入居は検討していない」の回答率が最も高くなっていますが、未利用は約60%と低くなっています。また、「入所・入居を検討している」は未利用のみ20%以上と高くなっています。

問11 あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)



「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が30.2%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が27.1%、「糖尿病」が19.8%となっています。

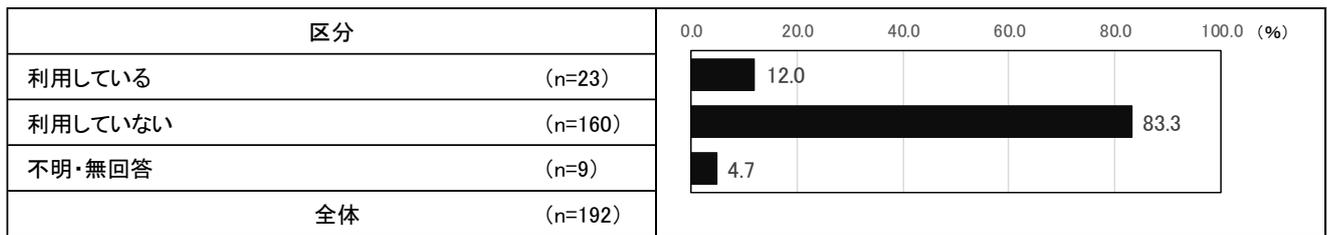
		(n)	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症
全体		192	12.5	19.3	6.3	8.3	3.1	30.2	5.2	14.1	17.2
性別	男性	73	17.8	24.7	8.2	8.2	5.5	23.3	4.1	9.6	19.2
	女性	119	9.2	16.0	5.0	8.4	1.7	34.5	5.9	16.8	16.0
年齢	74歳以下	35	28.6	14.3	2.9	8.6	2.9	28.6	8.6	14.3	14.3
	75～84歳	71	12.7	14.1	8.5	2.8	4.2	31.0	8.5	15.5	18.3
	85歳以上	86	5.8	25.6	5.8	12.8	2.3	30.2	1.2	12.8	17.4
認定	要支援者	82	9.8	14.6	4.9	9.8	3.7	32.9	8.5	12.2	14.6
	要介護者	109	14.7	22.9	7.3	7.3	2.8	27.5	2.8	14.7	19.3
		(n)	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	不明・無回答	
全体		192	5.2	3.1	19.8	27.1	17.7	2.6	0.0	5.7	
性別	男性	73	8.2	2.7	21.9	30.1	19.2	2.7	0.0	9.6	
	女性	119	3.4	3.4	18.5	25.2	16.8	2.5	0.0	3.4	
年齢	74歳以下	35	14.3	11.4	22.9	22.9	11.4	0.0	0.0	2.9	
	75～84歳	71	7.0	2.8	23.9	23.9	14.1	2.8	0.0	7.0	
	85歳以上	86	0.0	0.0	15.1	31.4	23.3	3.5	0.0	5.8	
認定	要支援者	82	4.9	1.2	25.6	23.2	15.9	0.0	0.0	8.5	
	要介護者	109	5.5	4.6	15.6	30.3	18.3	4.6	0.0	3.7	

○性別にみると、男性は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、女性は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、74歳以下・75～84歳は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、85歳以上は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「脳血管疾患（脳卒中）」「膠原病（関節リウマチ含む）」「パーキンソン病」「難病（パーキンソン病を除く）」の割合が低くなっています。

○認定別にみると、要支援者は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、要介護者は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の回答率が最も高くなっています。

問12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。



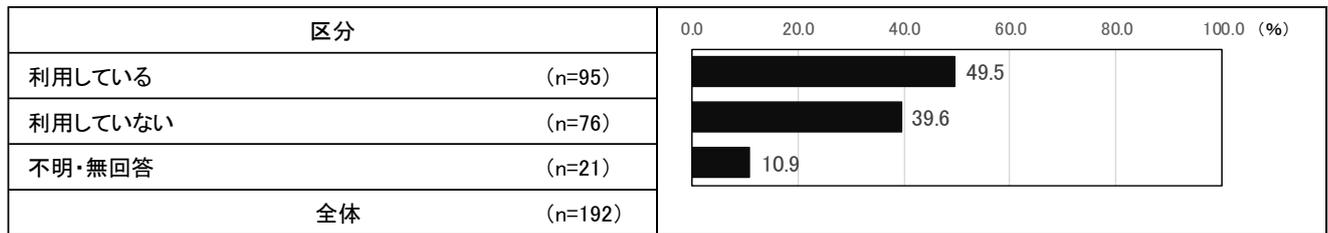
「利用していない」が83.3%、「利用している」が12.0%となっています。

		(n)	利用している	利用していない	不明・無回答
全体		192	12.0	83.3	4.7
認知症自立度	自立+ I	120	11.7	82.5	5.8
	II	31	6.5	90.3	3.2
	III以上	41	17.1	80.5	2.4
サービス利用	未利用	109	11.9	82.6	5.5
	訪問系のみ	33	18.2	72.7	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	0.0	100.0	0.0
	通所系・短期系のみ	32	12.5	87.5	0.0

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「利用していない」の回答率が最も高くなっていますが、IIは90%以上と高くなっています。

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「利用していない」の回答率が最も高くなっていますが、訪問系を含む組み合わせは100.0%となっています。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。



「利用している」が49.5%、「利用していない」が39.6%となっています。

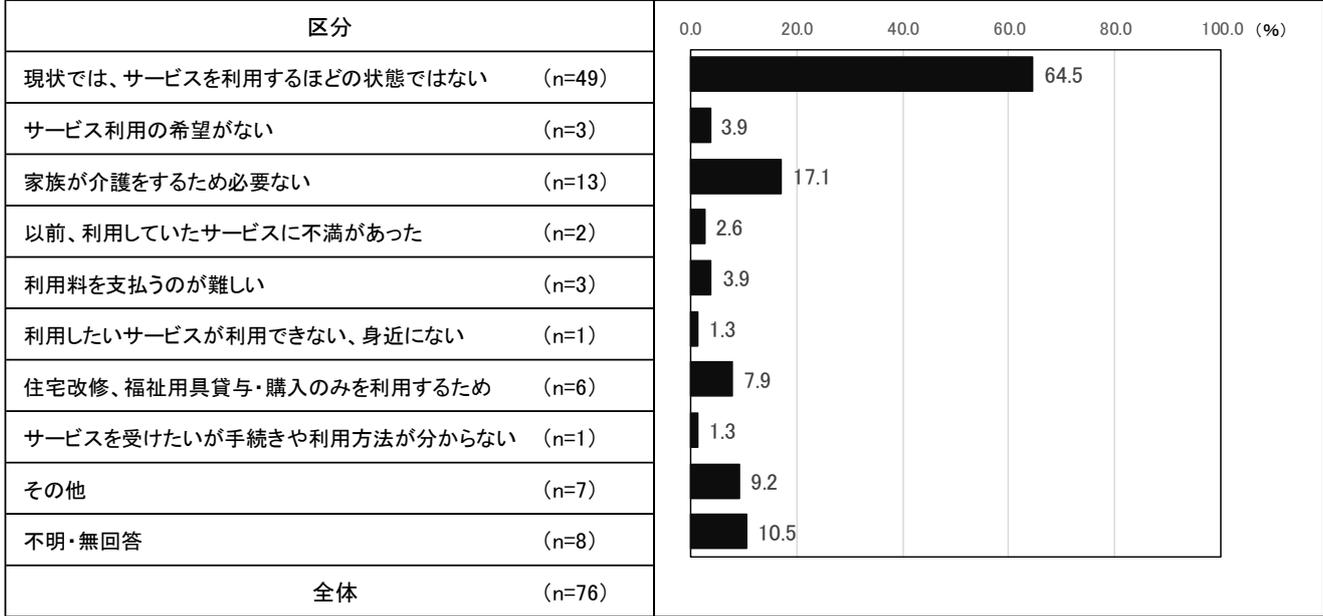
	(n)	利用している	利用していない	不明・無回答
全体	192	49.5	39.6	10.9
世帯	単身世帯	51.7	37.9	10.3
	夫婦のみ世帯	42.0	44.9	13.0
	その他	57.9	36.8	5.3

○世帯別にみると、単身世帯・その他は「利用している」の回答率が最も高くなっていますが、夫婦のみ世帯のみ「利用していない」が最も高くなっています。

問13で「2 利用していない」の方のみ

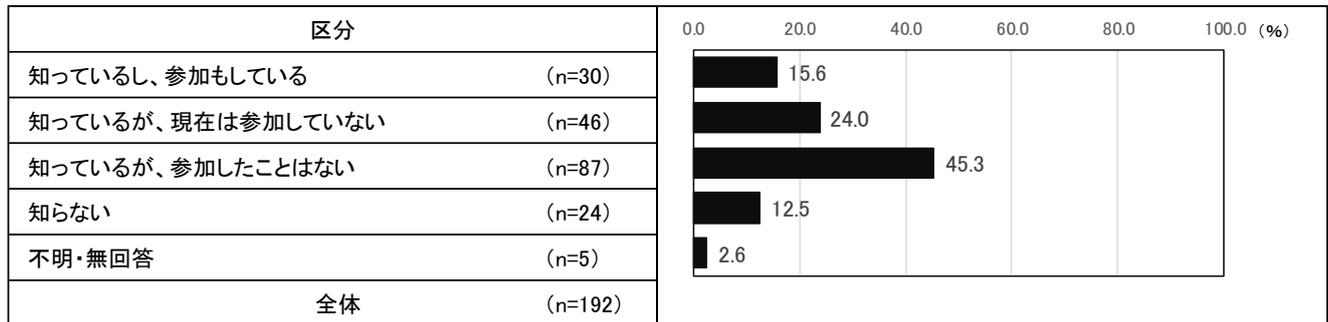
問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

(複数回答)



「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 64.5%で最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 17.1%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 7.9% となっています。

問15 あなたは、町内各地で実施されている「いきいき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」をご存じですか。(1つに○)



「知っているが、参加したことはない」が45.3%で最も高く、次いで「知っているが、現在は参加していない」が24.0%、「知っているし、参加もしている」が15.6%となっています。

		(n)	知っているし、参加もしている	知っているが、現在は参加していない	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体		192	15.6	24.0	45.3	12.5	2.6
性別	男性	73	6.8	21.9	45.2	20.5	5.5
	女性	119	21.0	25.2	45.4	7.6	0.8
年齢	74歳以下	35	2.9	20.0	71.4	2.9	2.9
	75～84歳	71	14.1	23.9	45.1	12.7	4.2
	85歳以上	86	22.1	25.6	34.9	16.3	1.2
認定	要支援者	82	20.7	23.2	42.7	11.0	2.4
	要介護者	109	11.9	23.9	47.7	13.8	2.8

○性別にみると、男女ともに「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。「知っているし、参加もしている」は女性で21.0%と、男性より14.2ポイント多くなっています。「知らない」は男性で20.5%と、女性より12.9ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっていますが、74歳以下は70%以上と高くなっています。年齢が高くなるにつれて「知っているし、参加もしている」の割合が高くなっています。

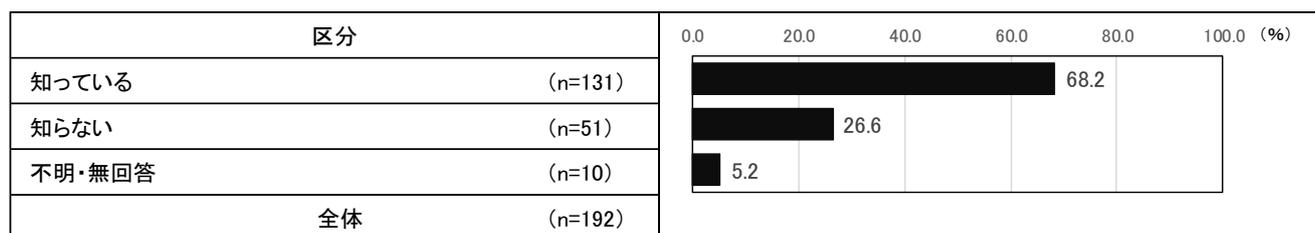
○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。「知っているし、参加もしている」は要支援者で20.7%と、要介護者より8.8ポイント多くなっています。

	(n)	知っているし、参加もしている	知っているが、現在は参加していない	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答	
全体	192	15.6	24.0	45.3	12.5	2.6	
認知症自立度	自立+ I	120	17.5	26.7	41.7	11.7	2.5
	II	31	12.9	16.1	54.8	12.9	3.2
	III以上	41	12.2	22.0	48.8	14.6	2.4
サービス利用	未利用	109	16.5	25.7	44.0	11.9	1.8
	訪問系のみ	33	24.2	24.2	30.3	12.1	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0
	通所系・短期系のみ	32	12.5	18.8	59.4	9.4	0.0

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「知っているが、参加したことはない」の回答率が最も高くなっています。また、「知っているし、参加もしている」は訪問系のみ20%以上と高くなっています。「知らない」は訪問系を含む組み合わせのみ20%以上と高くなっています。

問16 あなたは、災害時の避難場所についてご存じですか。

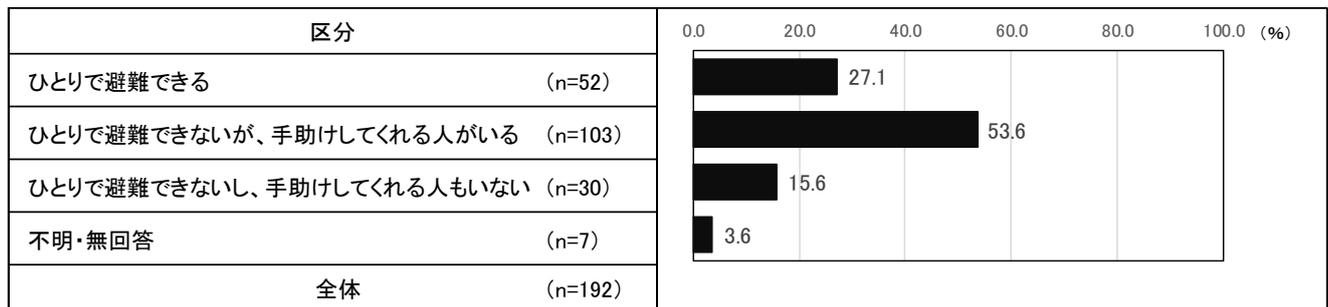


「知っている」が68.2%、「知らない」が26.6%となっています。

		(n)	知っている	知らない	不明・無回答
全体		192	68.2	26.6	5.2
認定	要支援者	82	72.0	22.0	6.1
	要介護者	109	65.1	30.3	4.6
世帯	単身世帯	58	69.0	29.3	1.7
	夫婦のみ世帯	69	68.1	26.1	5.8
	その他	57	75.4	21.1	3.5
認知症自立度	自立+I	120	69.2	25.8	5.0
	II	31	61.3	35.5	3.2
	III以上	41	70.7	22.0	7.3
サービス利用	未利用	109	70.6	25.7	3.7
	訪問系のみ	33	75.8	15.2	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	55.6	44.4	0.0
	通所系・短期系のみ	32	59.4	31.3	9.4

- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、要介護者で「知らない」が30%以上と高くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「知っている」の回答率が最も高くなっています。
- 認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、IIでは約60%と低くなっています。
- サービス利用別にみると、どのサービス利用も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、訪問系を含む組み合わせ・通所系・短期系で60%未満と低くなっています。

問17 災害が発生して避難する時に、ひとりで避難場所まで行くことができますか。
(1つに○)



「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」が 53.6%で最も高く、次いで「ひとりで避難できる」が 27.1%、「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」が 15.6%となっています。

	(n)	ひとりで避難できる	ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる	ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない	不明・無回答	
全体	192	27.1	53.6	15.6	3.6	
年齢	74歳以下	35	28.6	60.0	5.7	5.7
	75～84歳	71	26.8	45.1	22.5	5.6
	85歳以上	86	26.7	58.1	14.0	1.2
認定	要支援者	82	25.6	52.4	15.9	6.1
	要介護者	109	27.5	55.0	15.6	1.8

○年齢別にみると、どの年代も「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の回答率が最も高くなっていますが、75～84歳は50%未満と低くなっています。また、「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」は75～84歳のみ20%以上と高くなっています。

○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の回答率が最も高くなっています。

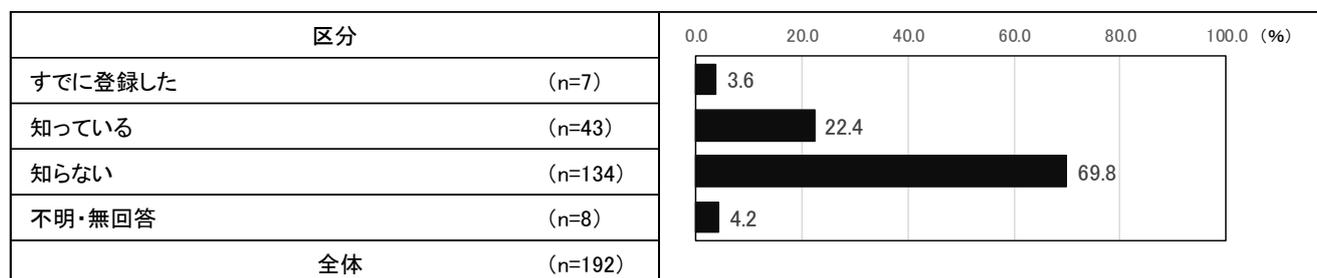
	(n)	ひとりで避難 できる	ひとりで避難 できないが、手 助けしてくれる 人がいる	ひとりで避難 できないし、手 助けしてくれる 人もいない	不明・無回答	
全体	192	27.1	53.6	15.6	3.6	
世帯	単身世帯	58	44.8	34.5	19.0	1.7
	夫婦のみ世帯	69	18.8	56.5	17.4	7.2
	その他	57	17.5	71.9	10.5	0.0
認知症自立度	自立+ I	120	30.8	46.7	18.3	4.2
	II	31	19.4	71.0	9.7	0.0
	III以上	41	22.0	61.0	12.2	4.9
サービス利用	未利用	109	27.5	56.9	13.8	1.8
	訪問系のみ	33	24.2	45.5	15.2	15.2
	訪問系を含む組み合わせ	18	38.9	38.9	22.2	0.0
	通所系・短期系のみ	32	21.9	59.4	18.8	0.0

○世帯別にみると、単身世帯は「ひとりで避難できる」、そのほかの世帯は「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の回答率が最も高くなっています。また、「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」は単身世帯・夫婦のみ世帯で約20%と高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の回答率が最も高くなっていますが、自立+ Iは50%未満と低くなっています。「ひとりで避難できる」「ひとりで避難できないし、手助けしてくれる人もいない」は、自立+ Iのみ他の認知症自立度より高くなっています。

○サービス利用別にみると、訪問系を含む組み合わせは「ひとりで避難できる」「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」、そのほかのサービス利用は「ひとりで避難できないが、手助けしてくれる人がいる」の回答率が最も高くなっています。

問18 島本町では、災害の発生またはその恐れのあるときに、災害に関する情報の速やかな伝達や避難などへの手助けが安全に地域の中で行われる「避難行動要支援者名簿」を作成しています。あなたは、「避難行動要支援者名簿」をご存じですか。(1つに○)



「知らない」が69.8%で最も高く、次いで「知っている」が22.4%、「すでに登録した」が3.6%となっています。

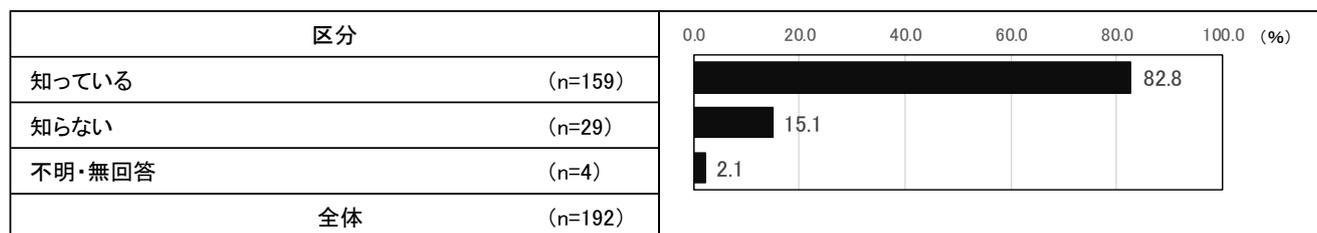
		(n)	すでに登録した	知っている	知らない	不明・無回答
全体		192	3.6	22.4	69.8	4.2
世帯	単身世帯	58	1.7	17.2	81.0	0.0
	夫婦のみ世帯	69	5.8	18.8	69.6	5.8
	その他	57	3.5	33.3	59.6	3.5
認知症自立度	自立+ I	120	1.7	22.5	72.5	3.3
	II	31	6.5	25.8	64.5	3.2
	III以上	41	7.3	19.5	65.9	7.3
サービス利用	未利用	109	3.7	18.3	76.1	1.8
	訪問系のみ	33	0.0	36.4	51.5	12.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	5.6	11.1	77.8	5.6
	通所系・短期系のみ	32	6.3	28.1	62.5	3.1

○世帯別にみると、どの世帯も「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、単身世帯のみ80%以上と高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、自立+ Iのみ70%以上と高くなっています。

○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「知らない」の回答率が最も高くなっていますが、訪問系のみは約50%と低くなっています。また、「すでに登録した」は訪問系のみ回答がありません。

問19 あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存じですか。

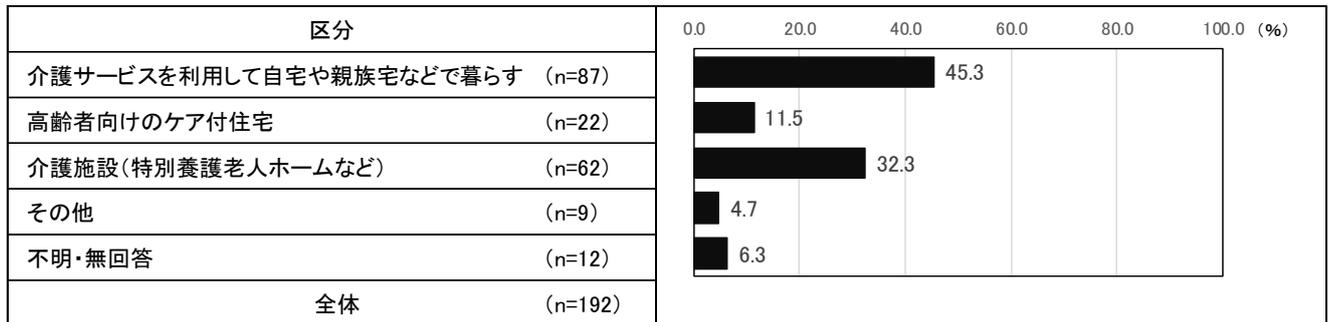


「知っている」が82.8%、「知らない」が15.1%となっています。

	(n)	知っている	知らない	不明・無回答
全体	192	82.8	15.1	2.1
年齢	74歳以下	82.9	14.3	2.9
	75～84歳	81.7	14.1	4.2
	85歳以上	83.7	16.3	0.0
認定	要支援者	87.8	9.8	2.4
	要介護者	78.9	19.3	1.8
世帯	単身世帯	87.9	12.1	0.0
	夫婦のみ世帯	76.8	18.8	4.3
	その他	86.0	14.0	0.0
認知症自立度	自立+Ⅰ	85.0	12.5	2.5
	Ⅱ	80.6	19.4	0.0
	Ⅲ以上	78.0	19.5	2.4
サービス利用	未利用	87.2	11.0	1.8
	訪問系のみ	75.8	18.2	6.1
	訪問系を含む組み合わせ	77.8	22.2	0.0
	通所系・短期系のみ	78.1	21.9	0.0

- 年齢別にみると、どの年代も「知っている」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、要支援者で87.8%と、要介護者より8.9ポイント多くなっています。
- 世帯別にみると、どの世帯も「知っている」の回答率が最も高くなっていますが、夫婦のみ世帯で70%台と低くなっています。
- 認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「知っている」の回答率が最も高くなっています。また、認知症自立度のランクが高くなるにつれて「知っている」の割合が低くなっています。
- サービス利用別にみると、どのサービス利用も「知っている」の回答率が最も高くなっています。また、「知らない」は未利用のみ約10%と低くなっています。

問20 あなたは、寝たきりなどの重度の介護が必要になった時、どこで暮らしたいと思いますか。(1つに○)



「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」が45.3%で最も高く、次いで「介護施設(特別養護老人ホームなど)」が32.3%、「高齢者向けのケア付住宅」が11.5%となっています。

		(n)	介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす	高齢者向けのケア付住宅	介護施設(特別養護老人ホームなど)	その他	不明・無回答
全体		192	45.3	11.5	32.3	4.7	6.3
性別	男性	73	46.6	8.2	34.2	5.5	5.5
	女性	119	44.5	13.4	31.1	4.2	6.7
年齢	74歳以下	35	40.0	14.3	34.3	2.9	8.6
	75～84歳	71	45.1	15.5	28.2	2.8	8.5
	85歳以上	86	47.7	7.0	34.9	7.0	3.5
世帯	単身世帯	58	37.9	20.7	29.3	6.9	5.2
	夫婦のみ世帯	69	50.7	10.1	27.5	1.4	10.1
	その他	57	47.4	5.3	38.6	7.0	1.8

○性別にみると、男女ともに「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」の回答率が最も高くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」の回答率が最も高くなっています。

○世帯別にみると、どの世帯も「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」の回答率が最も高くなっていますが、夫婦のみ世帯は50%以上と高くなっています。また、「高齢者向けのケア付住宅」は単身世帯のみ20%以上と高くなっています。

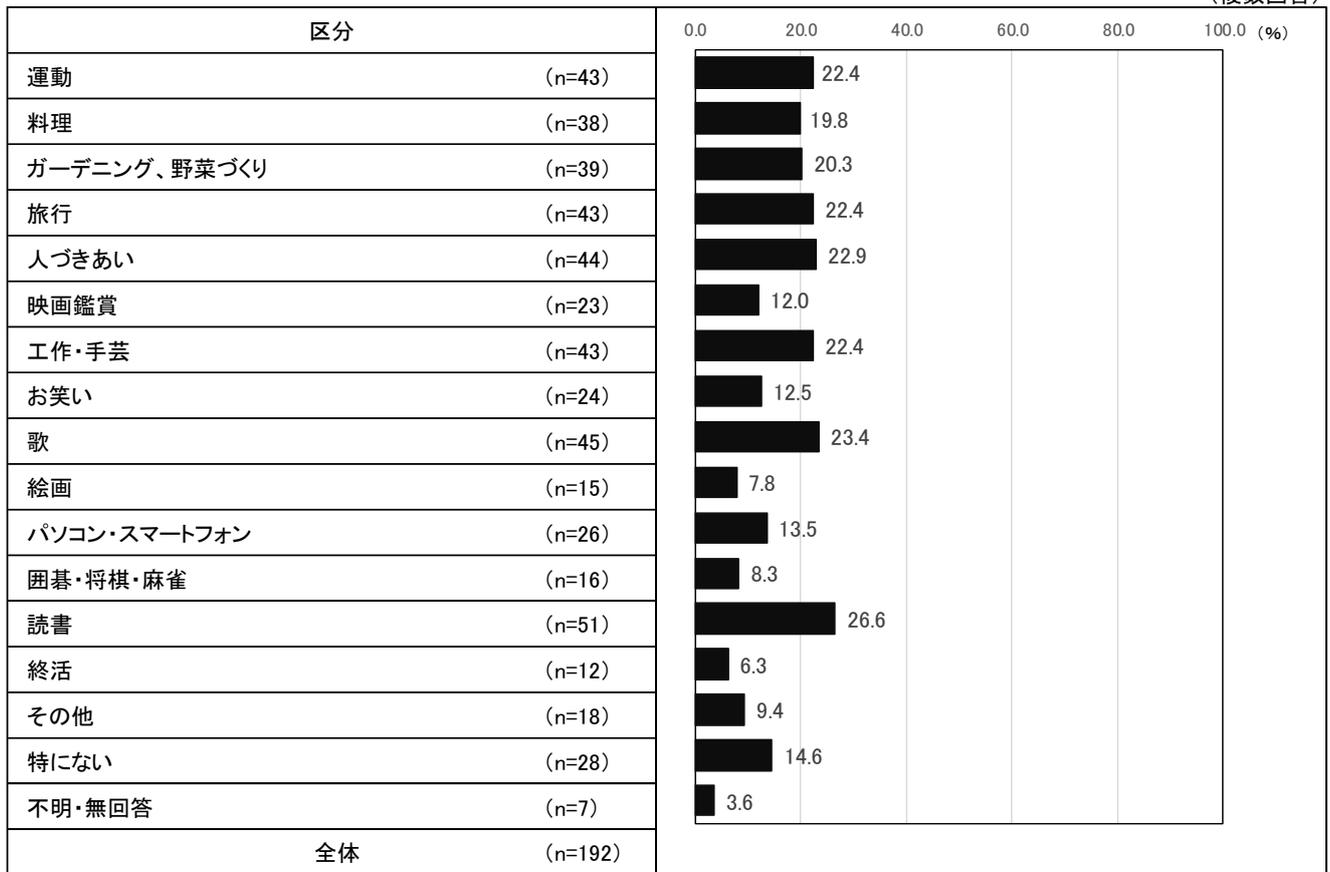
		(n)	介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす	高齢者向けのケア付住宅	介護施設（特別養護老人ホームなど）	その他	不明・無回答
全体		192	45.3	11.5	32.3	4.7	6.3
認知症自立度	自立+ I	120	44.2	12.5	31.7	4.2	7.5
	II	31	51.6	3.2	32.3	3.2	9.7
	III以上	41	43.9	14.6	34.1	7.3	0.0
サービス利用	未利用	109	43.1	10.1	36.7	2.8	7.3
	訪問系のみ	33	51.5	6.1	24.2	9.1	9.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0
	通所系・短期系のみ	32	53.1	15.6	25.0	3.1	3.1

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」の回答率が最も高くなっています。また、「高齢者向けのケア付住宅」は、IIのみ3.2%と低くなっています。

○サービス利用別にみると、訪問系を含む組み合わせは「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」「介護施設（特別養護老人ホームなど）」、そのほかのサービス利用は「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」の回答率が最も高くなっています。また、「高齢者向けのケア付住宅」は訪問系を含む組み合わせで22.2%と高くなっています。

問21 興味・関心のあることは何ですか。(5つまでに○)

(複数回答)



「読書」が26.6%で最も高く、次いで「歌」が23.4%、「人づきあい」が22.9%となっています。

		(n)	運動	料理	ガーデニング、 野菜づくり	旅行	人づきあい	映画鑑賞	工作・手芸	お笑い	歌
全体		192	22.4	19.8	20.3	22.4	22.9	12.0	22.4	12.5	23.4
性別	男性	73	20.5	8.2	21.9	24.7	19.2	20.5	9.6	15.1	15.1
	女性	119	23.5	26.9	19.3	21.0	25.2	6.7	30.3	10.9	28.6
年齢	74歳以下	35	20.0	14.3	20.0	28.6	14.3	17.1	14.3	14.3	11.4
	75～84歳	71	26.8	15.5	16.9	22.5	26.8	12.7	19.7	15.5	25.4
	85歳以上	86	19.8	25.6	23.3	19.8	23.3	9.3	27.9	9.3	26.7
認定	要支援者	82	23.2	14.6	19.5	17.1	17.1	12.2	18.3	15.9	24.4
	要介護者	109	21.1	23.9	21.1	25.7	26.6	11.9	25.7	10.1	22.9
		(n)	絵画	パソコン・ スマートフォン	麻雀・ 囲碁・将棋・ 麻雀	読書	終活	その他	特 に な い	答 不 明 ・ 無 回	
全体		192	7.8	13.5	8.3	26.6	6.3	9.4	14.6	3.6	
性別	男性	73	4.1	17.8	17.8	24.7	4.1	12.3	13.7	5.5	
	女性	119	10.1	10.9	2.5	27.7	7.6	7.6	15.1	2.5	
年齢	74歳以下	35	11.4	22.9	8.6	42.9	2.9	11.4	17.1	5.7	
	75～84歳	71	4.2	16.9	5.6	26.8	7.0	8.5	9.9	4.2	
	85歳以上	86	9.3	7.0	10.5	19.8	7.0	9.3	17.4	2.3	
認定	要支援者	82	4.9	9.8	12.2	28.0	7.3	9.8	15.9	4.9	
	要介護者	109	10.1	15.6	5.5	24.8	5.5	9.2	13.8	2.8	

- 性別にみると、男性は「旅行」「読書」、女性は「工作・手芸」の回答率が最も高くなっています。また、「映画鑑賞」「囲碁・将棋・麻雀」は女性より男性のほうが、「料理」「歌」は男性より女性のほうが10ポイント以上多くなっています。
- 年齢別にみると、74歳以下は「読書」、75～84歳は「運動」「人づきあい」「読書」、「85歳以上は「工作・手芸」の回答率が最も高くなっています。「料理」「ガーデニング、野菜づくり」「工作・手芸」「囲碁・将棋・麻雀」は85歳以上で高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「旅行」「映画鑑賞」「パソコン・スマートフォン」「読書」の割合が低くなっています。
- 認定別にみると、要支援者は「読書」、要介護者は「人づきあい」の回答率が最も高くなっています。また、「料理」「旅行」「人づきあい」「工作・手芸」は要支援者より要介護者のほうが高くなっています。

		(n)	運動	料理	ガーデニング、 野菜づくり	旅行	人づきあい	映画鑑賞	工作・手芸	お笑い	歌
全体		192	22.4	19.8	20.3	22.4	22.9	12.0	22.4	12.5	23.4
世帯	単身世帯	58	25.9	27.6	22.4	22.4	32.8	12.1	29.3	12.1	29.3
	夫婦のみ世帯	69	23.2	14.5	14.5	29.0	18.8	15.9	15.9	10.1	20.3
	その他	57	19.3	21.1	28.1	15.8	19.3	7.0	26.3	12.3	22.8
認知症自立度	自立+ I	120	24.2	17.5	18.3	24.2	24.2	12.5	18.3	14.2	22.5
	II	31	22.6	38.7	19.4	16.1	29.0	9.7	29.0	12.9	25.8
	III以上	41	17.1	12.2	26.8	22.0	14.6	12.2	29.3	7.3	24.4
		(n)	絵画	パソコン・スマートフォン	麻雀・将棋	読書	終活	その他	特にない	答不明・無回答	
全体		192	7.8	13.5	8.3	26.6	6.3	9.4	14.6	3.6	
世帯	単身世帯	58	10.3	15.5	10.3	29.3	13.8	8.6	12.1	0.0	
	夫婦のみ世帯	69	7.2	18.8	11.6	27.5	2.9	10.1	17.4	5.8	
	その他	57	7.0	7.0	3.5	26.3	3.5	10.5	14.0	0.0	
認知症自立度	自立+ I	120	5.0	13.3	10.0	30.0	7.5	9.2	15.8	4.2	
	II	31	12.9	12.9	3.2	9.7	6.5	9.7	9.7	3.2	
	III以上	41	12.2	14.6	7.3	29.3	2.4	9.8	14.6	2.4	

○世帯別にみると、単身世帯は「人づきあい」、夫婦のみ世帯は「旅行」、その他は「ガーデニング、野菜づくり」の回答率が最も高くなっています。また、「人づきあい」「終活」は、単身世帯がほかの世帯より10ポイント以上多くなっています。

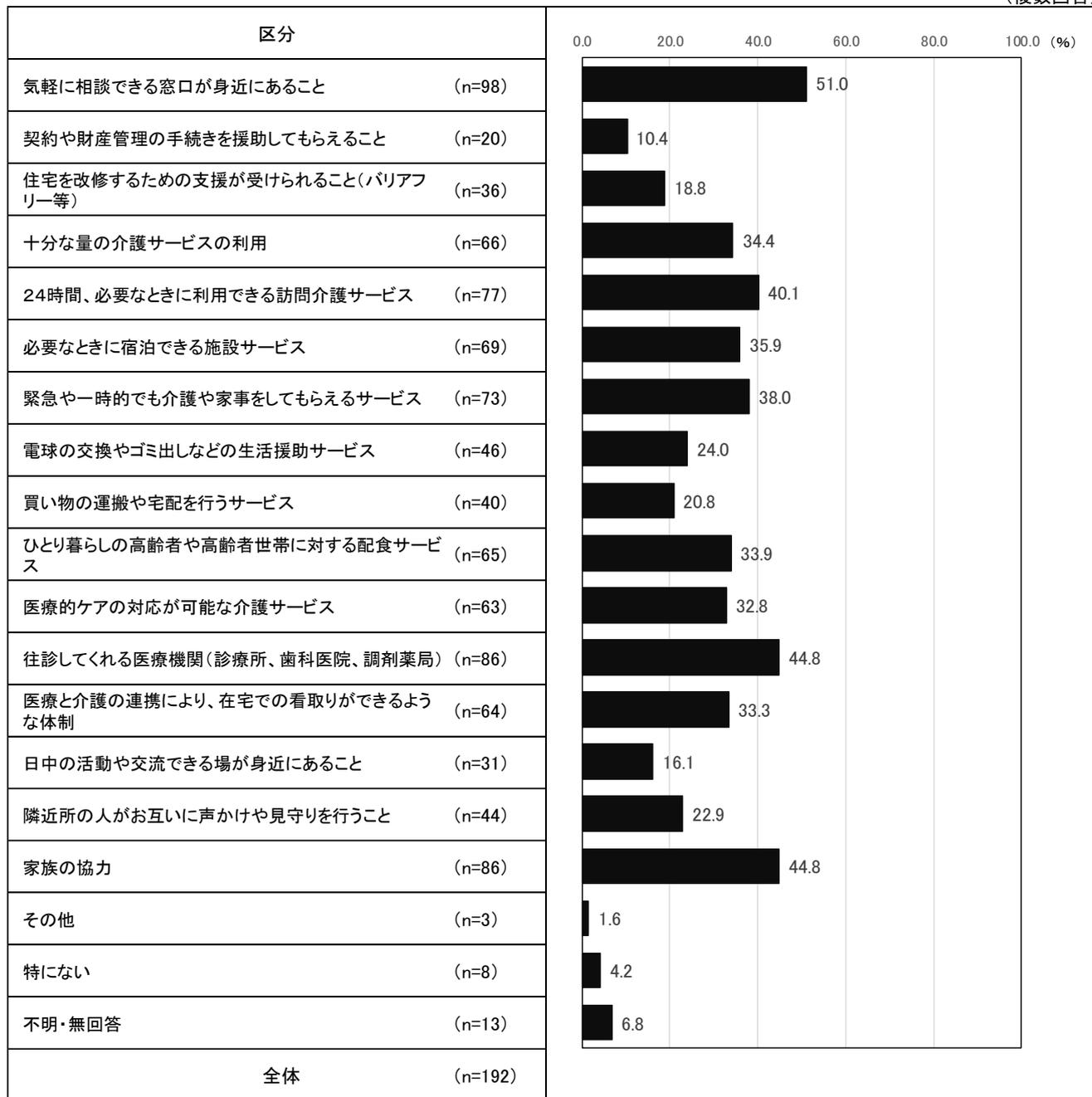
○認知症自立度別にみると、自立+ Iは「読書」、IIは「料理」、III以上は「工作・手芸」「読書」の回答率が最も高くなっています。また、「運動」「料理」「人づきあい」「お笑い」「終活」はIII以上で低くなっていますが、「ガーデニング、野菜づくり」「工作・手芸」「パソコン・スマートフォン」はIII以上で高くなっています。

	(n)	運動	料理	野菜づくり ガーデニング、	旅行	人づきあい	映画鑑賞	工作・手芸	お笑い	歌	
全体	192	22.4	19.8	20.3	22.4	22.9	12.0	22.4	12.5	23.4	
サービス利用	未利用	109	27.5	24.8	22.9	25.7	23.9	11.0	24.8	11.9	28.4
	訪問系のみ	33	27.3	12.1	18.2	15.2	21.2	12.1	18.2	9.1	12.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	0.0	16.7	22.2	33.3	22.2	16.7	16.7	16.7	27.8
	通所系・短期系のみ	32	12.5	12.5	12.5	12.5	21.9	12.5	21.9	15.6	15.6
	(n)	絵画	パソコン・スマートフォン	麻雀・囲碁・将棋・	読書	終活	その他	特にない	答不明・無回答		
全体	192	7.8	13.5	8.3	26.6	6.3	9.4	14.6	3.6		
サービス利用	未利用	109	6.4	16.5	8.3	30.3	4.6	7.3	14.7	0.9	
	訪問系のみ	33	9.1	15.2	6.1	18.2	9.1	3.0	12.1	15.2	
	訪問系を含む組み合わせ	18	16.7	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	16.7	0.0	
	通所系・短期系のみ	32	6.3	3.1	9.4	25.0	6.3	21.9	15.6	3.1	

○サービス利用別にみると、未利用・通所系・短期系は「読書」、訪問系のみは「運動」、訪問系を含む組み合わせは「旅行」の回答率が最も高くなっています。「運動」は訪問系を含む組み合わせは回答がみられません。

問22 高齢者に対してどのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていくことができると思いますか。(いくつでも)

(複数回答)



「気軽に相談できる窓口が身近にあること」が 51.0%で最も高く、次いで「往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)」「家族の協力」が 44.8%、「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」が 40.1%となっています。

	(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえらること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス	必要なときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえらサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス	
	全体	192	51.0	10.4	18.8	34.4	40.1	35.9	38.0	24.0	20.8	33.9
性別	男性	73	49.3	17.8	19.2	38.4	45.2	39.7	35.6	26.0	27.4	41.1
	女性	119	52.1	5.9	18.5	31.9	37.0	33.6	39.5	22.7	16.8	29.4
年齢	74歳以下	35	40.0	8.6	20.0	42.9	48.6	25.7	34.3	20.0	28.6	28.6
	75～84歳	71	59.2	8.5	23.9	32.4	32.4	43.7	45.1	33.8	22.5	39.4
	85歳以上	86	48.8	12.8	14.0	32.6	43.0	33.7	33.7	17.4	16.3	31.4
	(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特にない	不明・無回答		
	全体	192	32.8	44.8	33.3	16.1	22.9	44.8	1.6	4.2	6.8	
性別	男性	73	42.5	47.9	31.5	13.7	16.4	47.9	1.4	5.5	8.2	
	女性	119	26.9	42.9	34.5	17.6	26.9	42.9	1.7	3.4	5.9	
年齢	74歳以下	35	40.0	45.7	28.6	14.3	14.3	31.4	2.9	8.6	2.9	
	75～84歳	71	29.6	46.5	39.4	21.1	26.8	45.1	1.4	2.8	8.5	
	85歳以上	86	32.6	43.0	30.2	12.8	23.3	50.0	1.2	3.5	7.0	

○性別にみると、男女ともに「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。「契約や財産管理の手続きを援助してもらえらること」「買い物の運搬や宅配を行うサービス」「ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス」「医療的ケアの対応が可能な介護サービス」は女性より男性で、「隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」は男性より女性で10ポイント以上多くなっています。

○年齢別にみると、74歳以下は「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」、75～84歳は「気軽に相談できる窓口が身近にあること」、85歳以上は「家族の協力」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「家族の協力」の割合が高くなっています。

	(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要ときに利用できる訪問介護サービス	必要なときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス	
	全体	192	51.0	10.4	18.8	34.4	40.1	35.9	38.0	24.0	20.8	33.9
認定	要支援者	82	50.0	9.8	14.6	34.1	45.1	39.0	34.1	18.3	23.2	32.9
	要介護者	109	51.4	11.0	22.0	33.9	36.7	33.9	41.3	28.4	19.3	34.9
	(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特になし	不明・無回答		
	全体	192	32.8	44.8	33.3	16.1	22.9	44.8	1.6	4.2	6.8	
認定	要支援者	82	34.1	45.1	34.1	15.9	30.5	42.7	2.4	6.1	6.1	
	要介護者	109	32.1	44.0	32.1	16.5	17.4	45.9	0.9	2.8	7.3	

○認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「気軽に相談できる窓口が身近にあること」の回答率が最も高くなっています。また、「電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス」は要支援者で18.3%と、要介護者より10.1ポイント少なくなっています。「隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」は要支援者で30.5%と、要介護者より13.1ポイント多くなっています。

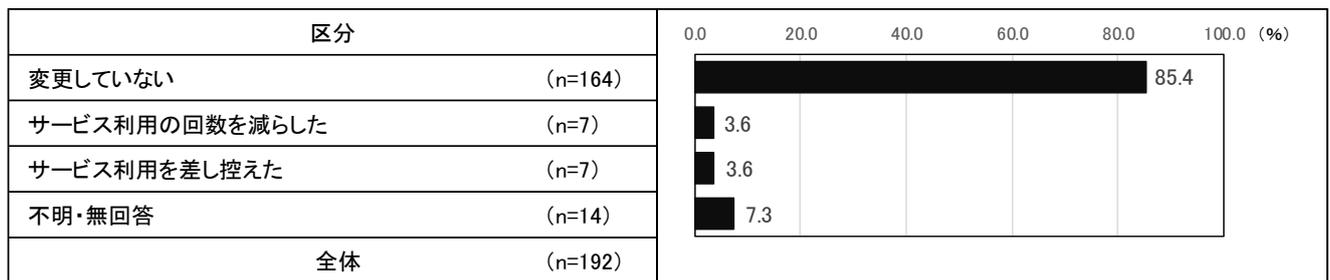
	(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要ときに利用できる訪問介護サービス	必要ときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス
全体	192	51.0	10.4	18.8	34.4	40.1	35.9	38.0	24.0	20.8	33.9
世帯	単身世帯	58	51.7	10.3	19.0	31.0	19.0	36.2	31.0	20.7	48.3
	夫婦のみ世帯	69	50.7	13.0	20.3	33.3	39.1	42.0	31.9	27.5	36.2
	その他	57	50.9	7.0	19.3	40.4	49.1	50.9	36.8	8.8	14.0
	(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	所、歯科医院、調剤薬局)	往診してくれる医療機関(診療の看取りができるような体制)	医療と介護の連携により、在宅で近にあること	日中の活動や交流できる場が見守りを行うこと	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特にない	不明・無回答
全体	192	32.8	44.8	33.3	16.1	22.9	44.8	1.6	4.2	6.8	
世帯	単身世帯	58	31.0	39.7	31.0	19.0	29.3	34.5	1.7	5.2	3.4
	夫婦のみ世帯	69	34.8	49.3	33.3	15.9	18.8	50.7	0.0	1.4	8.7
	その他	57	36.8	50.9	38.6	15.8	21.1	52.6	3.5	7.0	5.3

○世帯別にみると、単身世帯は「気軽に相談できる窓口が身近にあること」、夫婦のみ世帯は「気軽に相談できる窓口が身近にあること」「家族の協力」、その他は「家族の協力」の回答率が最も高くなっています。また、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス」「隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」は単身世帯で割合が高くなっています。「必要ときに宿泊できる施設サービス」はその他の世帯で50%以上と高くなっています。

	(n)	気軽に相談できる窓口が身近にあること	契約や財産管理の手続きを援助してもらえること	住宅を改修するための支援が受けられること(バリアフリー等)	十分な量の介護サービスの利用	24時間、必要ときに利用できる訪問介護サービス	必要ときに宿泊できる施設サービス	緊急や一時的でも介護や家事をしてもらえるサービス	電球の交換やゴミ出しなどの生活援助サービス	買い物の運搬や宅配を行うサービス	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する配食サービス
全体	192	51.0	10.4	18.8	34.4	40.1	35.9	38.0	24.0	20.8	33.9
認知症自立度	自立+ I	120	53.3	11.7	20.0	39.2	40.0	36.7	35.8	23.3	35.8
	II	31	51.6	3.2	12.9	22.6	41.9	41.9	41.9	19.4	22.6
	III以上	41	43.9	12.2	19.5	29.3	39.0	29.3	41.5	29.3	14.6
	(n)	医療的ケアの対応が可能な介護サービス	往診してくれる医療機関(診療所、歯科医院、調剤薬局)	医療と介護の連携により、在宅での看取りができるような体制	日中の活動や交流できる場が身近にあること	隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと	家族の協力	その他	特になし	不明・無回答	
全体	192	32.8	44.8	33.3	16.1	22.9	44.8	1.6	4.2	6.8	
認知症自立度	自立+ I	120	33.3	45.8	34.2	15.8	25.0	40.0	1.7	5.8	6.7
	II	31	25.8	48.4	32.3	12.9	12.9	58.1	0.0	0.0	3.2
	III以上	41	36.6	39.0	31.7	19.5	24.4	48.8	2.4	2.4	9.8

○認知症自立度別にみると、自立+ Iは「気軽に相談できる窓口が身近にあること」、そのほかの認知症自立度は「家族の協力」の回答率が最も高くなっています。IIは「契約や財産管理の手続きを援助してもらえること」「隣近所の人がお互いに声かけや見守りを行うこと」がほかの認知症自立度より低くなっています。

問23 あなたは、新型コロナウイルス感染症の流行により、介護保険サービスの利用方法の変更をしましたか。(1つに○)



「変更していない」が85.4%で最も高く、次いで「サービス利用の回数を減らした」「サービス利用を差し控えた」がともに3.6%となっています。

	(n)	変更していない	サービス利用の回数を減らした	サービス利用を差し控えた	不明・無回答	
全体	192	85.4	3.6	3.6	7.3	
性別	男性	73	87.7	2.7	4.1	5.5
	女性	119	84.0	4.2	3.4	8.4
年齢	74歳以下	35	82.9	0.0	5.7	11.4
	75～84歳	71	88.7	2.8	2.8	5.6
	85歳以上	86	83.7	5.8	3.5	7.0
認定	要支援者	82	84.1	3.7	2.4	9.8
	要介護者	109	86.2	3.7	4.6	5.5

- 性別にみると、男女ともに「変更していない」の回答率が最も高くなっています。
- 年齢別にみると、どの年代も「変更していない」の回答率が最も高くなっています。
- 認定別にみると、要支援者・要介護者ともに「変更していない」の回答率が最も高くなっています。

	(n)	変更していない	サービス利用の回数を減らした	サービス利用を差し控えた	不明・無回答	
全体	192	85.4	3.6	3.6	7.3	
世帯	単身世帯	58	84.5	3.4	3.4	8.6
	夫婦のみ世帯	69	87.0	2.9	2.9	7.2
	その他	57	84.2	5.3	5.3	5.3
認知症自立度	自立+Ⅰ	120	85.8	2.5	3.3	8.3
	Ⅱ	31	90.3	9.7	0.0	0.0
	Ⅲ以上	41	80.5	2.4	7.3	9.8
サービス利用	未利用	109	83.5	3.7	4.6	8.3
	訪問系のみ	33	81.8	6.1	0.0	12.1
	訪問系を含む組み合わせ	18	94.4	0.0	5.6	0.0
	通所系・短期系のみ	32	90.6	3.1	3.1	3.1

○世帯別にみると、どの世帯も「変更していない」の回答率が最も高くなっています。

○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「変更していない」の回答率が最も高くなっていますが、Ⅱは90.3%と高くなっています。また、「サービス利用の回数を減らした」は、Ⅱで約10%と高くなっています。

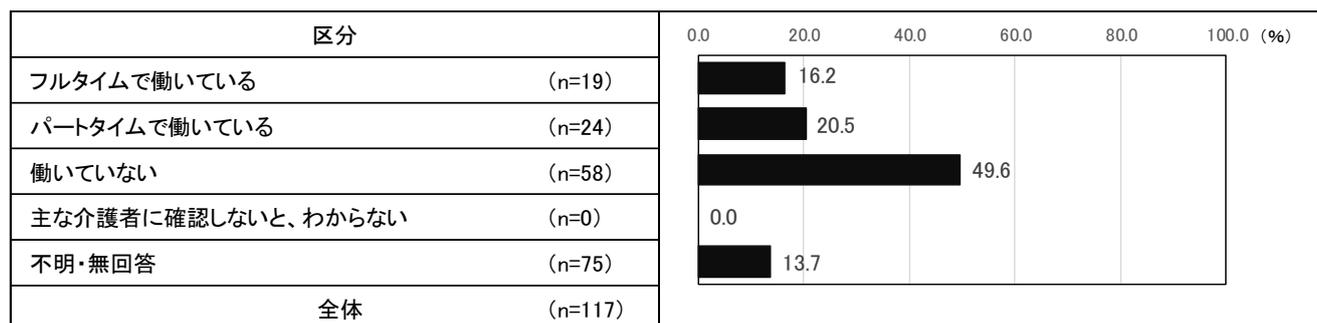
○サービス利用別にみると、どのサービス利用も「変更していない」の回答率が最も高くなっていますが、訪問系を含む組み合わせ・通所系・短期系のみで90%台と高くなっています。。

A票の問2で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方に次のページからのB票へのご回答・ご記入をお願いします。

「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、あなた(あて名ご本人)がご回答・ご記入をお願いします(ご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者の方について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)



「働いていない」が49.6%で最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が20.5%、「フルタイムで働いている」が16.2%となっています。

		(n)	フルタイム で働いて いる	パートタイ ムで働いて いる	働いていな い	主な介護 者に確認し ないと、わ からない	不明・無回 答
全体		117	16.2	20.5	49.6	0.0	13.7
性別	男性	46	17.4	13.0	52.2	0.0	17.4
	女性	71	15.5	25.4	47.9	0.0	11.3
年齢	74歳以下	24	20.8	16.7	58.3	0.0	4.2
	75～84歳	40	15.0	22.5	47.5	0.0	15.0
	85歳以上	53	15.1	20.8	47.2	0.0	17.0

○性別にみると、男女ともに「働いていない」の回答率が最も高くなっています。「パートタイムで働いている」が、女性で25.4%と、男性より12.4ポイント多くなっています。

○年齢別にみると、どの年代も「働いていない」の回答率が最も高くなっています。また、「フルタイムで働いている」は、74歳以下で20.8%と高くなっています。

	(n)	フルタイム で働いて いる	パートタイ ムで働いて いる	働いていな い	主な介護 者に確認し ないと、わ からない	不明・無回 答	
全体	117	16.2	20.5	49.6	0.0	13.7	
世帯	単身世帯	27	18.5	29.6	29.6	0.0	22.2
	夫婦のみ世帯	43	11.6	11.6	65.1	0.0	11.6
	その他	44	18.2	25.0	50.0	0.0	6.8
認知症自立度	自立+ I	71	19.7	28.2	40.8	0.0	11.3
	II	18	16.7	11.1	66.7	0.0	5.6
	III以上	28	7.1	7.1	60.7	0.0	25.0
サービス利用	未利用	71	21.1	15.5	46.5	0.0	16.9
	訪問系のみ	17	5.9	47.1	41.2	0.0	5.9
	訪問系を含む組み合わせ	8	12.5	0.0	75.0	0.0	12.5
	通所系・短期系のみ	21	9.5	23.8	57.1	0.0	9.5

○世帯別にみると、単身世帯は「パートタイムで働いている」「働いていない」、そのほかの世帯は「働いていない」の回答率が最も高くなっていますが、夫婦のみ世帯で65%以上と高くなっています。また、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」は夫婦のみ世帯のみ約10%と低くなっています。

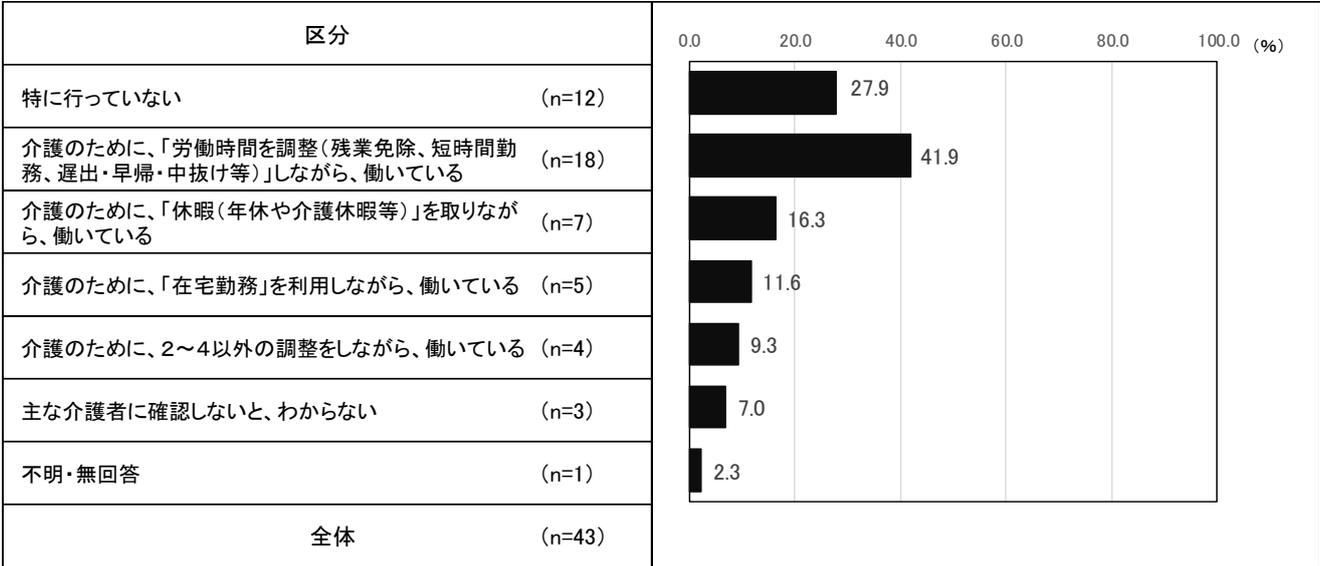
○認知症自立度別にみると、どの認知症自立度も「働いていない」の回答率が最も高くなっています。また、「パートタイムで働いている」は自立+ Iのみ約30%となっています。

○サービス利用別にみると、訪問系は「パートタイムで働いている」、そのほかのサービス利用は「働いていない」の回答率が最も高くなっていますが、訪問系を含む組み合わせは70%台と高くなっています。また、「フルタイムで働いている」は未利用で20%以上と高くなっています。

問1で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」の方のみ

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

(複数回答)

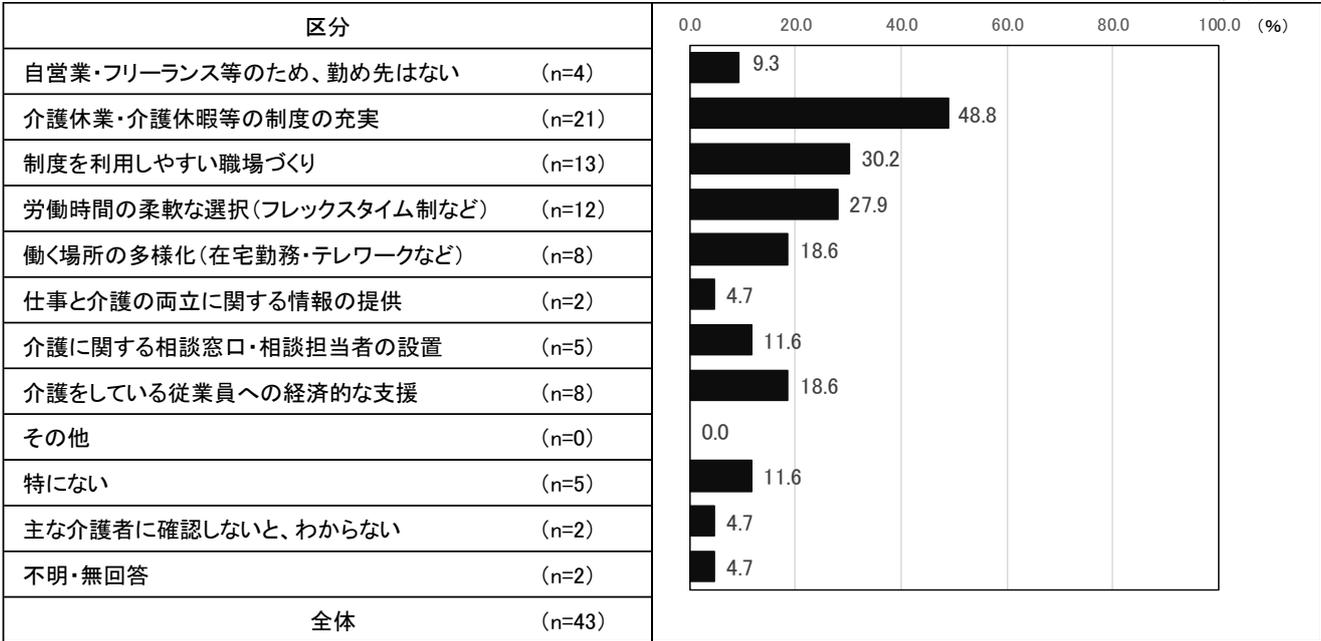


「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が41.9%で最も高く、次いで「特に行っていない」が27.9%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が16.3%となっています。

問1で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」の方のみ

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

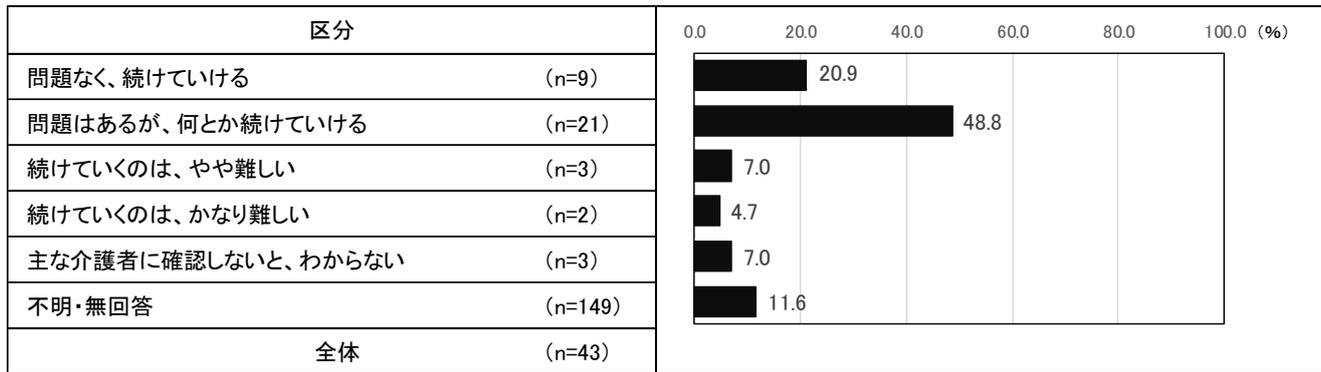
(複数回答)



「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 48.8%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 30.2%、「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」が 27.9%となっています。

問1で「1 フルタイムで働いている」「2 パートタイムで働いている」の方のみ

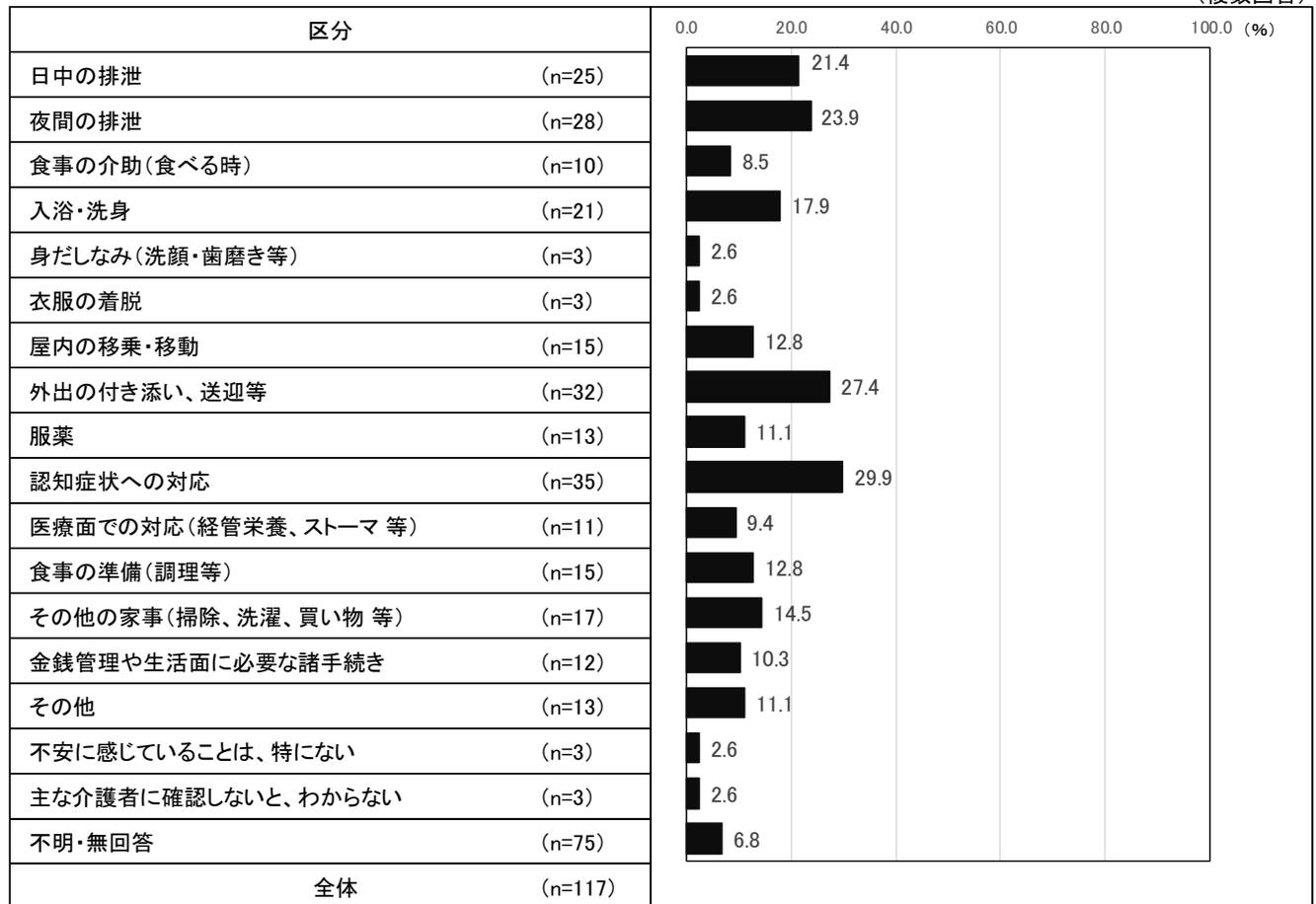
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)



「問題はあるが、何とか続けていける」が 48.8%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 20.9%、「続けていくのは、やや難しい」と「主な介護者に確認しないと、わからない」がともに 7.0%となっています。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで○)

(複数回答)



「認知症状への対応」が29.9%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が27.4%、「夜間の排泄」が23.9%となっています。

	(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	動 屋内の移乗・移	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体	117	21.4	23.9	8.5	17.9	2.6	2.6	12.8	27.4	11.1	
年齢	74歳以下	24	16.7	12.5	16.7	20.8	0.0	4.2	12.5	29.2	4.2
	75～84歳	40	25.0	12.5	5.0	17.5	7.5	2.5	12.5	32.5	25.0
	85歳以上	53	20.8	37.7	7.5	17.0	0.0	1.9	13.2	22.6	3.8
認定	要支援者	45	24.4	22.2	13.3	17.8	2.2	4.4	8.9	26.7	11.1
	要介護者	72	19.4	25.0	5.6	18.1	2.8	1.4	15.3	27.8	11.1
	(n)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	濯、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯、買物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないとわからない	不明・無回答
全体	117	29.9	9.4	12.8	14.5	10.3	11.1	2.6	2.6	6.8	
年齢	74歳以下	24	20.8	4.2	12.5	20.8	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3
	75～84歳	40	25.0	7.5	10.0	15.0	12.5	15.0	0.0	5.0	5.0
	85歳以上	53	37.7	13.2	15.1	11.3	9.4	9.4	3.8	0.0	7.5
認定	要支援者	45	24.4	11.1	17.8	11.1	8.9	6.7	2.2	4.4	6.7
	要介護者	72	33.3	8.3	9.7	16.7	11.1	13.9	2.8	1.4	6.9

○年齢別にみると、85歳以上は「夜間の排泄」「認知症状への対応」、そのほかの年代は「外出の付き添い、送迎等」の回答率が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の割合が低くなっていますが、「夜間の排泄」「認知症状への対応」「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」は割合が高くなっています。

○認定別にみると、要支援者は「外出の付き添い、送迎等」、要介護者は「認知症状への対応」の回答率が最も高くなっています。

	(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	117	21.4	23.9	8.5	17.9	2.6	2.6	12.8	27.4	11.1		
世帯	単身世帯	27	11.1	25.9	7.4	11.1	0.0	3.7	14.8	25.9	3.7	
	夫婦のみ世帯	43	20.9	18.6	11.6	23.3	7.0	4.7	11.6	37.2	16.3	
	その他	44	27.3	25.0	6.8	18.2	0.0	0.0	13.6	20.5	11.4	
認知症自立度	自立+ I	71	22.5	22.5	8.5	21.1	2.8	2.8	8.5	28.2	12.7	
	II	18	27.8	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	
	III以上	28	14.3	21.4	14.3	14.3	3.6	3.6	21.4	32.1	3.6	
	(n)	認知症状への対応	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	濯、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯、買物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
全体	117	29.9	9.4	12.8	14.5	10.3	11.1	2.6	2.6	6.8		
世帯	単身世帯	27	25.9	7.4	18.5	25.9	11.1	11.1	0.0	7.4	7.4	
	夫婦のみ世帯	43	25.6	7.0	16.3	16.3	14.0	11.6	2.3	0.0	4.7	
	その他	44	38.6	13.6	6.8	4.5	6.8	9.1	4.5	2.3	9.1	
認知症自立度	自立+ I	71	28.2	9.9	15.5	16.9	9.9	8.5	0.0	4.2	7.0	
	II	18	44.4	11.1	11.1	5.6	0.0	22.2	5.6	0.0	11.1	
	III以上	28	25.0	7.1	7.1	14.3	17.9	10.7	7.1	0.0	3.6	

○世帯別にみると、単身世帯は「夜間の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、夫婦のみ世帯は「外出の付き添い、送迎等」、その他は「認知症状への対応」の回答率が最も高くなっています。「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」は、その他でほかの世帯より10ポイント以上低くなっていますが、「認知症状への対応」では10ポイント以上高くなっています。

○認知症自立度別にみると、自立+ Iは「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」、IIは「認知症状への対応」、III以上は「外出の付き添い、送迎等」の回答率が最も高くなっています。また、認知症自立度のランクが高くなるにつれて「屋内の移乗・移動」の割合が高くなっていますが、「食事の準備(調理等)」の割合は低くなっています。「夜間の排泄」「認知症状への対応」は、IIでほかの認知症自立度より10ポイント以上多くなっています。

	(n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ(洗)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	117	21.4	23.9	8.5	17.9	2.6	2.6	2.6	12.8	27.4	11.1	
サービス利用	未利用	71	23.9	25.4	9.9	12.7	2.8	4.2	14.1	25.4	9.9	
	訪問系のみ	17	17.6	17.6	5.9	23.5	5.9	0.0	5.9	35.3	17.6	
	訪問系を含む組み合わせ	8	25.0	37.5	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	
	通所系・短期系のみ	21	14.3	19.0	9.5	23.8	0.0	0.0	9.5	33.3	14.3	
	(n)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に	その他	不安に感じていることは、特にな	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
全体	117	29.9	9.4	12.8	14.5	10.3	11.1	2.6	2.6	2.6	6.8	
サービス利用	未利用	71	31.0	8.5	12.7	11.3	11.3	11.3	2.8	1.4	9.9	
	訪問系のみ	17	29.4	11.8	23.5	23.5	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	
	訪問系を含む組み合わせ	8	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
	通所系・短期系のみ	21	33.3	9.5	9.5	14.3	9.5	19.0	0.0	4.8	4.8	

○サービス利用別にみると、未利用は「認知症状への対応」、訪問系のみは「外出の付き添い、送迎等」、訪問系を含む組み合わせは「夜間の排泄」「入浴・洗身」、通所系・短期系のみは「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」の回答率が最も高くなっています。「食事の準備(調理等)」は、訪問系でほかのサービス利用より10ポイント以上多くなっています。

●その他資料 令和2年度 介護保険料の所得段階別第1号被保険者割合 ※介護保険年報から

	世帯非課税	本人非課税	本人課税	第1号被保険者数 (人)
	第1号被保険者に占める割合	第1号被保険者に占める割合	第1号被保険者に占める割合	
全国	32.9%	25.8%	41.3%	35,781,674
大阪府	41.1%	21.5%	37.4%	2,384,487
島本町	27.2%	27.5%	45.3%	8,853
A	37.6%	21.7%	40.7%	105,297
B	31.9%	24.5%	43.6%	28,088
C	34.5%	23.4%	42.1%	90,006
D	32.7%	25.8%	41.5%	102,936
E	31.1%	25.2%	43.7%	68,713
F	29.3%	24.9%	45.8%	35,148
G	38.0%	22.9%	39.1%	22,334
H	19.6%	31.0%	49.4%	8,910
I	31.8%	25.2%	43.0%	3,973

ケアマネジャー アンケート調査票

＝ ケアマネジャーの皆様へ ＝

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から島本町介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本町では「第9期島本町保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、さまざまな施策を進めています。このたび、この計画の見直しに向けて、その基礎資料とするためケアマネジャーの方々を対象にアンケート調査を実施させていただくことになりました。

この調査は、介護保険に対するご意見などについてお聞きし、介護や保健福祉などの事業実施に向けた基礎資料とするために行うものです。

なお、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年〇月 島本町

- 1 この調査については、島本町介護保険被保険者のケアマネジメントを担当いただいているケアマネジャーの方がご記入くださるようお願い申し上げます。
- 2 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、数値、ご意見を記入していただくものの2種類あります。それぞれの設問の説明にしたがってお答えください。
- 3 ご記入いただきました調査票は、令和5年〇月〇日(〇)までに、同封の返信用封筒に入れ切手を貼らずにご投函くださるか、直接下記までご持参くださるようお願いいたします。
- 4 調査内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

島本町高齢介護課

電話(直通)：962-2864

● この調査は、令和5年〇月1日現在でお答えください。

貴事業所名をお書きください： _____

1 ケアマネジャーとしてのご自身について

問1 あなたの性別をご記入ください。(1つに〇)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をご記入ください。(1つに〇)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 ケアマネジャーとしての経験年数を選択してください。(1つに〇)

1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5年以上

問4 主任ケアマネジャーの資格を持っていますか。(1つに〇)

1. はい 2. いいえ

問5 勤務形態は次のうちどちらに該当しますか。(1つに〇)

1. 常勤で専任 2. 常勤で兼務 3. 非常勤で専任 4. 非常勤で兼務

2 担当している利用者について

問6 現在の利用者について、要介護度別の内訳をそれぞれ人数でご記入ください。また、小学校区ごとの内訳もあわせてご記入ください。

小学校区		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
担当している利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
小学校区ごとの内訳	第一小学校区	人	人	人	人	人	人	人	人
	第二小学校区	人	人	人	人	人	人	人	人
	第三小学校区	人	人	人	人	人	人	人	人
	第四小学校区	人	人	人	人	人	人	人	人

3 要望があるにも関わらず、提供しにくい(または提供できない)サービスについて

問7 島本町内で、要望があるにも関わらず提供しにくい(または提供できない)予防給付サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護予防訪問介護(現行型相当)	2. 訪問型サービスA(緩和サービス)
3. 訪問型サービスB(住民主体による支援)	4. 介護予防訪問看護
5. 介護予防訪問リハビリテーション	6. 介護予防居宅療養管理指導
7. 介護予防通所介護(現行型相当)	8. 通所型サービスA(緩和サービス)
9. 通所型サービスB(住民主体による支援)	10. 通所型・訪問型サービスC(短期集中型)
11. 介護予防通所リハビリテーション	12. 介護予防短期入所生活介護
13. 介護予防短期入所療養介護	14. 介護予防特定施設入居者生活介護
15. 介護予防福祉用具貸与	16. 介護予防小規模多機能型居宅介護
17. その他()	

問8 島本町内で、要望があるにも関わらず提供しにくい(または提供できない)介護給付サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護	2. 訪問看護	3. 訪問リハビリテーション
4. 居宅療養管理指導	5. 通所介護	6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所生活介護	8. 短期入所療養介護	9. 特定施設入居者生活介護
10. 福祉用具貸与	11. 認知症対応型通所介護	12. 小規模多機能型居宅介護
13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14. 看護小規模多機能型居宅介護	
15. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)		
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護(小規模有料老人ホーム)		
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)		
18. その他()		

4 地域密着型サービスについて

問9 担当している利用者のうち、次の地域密着型サービスを利用している方は何人いますか。小学校区ごとにそれぞれ人数をご記入ください。(1, 2, 3は介護予防給付者を含めてください)

	第一小学校区	第二小学校区	第三小学校区	第四小学校区	計
1. 認知症対応型通所介護	人	人	人	人	人
2. 小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人
3. 認知症対応型共同生活介護	人	人	人	人	人
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	人	人	人	人
5. 看護小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人
6. 地域密着型通所介護	人	人	人	人	人

※「2. 小規模多機能型居宅介護」、「3. 認知症対応型共同生活介護」の欄は、該当する事業所のケアマネジャーがご記入ください。それ以外のケアマネジャーは「1. 認知症対応型通所介護」の欄だけご記入ください。

問 10 (同じく担当している利用者のうち)問9であげた人数のほかに、現在は地域密着型サービスを利用していないが、できれば利用したほうが良いと思われる方は何人いますか。小学校区ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

	第一小学校区	第二小学校区	第三小学校区	第四小学校区	計
1. 認知症対応型通所介護	人	人	人	人	人
2. 小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人
3. 認知症対応型共同生活介護	人	人	人	人	人
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	人	人	人	人
5. 看護小規模多機能型居宅介護	人	人	人	人	人
6. 地域密着型通所介護	人	人	人	人	人

5 介護保険施設への入所希望者と在宅生活の継続に必要な在宅ケアについて

問 11 現在利用者のうち、介護保険施設(特別養護老人ホームや老人保健施設)への入所を希望している方は何人いますか。また、そのうち地域密着型サービスやそれ以外の十分な在宅ケアがあれば在宅生活が継続可能な方は何人いますか。それぞれ人数をご記入ください。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ア介護保険施設への入所希望者	人	人	人	人	人	人
イ入所希望者のうち地域密着型サービスがあれば在宅生活が継続可能な方	人	人	人	人	人	人
ウ入所希望者のうちイ以外で、十分な在宅ケアがあれば在宅生活が継続可能な方	人	人	人	人	人	人

問 12 上記ウの場合、どのような在宅ケアが必要ですか。次の中から、当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. 見守り・生活支援の充実(具体的に:)
2. 訪問介護、訪問看護などの充実(具体的に:)
3. 夜間や休日対応の充実(具体的に:)
4. 医療の充実(具体的に:)
5. 介護者への支援の充実(具体的に:)
6. 限度基準額の拡充(具体的に:)
7. その他(具体的に:)

6 地域包括ケア体制の強化について

問 13 地域包括ケア体制を強化していくために、必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 地域の社会資源や住民ニーズの把握 | 2. 地域ケア会議の活性化 |
| 3. 生活支援サービスの担い手の確保 | 4. 医療・介護サービス従事者の連携の強化 |
| 5. 地域の見守り合い活動の推進 | 6. 話し相手 |
| 7. 情報共有手段としてICTの活用 | 8. その他 () |

問 14 地域包括支援センターとケアマネジャーの連携について、現状への評価や今後希望することなど、ご意見をお聞かせください。

問 15 島本町において、在宅医療と介護の連携がどの程度進んでいると感じていますか。
(「まったく進んでいない」を0点、「とても進んでいる」を10点として、○をご記入ください)

まったく
進んでいない

とても
進んでいる

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 15-1 上記(問 15)の点数を付けた理由等について、お聞かせください。

問 16 介護職の人材確保について、現状への評価や今後希望することなど、ご意見をお聞かせください。

7 今後の高齢者支援等について

問17 現在インフォーマルサービスとして、どのような地域活動を活用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 高齢者の見守りや声かけ | 2. 家事支援活動 |
| 3. 住民同士の交流活動 | 4. 外出時の付き添いや介助 |
| 5. サークルや趣味の活動 | 6. 災害等の緊急時の対応 |
| 7. 健康づくりや介護予防に関する活動 | 8. その他 () |

問 18 高齢者が在宅生活を続ける上で、現在または今後必要と感じるサービスは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 外出支援（買物・通院） | 2. 調理支援 |
| 3. 掃除支援 | 4. ゴミ出し、重い物の運搬、電球交換などの支援 |
| 5. 見守りや声掛け | 6. 話し相手 |
| 7. 日用品の配達サービス | 8. 訪問理美容 |
| 9. その他 () | 10. 特にない・わからない |

問 19 認知症に関して、特に必要だと思う支援やサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 身近な認知症対応の介護サービス | 2. グループホーム（共同生活するケア付き住居） |
| 3. 隣近所や地域住民の理解 | 4. 認知症に関する家族の理解 |
| 5. 徘徊したときの通報・発見システム | 6. 家族介護者同士の交流機会 |
| 7. 認知症サポーターの育成 | 8. 認知症を理解するためのパンフレットやセミナー |
| 9. 虐待防止、虐待を通報するシステム | 10. さまざまな契約の支援や財産管理の支援 |
| 11. サービスの利用援助 | 12. 自宅の鍵の預かり（ひとり暮らしの場合など） |
| 13. 介護方法や家族の支援 | 14. 認知症予防活動の啓発 |
| 15. 認知症の早期発見、早期対応 | 16. 若年性認知症の方への支援 |
| 17. 認知症の人が活動する場や機会づくり | 18. その他 () |
| 19. 特にない・わからない | |

問 20 ケアマネジメントを行う上で、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 介護保険制度に関する最新情報の提供 | 2. 町の高齢者福祉事業に関する情報の提供 |
| 3. 介護サービス提供事業者に関する情報の提供 | 4. 事業者間の連携強化の支援 |
| 5. 介護支援専門員やサービス提供者の技術向上の支援（研修の実施等） | 6. 介護支援専門員やサービス提供者のための相談機能の充実 |
| 7. 処遇困難者への対応またはその支援 | 8. 医療との連携 |
| 9. 町担当課との情報共有および連携 | |
| 10. 町の高齢者福祉事業以外での他課との連携や調整 | |
| 11. その他 () | 12. 特にない |

問 21 ケアマネジャーとしての仕事のやりがいをどの程度感じていますか。

(「まったく感じていない」を0点、「とても感じている」を10点として、○をご記入ください)

まったく
感じていない

とても
感じている

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 21-1 上記(問 21)の点数を付けた理由等について、お聞かせください。

問 22 最後に、島本町の保健福祉・介護保険制度についてのご意見・ご要望、または、今後の高齢者支援や介護保険の制度改正について不安に思っていることや知りたいことがあればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。